

平成 28 年度 中学校・高等学校における
英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究

委託事業成果報告書

【目次】

はじめに

| | |
|----------------------|-----|
| 第1章 本事業の概要 | 4 |
| 第2章 質問紙調査（生徒対象）の結果報告 | 22 |
| 第3章 質問紙調査（教員対象）の結果報告 | 100 |
| 第4章 英語力調査（生徒対象）の結果報告 | 111 |
| 第5章 クロス集計の報告 | 123 |
| 第6章 外部専門家委員会の報告 | 144 |

おわりに

資料編

はじめに

静岡大学教育学部長 菅野 文彦

文部科学省の平成 28 年度「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改革のための指導方法等に関する実証研究」の委託を受けてとりくんだ成果をとりまとめ、本報告書をお届けする運びとなりました。

静岡大学教育学部の亙理 陽一教員を中心にとりくまれている本研究の目的や概要については、本報告書の第 1 章に詳しいところですが、その背後にある課題意識は、中学校・高等学校の英語教育におけるコミュニケーション能力育成の刷新であり、いわゆる 4 技能のうちでも「話す」「書く」などの言語活動を重視しながら各技能の具体的な教育目標を示すことをめざしています。そのために、まずは実態調査の分析および量的・質的エビデンスを蓄積し、それを踏まえて CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に依拠した中高一貫の CAN-DO リスト、年間指導計画、指導と評価の一体化に関する抜本的改善を行うこと、英語による「学力の 3 要素」を育成するため、ユニバーサル・デザインの考えに基づいた ICT 教材活用を含む英語授業の改善、およびアクティブ・ラーニング型授業の効果的手法の実証的研究を行うこと、さらには学習者コーパス、CAN-DO リストに基づくパフォーマンス評価事例、教員のアセスメント能力向上のための研修プログラムをデータベース化し、教員養成・研修等での活用を図ることをめざして、5 年計画で開始された、本年度はその初年度にあたります。

本年度の作業は実態調査として、生徒の英語力調査と生徒・教員に対する質問紙調査の実施および分析を中心としたものです。そして、2 つの「外部専門家委員会」からそれぞれ、拠点校授業、データ分析に関して有益な提言等を受けることができました。実際に開始してみると研究計画通りにはいかない点も生じてきていますが、基礎作業としての成果を中心に本年度の報告書をまとめたところです。忌憚なくご批評いただいて来年度以降の研究に活かしていくことを望んでおり、どうかご一読のうえお声をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。本研究が静岡県の、そして日本の英語教育の向上に貢献するものとなるようお願い、心がけてまいりたいと思っています。

最後になりましたが、本研究の作業にご尽力いただいた参加・協力機関である静岡県教育委員会、静岡県総合教育センター、各拠点校の教職員および生徒の皆様、さらには「データ分析外部専門家委員会」や「拠点校授業外部専門家委員会」で助言をいただいた先生方に、心より深く御礼申し上げますとともに、今後も息長くご協力下さいますようお願い申し上げます。

第1章: 本事業の概要

別添1

平成28年4月19日

平成28年度中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための
指導方法等に関する実証研究実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

団 体 名 国立大学法人 静岡大学
所 在 地 静岡県静岡市駿河区大谷 836
代表者職氏名 学長 伊 東 幸 宏 印

中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究実施計画書を提出します。

1. 事業の実施期間

契約締結日 ～ 平成33年3月31日

2. 事業実施機関

■代表法人(申請法人)等

| | |
|---------|-----------------|
| 法 人 名 | 国立大学法人 静岡大学 |
| 理 事 長 名 | 学長 伊 東 幸 宏 |
| 学 校 名 | 静岡大学教育学部 |
| 所 在 地 | 静岡県静岡市駿河区大谷 836 |

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 職 名 | 教育学部長 |
| ふりがな氏名 | すが の ふみ ひこ 菅 野 文 彦 |
| 電話番号 (FAX 番号) | 054-238-4569 (054-237-6347) |
| E-mail | efsugan@ipc.shizuoka.ac.jp |

■事務担当

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 職 名 | 学務部教務課教育企画係長 |
| ふりがな氏名 | すず き り え 鈴 木 利 絵 |
| 電話番号 (FAX 番号) | 054-238-4257 (054-238-5347) |
| E-mail | gkyoumu2@adb.shizuoka.ac.jp |

3. 構成員・構成機関等

(1) 構成機関(機関として本事業に参画する学校・企業・団体等)

| | 構成機関(学校・団体・機関等)の名称 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|---|--------------------|----------|----|-------|
| 1 | 静岡大学 | 事業統括・分析 | ○ | 静岡県 |
| 2 | 静岡県教育委員会 | 事務・分掌調整 | ○ | 静岡県 |
| 3 | 静岡県総合教育センター | 実践の統括・助言 | ○ | 静岡県 |
| 4 | 静岡県立伊豆中央高等学校 | 拠点校 | ○ | 静岡県 |
| 5 | 静岡県立掛川西高等学校 | 拠点校 | ○ | 静岡県 |
| 6 | 静岡県立吉原工業高等学校 | 拠点校 | ○ | 静岡県 |
| 7 | 静岡大学教育学部附属島田中学校 | 中学校拠点校 | ○ | 静岡県 |
| 8 | 静岡大学教育学部附属静岡中学校 | 中学校拠点校 | ○ | 静岡県 |
| 9 | 静岡大学教育学部附属浜松中学校 | 中学校拠点校 | ○ | 静岡県 |

(2) 構成員(委員)の氏名等(上記(1)の機関から参画する者及び個人で本事業に参画する者等)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|--|----------------|-----------------------|--------------------------------|----|-------|
| | 菅野 文彦 | 静岡大学教育学部・学部長 | 事業統括 | ○ | 静岡県 |
| | 北山 敦康 | 静岡大学教育学部・教授 | 附属学校統括 | ○ | 静岡県 |
| | 内田 恵 | 静岡大学教育学部・教授 | 思考・判断・表現力 育成教材・指導法 開発チーフ | ○ | 静岡県 |
| | Peter Clements | 静岡大学教育学部・准教授 | 英語運用能力・教員・生徒意識調査 チーフ | ○ | 静岡県 |
| | 亘理 陽一 | 静岡大学教育学部・准教授 | 評価能力向上プログラム開発・実施チーフ | ○ | 静岡県 |
| | 本事業予算による新規雇用 | 静岡大学教育学部・特任助教または特任准教授 | コーパス分析・データベース構築チーフ | | 静岡県 |
| | 村山 功 | 静岡大学大学院教職大学院・教授 | 学習環境整備・ICT教材活用促進チーフ | ○ | 静岡県 |
| | 益川 弘如 | 静岡大学大学院教職大学院・准教授 | 学習環境整備・ICT教材活用促進 | ○ | 静岡県 |
| | 小町 将之 | 静岡大学人文社会科学部・准教授 | 思考・判断・表現力 育成教材・指導法 開発 | ○ | 静岡県 |
| | 藤森 敦之 | 静岡大学情報学部・講師 | 学習環境整備・ICT教材活用促進 | ○ | 静岡県 |
| | 松野 和子 | 静岡大学大学教育センター・准教授 | 英語運用能力・教員・生徒意識調査 | ○ | 静岡県 |
| | 山本 好比古 | 静岡大学大学教育センター・講師 | 学習環境整備・ICT教材活用促進 | ○ | 静岡県 |
| | 天野 修一 | 静岡大学大学教育センター・特任助教 | 英語運用能力・教員・生徒意識調査 | ○ | 静岡県 |
| | 澤野 亜美 | 静岡大学 グローバル企画推進室・特任助教 | コーパス分析・データベース構築 | ○ | 静岡県 |

| | | | | |
|--------|-----------------------------|------------------------|---|-----|
| 三ッ谷 三善 | 静岡大学大学院教職大学院・教授 | カリキュラム開発 マネジメント | ○ | 静岡県 |
| 島田 桂吾 | 静岡大学大学院教職大学院・講師 | カリキュラム開発 マネジメント | ○ | 静岡県 |
| 林 剛史 | 静岡県教育委員会・義務教育課長 | 事業統括 | ○ | 静岡県 |
| 渋谷 浩史 | 静岡県教育委員会・高校教育課長 | 事業統括 | ○ | 静岡県 |
| 神田 不二彦 | 静岡県教育委員会・高校教育課指導監兼班長 | 事業統括 | ○ | 静岡県 |
| 河田 純次 | 静岡県教育委員会・高校教育課指導主事 | 拠点校統括 | ○ | 静岡県 |
| 吉澤 勝治 | 静岡県総合教育センター・所長 | 事業統括 | ○ | 静岡県 |
| 野村 賢一 | 静岡県総合教育センター・総合支援課高校班班長兼指導主事 | 評価能力向上プログラム開発・実施 | ○ | 静岡県 |
| 塚本 裕之 | 静岡県総合教育センター・指導主事 | カリキュラム開発 マネジメント・チーフ | ○ | 静岡県 |
| 平川 由紀子 | 静岡県総合教育センター・指導主事 | 評価能力向上プログラム開発・実施 | ○ | 静岡県 |
| 土井 弘子 | 静岡県総合教育センター・指導主事 | カリキュラム開発 マネジメント | ○ | 静岡県 |
| 熊谷 仁 | 静岡県総合教育センター・指導主事 | 学習環境整備・ICT教材活用促進 | ○ | 静岡県 |
| 星野 義文 | 静岡県立伊豆中央高等学校・校長 | 高等学校拠点校統括 | ○ | 静岡県 |
| 金澤 洋一 | 静岡県立伊豆中央高等学校・副校長 | 高等学校拠点校統括補佐 | ○ | 静岡県 |
| 戸塚 忠治 | 静岡県立掛川西高等学校・校長 | 高等学校拠点校統括 | ○ | 静岡県 |
| 溝口 信子 | 静岡県立掛川西高等学校・副校長 | 高等学校拠点校統括補佐 | ○ | 静岡県 |
| 山崎 裕子 | 静岡県立掛川西高等学校・教頭 | 高等学校拠点校統括補佐 | ○ | 静岡県 |
| 遠藤 稔美 | 静岡県立吉原工業高等学校・校長 | 高等学校拠点校統括 | ○ | 静岡県 |
| 深澤 富士夫 | 静岡県立吉原工業高等学校・副校長 | 高等学校拠点校統括補佐 | ○ | 静岡県 |
| 奥山 ゆう子 | 静岡県立伊豆中央高等学校・英語科主任 | 高等学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 伊藤 清乃 | 静岡県立掛川西高等学校・英語科主任 | 高等学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 清水 久美子 | 静岡県立吉原工業高等学校・英語科教諭 | 高等学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 中山 侑 | 静岡県立吉原工業高等学校・英語科教諭 | モデル調査・授業 | ○ | 静岡県 |
| 野上 寛之 | 静岡大学教育学部附属島田中学校・教諭 | 企画実施 | ○ | 静岡県 |

| | | | | |
|-------|--------------------|----------|---|-----|
| 稲葉 英彦 | 静岡大学教育学部附属静岡中学校・教諭 | モデル調査・授業 | ○ | 静岡県 |
| 石田 真 | 静岡大学教育学部附属浜松中学校・教諭 | モデル調査・授業 | ○ | 静岡県 |

(3) 事業統括委員会(構成員(委員)の氏名等(上記(2)の者のうち本委員会構成員))

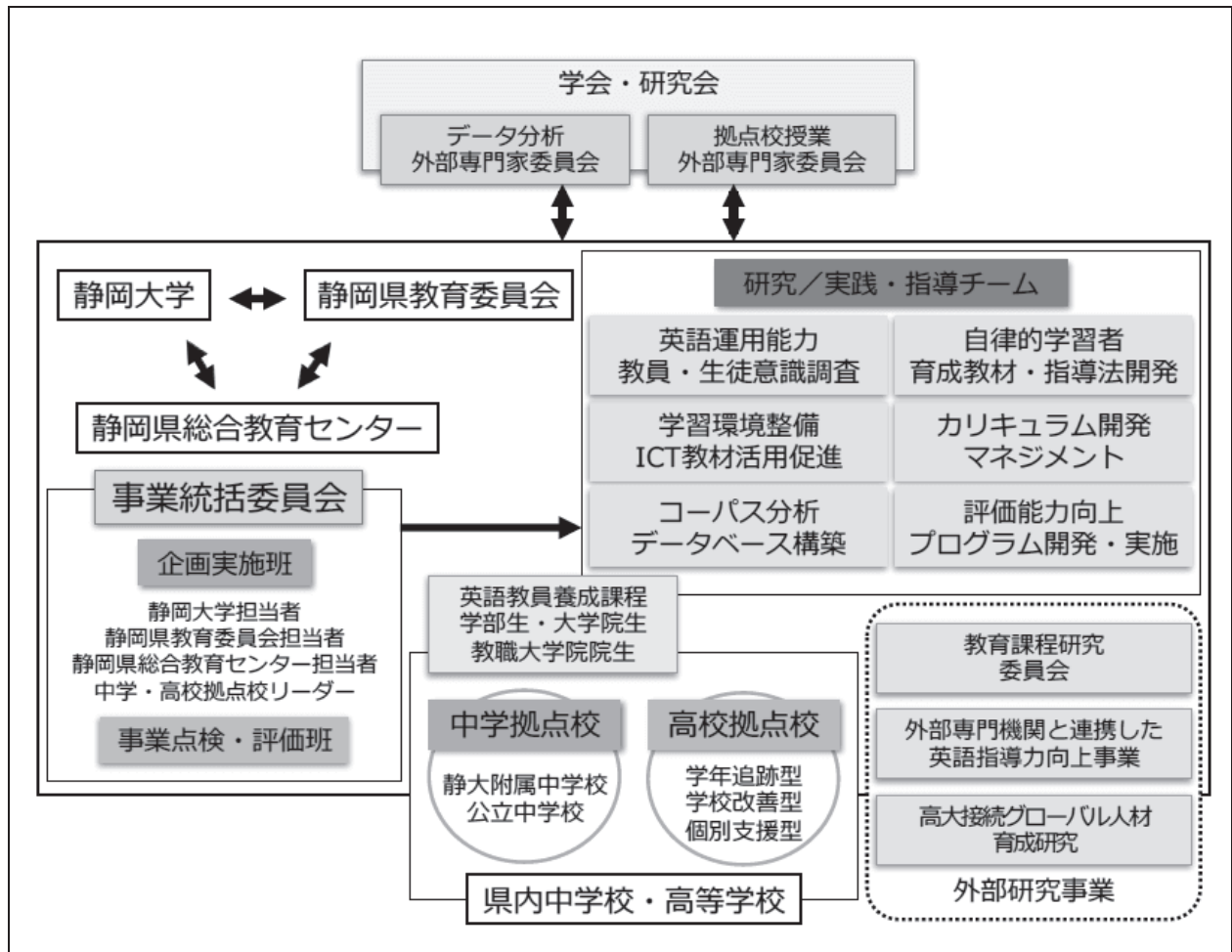
| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
|--------|-----------------------------|--------------|----|-------|
| 亘理 陽一 | 静岡大学教育学部・准教授 | 研究チーム統括 | ○ | 静岡県 |
| 野村 賢一 | 静岡県総合教育センター・総合支援課高校班班長兼指導主事 | 実践・指導チーム統括 | ○ | 静岡県 |
| 塚本 裕之 | 静岡県総合教育センター・指導主事 | 実践・指導チーム統括補佐 | ○ | 静岡県 |
| 河田 純次 | 静岡県教育委員会・高校教育課指導主事 | 拠点校統括 | ○ | 静岡県 |
| 奥山 ゆう子 | 拠点校・英語科主任 | 高等学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 伊藤 清乃 | 拠点校・英語科主任 | 高等学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 野上 寛之 | 静岡大学教育学部附属島田中学校・教諭 | 中学校拠点校英語科代表 | ○ | 静岡県 |
| 菅野 文彦 | 静岡大学教育学部・学部長 | 事業点検・評価 | ○ | 静岡県 |
| 林 剛史 | 静岡県教育委員会・義務教育課長 | 事業点検・評価 | ○ | 静岡県 |
| 渋谷 浩史 | 静岡県教育委員会・高校教育課長 | 事業点検・評価 | ○ | 静岡県 |
| 神田 不二彦 | 静岡県教育委員会・高校教育課指導監兼班長 | 事業点検・評価 | ○ | 静岡県 |
| 吉澤 勝治 | 静岡県総合教育センター・所長 | 事業点検・評価 | ○ | 静岡県 |

(4) 下部組織(設置は任意)

| 名称(データ分析外部専門家委員会) | | | | |
|-------------------|----------------------------|--------------------|----|-------|
| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 内諾 | 都道府県名 |
| 山森 光陽 | 文部科学省国立教育政策研究所・総括研究官 | 座長・助言(パフォーマンス評価) | ○ | 東京都 |
| 今尾 康裕 | 大阪大学言語文化研究科・准教授 | 助言(言語テスト、分析ツール) | ○ | 大阪府 |
| 森田 光宏 | 広島大学外国語教育研究センター・准教授 | 助言(第二言語習得、統計分析) | ○ | 広島県 |
| 水本 篤 | 関西大学外国語学部・准教授 | 助言(学習方略、統計分析) | ○ | 大阪府 |
| 近藤 悠介 | 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター・准教授 | 助言(データ分析、スピーキング評価) | ○ | 東京都 |
| 長沼 君主 | 東海大学外国語教育センタ | 助言(学習方略、言 | ○ | 神奈川県 |

| | | | | |
|-------------------|--------------------|---------------------|---|-----|
| | 一・准教授 | 語テスト(語) | | |
| 水島 梨紗 | 札幌学院大学人文学部・講師 | 助言(語用論、対人コミュニケーション) | ○ | 北海道 |
| 石井 雄隆 | 早稲田大学大学総合研究センター・助手 | 助言(データ分析、ライティング評価) | ○ | 東京都 |
| 名称(拠点校授業外部専門家委員会) | | | | |
| 三浦 孝 | 静岡大学・名誉教授 | 座長・助言(リーディング指導) | ○ | 愛知県 |
| 永倉 由里 | 常葉大学短期大学部・教授 | 助言(スピーキング指導、学習法) | ○ | 静岡県 |
| 安木 真一 | 京都外国語大学・教授 | 助言(リスニング指導) | ○ | 京都府 |
| 松井 孝志 | 山口県鴻城高等学校・教諭 | 助言(ライティング指導) | ○ | 山口県 |
| 山本 孝次 | 愛知県立刈谷北高等学校・教諭 | 助言(単元デザイン) | ○ | 愛知県 |
| 柳田 綾 | 愛知県立阿久比高等学校・教諭 | 助言(単元デザイン) | ○ | 愛知県 |

(5)事業の実施体制図(イメージ)



4. 事業の内容等

(1) 目的・概要

実態調査の分析および量的・質的エビデンスの蓄積を踏まえ、CEFR に依拠した中高一貫 CAN-DO リスト、年間指導計画、指導と評価の一体化に関する抜本的改善を行う。英語による「学力の3要素」を育成するため、ユニバーサル・デザインの考えに基づいた ICT 教材活用を含む英語授業改善、およびアクティブ・ラーニング型授業の効果的手法の実証的研究を行う。学習者コーパス、CAN-DO リストに基づくパフォーマンス評価事例、教員のアセスメント能力向上のための研修プログラムをデータベース化し、教員養成・研修等での活用を図る。

(2) 取組概要・成果・継続性

(平成28年度事業)

・取組概要

静岡県内の教員・生徒の本事業にかかわる実態把握を柱とする。各拠点校に実践・研究の体制を整え、カリキュラム・マネジメント(現行 CAN-DO リストに基づいた指導の成果と課題)、ユニバーサル・デザインの考えに基づく英語授業づくり(個々の生徒の学び方・学習意欲、ICT 等の学習環境)、パフォーマンス評価の実態に関して教員・生徒の意識調査を実施する。併せて、学年追跡型拠点校の高校1年生に GTEC for STUDENTS 受験補助を実施し、英語運用能力の測定を行う。調査・スコアの分析および技能統合型授業における生徒のパフォーマンスの収集に基づいて、年間指導計画・評価方法の改善案を提案し、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、ICT 教材等の活用法を検討する。

(平成29年度事業)

・取組概要

各拠点校における CAN-DO リストに基づく授業展開を柱とする。教員・生徒調査および技能統合型授業における生徒のパフォーマンス収集を継続しつつ、授業内でのその共有等を通じて、学習者が学習の進捗や到達度を自律的にモニタリングできる教材・指導法を開発する。一連の授業の成果を見るために、学年追跡型拠点校の高校2年生に GTEC for STUDENTS 受験補助を実施し経年比較を行う。研修に基づいて拠点校教員が実施したパフォーマンス評価事例を収集し、CAN-DO リストの運用・改善を行う。

・期待される事業成果

教員・生徒の意識調査報告、改訂版 CAN-DO リスト、GTEC スコア経年比較(2年目)

・28年度事業との継続性(成果の活用含む)

前年度の教員・生徒調査および技能統合型授業における生徒のパフォーマンス収集、年間指導計画・評価方法の改善案、ICT 教材等の活用提案に基づいて拠点校の授業が展開される。

(平成30年度事業)

・取組概要

拠点校における英語運用能力向上の実証と学習者コーパス分析を柱とする。学年追跡型拠点校の高校3年生、および中学3年生に GTEC for STUDENTS 受験補助を実施し、これまでの結果と合わせて中間評価を行う。前年度までの研究・実践を継続しつつ、各拠点校から収集したデータに基づく学習者コーパスの分析をまとめ、そこから更なる運用能力向上に向けた指導法の改善、および他校種・他教科連携のあり方を検討する。学校改善型・個別支援型拠点校のインタビュー調査をまとめ、CAN-DO リストの運用・改善の成果と課題に関する質的エビデンスを得る。

・期待される事業成果

GTEC スコア経年比較(3年目)、学習者コーパス・データベース、評価事例集の蓄積

・29年度事業との継続性(成果の活用含む)

前年度までの研究・実践を踏まえて、授業・調査が実施され、学習者コーパスと評価事例集の蓄積が行われる。その結果に基づき、各拠点校の指導法が改善され、本事業の中間評価と

データベース公開に至る。

(平成31年度事業)

・取組概要

各拠点校のカリキュラムの評価・改善と、拠点校の拡充、評価能力向上プログラム開発を柱とする。前年度までに示された成果・課題に基づいて、CAN-DOリストおよび年間指導計画を見直し、拠点校を拡充しつつ、中高一貫の目標設定による指導と評価の抜本的改善に着手する。研究の知見とパフォーマンス評価事例の蓄積に基づき、教員・ALTのアセスメント能力の向上を目的とした研修プログラムの開発を行う。同時に、教室外におけるICT等を活用した教員支援の内容・方法を検討する。

・期待される事業成果

GTECスコア経年比較(4年目)、データベースの運用・改善、評価能力向上研修プログラム

・30年度事業との継続性(成果の活用含む)

前年度までの成果に基づいて、各拠点校のカリキュラムの評価・改善が行われる。開発された教材・指導法が拡充した拠点校に普及され、学習者コーパス・評価事例集の蓄積がさらに進む。

(平成32年度事業)

・取組概要

研究・実践の両面からの本事業全体の総括を柱とする。見直したCAN-DOリストと評価能力向上研修プログラムの運用・改善に取り組み、これまでの各拠点校の実践と本事業の各研究のすべての面から、中高一貫の目標設定による指導と評価の抜本的改善についてレビューを実施し報告をまとめる。本事業の成果として今後広く活用し得るよう、学習者コーパスおよびCAN-DOリストに基づく評価事例、教員向け評価研修プログラムをオンラインで利用可能なデータベースとして整備し、一般に広く公開する。

・31年度事業との継続性(成果の活用含む)

前年度までの(5年間のGTECスコアの比較を含む)成果と課題に基づいて、各拠点校のカリキュラムおよび評価能力向上研修プログラムの評価・改善が行われ、学習者コーパス・評価事例集・教員向け評価研修プログラムがデータベースとして最終的な公開版として整備される。

(3)事業の成果目標

拠点校におけるICT教材等を活用した技能統合型の教材および指導方法の実践を通じて、生徒の英語運用能力の向上や教員・生徒の英語授業・英語学習に対する意識の変容が定量的・定性的に示される。具体的には、実証研究の対象とする中・高等学校において、求められる英語力を有する生徒の割合をH28年度40%→H29年度50%→H30年度60%→H31年度70%→H32年度80%に引き上げ、英語の学習が好きと考える生徒の割合および教員による授業改善・評価能力向上の実感割合をH28年度から3年間で50%、最終年度までに90%以上に増加させる。併せて、学習者のコーパスと(特にWriting/Speakingの)CAN-DOリストに基づいた評価事例集がオンラインのデータベースとして一般に広く利用可能な形で公開され、教員のアセスメント能力向上を目的とした研修プログラムが開発・公開される。

(4)事業の実施内容

①会議(目的、体制、開催回数等)

本事業全体の管理・運営を目的として、企画実施班による会議(企画実施会議)を月に1回程度開催する。研究および実践・指導チームの各メンバーは事業統括委員会の求めに応じて企画実施会議に参加し、必要に応じてチーフの招集により各チームで会議(チーム会議)を開催する。企画実施会議に併せて、各拠点校(後述)において実践研究会を月に1回もしくはふた月に1回程度開催する。本事業の進捗の点検・評価を目的として、事業点検・評価班による会議(点検・評価会議)を年に1回程度開催する。各チームの取り組みを通じて得られるデータの分析と拠点校の授業づくりそれ

ぞれに関する相談を目的として、外部専門家で組織される委員会（外部専門家会議）を年に2回程度ずつ開催する。

②実証研究等（目的、対象、規模、手法、実施体制、実施方法等）

本事業の中核的エビデンスを以下の研究により得る。

a. 拠点校を対象とした英語運用能力の測定および教員・生徒の意識調査（英語運用能力／教員・生徒意識調査）

高等学校は、学年単位で1年生から3年生までの変化を縦断的に調べる学年追跡型（静岡県教委が指定）、学校単位で全学年を横断的に調べる学校改善型（静岡県教委が指定、年度ごとに随時拡大）、教員個人を抽出してデータ収集・指導方法改善を行う個人支援型（公募・指定併用、異なる学校から数名を複数年）の3パターンの拠点校を設定し、中学校は静岡大学附属3中学校を横断的・縦断的調査の拠点校とし、事業3年目以降に公立中学校へと順次拡大する。

静岡県内生徒の英語運用能力の現状把握および本事業中間評価を目的として、学年追跡型拠点校・当該学年の全生徒（約250人）を対象にGTEC for STUDENTS（4技能型）の受験料補助を年2回実施し、3年間のスコアの分布・変化を量的エビデンスとする。本事業3年目以降は公立中学校拠点校3年生（約120人）に対しても同様の受験料補助を年1回実施し、中学校段階の到達度の経年比較指標とする。さらに教員・生徒意識調査として、質問紙調査を各拠点校に対して年2回実施し、横断的比較および継時的変化の分析を示すことに加え、学校改善型と個別支援型に対してはインタビュー調査を継続的に実施し、CAN-DOリストの運用やパフォーマンス評価能力向上に関する質的エビデンスとする。中学校についても、附属中学校におけるCAN-DO運用実績および学習者コーパスを参照基準として活用し、言語データや生徒のパフォーマンスによって中学校段階の到達度を示す。

CAN-DOリストの整備・運用・改善を踏まえたカリキュラム設計、およびそれを具体化した技能統合型の教材・指導方法の確立を主たる目的として、現状把握と拠点校における実践・指導に基づいて、英語教育の抜本的改善の基盤となる以下の3研究に取り組む。高等学校については各拠点校での授業を中心に、中学校については、3年目以降の量的指標をウォッシュバックとして、附属中学校でのモデル授業をベースに、他の高等学校および公立中学校への授業実践を通じた普及・拡大を図る。

b. ユニバーサル・デザインの考えに基づく現状分析とICT教材の活用を含めた効果的な指導方法の構築（学習環境整備・ICT教材活用促進）

c. 英語運用に関する知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力の育成に資する技能統合型教材および指導法の開発（自律的学習者育成教材・指導法開発）

d. 中高一貫のCAN-DOリスト、年間および単元における指導・評価計画の構築（カリキュラム開発・マネジメント）

拠点校の現状に鑑み、プロジェクタ・スクリーン・タブレット端末等の設備備品を必要数導入し、アクティブ・ラーニング型授業の実施環境を整える。併せて、クリッカーシステムやアクションカメラ、プレゼンテーションソフト等によるICT教材の活用に取り組み、クラス内のディスカッションや自他のパフォーマンスの蓄積・共有・省察を通じて、学習者が学習の進捗や到達度を自律的にモニタリングできる教材・指導法を関連諸学問の知見に依拠し開発する。これらの取り組みの成果については、タブレット端末やボイスレコーダー、ビデオカメラによって学習者のパフォーマンスと教員によるその評価を収集し、学習科学等の知見からペア・グループ間のやりとりに対するマルチレベル分析を行うことによって、学校ごと・学習者ごとの特徴を考慮した上で定量的にも定性的にも高い一般性を有したエビデンスが得られる。その分析をもとに、実現可能性を担保したCAN-DOリストの改善・運用を継続的に行う。それをもとに年間指導・評価計画を作成し、単元レベルでの具体的評価を事例として蓄積する。

上記の実践および研究に支えられ、各拠点校から収集したデータをもとに以下の2研究を実施する。データベースは本事業3年目以降にオンラインで利用可能な形で一般に広く公開し、以降も随時更新しながら運用する。各拠点校から収集したデータに基づく学習者コーパスを構築することで、更なる運用能力向上に向けて、その分析から各校に対して実態に合ったきめ細やかな授業改善案が提案できるだけでなく、当該コーパスを各拠点校・県内中高等学校における一つの参照基準とすることで、横断的・縦断的なカリキュラム・マネジメント（現行CAN-DOリストに基づいた指導の成果と課題の検討）をより妥当性の高いものとするができる。評価事例を活用した教員研修プログラムは、教員の評価リテラシー向上に寄与すべく、本事業2年目以降、拠点校教員および総合教育センターにおける教職員研修、英語教員養成課程の学生・院生、教職大学院院生を対象に実施・改良を重ね、本事業の成果として広く活用し得るよう、データベースと併せてオンラインで視聴可能な映像教材として本事業最終年度までに一般に広く公開する。

- e. 静岡県内中高生の学習者コーパスおよびCAN-DOリストに基づく評価事例のデータベース構築（コーパス分析・データベース構築）
- f. パフォーマンス評価のあり方に関する研究に基づく、教員・ALTのアセスメント能力の向上を目的とした研修プログラムの開発・実施（評価能力向上プログラム開発・実施）

③今年度までの取組成果の取りまとめ等

以下の活動指標を報告書としてまとめ、学習者コーパス・評価事例を蓄積するデータベースの構築に着手する。

- ・ 中高一貫のCAN-DOリスト、年間指導計画及び単元における指導・評価計画の第一次案
- ・ 拠点校における生徒の学び方と学習意欲に関する質問紙調査の分析結果
- ・ アクティブ・ラーニング型授業の現状分析に基づく、ICT教材等の活用を含めた効果的な指導方法の提案、実践事例

平成28年度「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究」事業計画概要（静岡大学）

（別添2）①

課題・ニーズ・背景・目的

○ 中・高等学校でのコミュニケーション能力の育成について、高等学校卒業時に生涯にわたり4技能を積極的に使えるようになる英語力を身に付ける上で、特に「話す」「書く」などの言語活動が半分に行われていない現状がある。

○ 平成28年度時点で、静岡県内の公立高等学校のCAN-DOリスト作成率は100%であるが、その活用には至っていない。各発達段階の学びを円滑に接続し、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した各技能の具体的な教育目標を示すために、実態調査の分析および量的・質的エビデンスの蓄積を踏まえ、CEFRに依拠した中高一貫CAN-DOリスト、年間指導計画、指導と評価の一体化に関する抜本的改善を行う。

○ 英語による「学力の3要素」を育成するため、個々の生徒の学び方の特性に配慮し、ユニバーサル・デザインを考えに基づいたICT教材活用を含む英語授業改善、およびアクティブ・ラーニング型授業の効果的手法の実証的研究を行う。

○ 学習者コーパス、CAN-DOリストに基づくパフォーマンス評価事例、教員のアセスメント能力向上のための研修プログラムをデータベース化し、教員養成・研修等での活用を図る。

（以下は、平成29年度以降に記載。）

○ 平成29年度の事業を実施するにあたり、平成28年度までに実施してきた取組成果（活用状況含む）や、当該成果・課題と28年度事業との継続性・関連性、及び実施する上での課題などを記載する。

平成28年度の具体的な取組内容

静岡県内の教員・生徒の実態把握

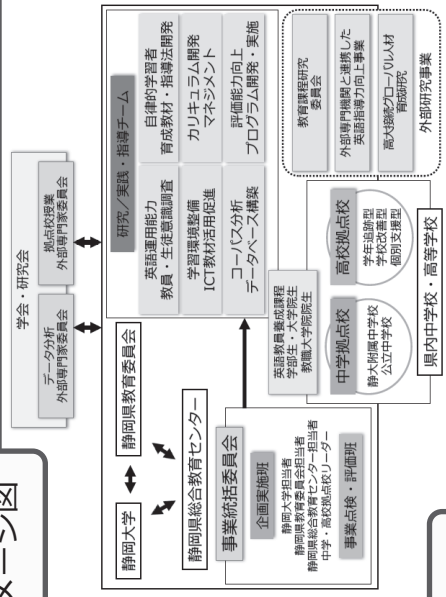
①調査研究

- (a) 拠点校における教員・生徒の意識調査（個々の生徒の学び方・学習意欲、ICT教材等の学習環境、CAN-DOリストの運用・パフォーマンス評価の実態）
- (b) 現行CAN-DOリストに基づく年間・単元計画・指導の検討
- (c) 拠点校の現状に応じた学習環境整備・ICT教材等の活用
- (d) 生徒のWriting/Speakingパフォーマンスの収集
- (e) 年間指導計画・評価方法改善案の提案
- (f) 外部資格・検定試験を活用した生徒の英語力の把握

GTEC for Students（4技能型）（約250人、2回）

②実践研究会：各拠点校において年6～12回実施

実施体制イメージ図



参加・協力機関

- ①静岡県教育委員会、公立高等学校・中学校拠点校
静岡県立伊豆中央高等学校
静岡県立掛川西高等学校
静岡県立吉原工業高等学校
静岡県総合教育センター
- ②静岡大学教育学部附属島田中学校・静岡中学校・浜松中学校
- ③静岡大学教育学部附属島田中学校・静岡中学校・浜松中学校

平成28年度「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究」 事業計画概要（静岡大学） (別添2) ②

成果目標（アウトカム）

- 拠点校におけるICT教材等を活用した技能統合型の教材および指導方法の実践を通じて、生徒の英語運用能力の向上や教員・生徒の英語授業・英語学習に対する意識の変容が定量的・定性的に示される。
 - ・実証研究の対象とする中・高等学校において、求められる英語力を有する生徒の割合をH28年度40%→H29年度50%→H30年度60%→H31年度70%→H32年度80%に引き上げる。
 - ・英語の学習が好きと考える生徒の割合をH28年度から3年間で50%、最終年度までに90%以上に増加させる。
 - ・教員による授業改善・評価能力向上の実感割合をH28年度から3年間で50%、最終年度までに90%以上に増加させる。
- 学習者のコーパスと（特にWriting/Speakingの）CAN-DOリストに基づいた評価事例集がオンラインのデータベースとして一般に広く利用な形で公開される。
- 教員のアセスメント能力向上を目的とした研修プログラムが開発・実施され、オンラインで視聴可能な形で一般に広く利用な形で公開される。

活動指標（アウトプット）

- 具体的な成果・内容について
 - ・カリキュラム・マネジメント（中高一貫のCAN-DOリスト、年間および単元における指導・評価計画）
 - ・学習者の学び方・意欲等に関する現状および変容調査
 - ・ユニバーサル・デザインの考えに基づく学習環境整備とICT教材の活用を含めた効果的な指導方法の構築
 - ・学習者のコーパス分析及びパフォーマンス評価事例集
- 活動指標
 - ・教員・生徒の意識調査報告（取組①(a)関連）
 - ・生徒の産出技能パフォーマンス・データ（取組①(d)関連）
 - ・年間指導計画・評価方法の改善案（取組①(e)関連）
 - ・外部資格・検定試験を活用した生徒の英語力の把握（取組①(f)関連）： 学年追跡型拠点校高校1年生約250人を対象にGTEC for STUDENTS（4技能型）の受験を年2回補助
 - ・実践研究会（取組②関連）：
 - ・ 学年追跡型 12回程度, 15人参加
 - ・ 学校改善型 6回程度, 10人参加
 - ・ 個別支援型 6回程度, 4人参加

平成28年度の成果の活用

- ・ 中高一貫のCAN-DOリスト、年間指導計画及び単元における指導・評価計画を以下のように活用する。
 - ① 静岡県教育委員会教育課程研究委員会、静岡県高等学校英語教育研究会の研修材料として提出し意見を募る。
 - ② 全県CAN-DOリスト作成調査（年1回）において、改訂版を作成例として県内の全ての高校に配布する。
- ・ 拠点校における生徒の学び方と学習意欲に関する質問紙調査の分析結果を、教科横断的なカリキュラムの作成につなげることとを念頭に校内研修会を計画し、共有する。
- ・ アクティブ・ラーニング型授業の現状分析に基づくICT教材等の活用を含めた効果的な指導方法の実践事例を、静岡県総合教育センター「次期学習指導要領対応授業力向上研修」（教務主任等の悉皆研修）等で活用する。

平成28年度「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究」 事業計画概要（静岡大学）

(別添2) ③

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度以降 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 教育振興基本計画 学習指導要領改訂 生徒の英語力調査 大学選抜・入試 | 第2期 答申・指導要領改訂 | | 第3期 中学校学力調査（英語実施） | | | |
| | 中3フューチャリティ調査 | | 基礎学力テスト | | | |
| ①英語運用能力 教員・生徒意識調査 | 各拠点校対象実態調査 ・学年追跡型1年対象 GTEC for STUDENTS | 各拠点校対象意識調査 ・学年追跡型1, 2年対象 GTEC for STUDENTS | 学校改善型・個別支援 型インタビュー調査 ・中3、高校1～3年対象 GTEC for STUDENTS | 中3、高校1～3年対象 GTEC for STUDENTS の経年・横断比較分析 | 中3、高校1～3年対象 GTEC for STUDENTS の経年・横断比較分析 | 中3、高校1～3年対象 GTEC for STUDENTS の経年・横断比較分析 |
| ②カリキュラム開発 マネジメント | 年間指導計画・評価方法 改善案の提案 | CAN-DOリストの 運用・改善 | CAN-DOリストの 運用・改善・成果・ 課題まとめ | CAN-DOリスト、 年間指導計画・評価方法 の見直し | CAN-DOリスト、 年間指導計画・評価方法 の見直し | 中高一貫の目標設定に よる指導・評価の抜本 的改善レビュー |
| ③自律的学習者有成 教材・指導法開発 | AL型授業の実態調査 | AL型授業の検討・分析 ・自律的学習者向け教材・ 指導法開発・実施 | 自律的学習者向け教 材・他校種・他教科連携 課題まとめ | 指導法実施・改善 のあり方検討 | 指導法実施・改善 のあり方検討 | |
| ④学習環境整備 ICT教材活用促進 | 拠点校学習環境整備 ・ICT教材活用法の検討 | ICT教材等の活用提案・授業実施 | | 教室外におけるICT等活用による教員支援の検討 | 教室外におけるICT等活用による教員支援の検討 | |
| ⑤コーパス分析 データベース構築 | 技能統合型授業における生徒のWriting/Speaking パフォーマンス収集 | 学習者コーパスの分析 ・コーパス・評価事例集 データベース公開 | | 学習者コーパスおよび 評価事例集の拡充 ・データベース更新 | 学習者コーパスおよび 評価事例集の拡充 ・データベース最終版公開・活用 | |
| ⑥評価能力向上プロ グラム開発・実施 | パフォーマンス評価事例の 蓄積 | パフォーマンス評価事例の蓄積 ・教職員研修および学生・院生に対する 試行的評価トレーニング実施 | | 教員・ALTI向け アセスメント能力向上 研修プログラム開発 | 教員・ALTI向け 評価研修プログラムの 改良・オンライン公開・活用 | |
| 各年度 における 成果 | 教員・生徒意識調査報告 改訂版CAN-DOリスト GTECスコア経年比較 | 教師版CAN-DOリスト GTECスコア経年比較 | 教師版CAN-DOリスト GTECスコア経年比較 | 再改訂版CAN-DOリスト、年間指導計画・評価方法 GTECスコア経年横断比較 | 再改訂版CAN-DOリスト、年間指導計画・評価方法 GTECスコア経年横断比較 | 再改訂版CAN-DOリスト、年間指導計画・評価方法 GTECスコア経年横断比較 |
| | 技術統合型教材・指導法 | 学習者コーパス・データベース パフォーマンス評価事例集 | 学習者コーパス・データベース パフォーマンス評価事例集 | 学習者コーパス・データベース パフォーマンス評価事例集 | 学習者コーパス・データベース パフォーマンス評価事例集 | 学習者コーパス・データベース パフォーマンス評価事例集 |
| | ICT等教材の活用案 | | | 拡充データベース・評価事例集 | 拡充データベース・評価事例集 | 拡充データベース・評価事例集 |
| | | | | | 評価能力向上研修プログラム | 評価能力向上研修プログラム |

外部研究事業：静岡大学が静岡県教育委員会と協働で取り組んでいる英語授業改善のための事業
 ・文科省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」（26～30年）：高校（5校）中（3校）小（2校）
 ・静岡県総合教育センター「高大接続グローバル人材育成研究」（27、28年）：
 英語によるディベート指導方法の共同研究

2016 年度取組実績

- 4月13日: 静岡県庁訪問
- 4月14日: B校第1回訪問 (管理職のみ)
- 4月18日: C校第1回訪問
- 4月25日: A校第1回訪問
- 8月16日: 本事業に係る打合せ (第1回, 文部科学省)
- 9月12日: A校第2回訪問
- 9月30日: B校第2回訪問
- 10月12日: 第1回静岡大学内会議 (質問紙調査検討)
- 10月24日: B校第3回訪問
- 11月2日: 第2回静岡大学内会議 (質問紙調査検討)
- 11月7日: B校第4回訪問
- 11月18日: 第3回静岡大学内会議 (質問紙調査検討)
- 11月21日: C校第2回訪問
- 11月24日: A校第3回訪問 (1年パフォーマンス・テスト)
- 12月2日~12月9日: A校 (1年) 第1回 GTEC 受験
- 12月5日~12月9日: A校第1回質問紙調査
- 12月5日~12月14日: E 中学校 第1回質問紙調査
- 12月9日~1月27日: B校 (1, 2年) 第1回 GTEC 受験
- 12月12日: B校第5回訪問
- 12月12日~12月16日: C校 第1回質問紙調査
- 12月12日~12月16日: D 中学校 第1回質問紙調査
- 12月14日: B校第1回質問紙調査
- 1月中完了: F 中学校 第1回質問紙調査
- 1月23日: B校第6回訪問
- 1月30日: A校第4回訪問
- 2月1日: C校第3回訪問
- 2月6日: A校1年・B校1年 GTEC 3技能データ納品
- 2月13日: B校第7回訪問 (1年パフォーマンス・テスト)
- 2月18日: 第1回拠点校授業外部専門委員会開催
- 2月20日: B校2年 GTEC 3技能データ納品
- 2月23日: 第1回データ分析外部専門委員会開催
- 2月27日: A校1年・B校1年 GTEC Speaking 教師用帳票・スコアレポート納品
- 3月1日: 本事業に係る打合せ (第2回, 文部科学省)

[授業見学] のべ 23 時間

| | 高等学校 | | | 中学校 |
|------|-----------|------------------------|-----------|-------------------------------------|
| | 学年追跡型 A 校 | 学校改善型 B 校 | 個別支援型 C 校 | 附属中 (D, E, F) |
| 2016 | 1 年生 5 時間 | 1 年生 6 時間 3 年生 4 時間 | 2 年生 3 時間 | 1 年生 1 時間 2 年生 3 時間 3 年生 1 時間 |

[調査計画]

| | 高等学校 | | | | | | 中学校 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------------|---|----------------------|-------------------------------------------------------------------|---|---|----------------------|------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------------|-----|--------------------|----------------------------------|------|--|----------|----------|---|---|---|---|
| | 学年追跡型 A | | 学校改善型 B (N = 969) | | | | 個別支援型 C (N = 116) | | 附属中 D, E, F (N = 1191) | | | 公立中 (2018 年度以降) | | | | | | | | | |
| 年度 | 質問紙 | | | GTEC | | | 質問紙 | | GTEC | | 質問紙 | | | GTEC | | | | | | | |
| | 2016 | 1 | 2 | 3 | 1 | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | | 拠点校近郊で指定 | | | | |
| 2017 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | | 拠点校近郊で指定 | | | | | |
| 2018 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | | |
| 2019 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | |
| 2020 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 主要 アウ トカ ム | 校内 within 3 代, (between 5~3 代) | | | 校内 between (→ within 初代~3 代 目の between) (校間 between 5 代) | | | | 校間 (教員間) between, 学校内 (教員内) within | | 校種間 between (検 討の基礎資料) (校間 between 3 代) | | | 校内 within 1 代 校種間 between 3 代 | | | | | | | | |
| 備考 | 受験料事業負担 | | | 受験料受験者負担 | | | | | | | | | (自治体負担計画※) | | | | | | | | |

※ 自治体予算で参加を検討していた X 市 4 中学校は来年度参加見合わせ、再来年度以降を検討

[2016 年度調査概要]

| | 教員質問紙調査 | | 生徒質問紙調査 | | GTEC for Students | | GTEC Speaking | |
|-----|---------|--------|---------|--------|-------------------|--------|---------------|--------|
| | n/N | 回収率 | n/N | 回収率 | n/N | 回収率 | n/N | 回収率 |
| A 校 | 6/6 | 100% | 598/608 | 98.36% | 204/205 | 99.51% | 203/205 | 99.02% |
| B 校 | 6/10 | 60.00% | 942/969 | 97.21% | 641/648 | 98.92% | 643/648 | 99.23% |
| C 校 | 2/2 | 100% | 112/116 | 96.55% | | | | |
| D 校 | 3/3 | 100% | 358/360 | 99.44% | | | | |
| E 校 | 3/3 | 100% | 453/476 | 95.17% | | | | |
| F 校 | 2/2 | 100% | 336/355 | 94.65% | | | | |

[学習環境・ICT 機器整備]

- 各拠点校（個別支援型においては対象学年）に所属する英語教員の人数分，他教科の使用状況等を気にせずに，音声・映像教材の活用を可能とするための機器を導入した。
- A 校・B 校に対して，（Speaking/Writing）データ収集，および調べ学習・協同学習等の促進を目的として，1 クラス分のタブレット端末，および必要となるネット環境のための Wi-Fi ルーターを導入した。
- A 校・B 校に対して，4 人同時のパフォーマンス・テスト（特に Speaking）を可能とする環境整備を行った。

| 学年追跡型 A 校 | 学校改善型 B 校 | 個別支援型 C 校 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単焦点プロジェクタ 6 台 スクリーン 6 枚 Bluetooth スピーカー 6 台 教員用 iPad mini 6 台 生徒用 iPad mini 45 台 Apple TV 6 台 (カバー，スタンド等付属品含) Wi-Fi ルーター (2 台・10 台・100 大規模) | 単焦点プロジェクタ 10 台 スクリーン 10 枚 Bluetooth スピーカー 10 台 教員用 iPad mini 10 台 生徒用 iPad mini 45 台 Apple TV 10 台 (カバー，スタンド等付属品含) Wi-Fi ルーター (2 台・10 台・100 大規模) | 単焦点プロジェクタ 2 台 スクリーン 2 枚 Bluetooth スピーカー 2 台 教員用 iPad mini 2 台 Apple TV 1 台 (カバー，スタンド等付属品含) |
| 4 人同時パフォーマンス・テスト 設備(パーティション，アクションカメラ，ヘッドセットマイク，モニター等一式) IC レコーダー 45 台 | 4 人同時パフォーマンス・テスト 設備(パーティション，アクションカメラ，ヘッドセットマイク，モニター等一式) ホワイトボード 30 枚 | |

英語運用能力・教員・生徒意識調査検討会議（第1回静岡大学内会議）

- ・ 参加者: 天野・Clements・藤森・小町・松野・澤野・内田・亘理・山本（敬称略・アルファベット順）
- ・ 日時: 平成28年10月12日(水) 16:05-17:35
- ・ 会場: 教育学部J棟大会議室
- ・ 議題:
 1. 事業概要・組織体制
 2. データ収集・処理・分析
 3. 経過・スケジュール
 4. 質問紙構成・項目検討
 5. その他

英語運用能力・教員・生徒意識調査検討会議（第2回静岡大学内会議）

- ・ 参加者: Clements・藤森・小町・松野・澤野・亘理・山本（敬称略・アルファベット順）
- ・ 日時: 平成28年11月2日(水) 16:05-17:45
- ・ 会場: 教育学部J棟中会議室
- ・ 議題:
 1. 経過・スケジュール
 2. MLについて
 3. 質問紙構成・項目検討

英語運用能力・教員・生徒意識調査検討会議（第3回静岡大学内会議）

- ・ 参加者: 出口・小町・松野・澤野・亘理・山本（敬称略・アルファベット順）
- ・ 日時: 平成28年11月18日(水) 10:20-12:10
- ・ 会場: 教育学部J棟中会議室
- ・ 議題:
 1. 経過・スケジュール
 2. 質問紙構成・項目検討
 3. その他

第3回自治体等連携スキーム検討委員会（第4回静岡大学内会議）

- ・ 参加者: 江口・三ッ谷・村山・中村(美)・菅野・武井・梅沢・亘理（敬称略・アルファベット順）
- ・ 日時: 平成29年1月26日(水) 10:20-12:10
- ・ 会場: 教育学部J棟中会議室
- ・ 議題:
 1. 2016年度活動概要報告

第1回拠点校授業外部専門家委員会

- ・ 参加者（敬称略・アルファベット順）：
 - 拠点校授業外部専門家委員: 松井・三浦・永倉・山本・柳田・安木
 - 静岡県総合教育センター:
 - 静岡大学: 出口・亘理
 - オブザーバー: 福田
- ・ 日時: 平成29年2月18日(土) 10:30-17:00
- ・ 会場: 静岡駅前会議室 B 館 415 (静岡市葵区紺屋町 8-12 金清軒ビル)
- ・ 議題:
 1. 挨拶・事業概要・経過説明
 2. 拠点校の授業改善の方向性協議
 3. 静岡県の取り組みについて（総合教育センターより）
 4. 質問紙調査・GTEC 概況報告
 5. 来年度の取り組み, 教材・指導法開発に向けた協議

第1回データ分析外部専門家委員会

- ・ 参加者（敬称略・アルファベット順）：
 - データ分析外部専門家委員: 今尾・石井・近藤・水本・水島・森田・長沼
 - 静岡大学: 天野・出口・亘理
 - オブザーバー: 福田・山森
- ・ 日時: 平成29年2月23日(木) 9:30-16:00
 - 挨拶・事業概要・経過説明 (9:30-10:00)
 - 質問紙調査・GTEC 概況報告 (10:00-10:30)
 - データ分析報告・協議(1): 今尾委員・石井委員・近藤委員 (10:30-12:00)
 - データ分析報告・提言(2): 水本委員・水島委員・森田委員・長沼委員 (13:00-14:30)
 - データ収集・分析の方向性協議 (14:40-15:10)
 - コーパス分析・データベース構築に向けた協議 (15:10-16:00)
- ・ 会場: 静岡駅前会議室 B 館 415 (静岡市葵区紺屋町 8-12 金清軒ビル)
- ・ 議題:
 1. 挨拶・事業概要・経過説明
 2. 質問紙調査・GTEC 概況報告
 3. データ分析報告・協議
 4. データ収集・分析の方向性協議
 5. コーパス分析・データベース構築に向けた協議

第 2 章: 質問紙調査 (生徒)

第1節 英語学習に関するアンケート（高等学校）単純集計※1

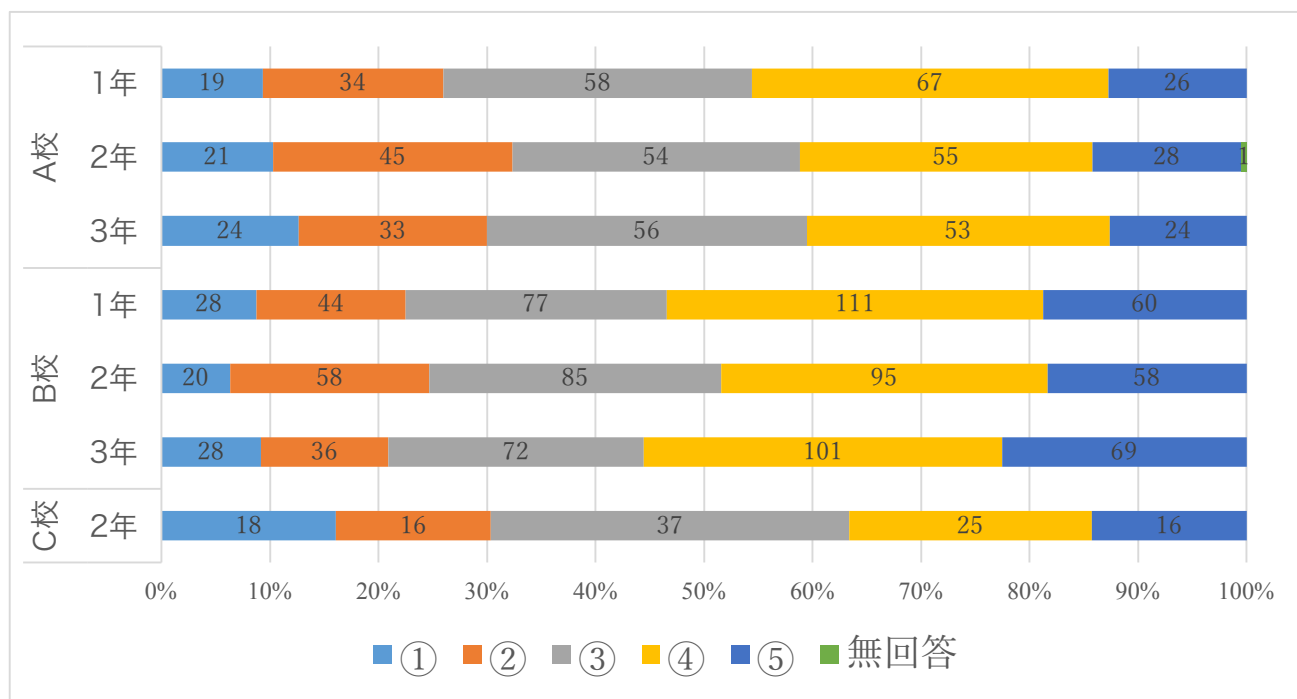
※1 Benesse®側の都合により、当初 Benesse®側に依頼していた GTEC for Students との紐付け作業を急遽大学側で行うことになったため、全体としてのリスケジュールを余儀なくされ、自由記述項目については2017年3月末時点で集計中のため除外した。A校・B校の第3学年、およびC校のデータについてはデータ・クリーニング作業中のため、特定項目回答者のみを対象とする条件付き質問は参考値として集計した。選択肢が多く、図から数値が読み取りにくいもののみ表を付す。

第1項 共通項目※2

※2 「共通項目」とは、本事業を委託した3大学機関（静岡大学・信州大学・兵庫教育大学）で共通に質問し回答を得た項目を指す。以下の報告での番号は資料編の質問紙の番号と必ずしも対応しないが、共通項目と静岡大学独自の追加項目を分けて報告する。

1. 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

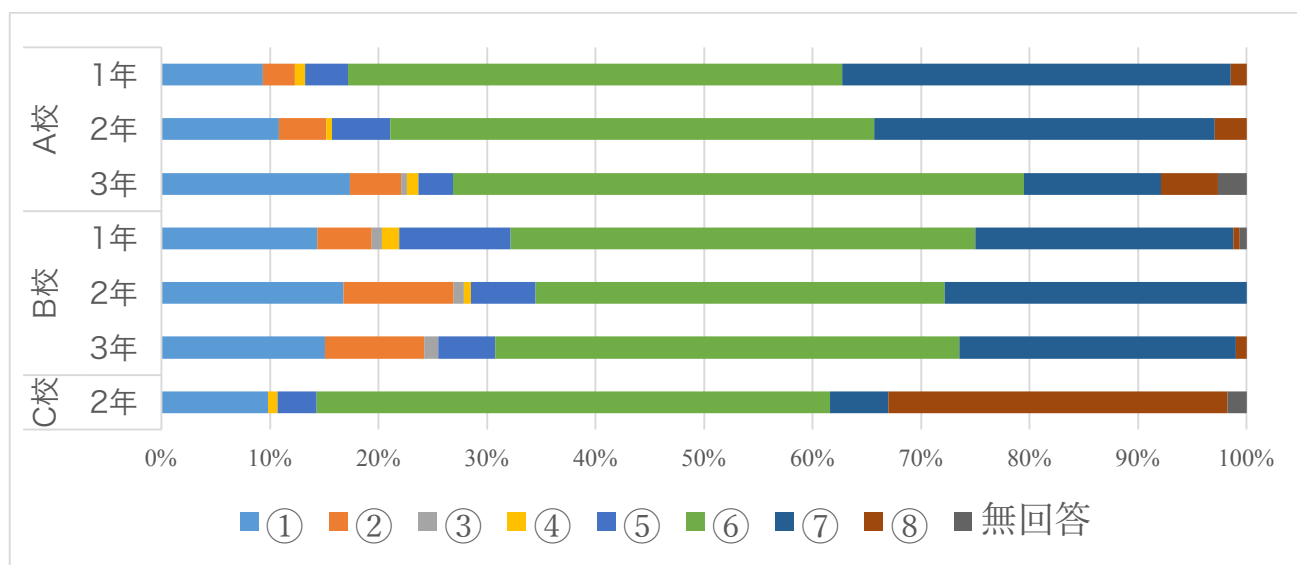
- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらでもない
④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う



2. どの程度まで英語を身につけたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ① 英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
② 大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
③ 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい
④ 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい

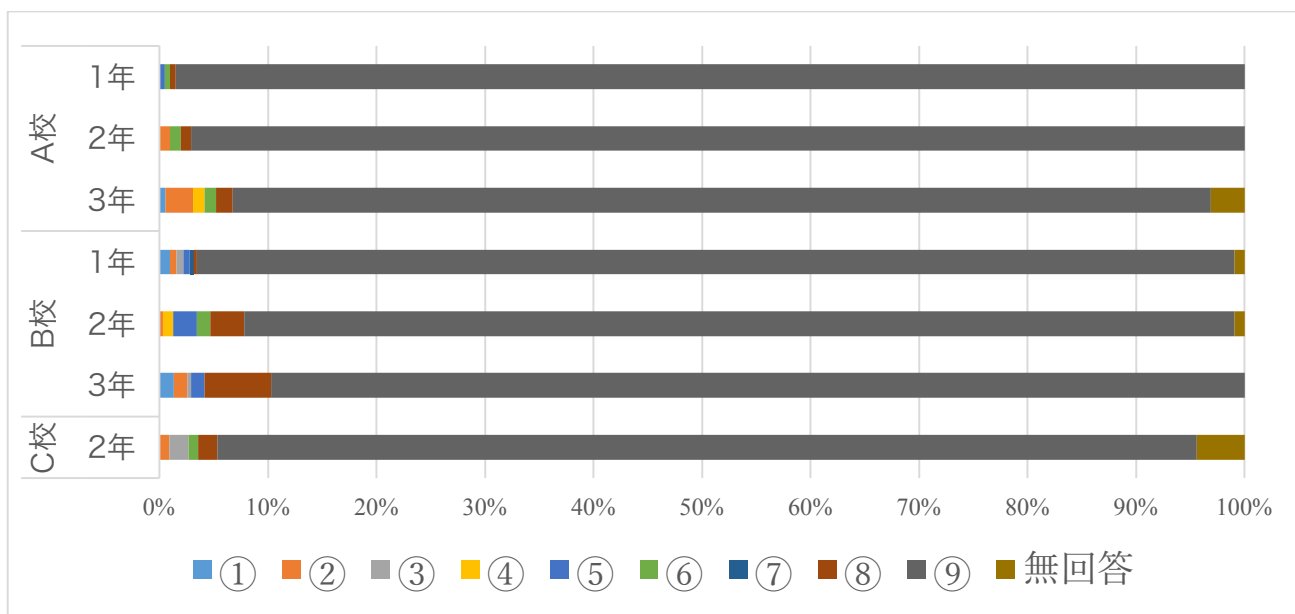
- ⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい
- ⑥海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
- ⑦大学入試に対応できる力を付けたい
- ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない



| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | 無回答 | <i>n</i> |
|----|----|----|----|---|---|----|-----|----|----|-----|----------|
| A校 | 1年 | 11 | 0 | 0 | 1 | 4 | 53 | 6 | 35 | 2 | 204 |
| | 2年 | 46 | 28 | 4 | 0 | 16 | 131 | 78 | 3 | 0 | 204 |
| | 3年 | 53 | 32 | 3 | 2 | 19 | 119 | 88 | 0 | 0 | 190 |
| B校 | 1年 | 46 | 16 | 3 | 5 | 33 | 137 | 76 | 2 | 2 | 320 |
| | 2年 | 33 | 9 | 1 | 2 | 6 | 100 | 24 | 10 | 5 | 316 |
| | 3年 | 22 | 9 | 0 | 1 | 11 | 91 | 64 | 6 | 0 | 306 |
| C校 | 2年 | 19 | 6 | 0 | 2 | 8 | 93 | 73 | 3 | 0 | 112 |

3. 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

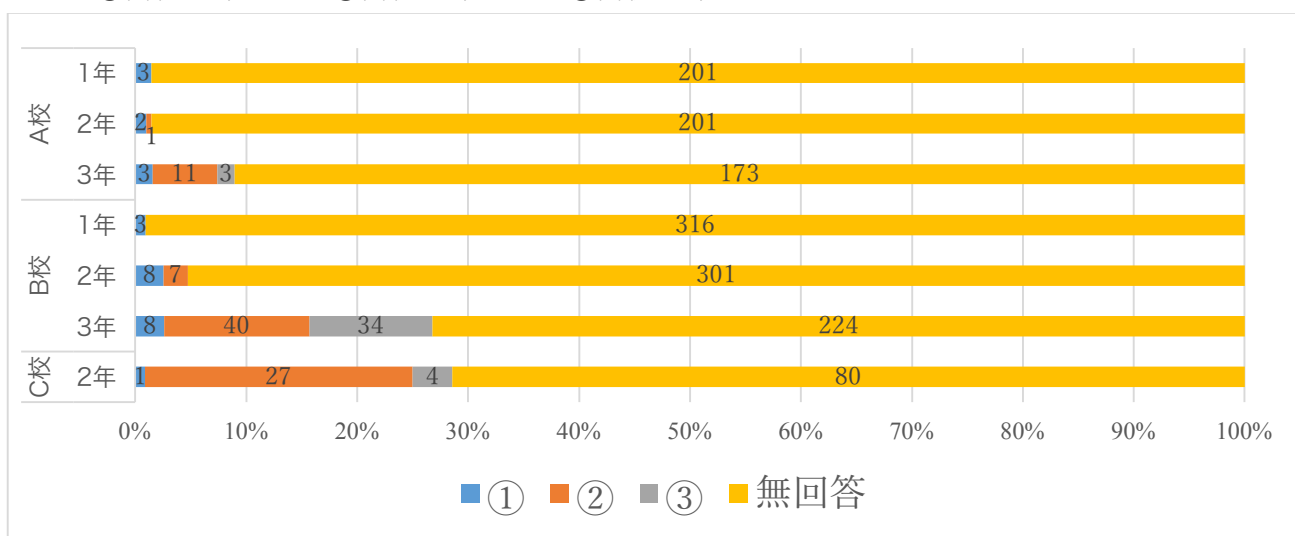
- ①イングリッシュキャンプ
- ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
- ③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く）
- ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
- ⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満）
- ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
- ⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上）
- ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
- ⑨当てはまるものはない



| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | 無回答 | <i>n</i> |
|----|----|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|-----|----------|
| A校 | 1年 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 102 | 5 | 204 |
| | 2年 | 4 | 4 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 19 | 280 | 0 | 204 |
| | 3年 | 0 | 1 | 0 | 3 | 7 | 4 | 0 | 10 | 293 | 3 | 190 |
| B校 | 1年 | 3 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 307 | 3 | 320 |
| | 2年 | 1 | 5 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 3 | 174 | 6 | 316 |
| | 3年 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 199 | 0 | 306 |
| C校 | 2年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 201 | 0 | 112 |

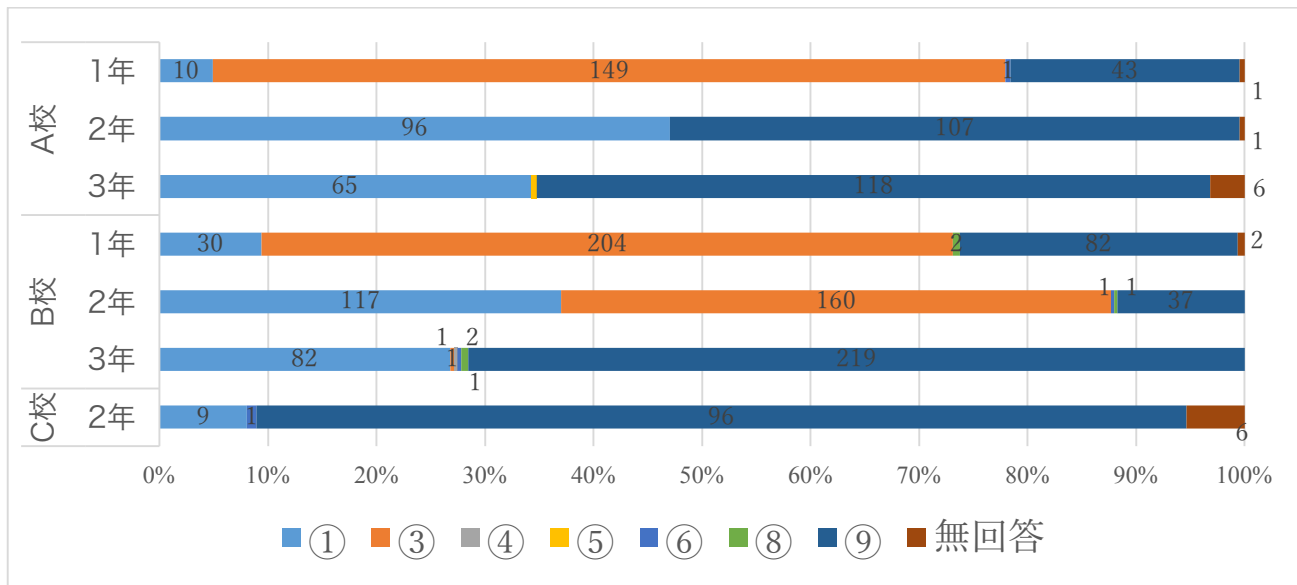
4. (3で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。当てはまるものを1つ選んで下さい(複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んで下さい、参考数値)。

①高校1年生 ②高校2年生 ③高校3年生



5. 高校生になってから、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい（複数回答可）。

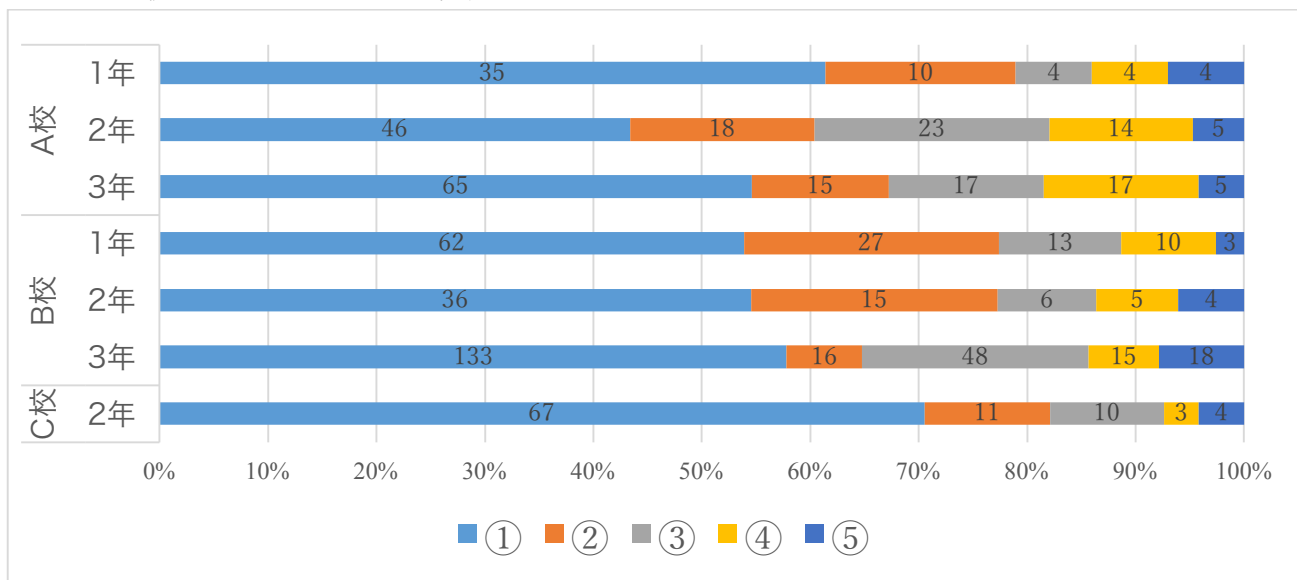
- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL
 ⑤TOEFL Junior ⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他
 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない



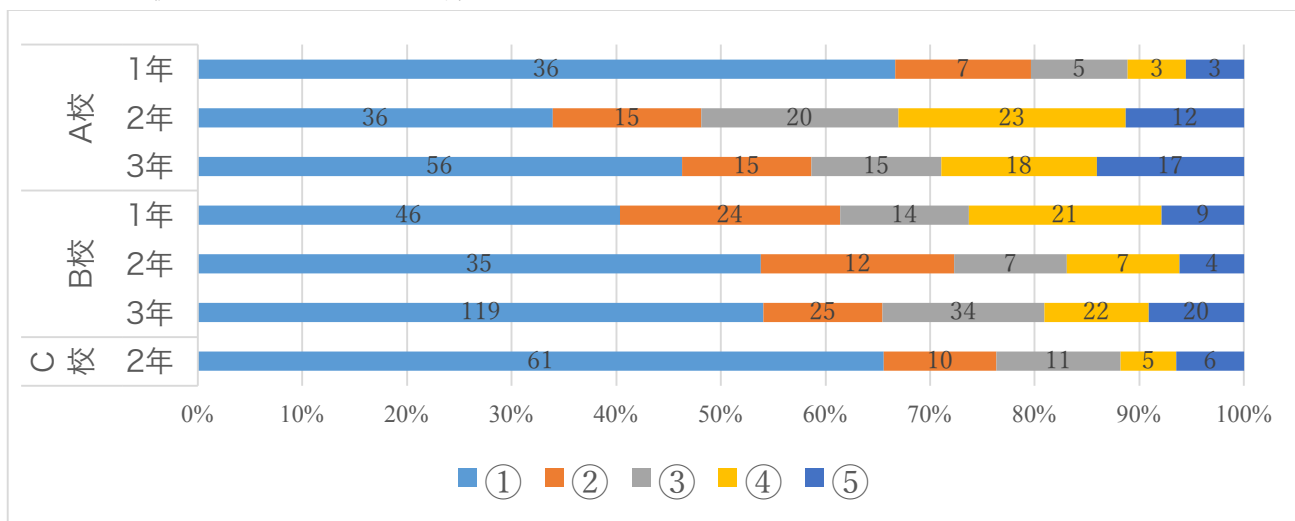
6. （5で⑨と回答した方のみ）受験したことがない理由は何ですか（参考数値）。

- ①あてはまらない ②どちらかといえばあてはまらない ③どちらともいえない
 ④どちらかといえばあてはまる ⑤当てはまる

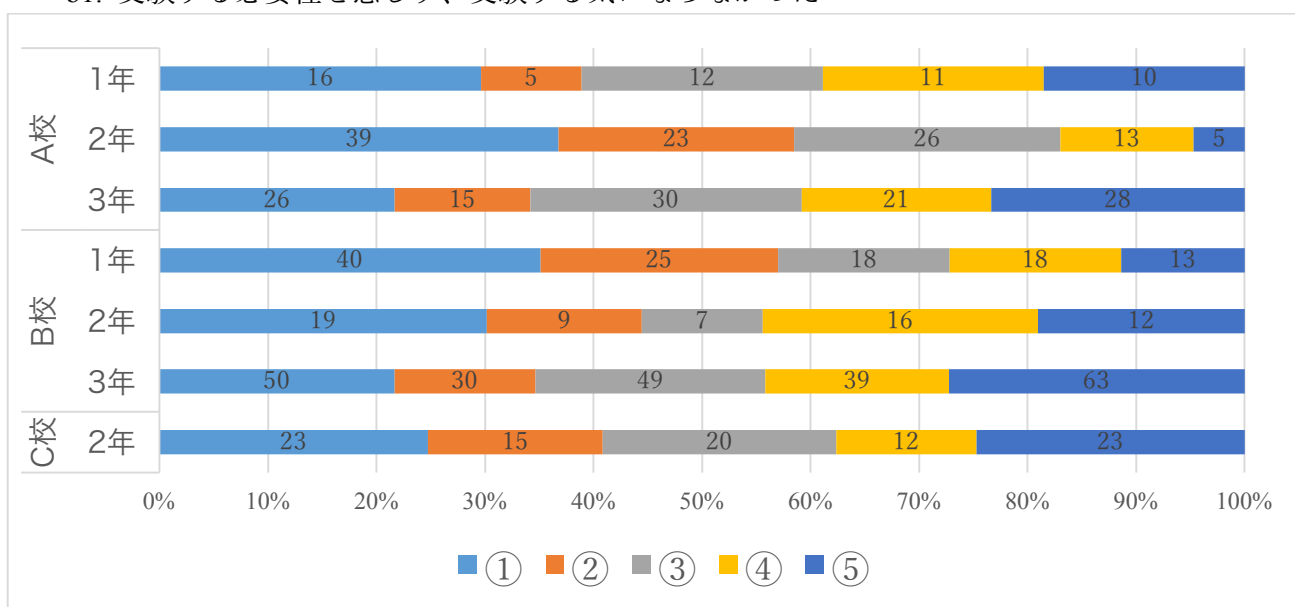
a1. 受験したかったが、その機会がなかった



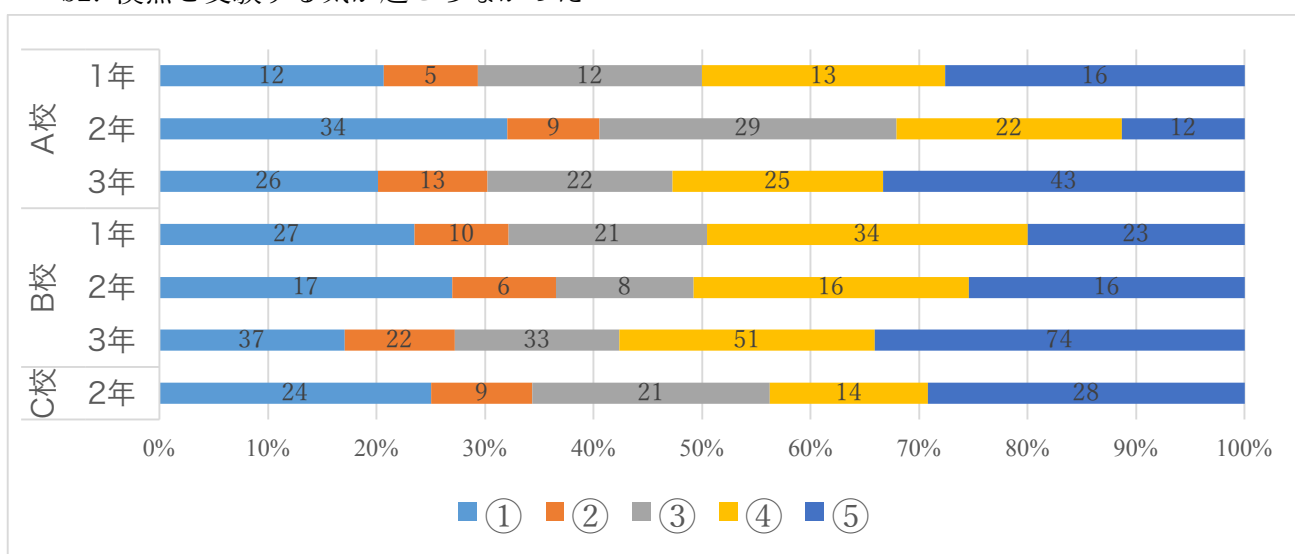
a2. 受験したかったが、その都合をつけられなかった



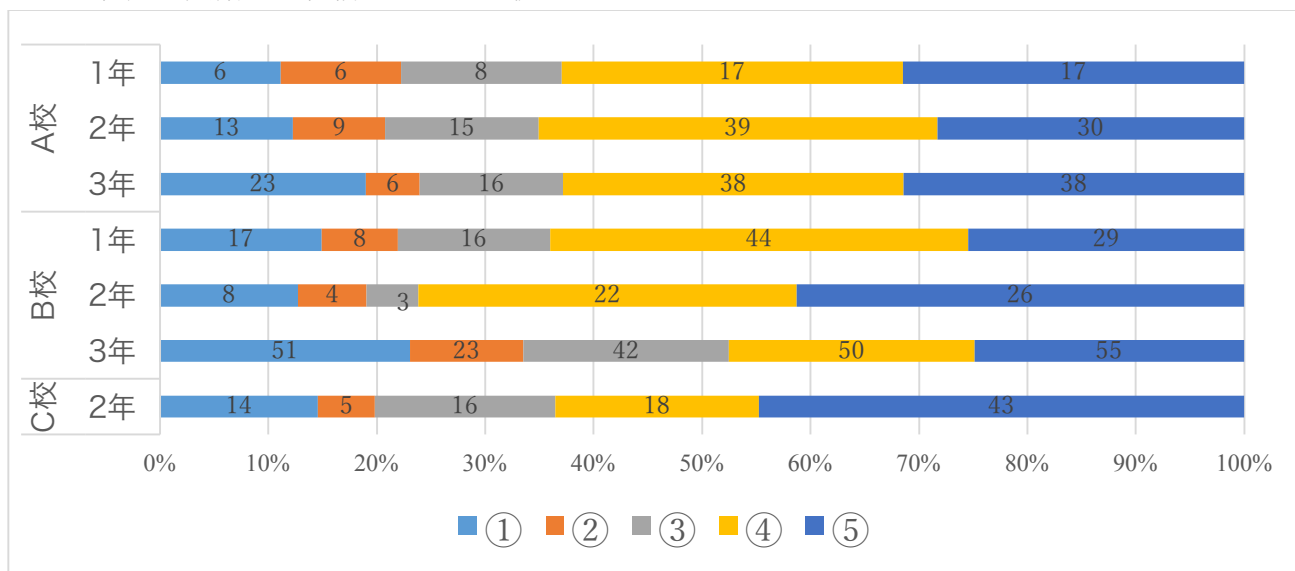
b1. 受験する必要性を感じず、受験する気にならなかった



b2. 漠然と受験する気が起こらなかった

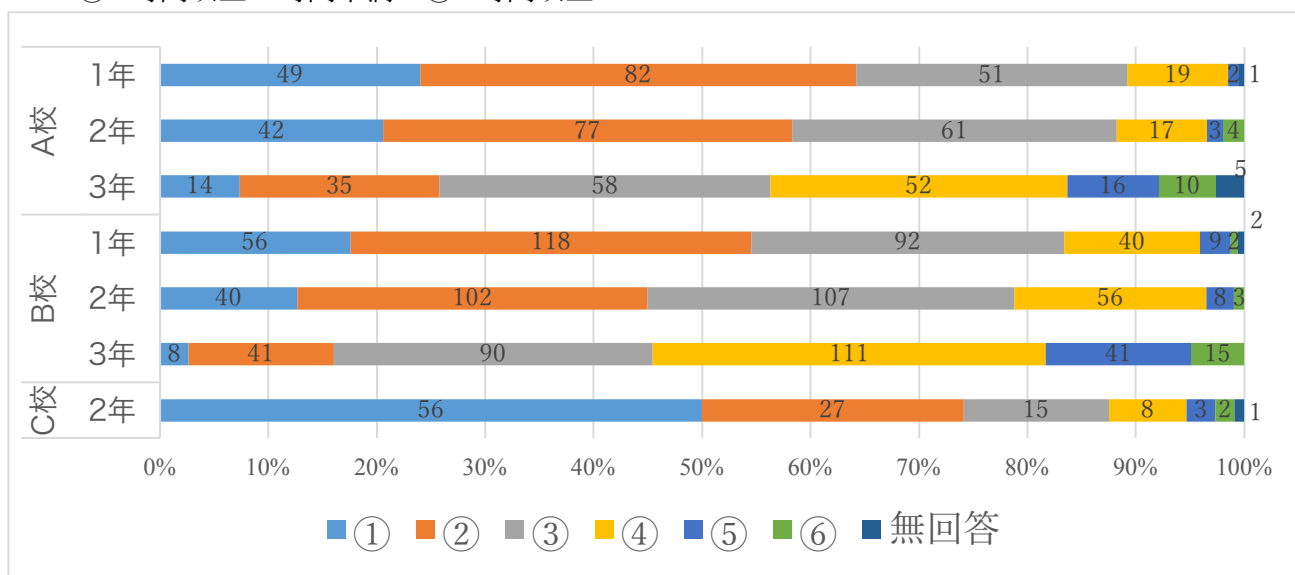


c. 自分の英語力に自信がなく、受験したくなかった



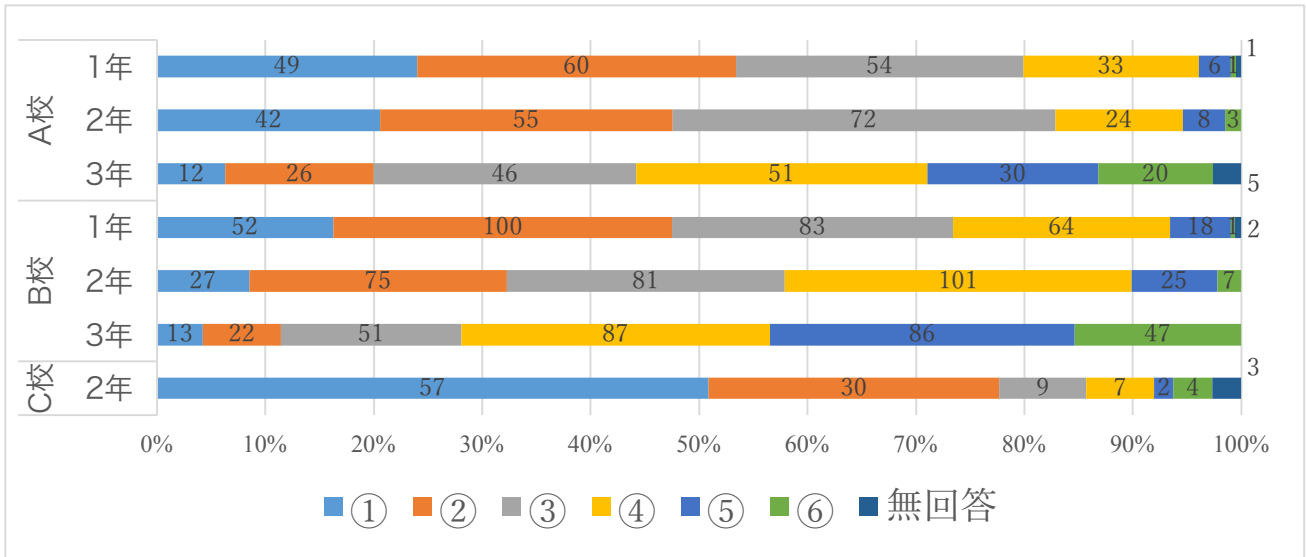
7. 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上



8. 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上



9. 学校の授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。

当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。※3

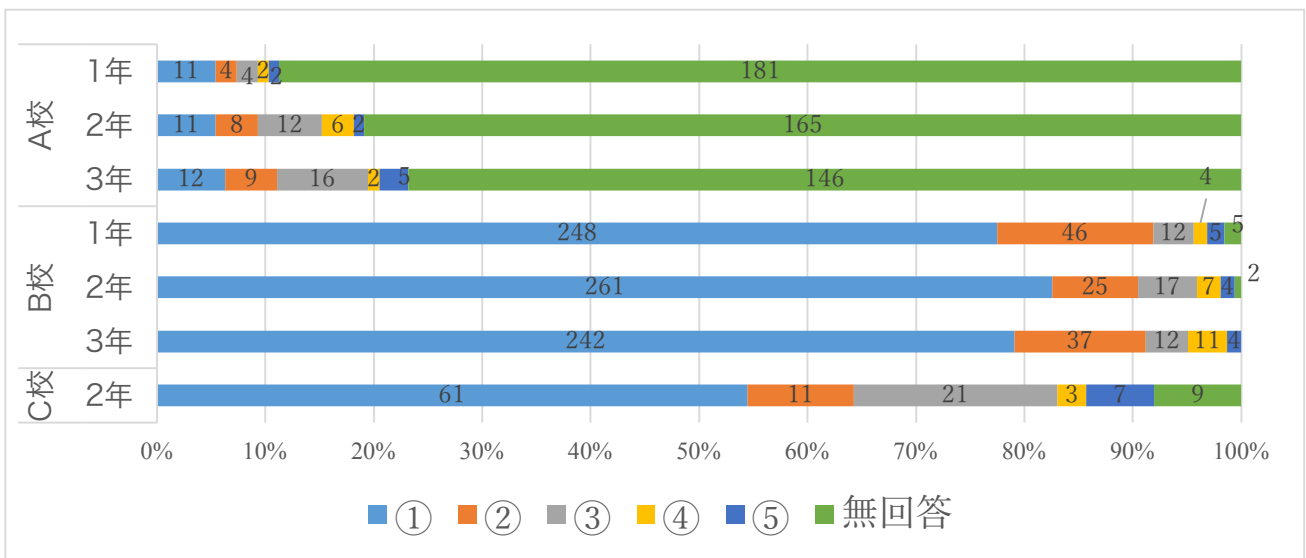
- ①パソコンを活用している
- ②タブレットを活用している
- ③スマートフォンや携帯電話を活用している
- ④その他の情報機器を活用している
- ⑤活用していない

※3 拠点校間の塾・家庭教師等の経験の差を考慮して下記の通り質問した。ただしA校はa～dを区別した回答が得られなかったため欠測項目。9a, 9b 共に, a～d 全体に対して記入された回答を参考として「a. パソコン」に記載した。

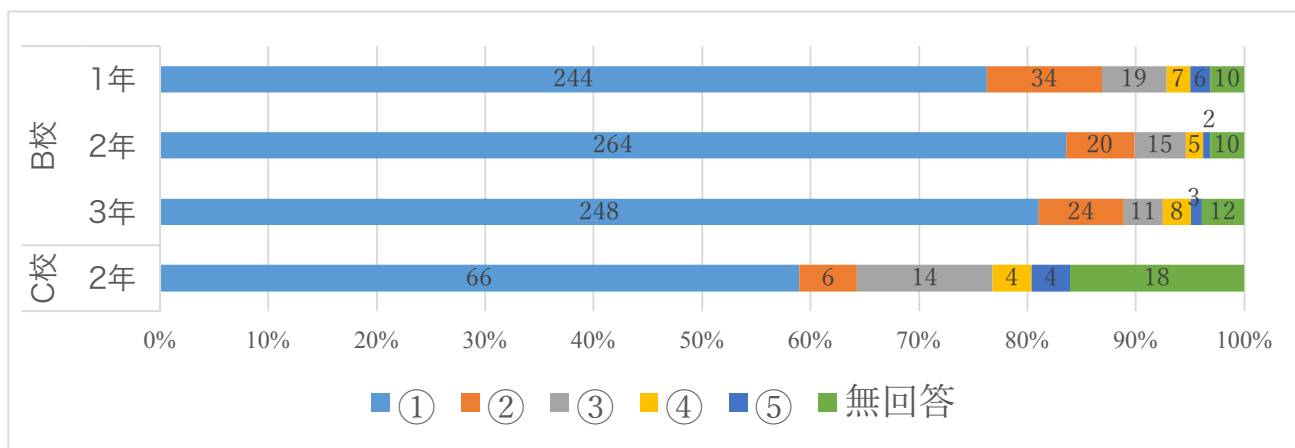
9a. (学習塾・家庭教師を除き、) 学校での授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.～d.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

- ①全く活用していない授業以外での英語の 0%
- ②活用している 1%～25%未満
- ③まあまあ活用している 25%～50%未満
- ④頻繁に活用している 50%～75%未満
- ⑤とても頻繁に活用している 75%～100%

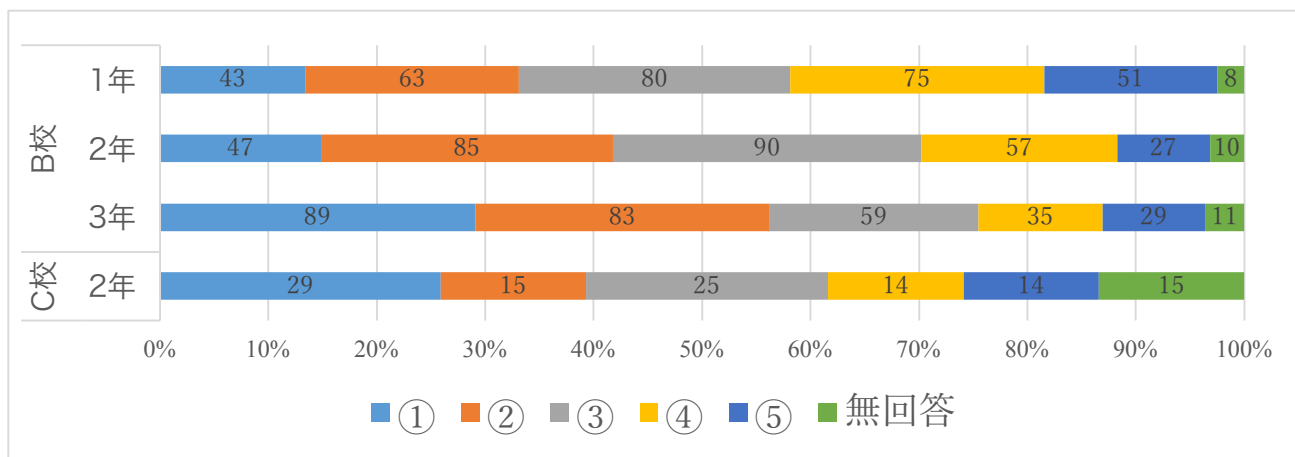
a. パソコン



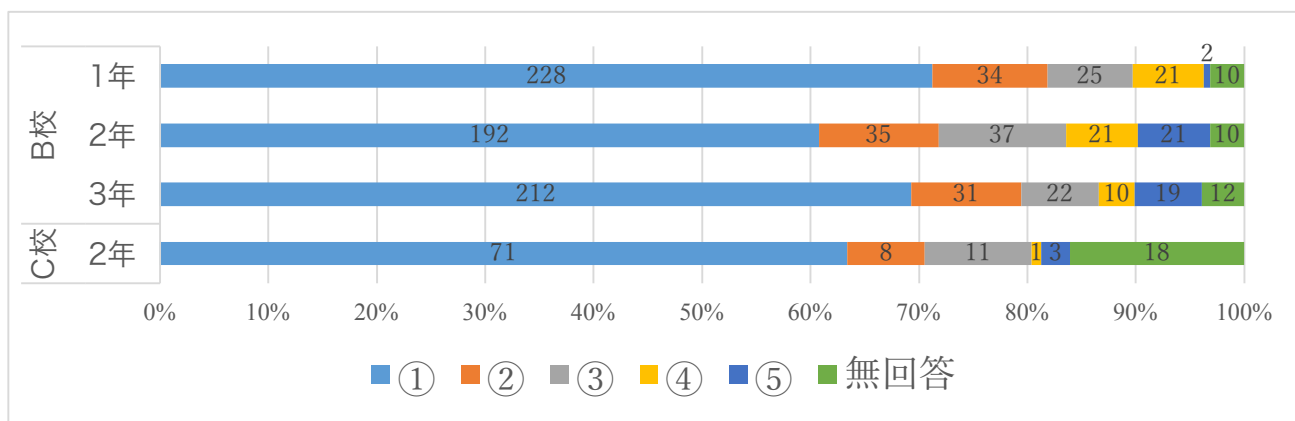
b. タブレット



c. スマートフォンや携帯電話



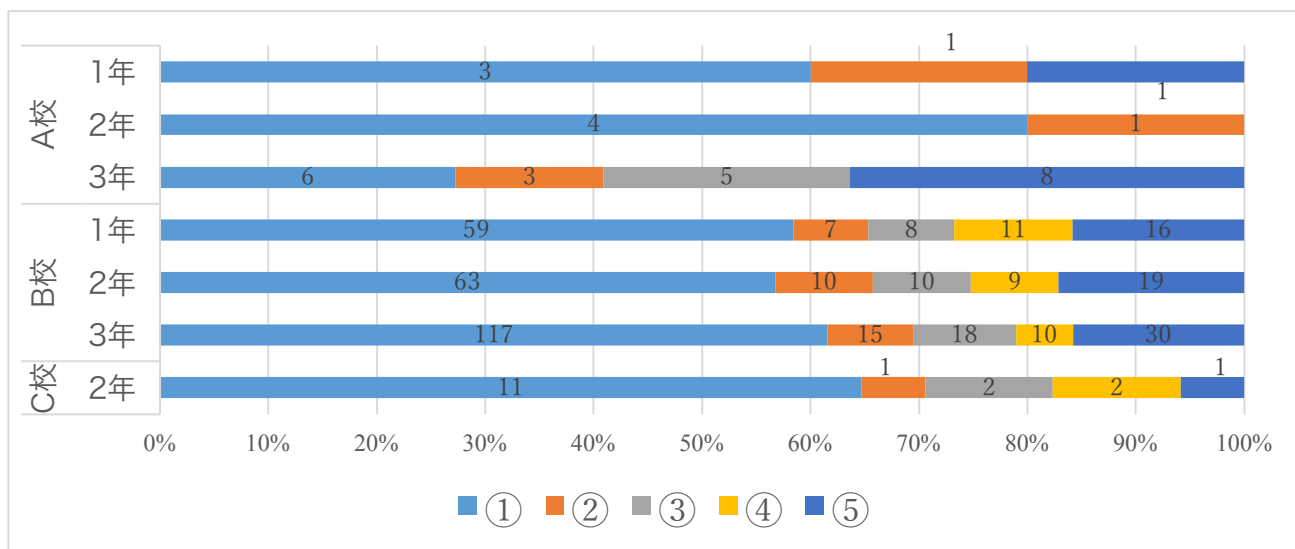
d. その他の情報機器



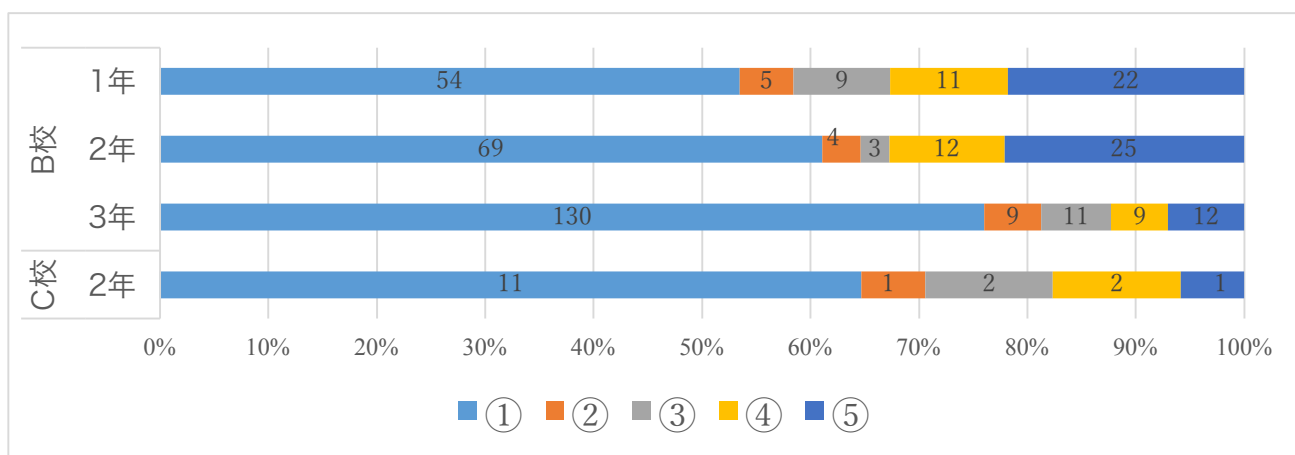
9b. (学習塾で勉強していると回答した方のみ対象) 学習塾(家庭教師を含む)で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください(参考数値)。

- ①全く活用していない授業以外での英語の0% ②活用している1%~25%未満 ③まあまあ活用している25%~50%未満 ④頻繁に活用している50%~75%未満 ⑤とても頻繁に活用している75%~100%

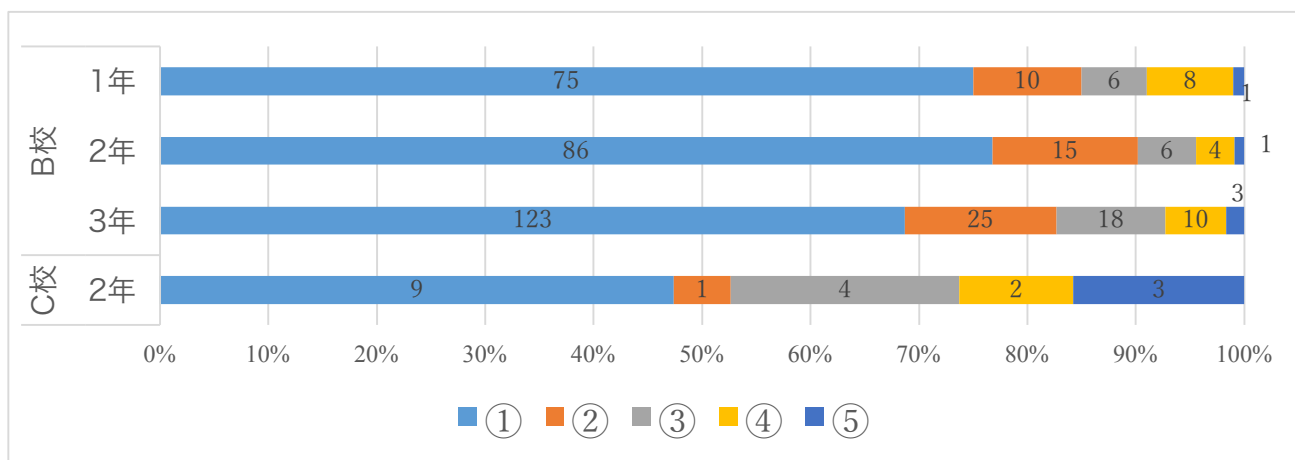
a. パソコン



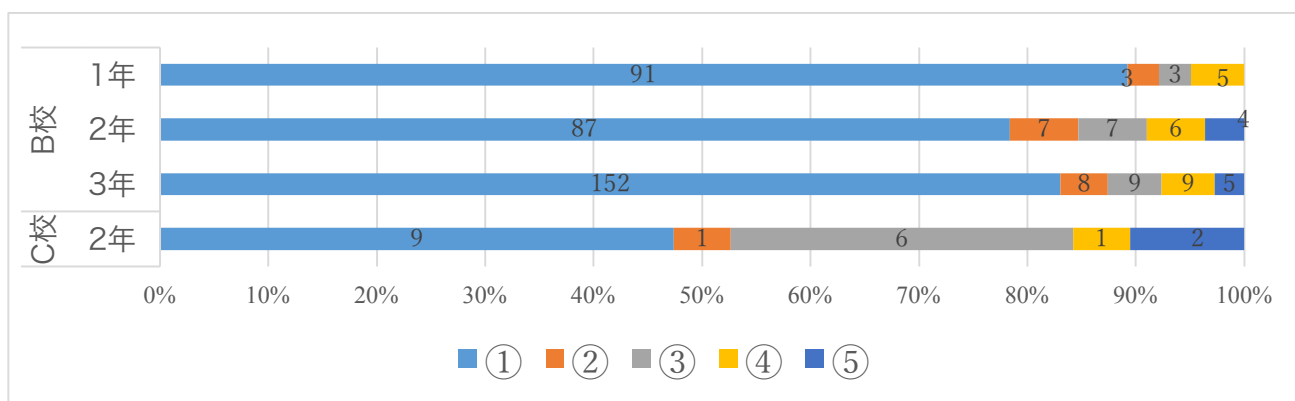
b. タブレット



c. スマートフォンや携帯電話



d. その他の情報機器

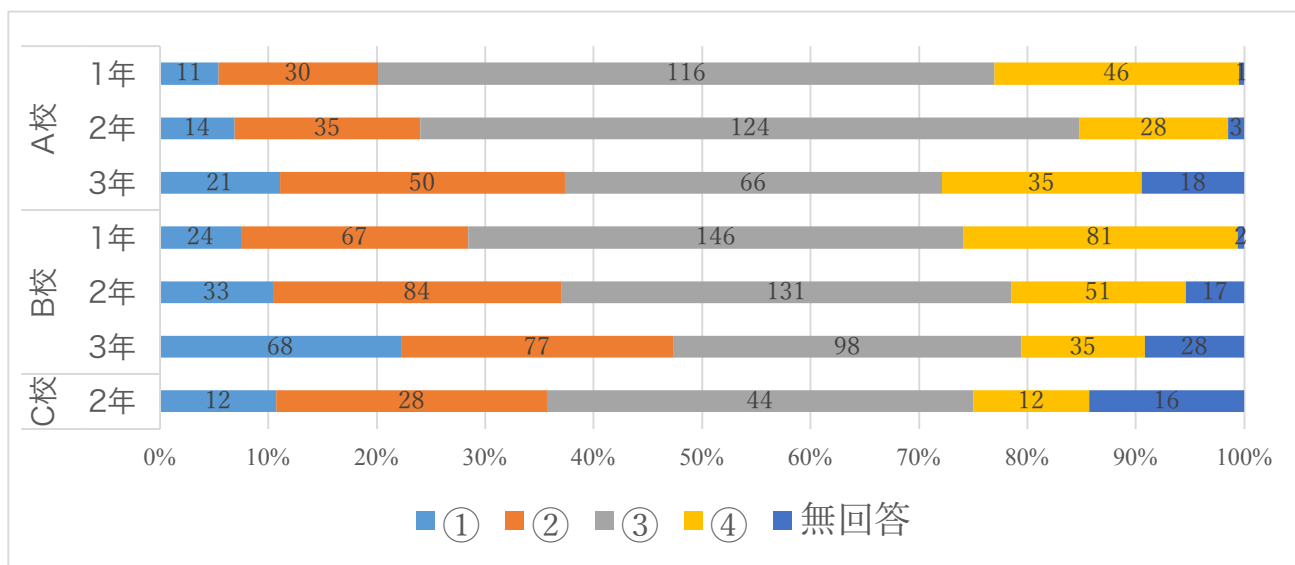


以下の質問項目は全て、

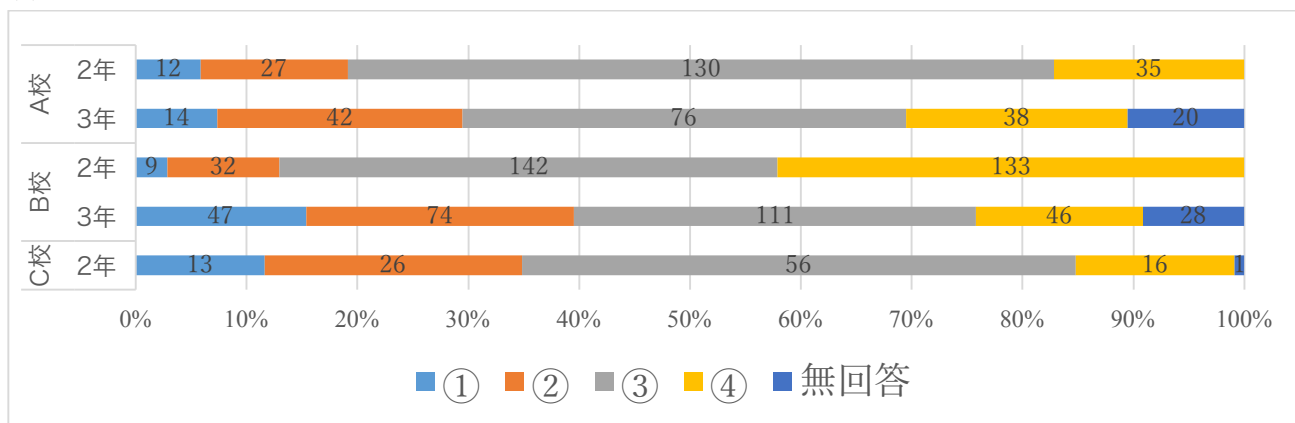
- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらかといえばそう思う ④ そう思う

10. 次の学年の英語の授業では、英語を聞いて、(一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

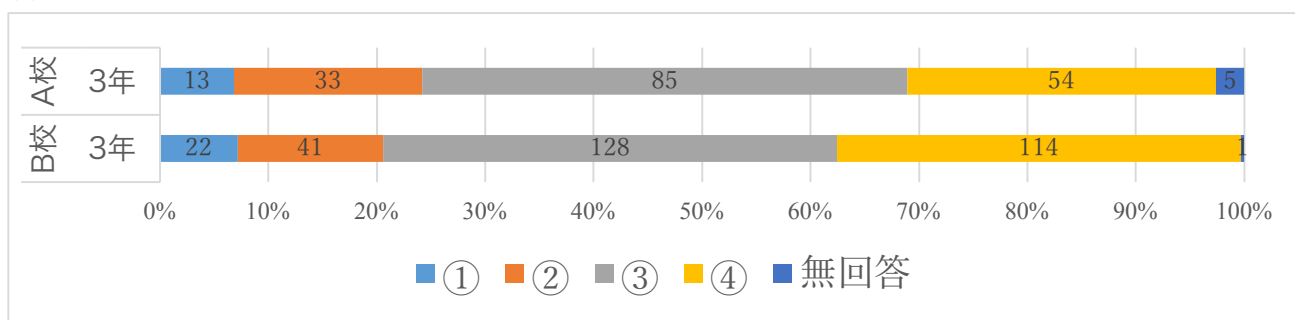
(1) 第1学年



(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

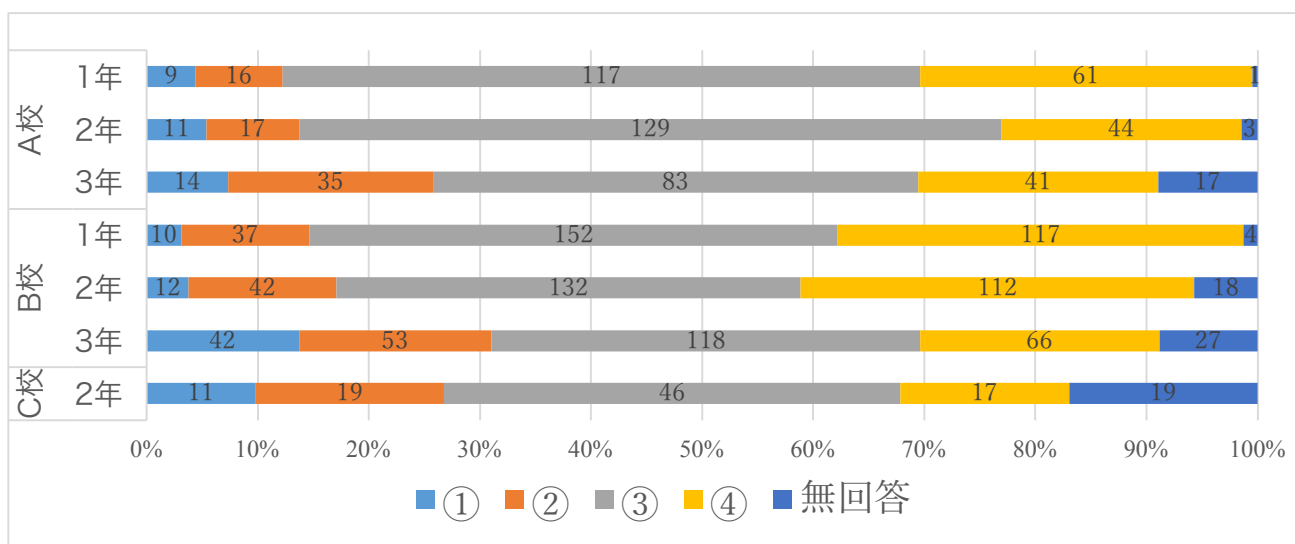


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

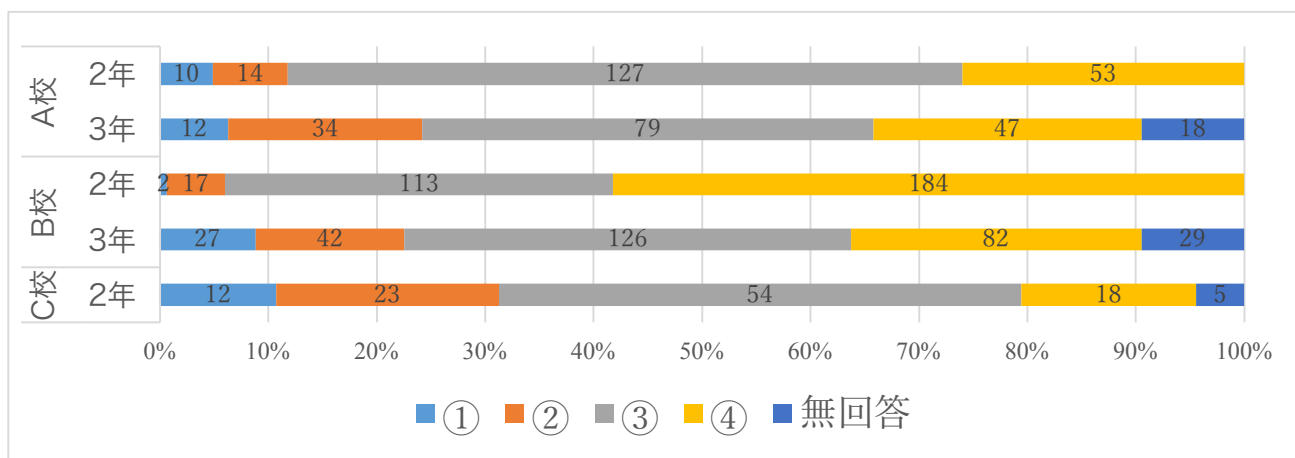


11. 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていただと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

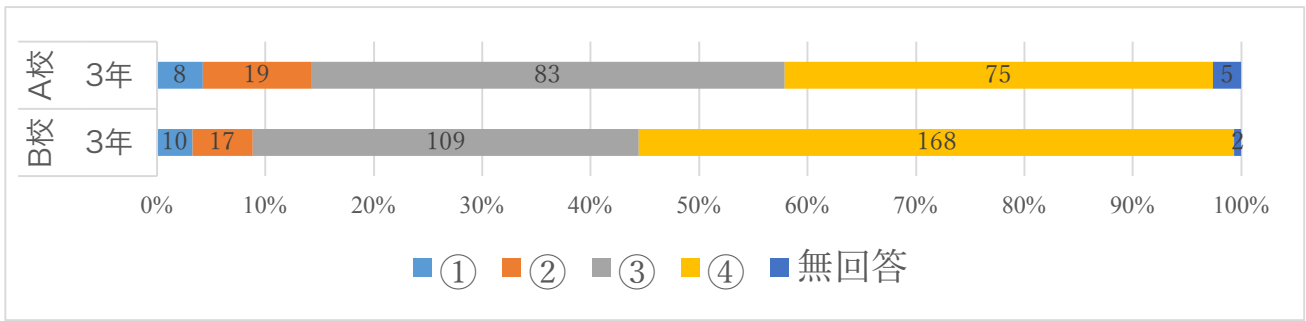
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

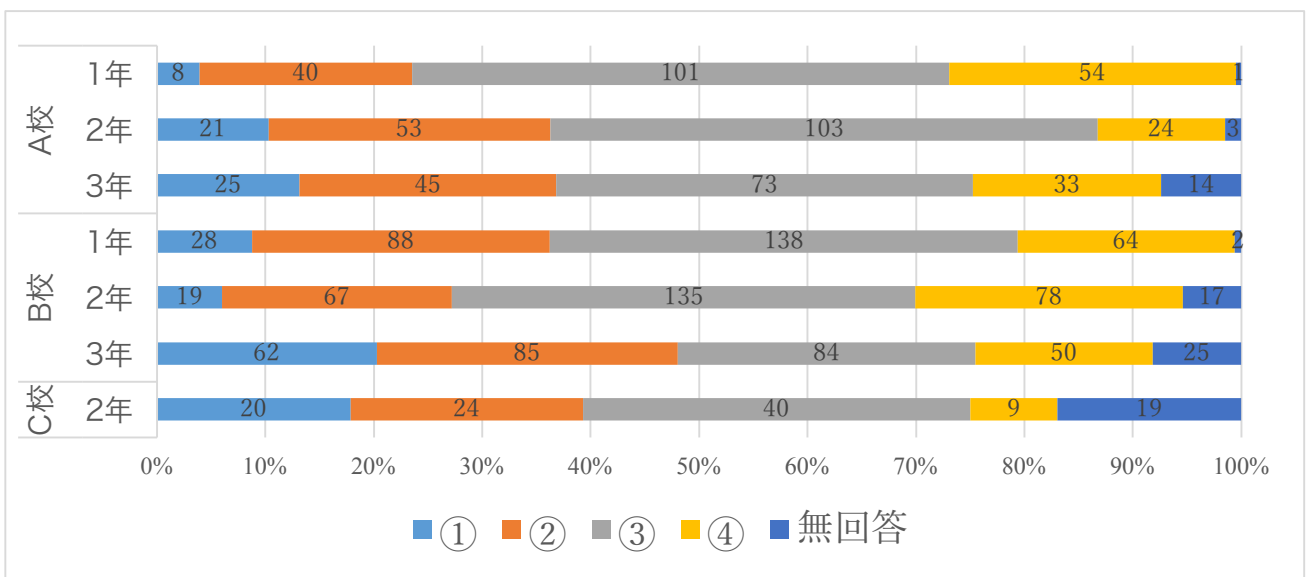


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

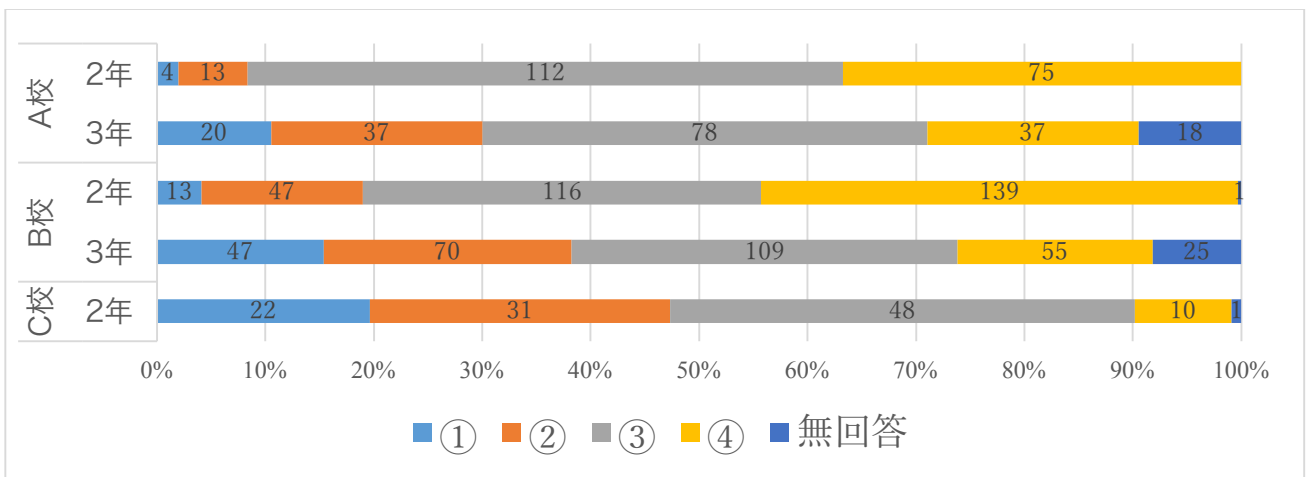


12. 次の学年の英語の授業では、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていただいていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

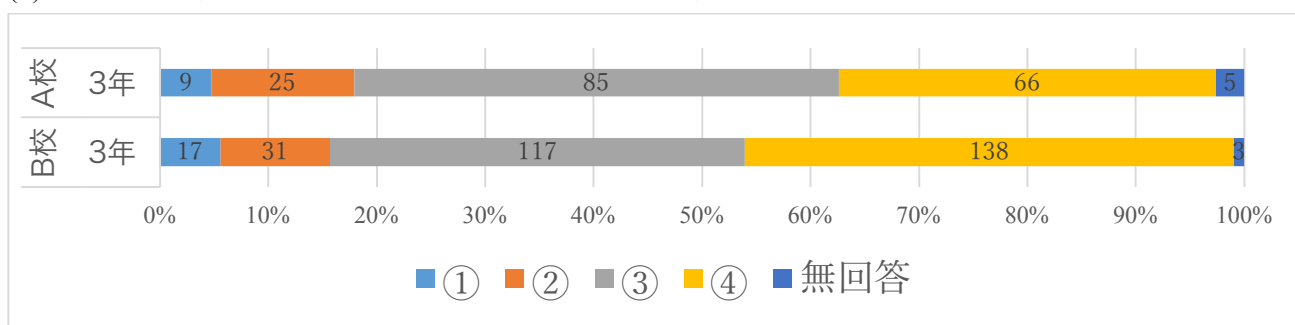
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

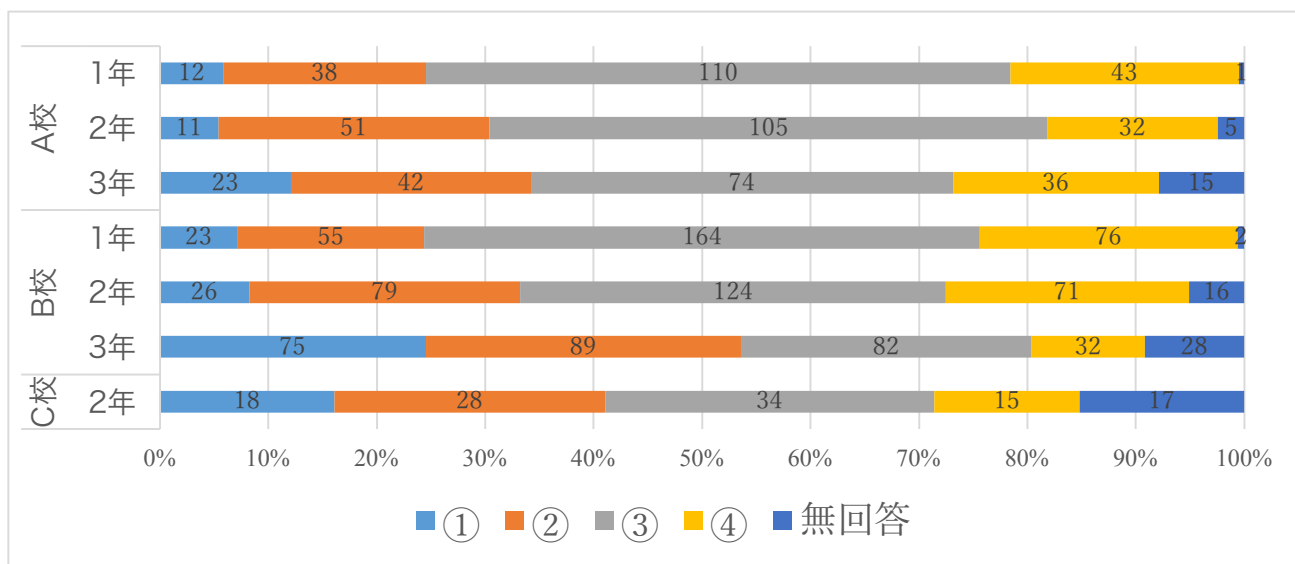


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

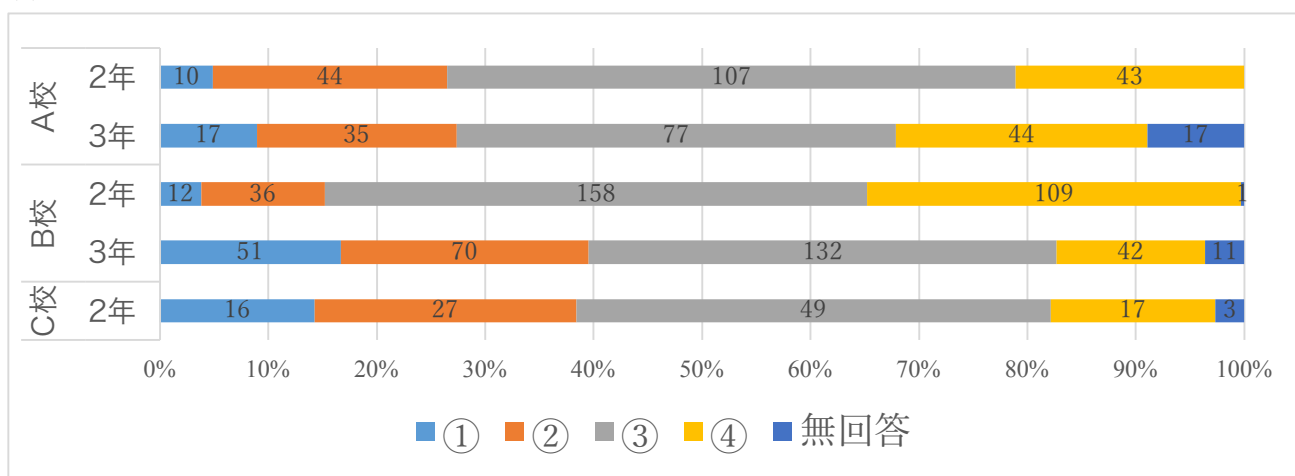


13. 次の学年の英語の授業では、英語を聞いたり読んだりする際、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりするなどして理解するようにしていたと思いますか。当てはまるものを 1つ 選んでください。

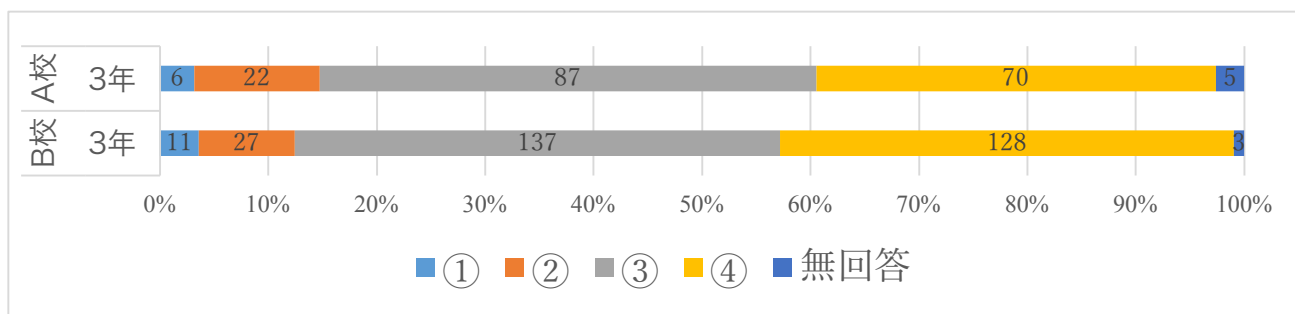
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

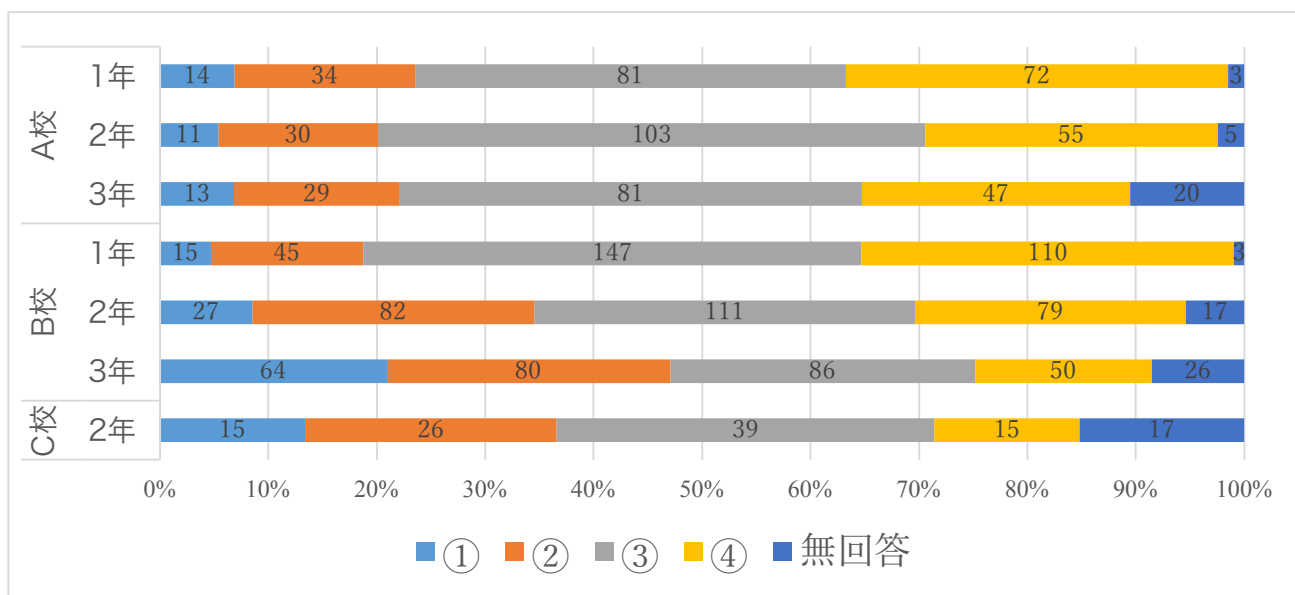


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

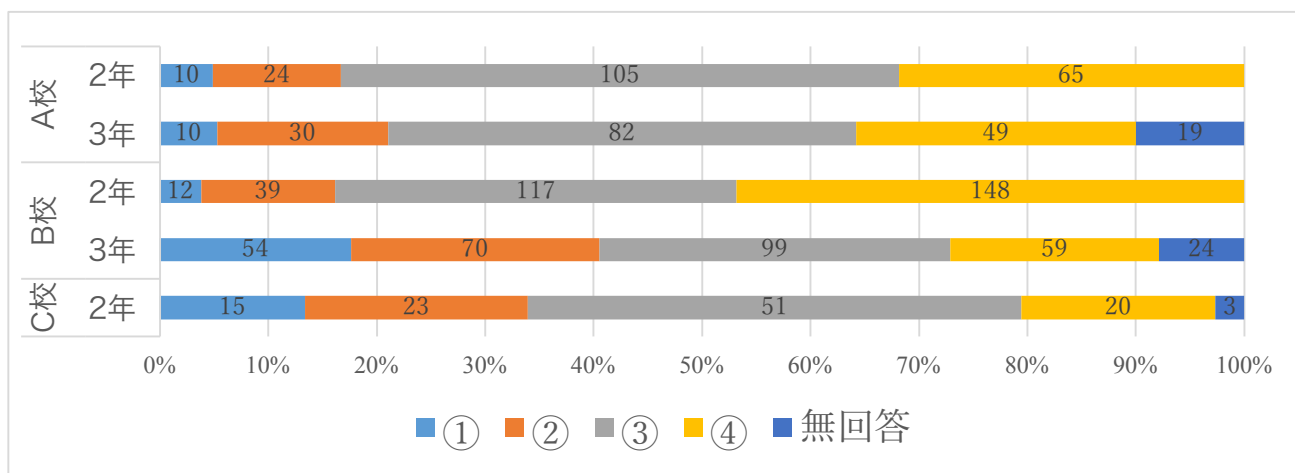


14. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていただきたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

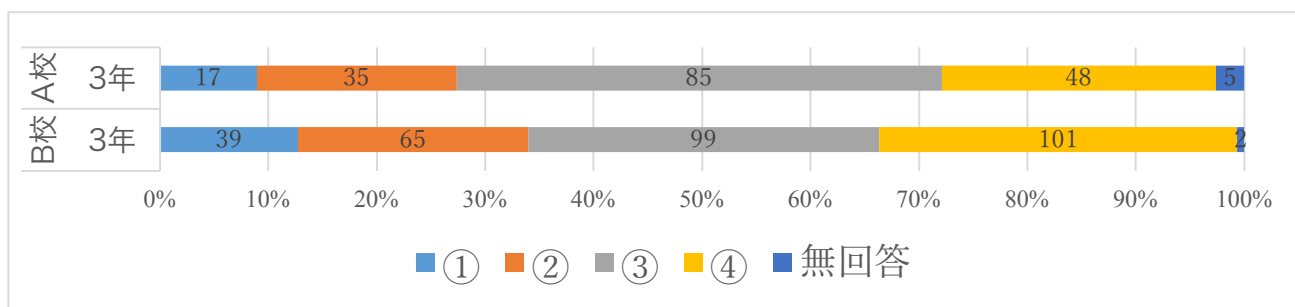
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

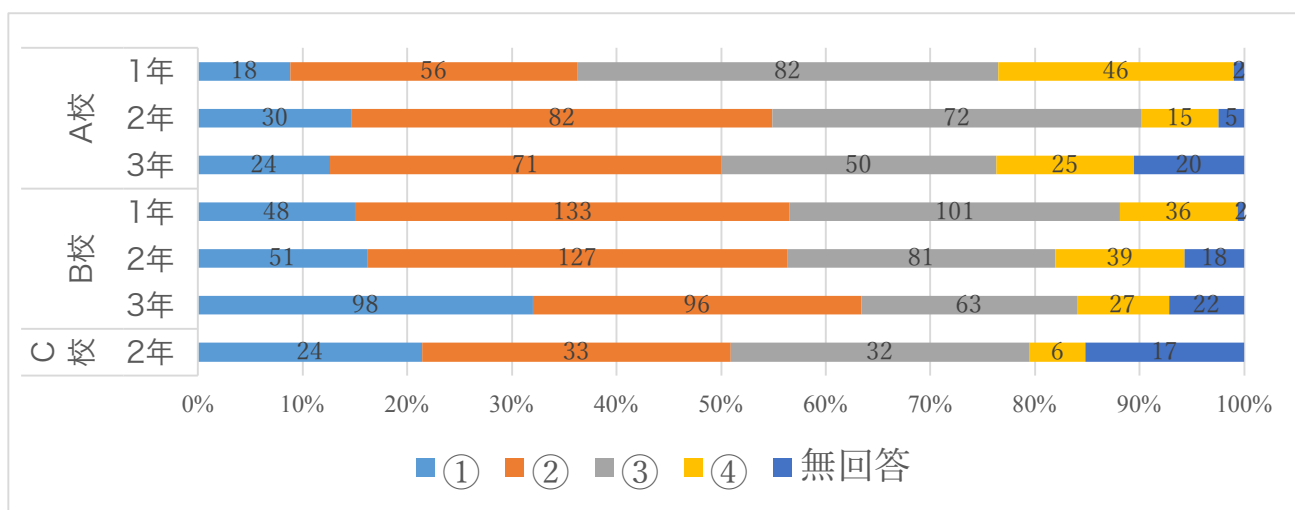


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

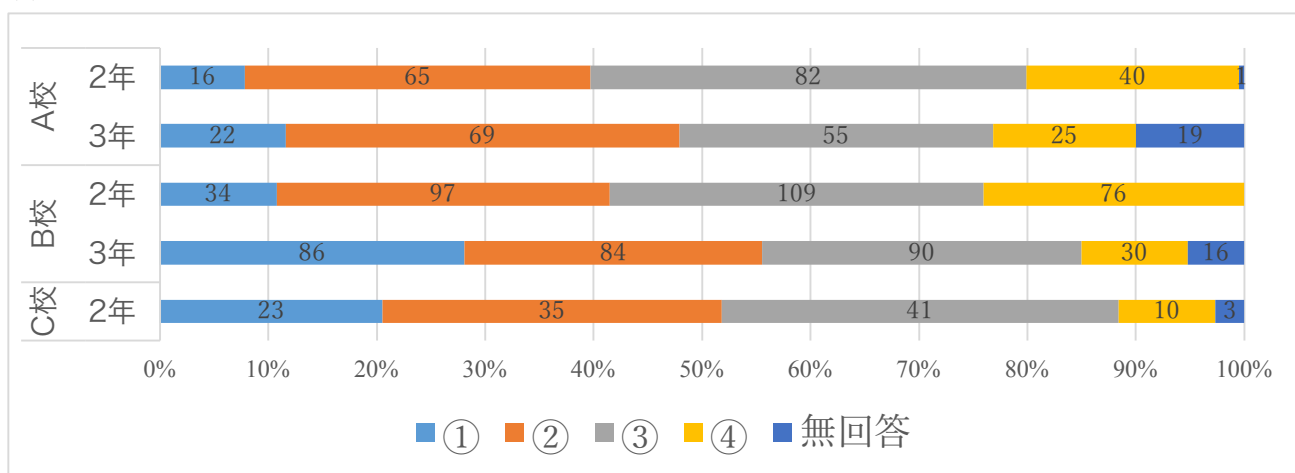


15. 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

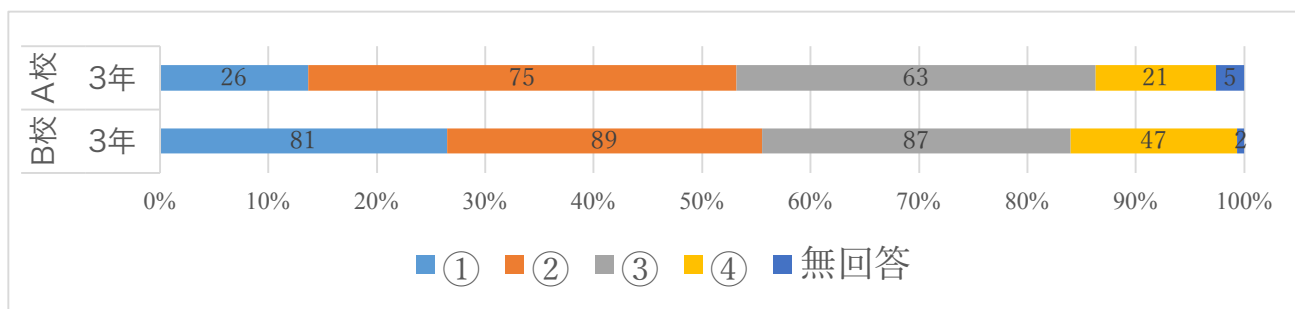
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

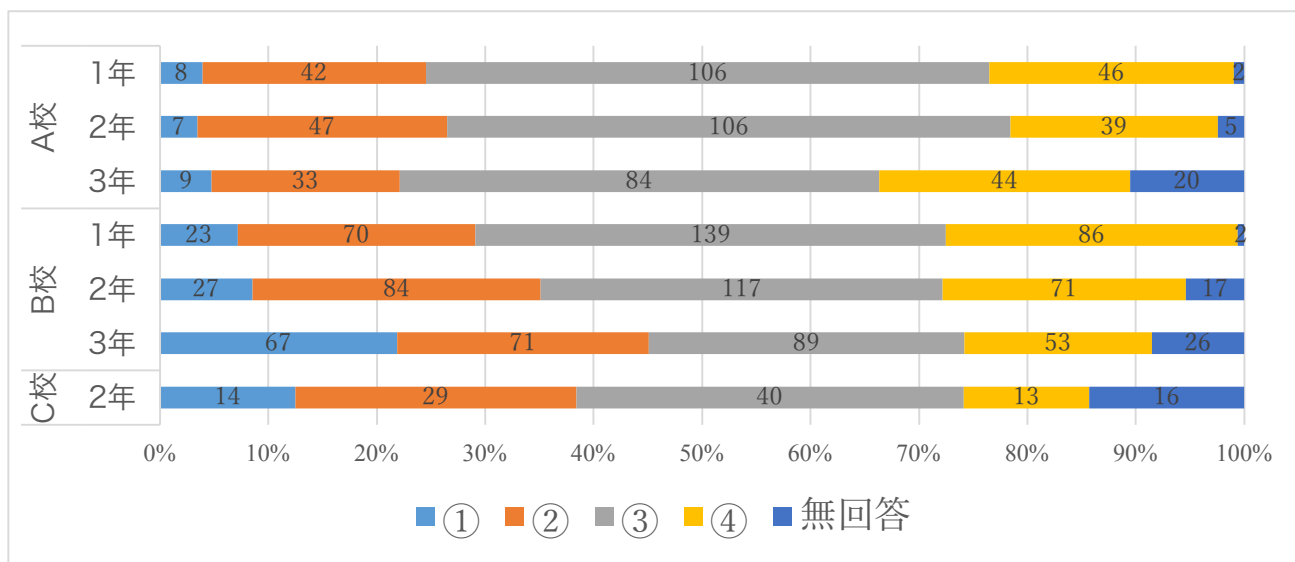


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

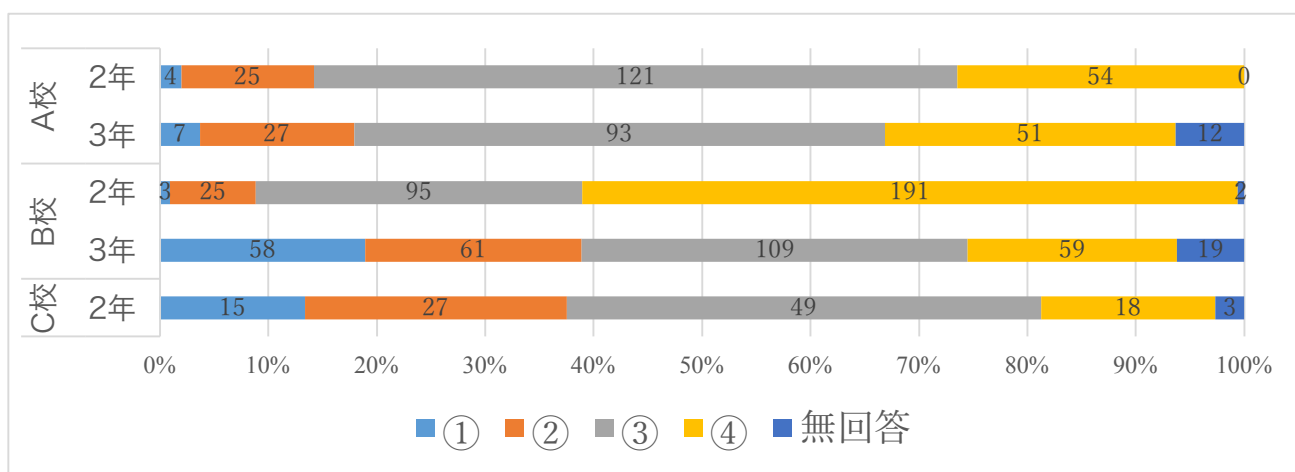


16. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

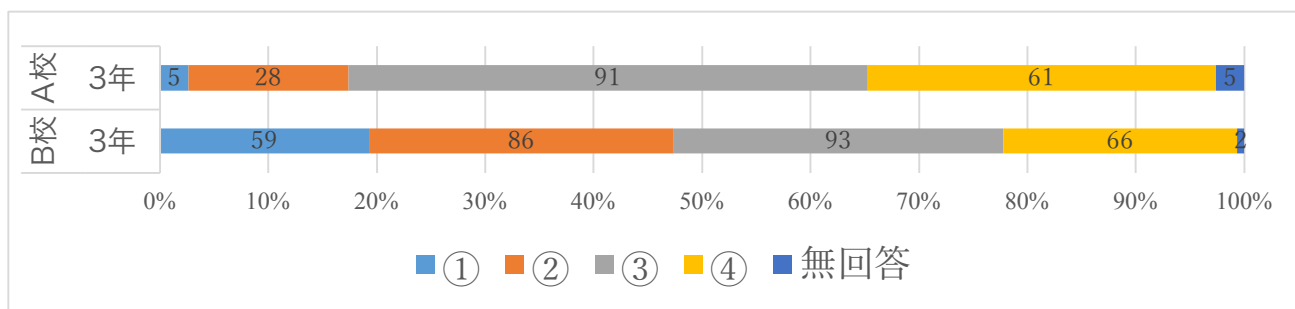
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

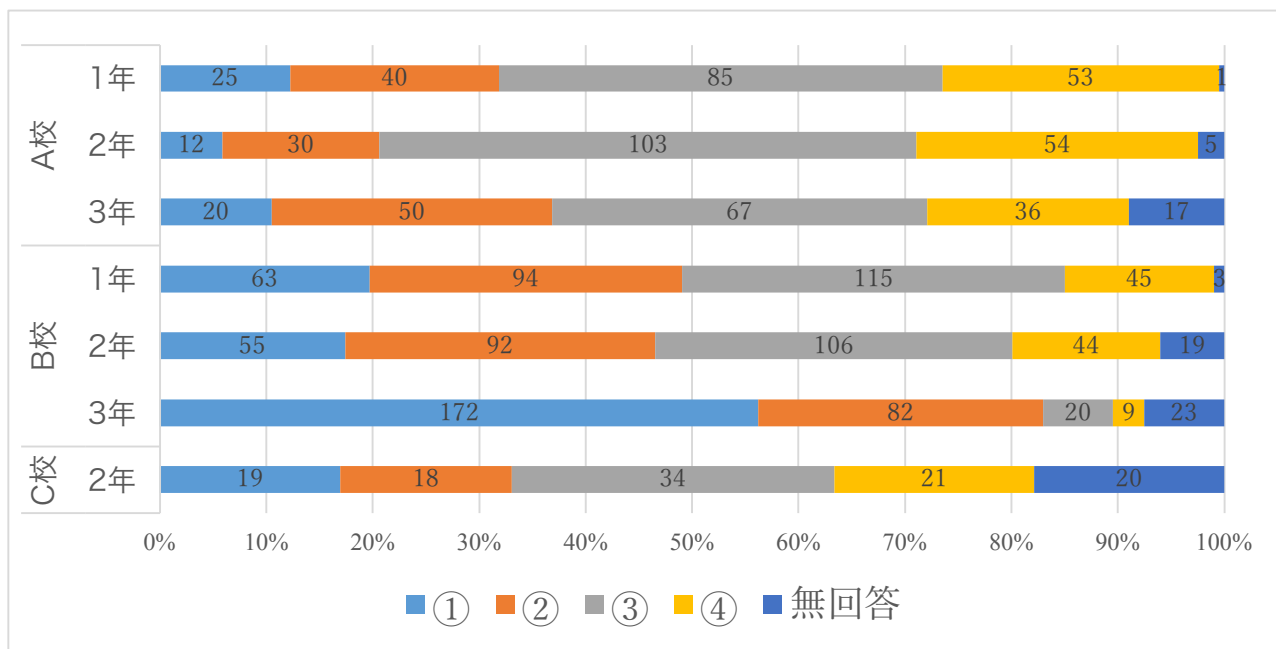


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

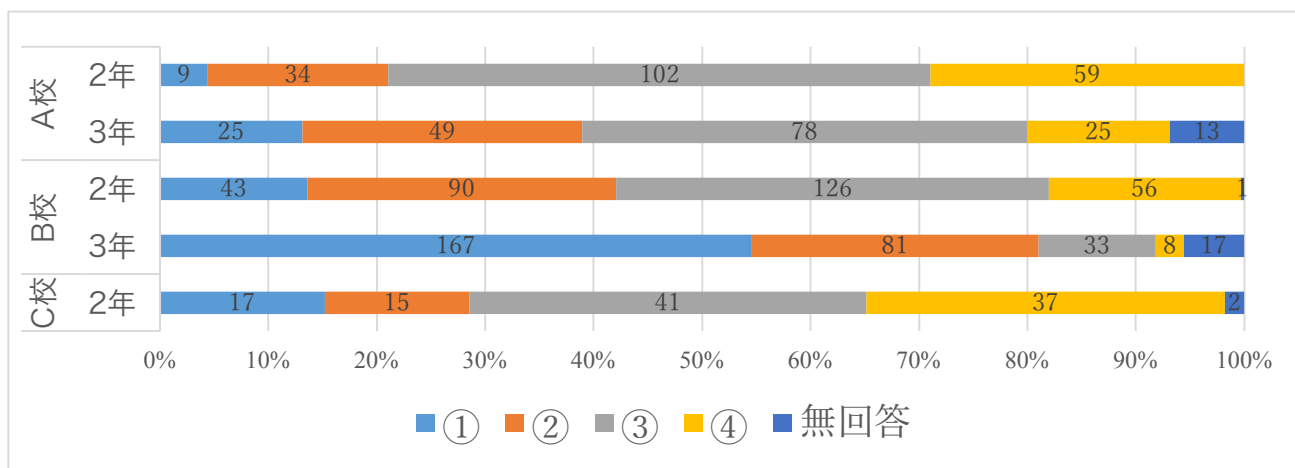


17. 次の学年の英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。
当てはまるものを1つ選んでください。

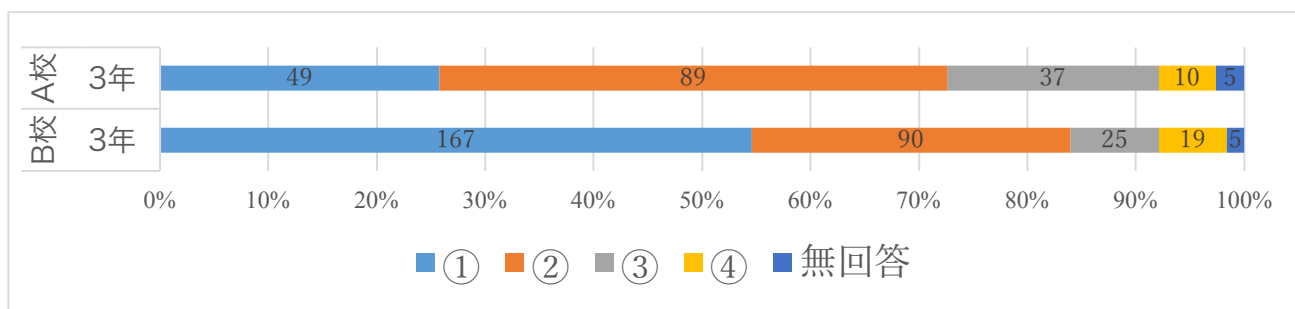
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

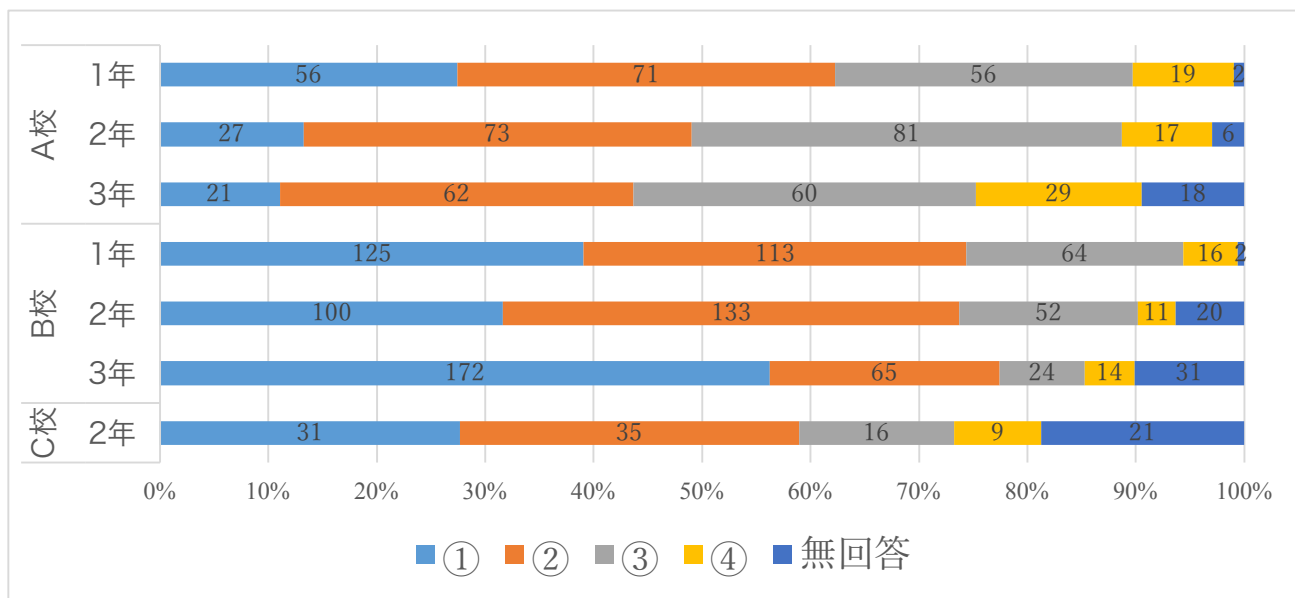


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

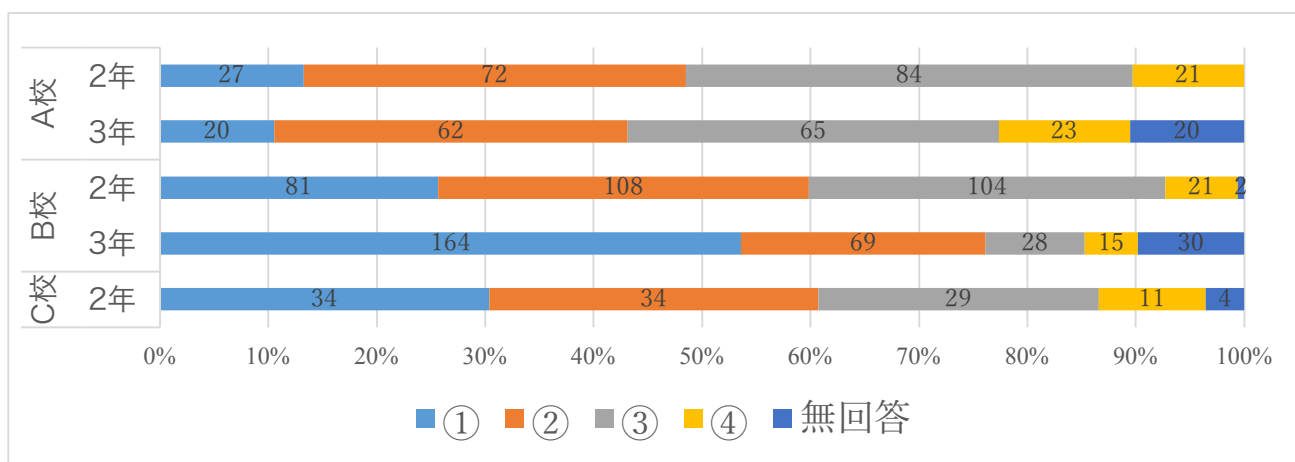


18. 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

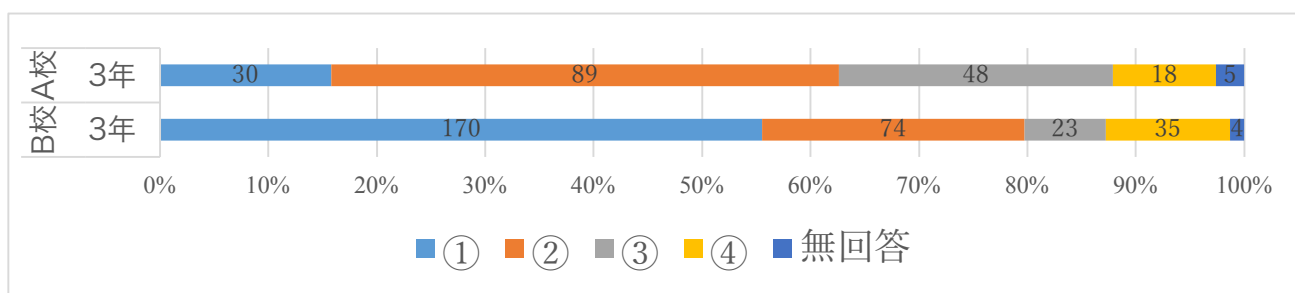
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）



(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

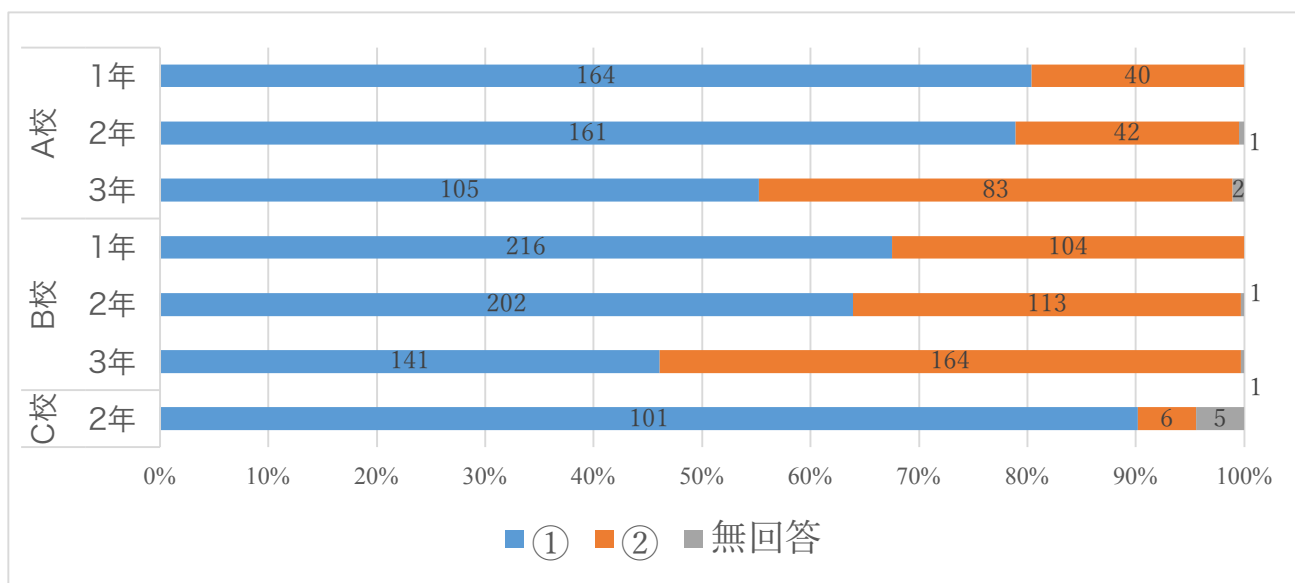


19. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。

→拠点校間での通塾率の違い、および塾の性格の違いに鑑みて下記のように質問した。

19a. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。

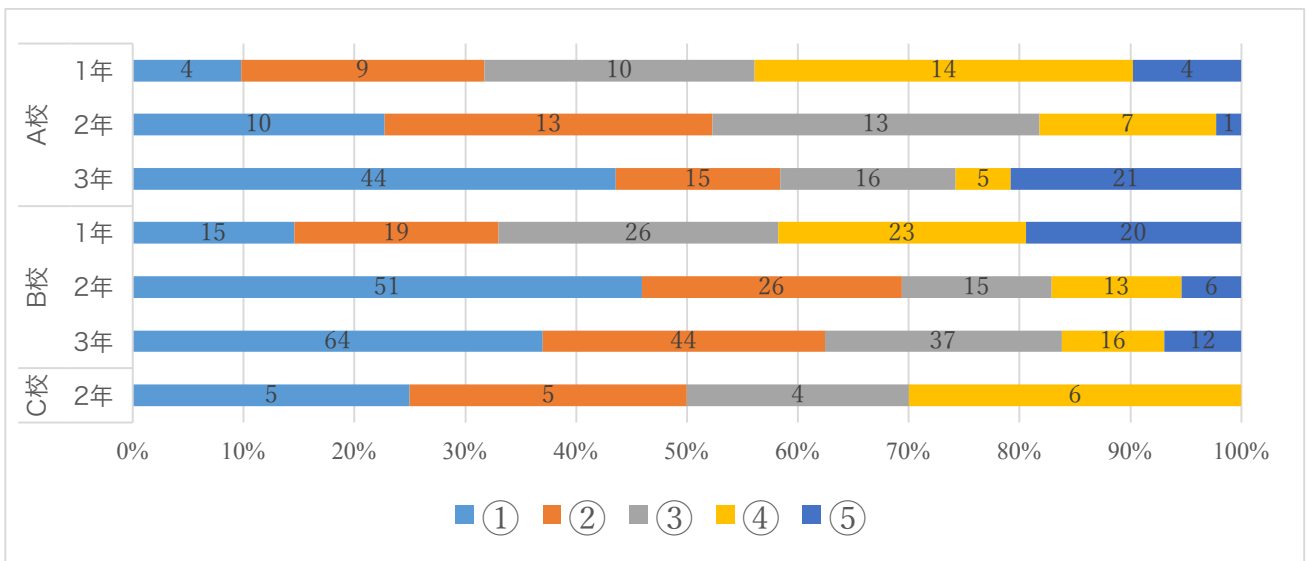
- ①学習塾で勉強していない ②学習塾で勉強している



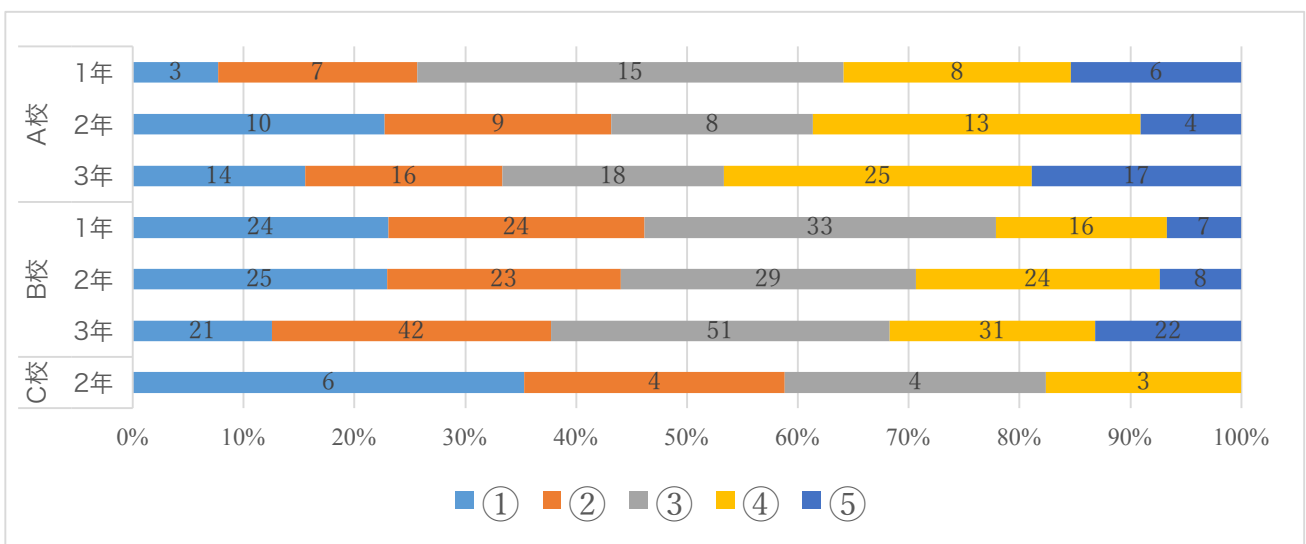
19b. （19a で②と回答した方のみ対象）学習塾ではどのようなことを勉強していますか。下記 a.～ e.それぞれについて、①～⑤を選択してください（参考数値）。

- ①全く勉強していない塾学習の0% ②勉強している1%～25%未満
 ③まあまあ勉強している25%～50%未満 ④頻繁に勉強している50%～75%未満
 ⑤とても頻繁に勉強している75%～100%

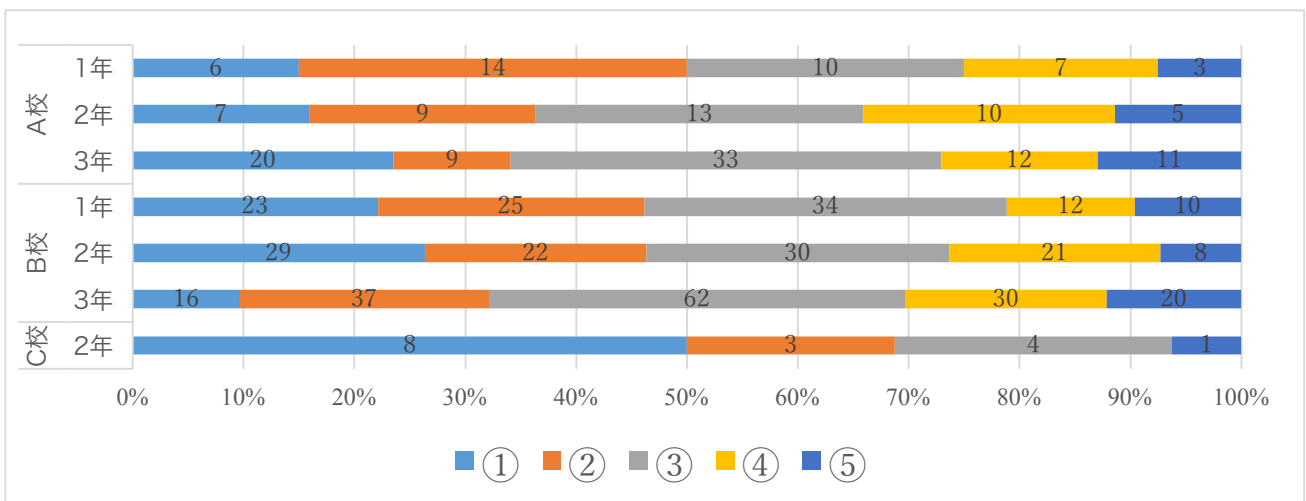
a. 学校の勉強より進んだ内容（予習）



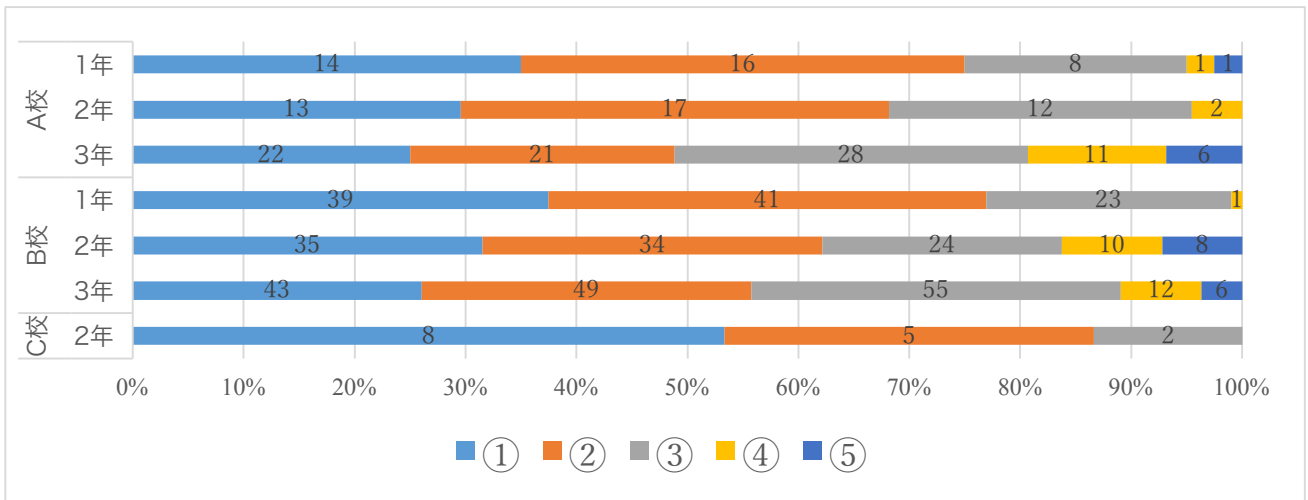
b. 学校の勉強でよく分からなかった内容



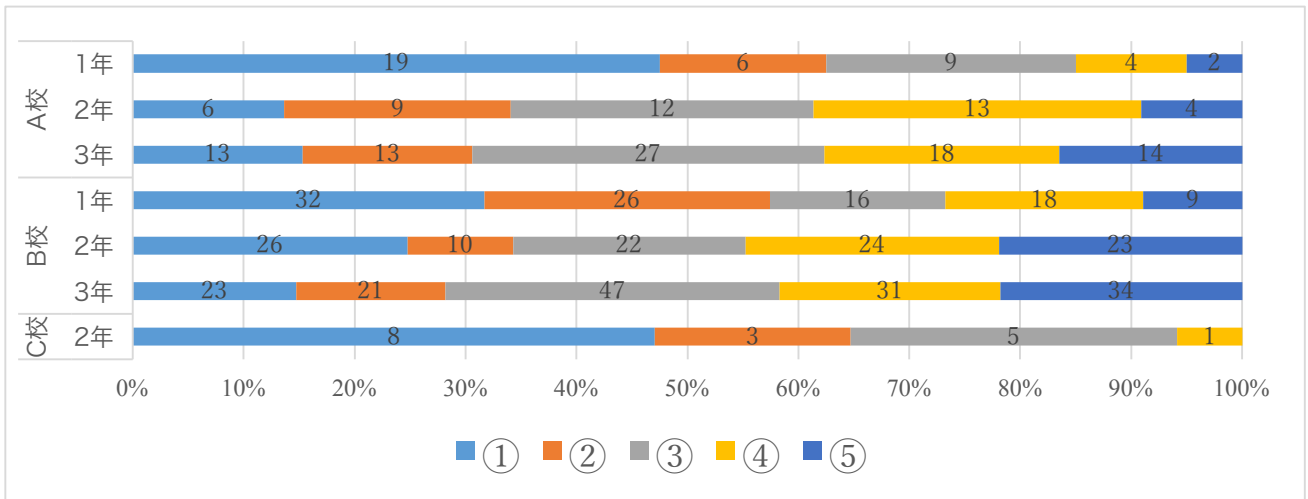
c. 学校の勉強より難しい内容



d. 学校の勉強より簡単な内容



e. 学校の勉強とは異なる内容

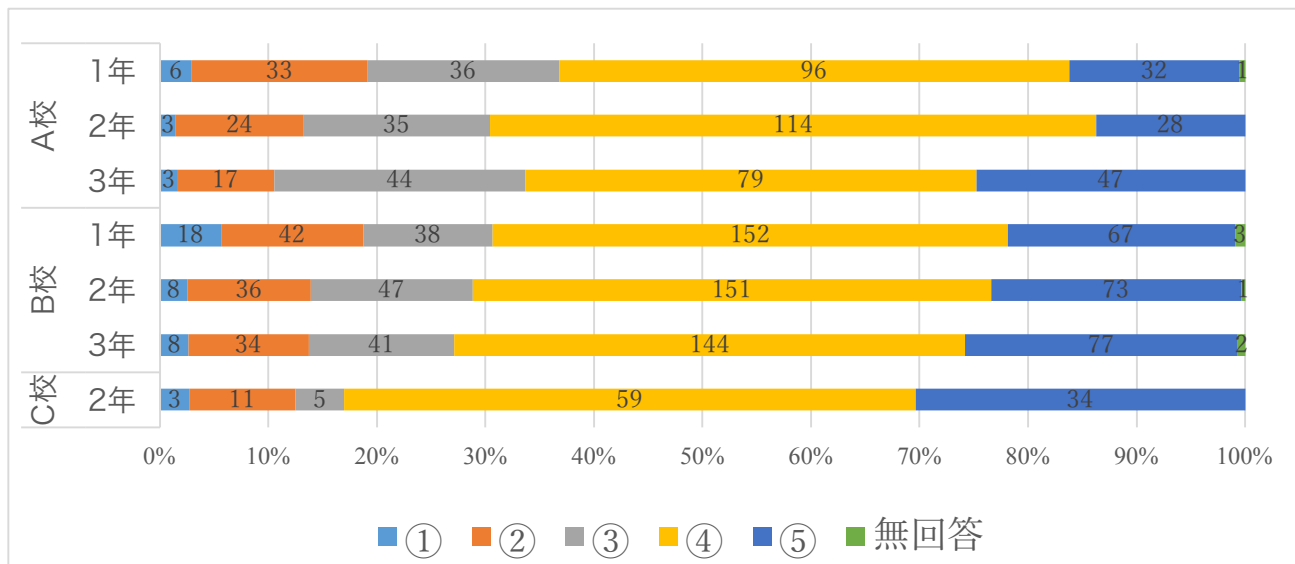


第2項 追加項目

【英語学習歴・海外経験】

20. 「英語学習歴欄」あなたがいつ英語学習をはじめたかを下記から選び、マークしてください。

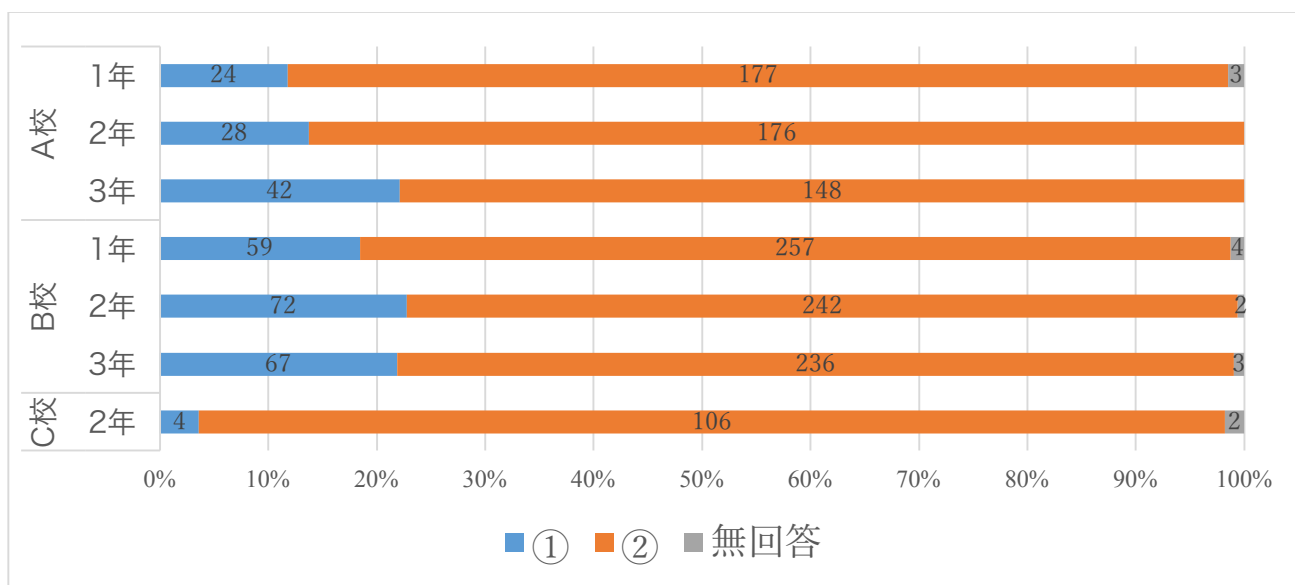
- ①3歳以下 ②4歳～5歳ぐらい ③小学1年生～3年生 ④小学4年生～6年生
⑤中学1年生以上



21. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.～d.の設問に回答してください。

a. 外国に滞在したことがありますか。

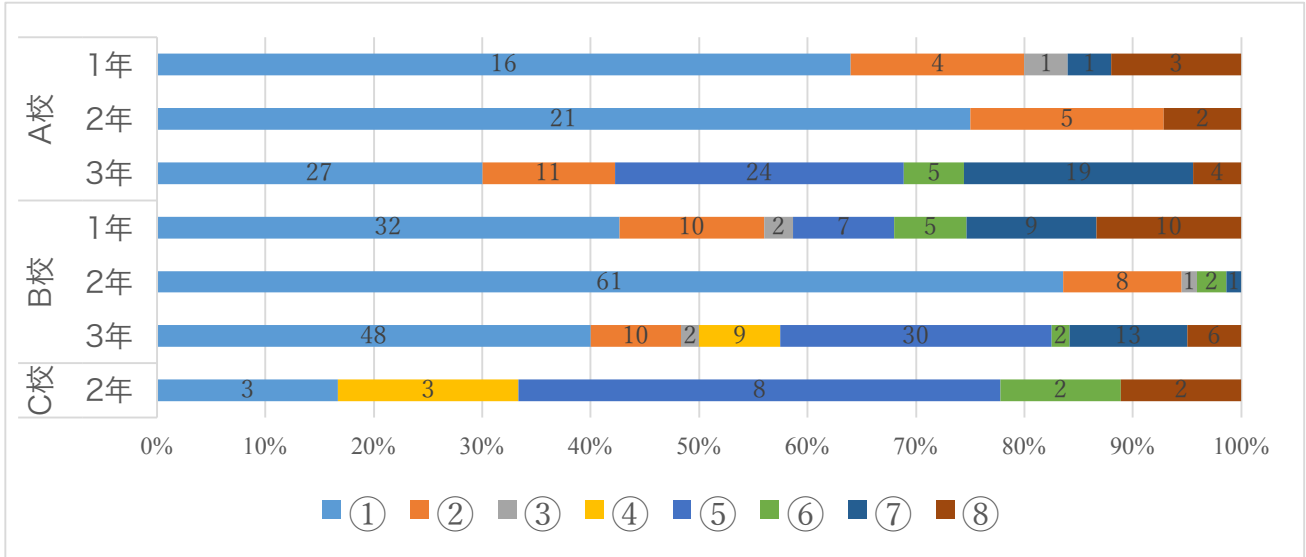
- ①ある ②ない



(以下、21a.で①と回答した者のみ。複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答)

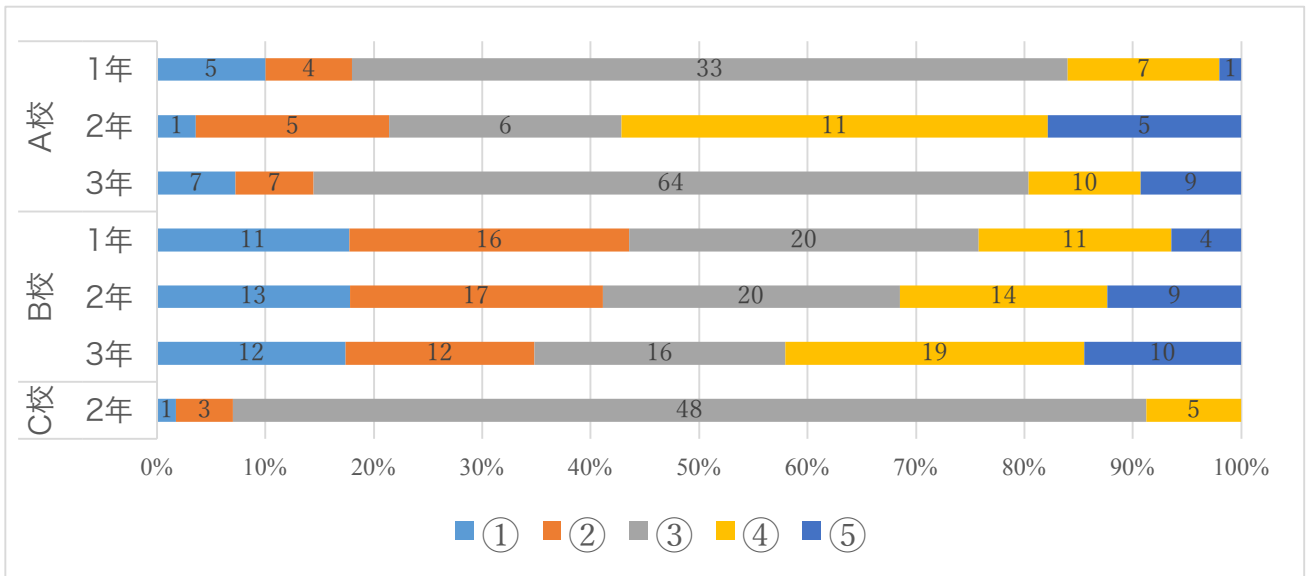
b. 期間はどれくらいですか (参考数値)。

- ①2週間未満 ②2週間以上1か月未満 ③1か月以上3か月未満
 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満
 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上



c. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか (参考数値)。

- ①英語以外のみ ②主に英語以外 ③英語以外: 半分ぐらい、英語: 半分ぐらい
 ④主に英語のみ ⑤英語のみ



d. 場所はどこですか（記述式）※⁵。

| A校 1年 | | A校 2年 | | B校 1年 | | B校 2年 | |
|---------|--------|----------|--------|---------|--------|----------|--------|
| 場所 | 度数 | 場所 | 度数 | 場所 | 度数 | 場所 | 度数 |
| カナダ | 5 | オーストラリア | 7 | アメリカ | 17 | アメリカ | 20 |
| ハワイ | 4 | アメリカ | 5 | ハワイ | 14 | グアム | 8 |
| アメリカ | 3 | シンガポール | 5 | グアム | 7 | ハワイ | 8 |
| オーストラリア | 3 | カナダ | 3 | 中国 | 5 | 韓国 | 8 |
| グアム | 3 | グアム | 3 | オーストラリア | 4 | オーストラリア | 7 |
| シンガポール | 3 | ハワイ | 3 | タイ | 4 | カナダ | 7 |
| ドイツ | 2 | 韓国 | 3 | サイパン | 3 | イギリス | 5 |
| インドネシア | 1 | アイルランド | 2 | シンガポール | 3 | 中国 | 5 |
| カンボジア | 1 | ニュージーランド | 2 | マレーシア | 3 | シンガポール | 4 |
| サイパン | 1 | イタリア | 1 | イギリス | 2 | 台湾 | 3 |
| フランス | 1 | オランダ | 1 | インドネシア | 2 | インドネシア | 2 |
| ブルネイ | 1 | スイス | 1 | フィリピン | 2 | サイパン | 2 |
| ベトナム | 1 | パラオ | 1 | 台湾 | 2 | タイ | 2 |
| 台湾 | 1 | 中国 | 1 | 韓国 | 2 | ドイツ | 2 |
| | | 台湾 | 1 | イタリア | 1 | パラオ | 2 |
| | | | | カナダ | 1 | 香港 | 2 |
| | | | | サウジアラビア | 1 | カンボジア | 1 |
| | | | | スリランカ | 1 | ニュージーランド | 1 |
| | | | | フランス | 1 | フィリピン | 1 |
| | | | | ブラジル | 1 | フランス | 1 |
| | | | | ベトナム | 1 | ベトナム | 1 |
| | | | | | | マレーシア | 1 |
| | | | | | | モンゴル | 1 |
| | | | | | | リトアニア | 1 |
| 14カ国 | のべ 30人 | 15カ国 | のべ 39人 | 21カ国 | のべ 77人 | 24カ国 | のべ 95人 |

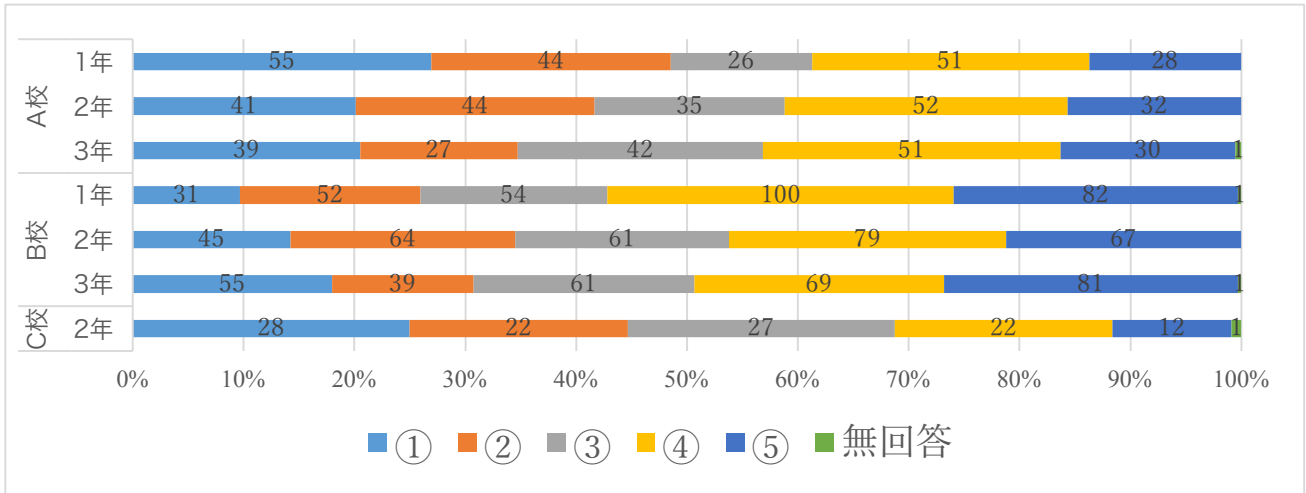
※⁵ 集計中のA校3年、B校3年、およびC校2年を除く。

【英語学習の目的・展望】

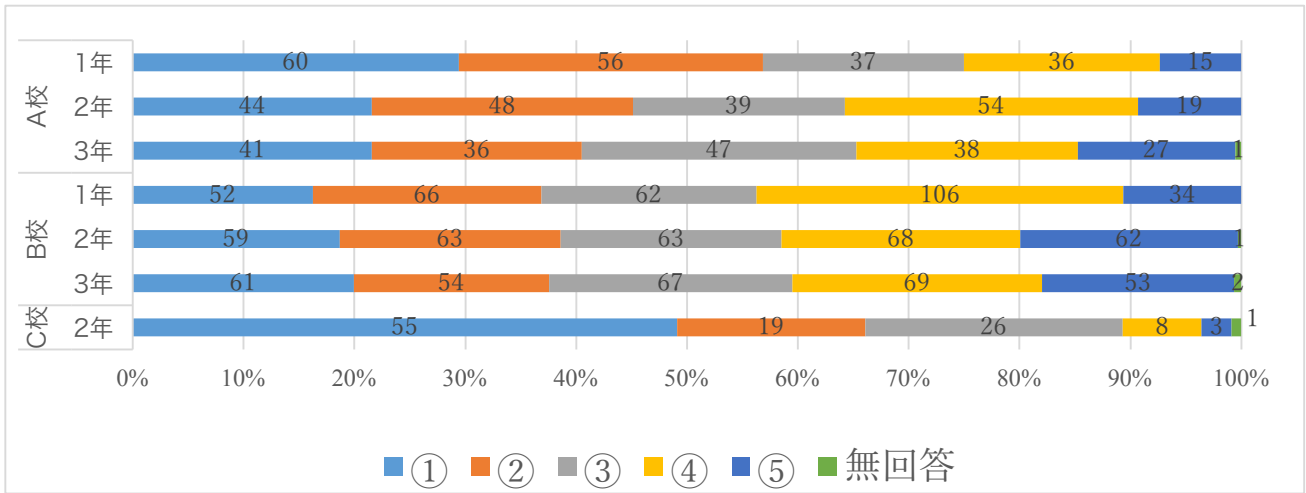
22. どのような場面で英語を活用したいと思いますか。下記 a.~i.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらでもない
 ④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う

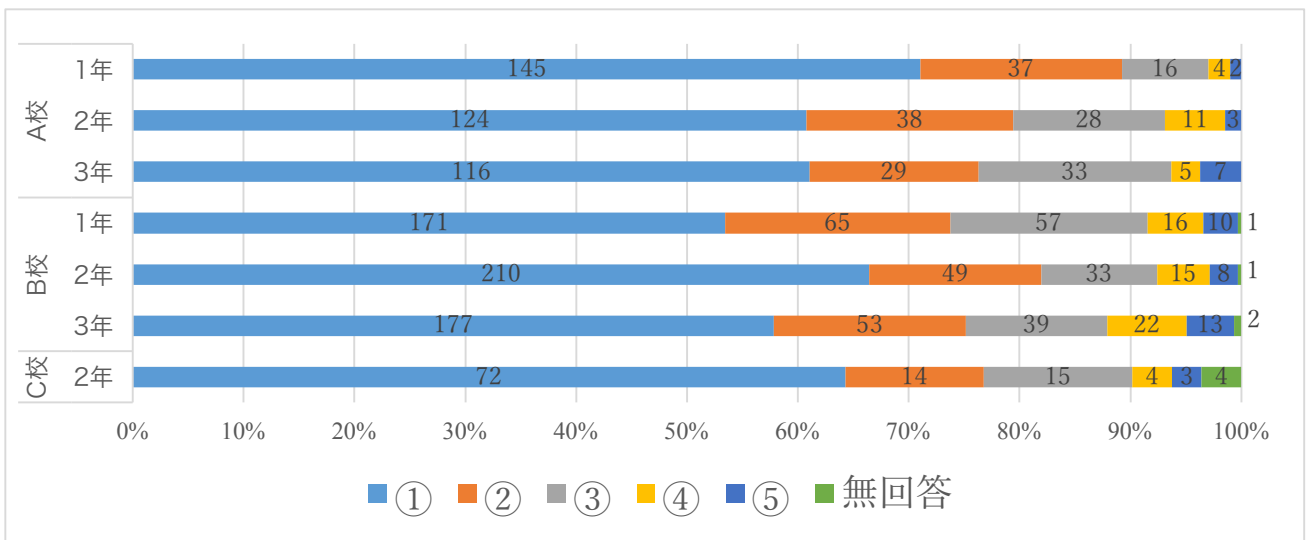
a. 学校を卒業後、英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい



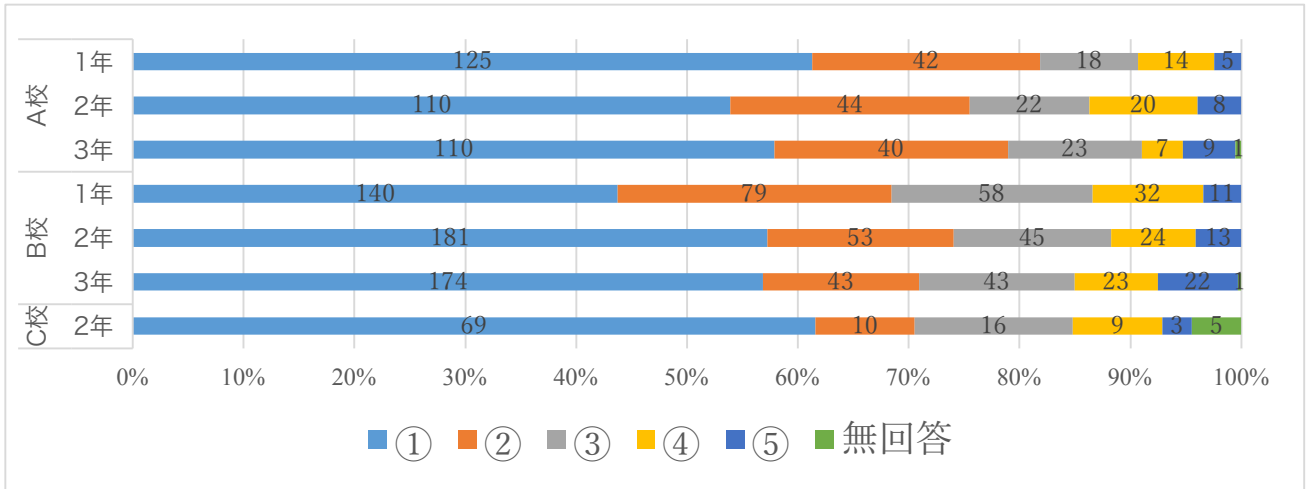
b. 日本の大学で、英語を活用して自分が専攻する学問を学ぶことができるようになりたい



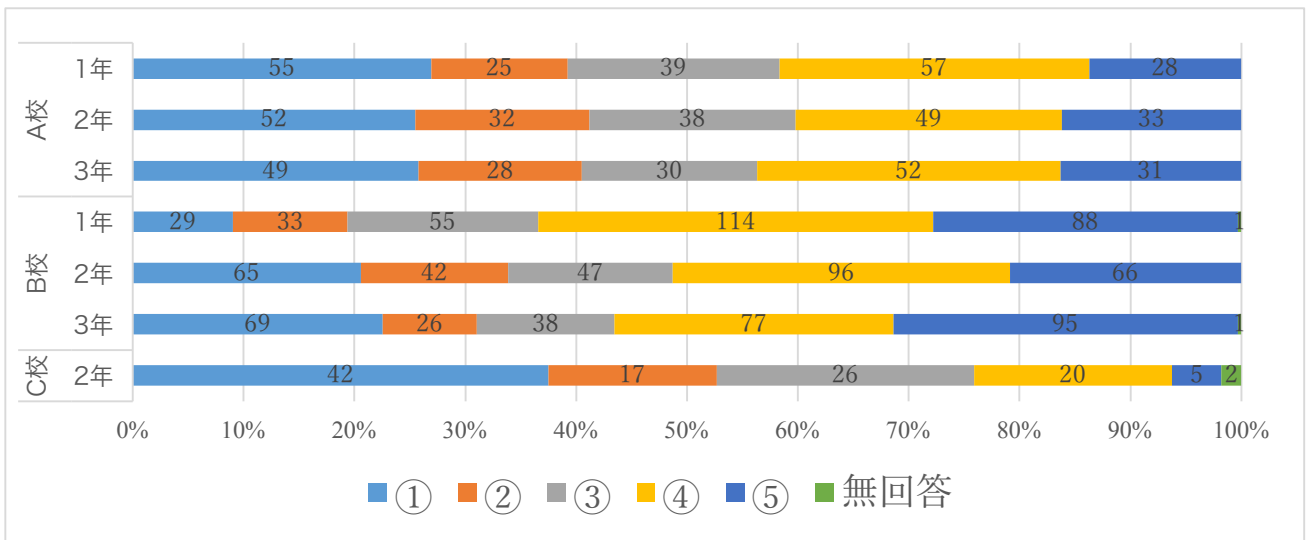
c. 高校卒業後に、海外の大学に進学できるようになりたい



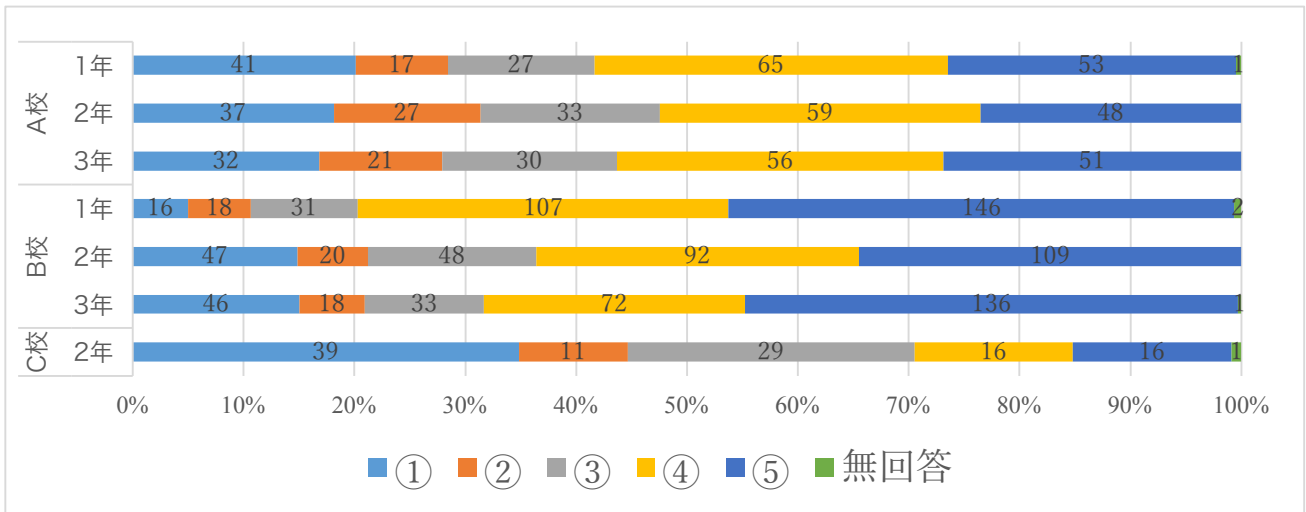
d. 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい



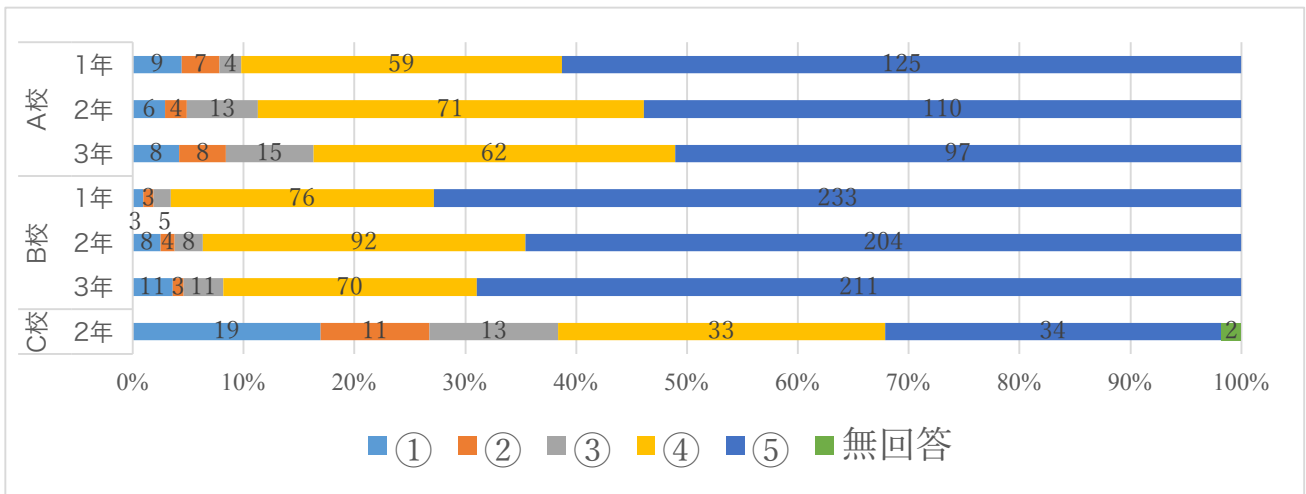
e. 海外での語学研修に参加する際にスムーズに開始できるようになりたい



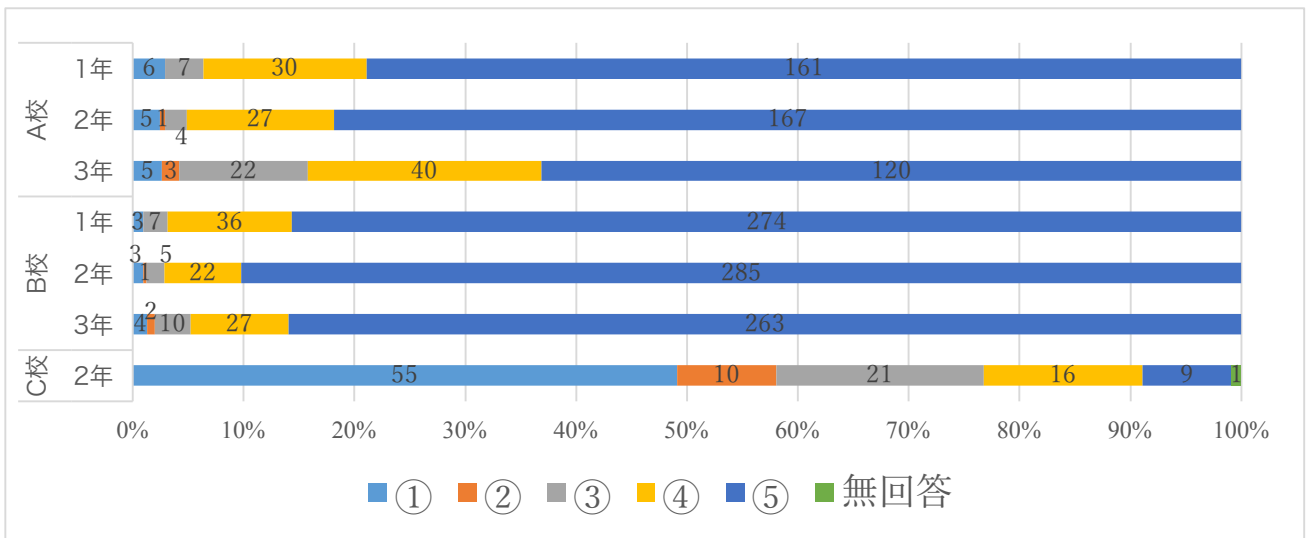
f. 海外でのホームステイで、英語で日常的な会話をし、円滑なコミュニケーションができるようになりたい



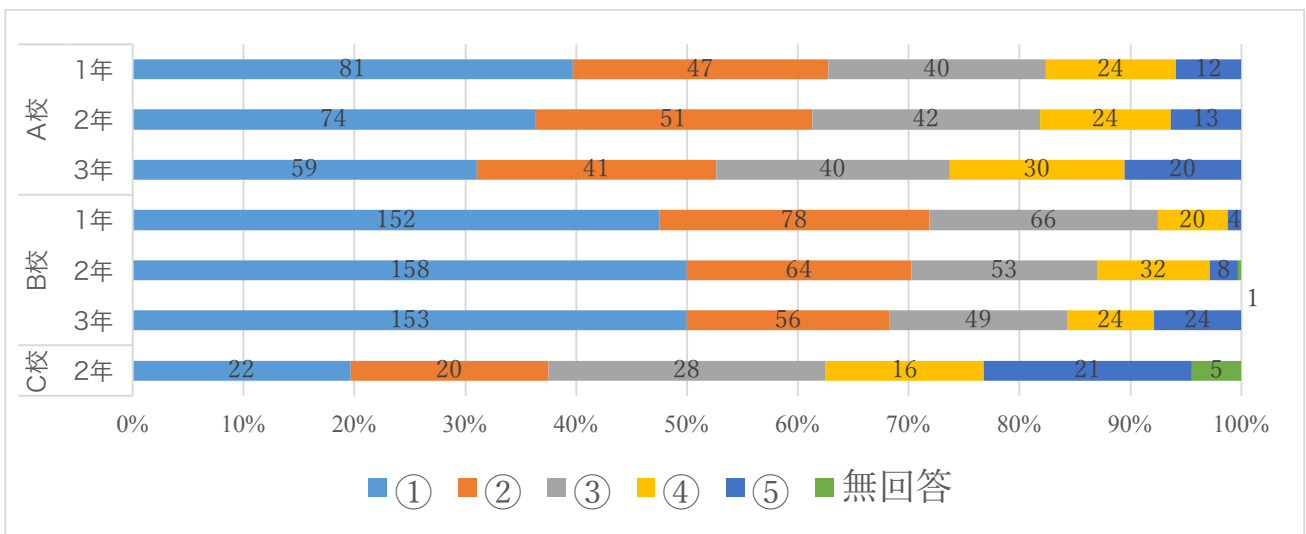
g. 海外旅行をするときに、英語でコミュニケーションができるようになりたい



h. 大学入試に対応できる力をつけたい



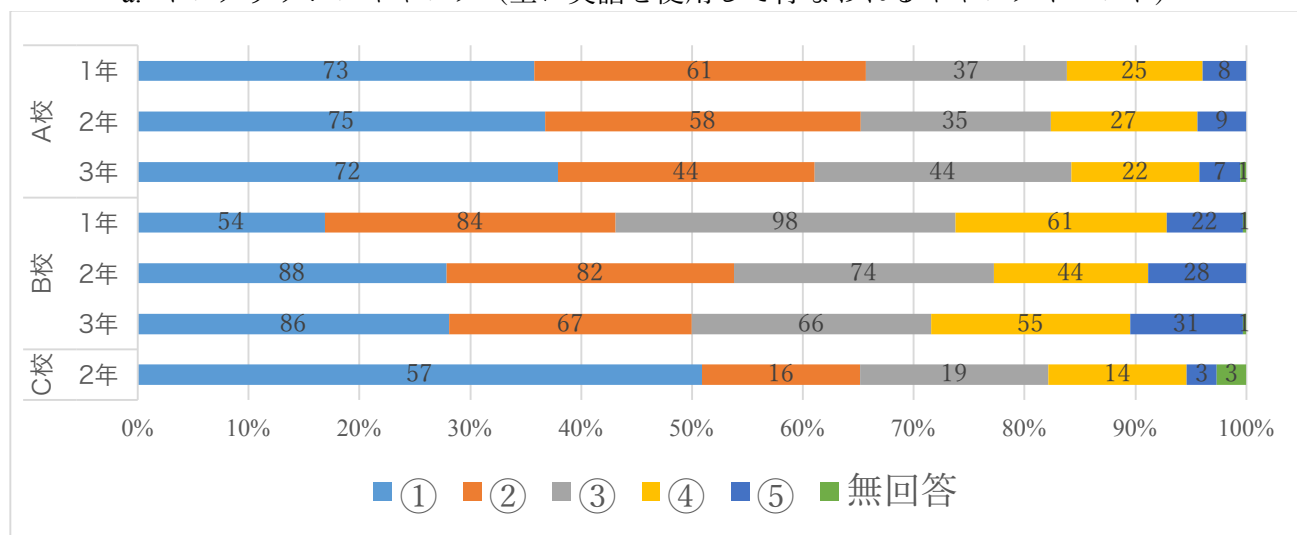
i. 特に学校の授業以外での利用を考えていない



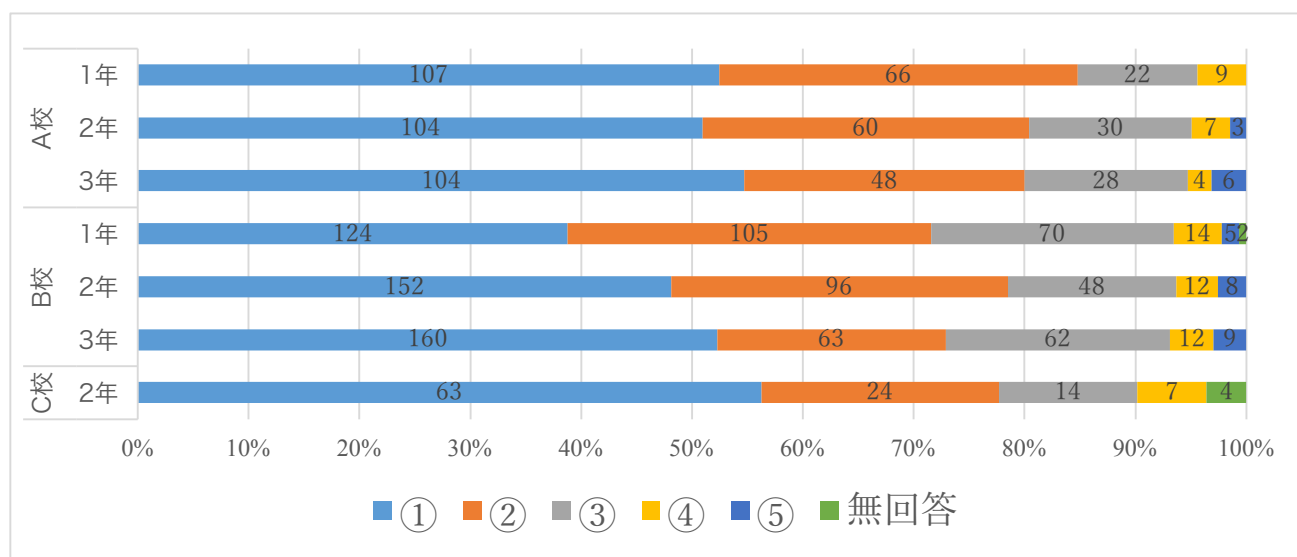
23. 下記 a.~j.の活動について、今後(または今後も)、参加したいと思いますか。a.~j.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※留学は、学校主催のプログラムも含まれます。

- ①参加したくない ②どちらかといえば参加したくない ③どちらでもない
④どちらかといえば参加したい ⑤参加したい

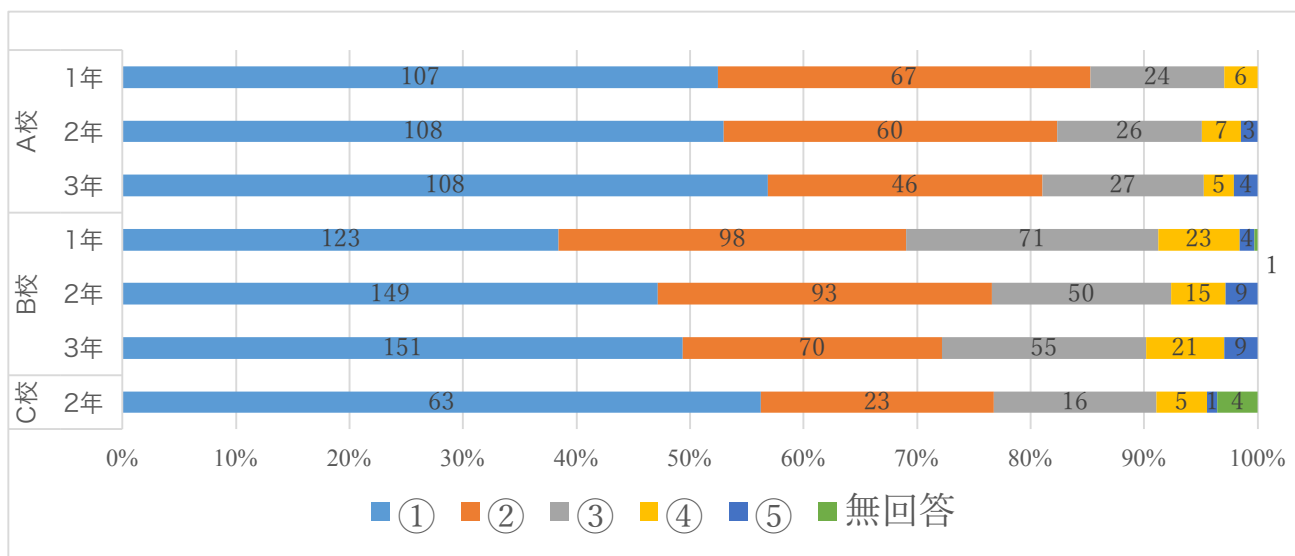
a. イングリッシュキャンプ (主に英語を使用して行なわれるキャンプイベント)



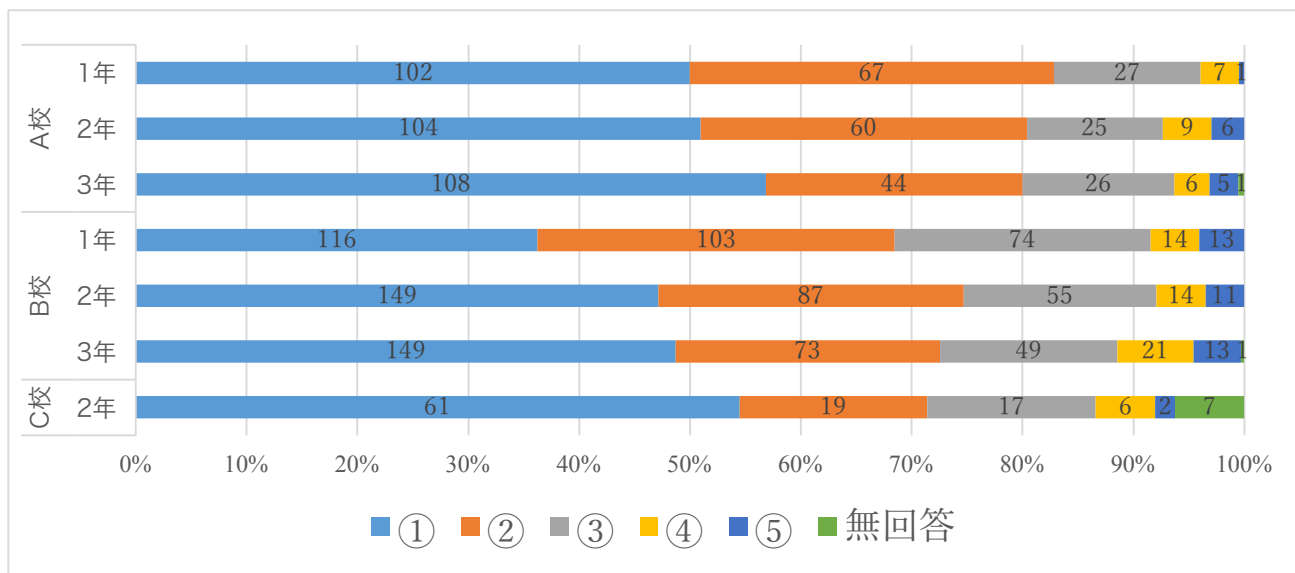
b. 英語のスピーチ大会 (校内での予選は除く)



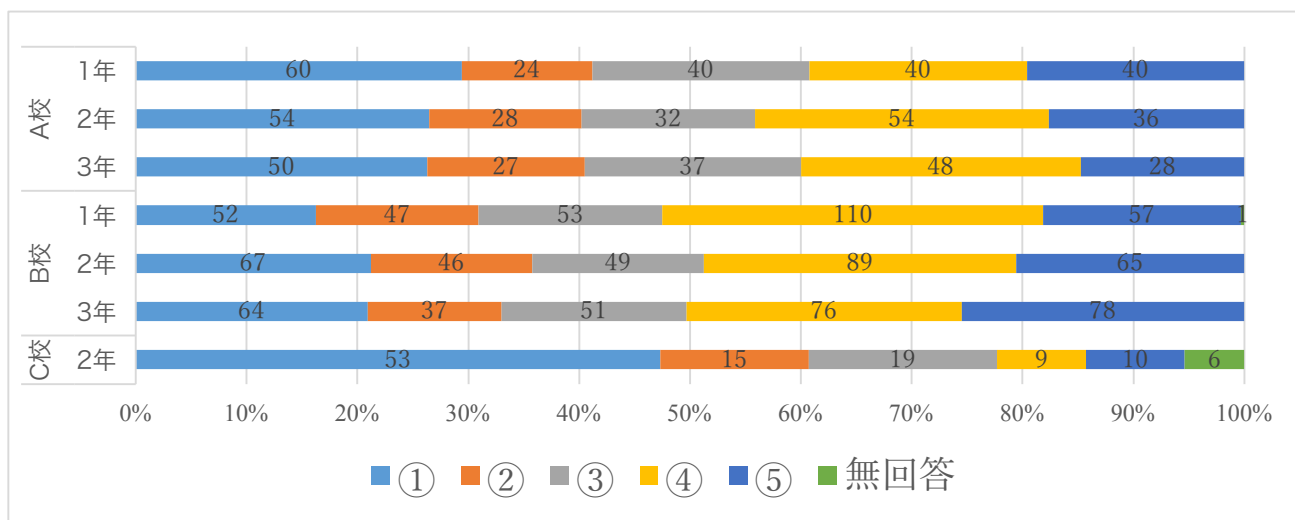
c. 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選は除く）



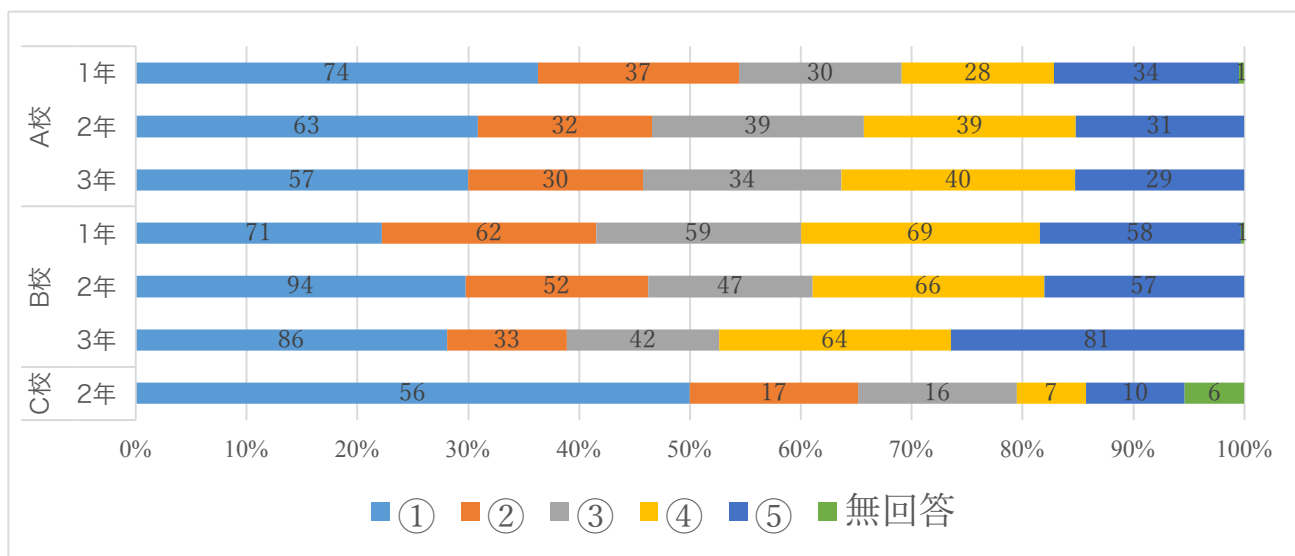
d. 英語のディベート大会（校内での予選は除く）



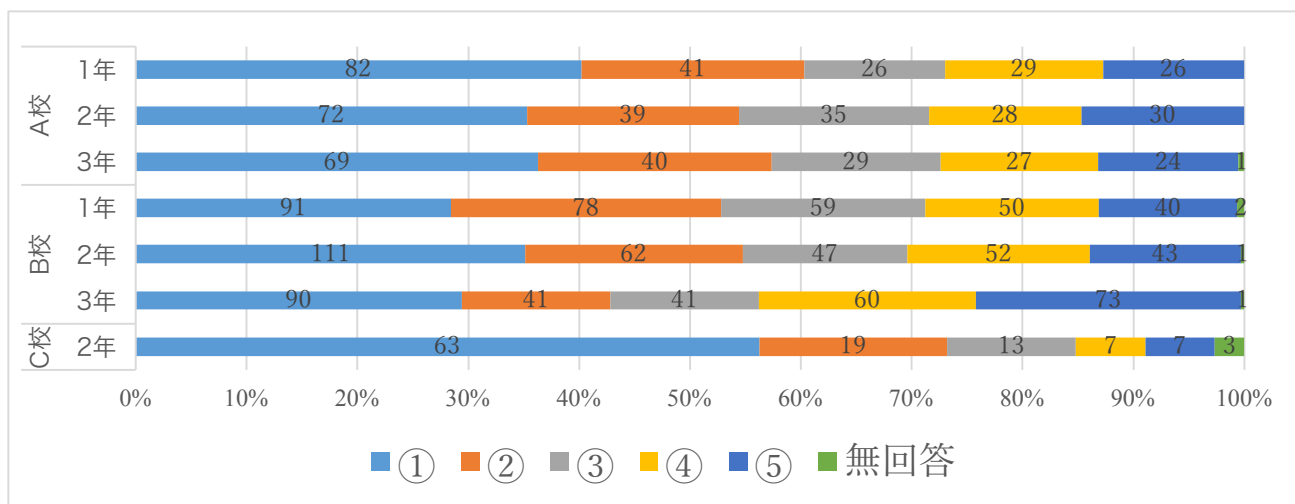
e. 留学：2週間未満



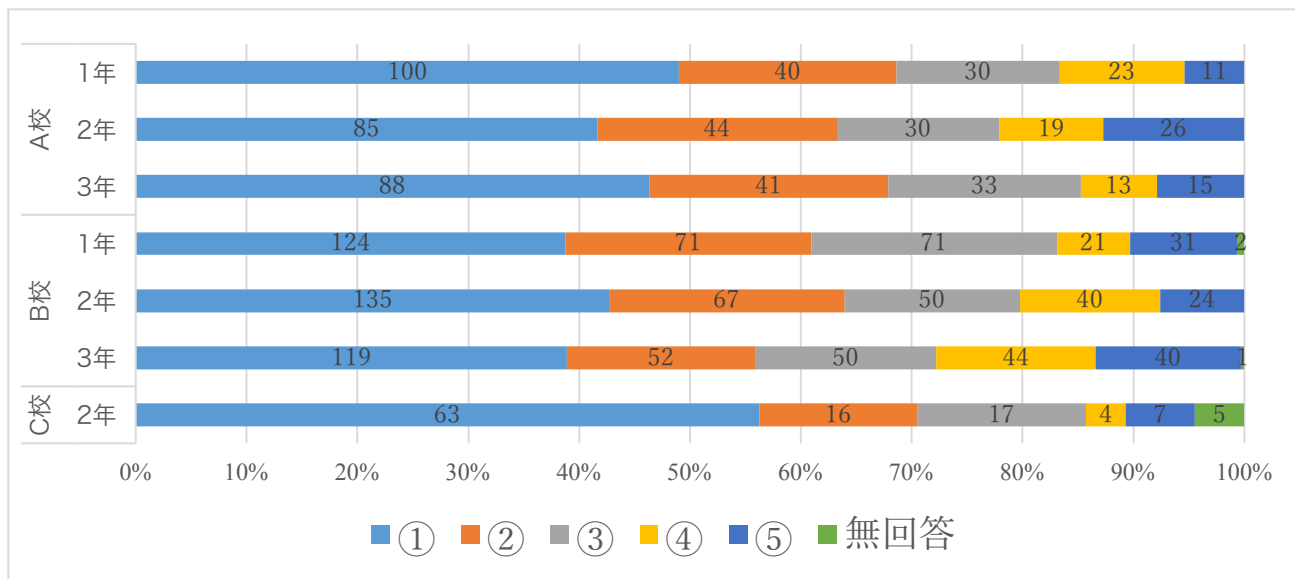
f. 留学：2週間以上3か月未満



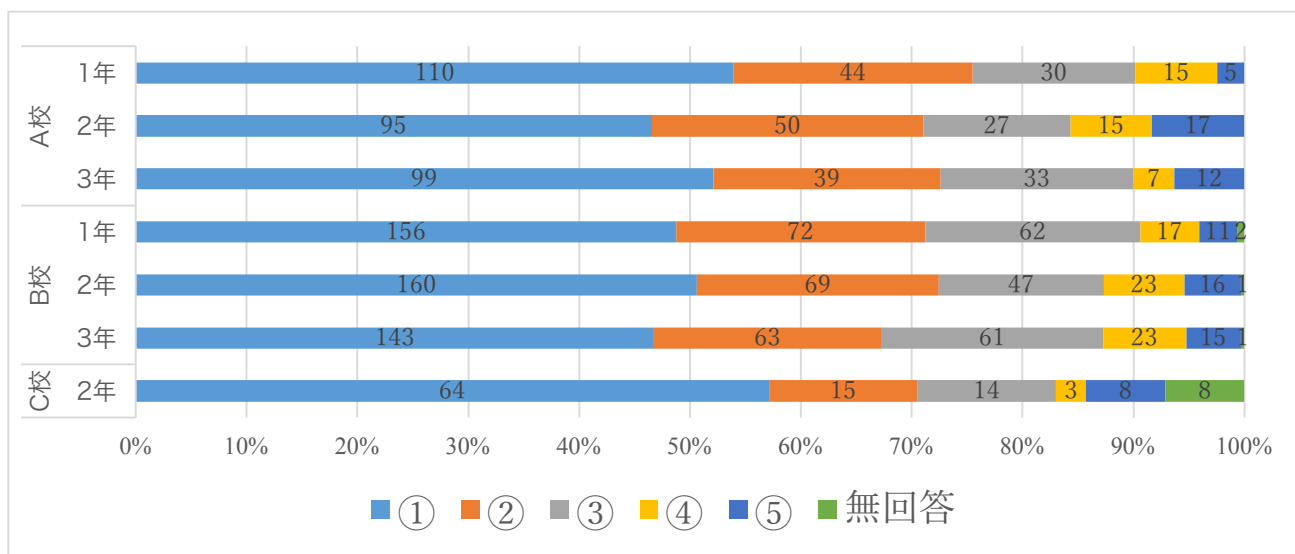
g. 留学：3か月以上1年間未満



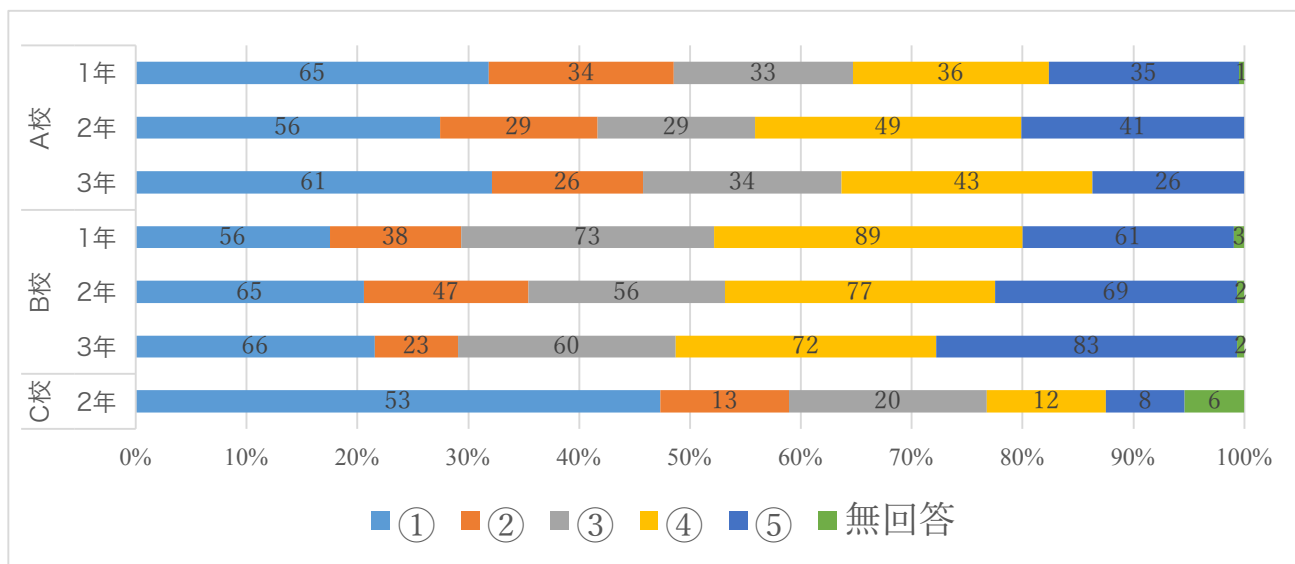
h. 留学：1年間以上4年間未満



i. 留学：4年間以上

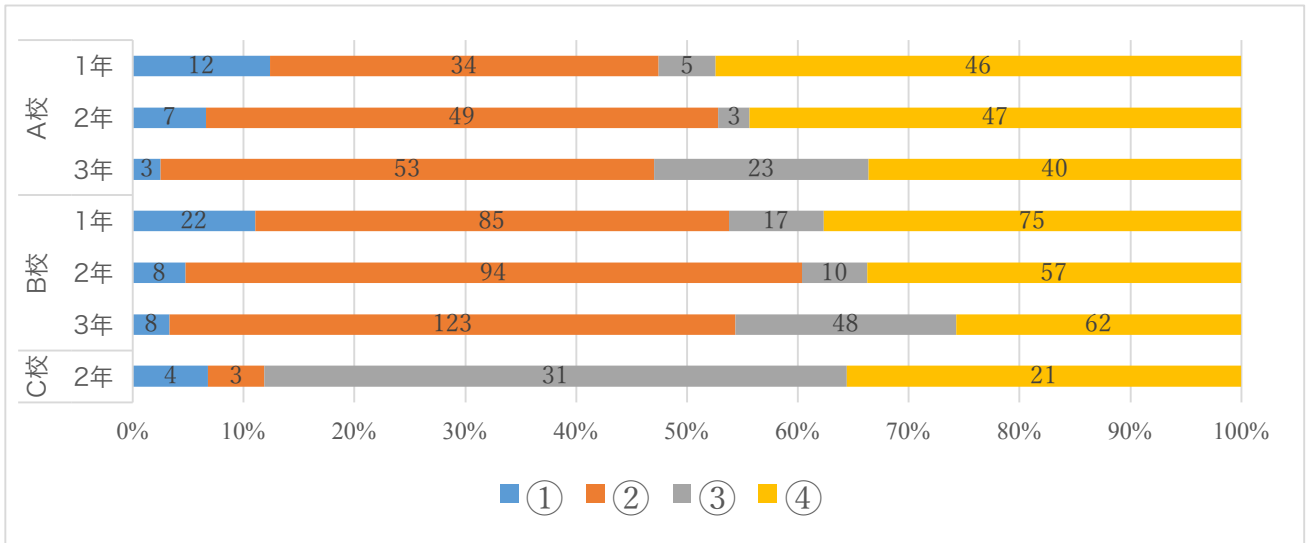


j. ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）



24. (23.で留学に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した方のみ対象) 留学に行きたいと思う時期はいつですか。※複数回の留学を望む場合は最も早い時期を選択してください(参考数値)。

- ①高校在学中
- ②高校卒業後4年以内の間に
- ③高校卒業後5年以上過ぎてから
- ④特に時期は考えていない



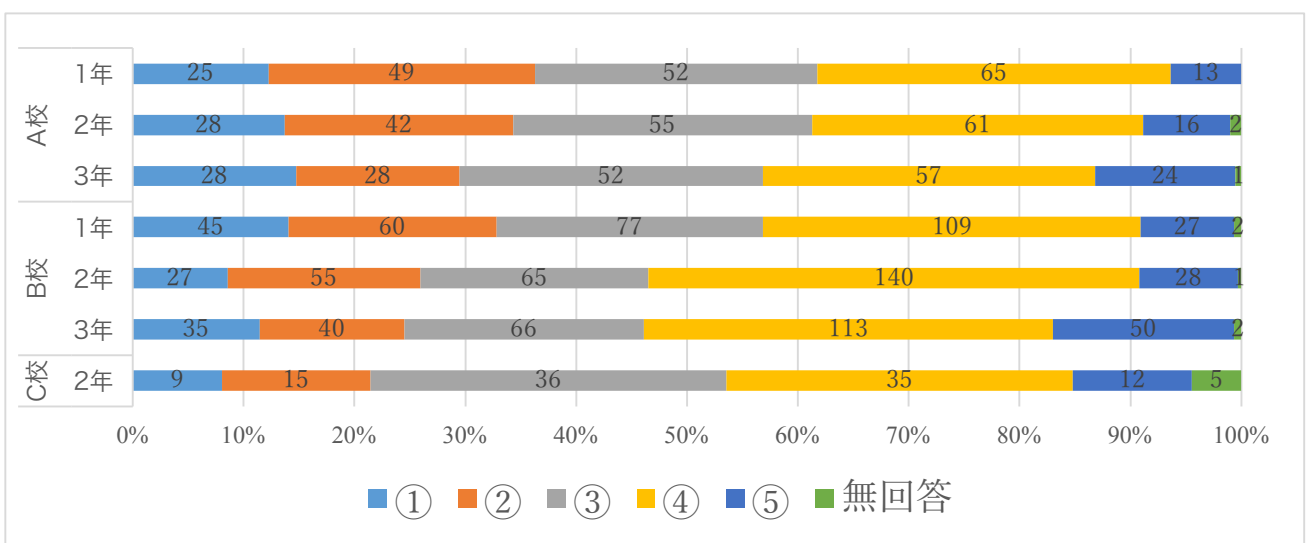
25. 英語を使って、できるようになりたいことは何ですか。最もできるようになりたいと思うことを1つ、できるだけ具体的に記載してください（記述式）。

【英語使用不安】

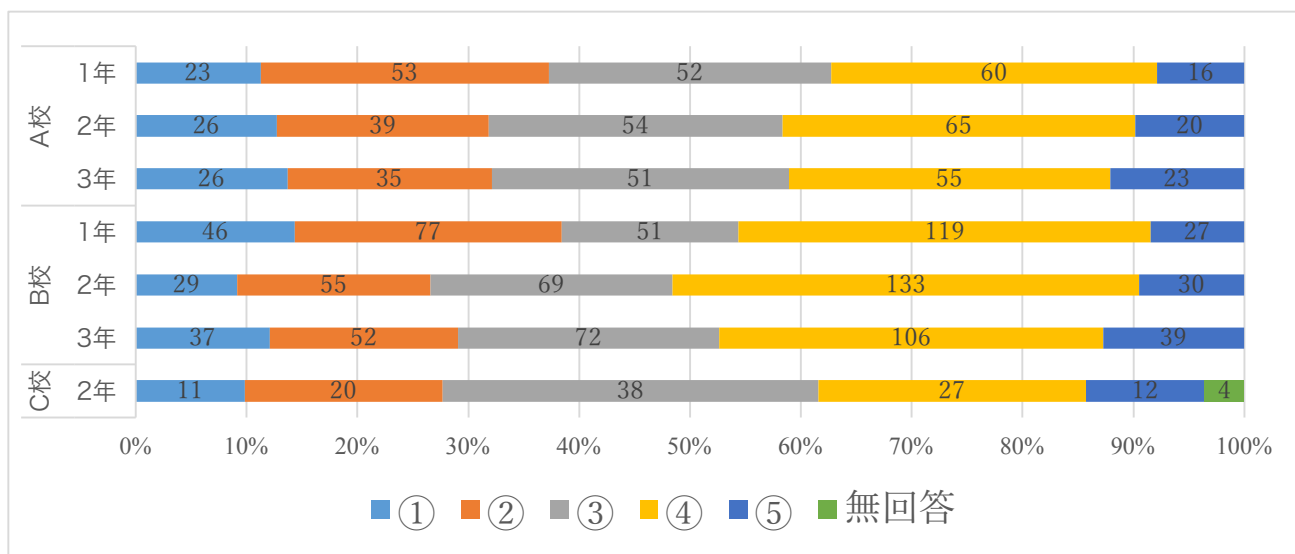
26. 授業で英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
- ④緊張する ⑤とても緊張する

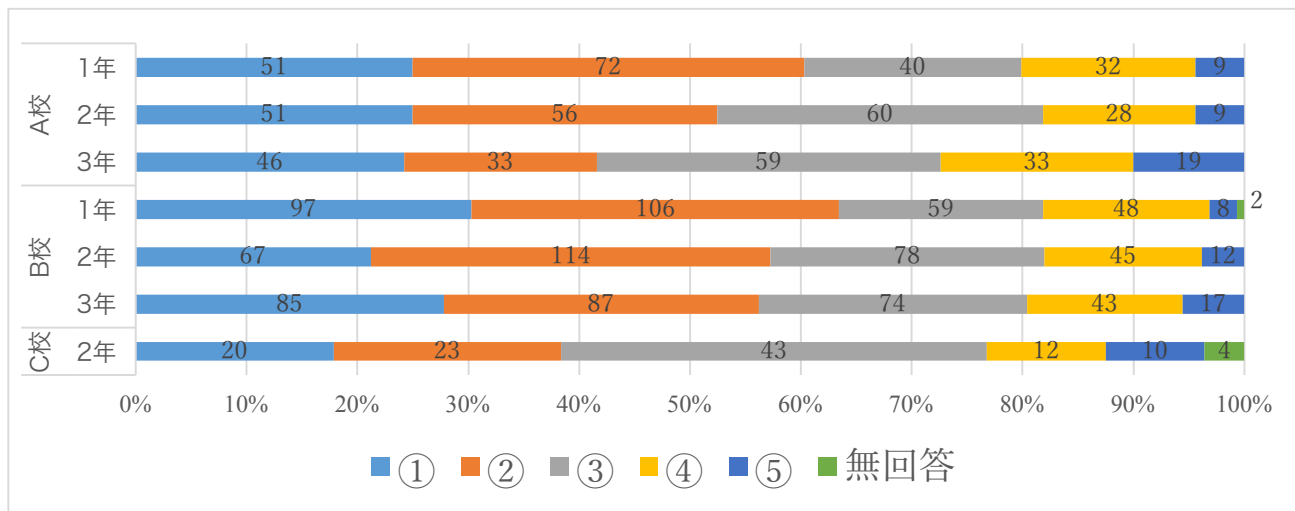
a. 英語を使った活動の時に、分からないことを英語で質問する



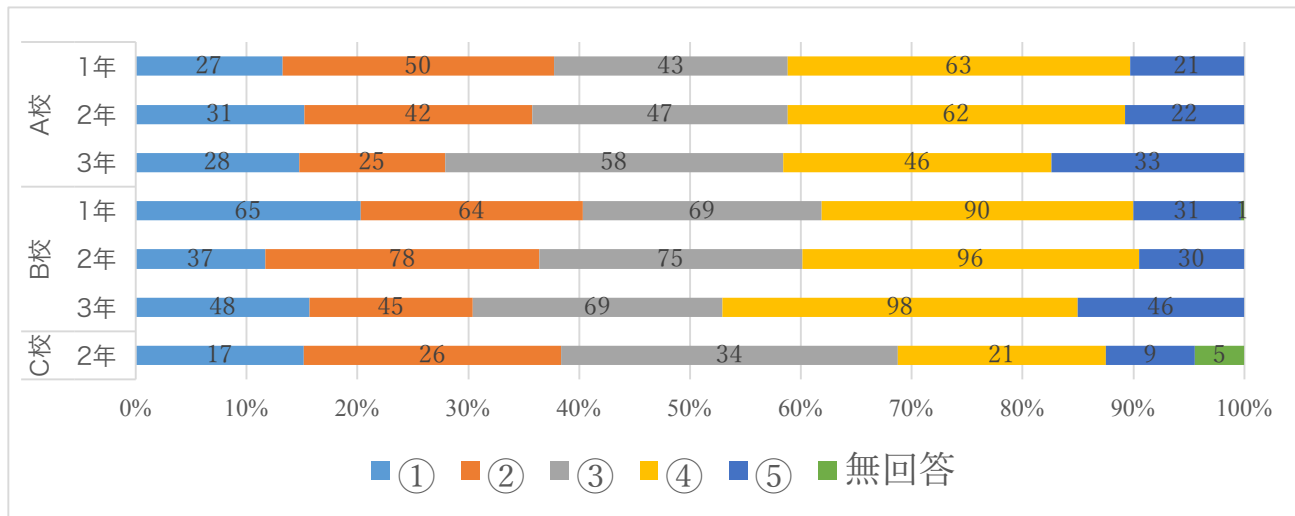
b. 英語を使った活動の時に、きかれた質問に英語で答える



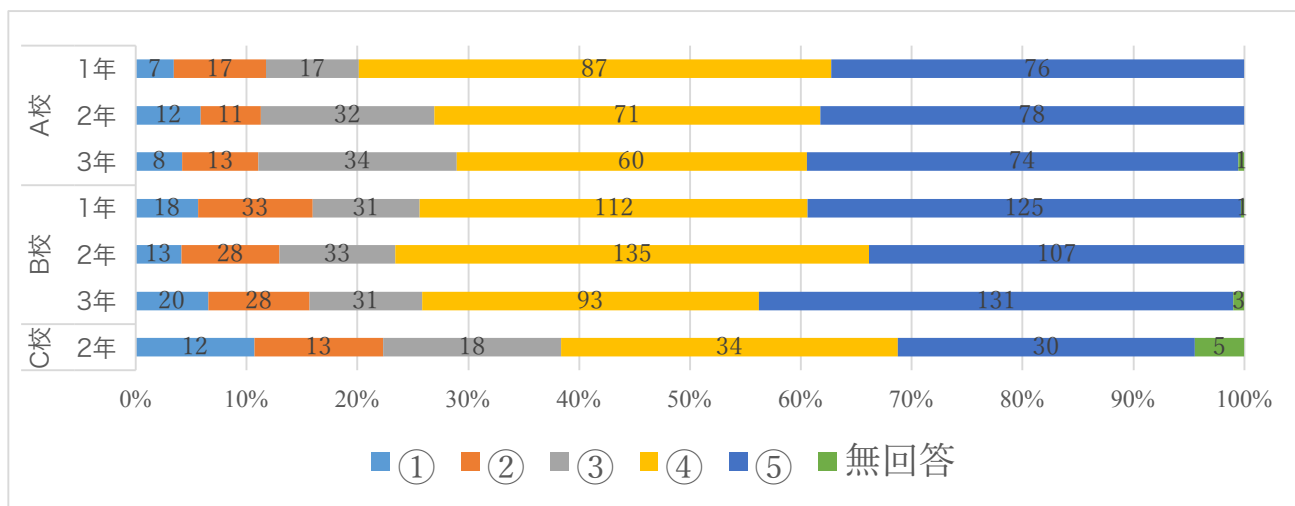
c. クラスメイトと英語で会話をする



d. クラスメイトが集まったグループで、英語で議論する



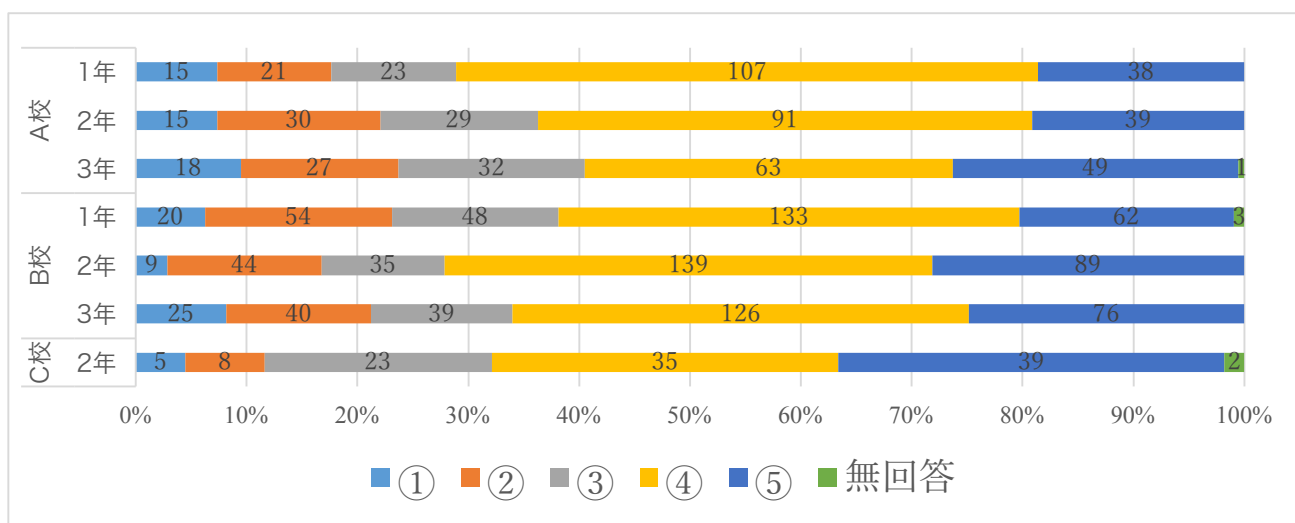
e. クラスメイトの前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする



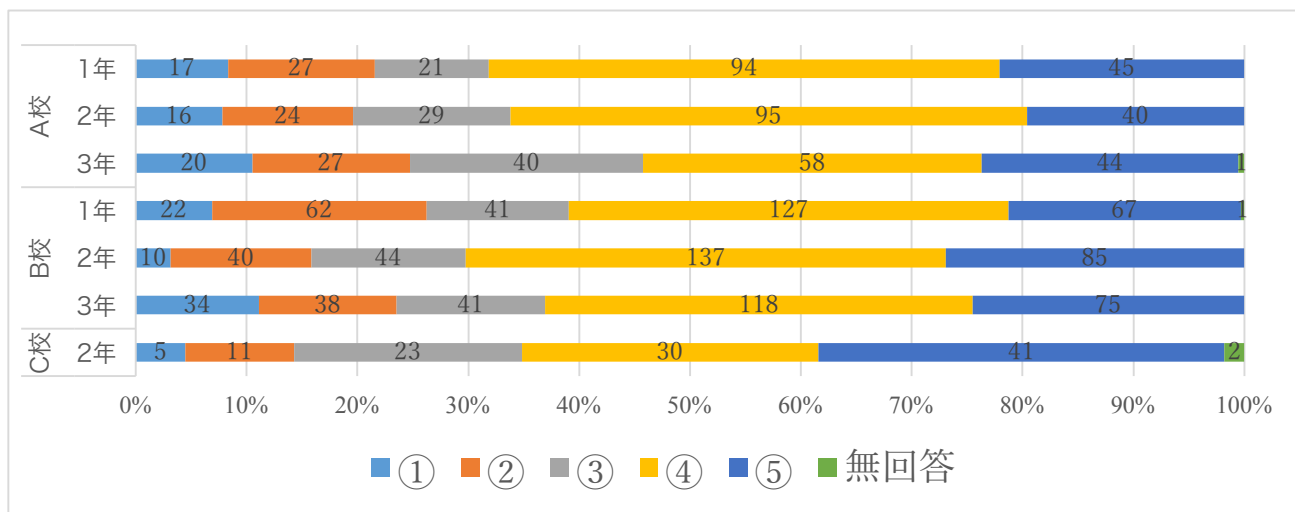
27. 外国人と英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
 ④緊張する ⑤とても緊張する

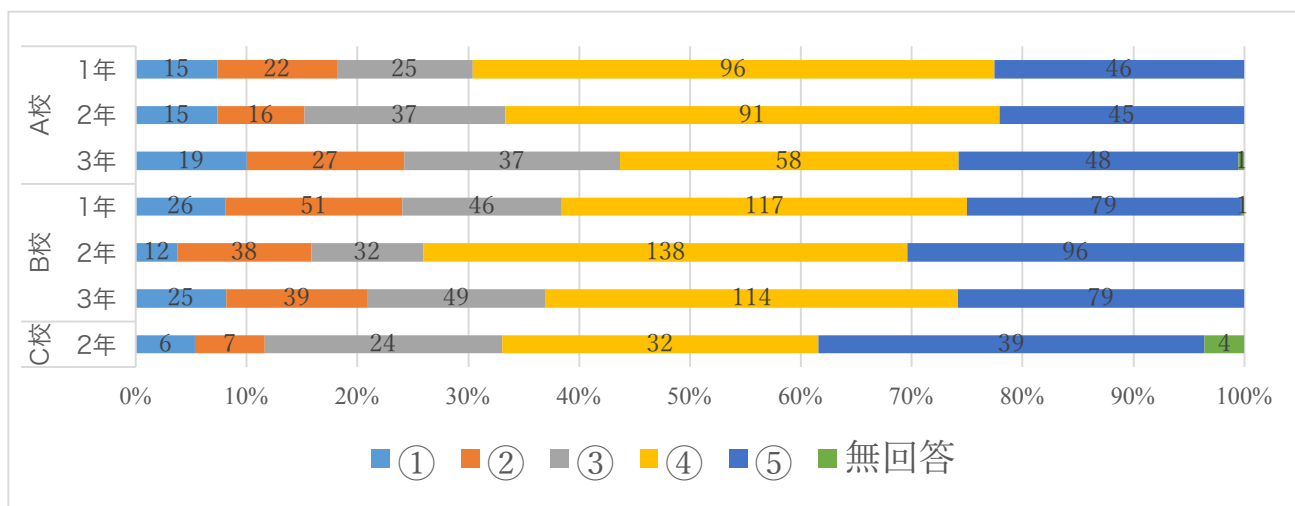
a. 外国人に、分からないことを英語で質問する



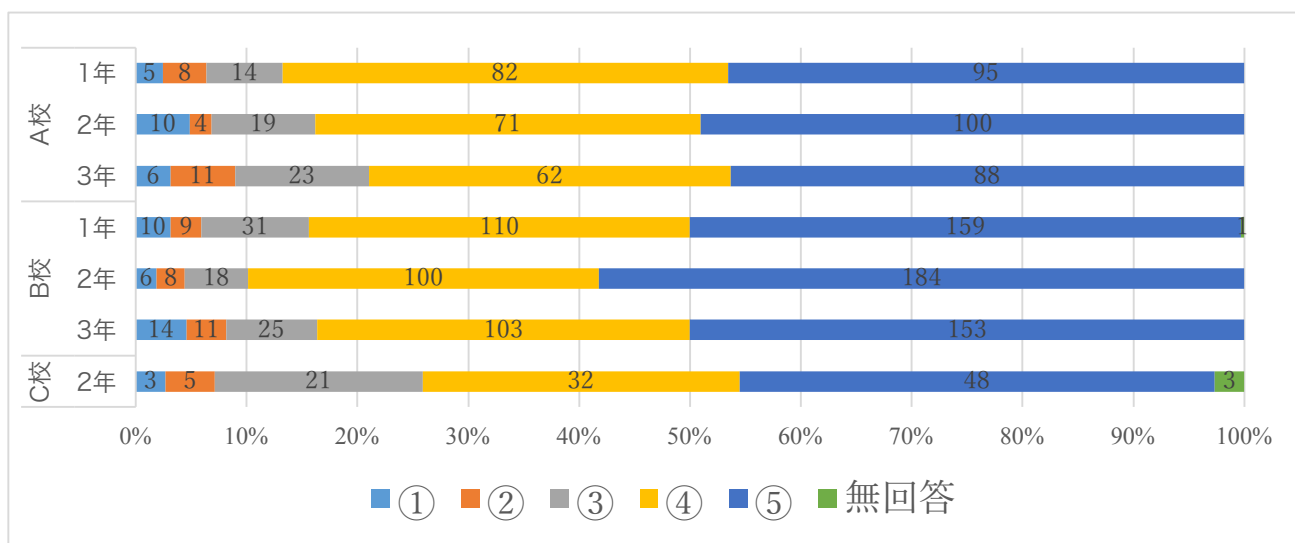
b. 外国人からの質問に英語で答える



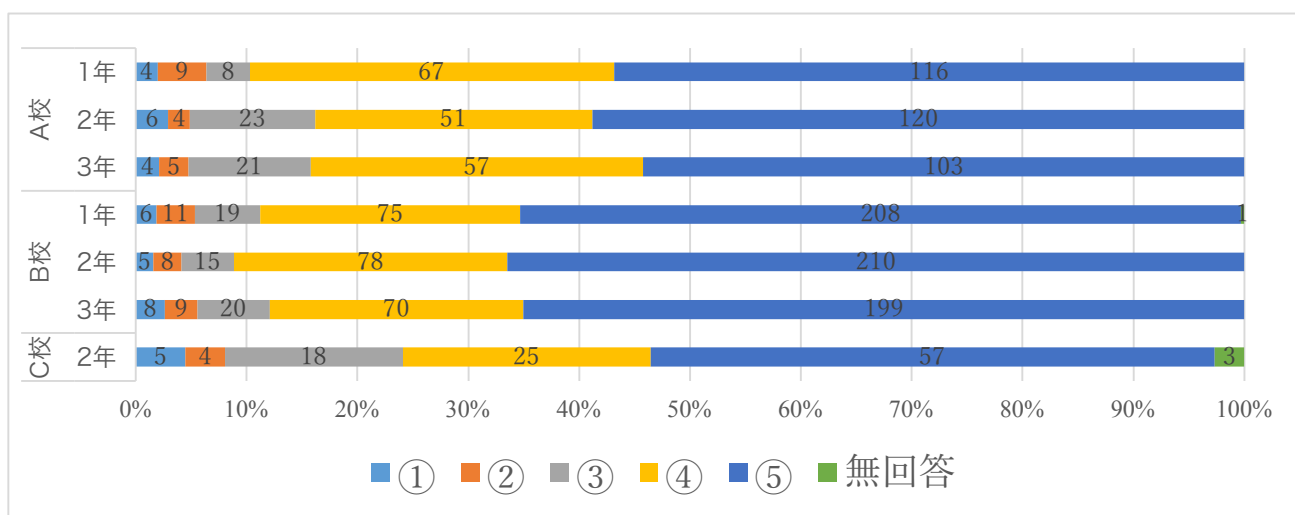
c. 外国人と英語で会話をする



d. 外国人が集まったグループで、英語で議論する



e. 外国人の前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

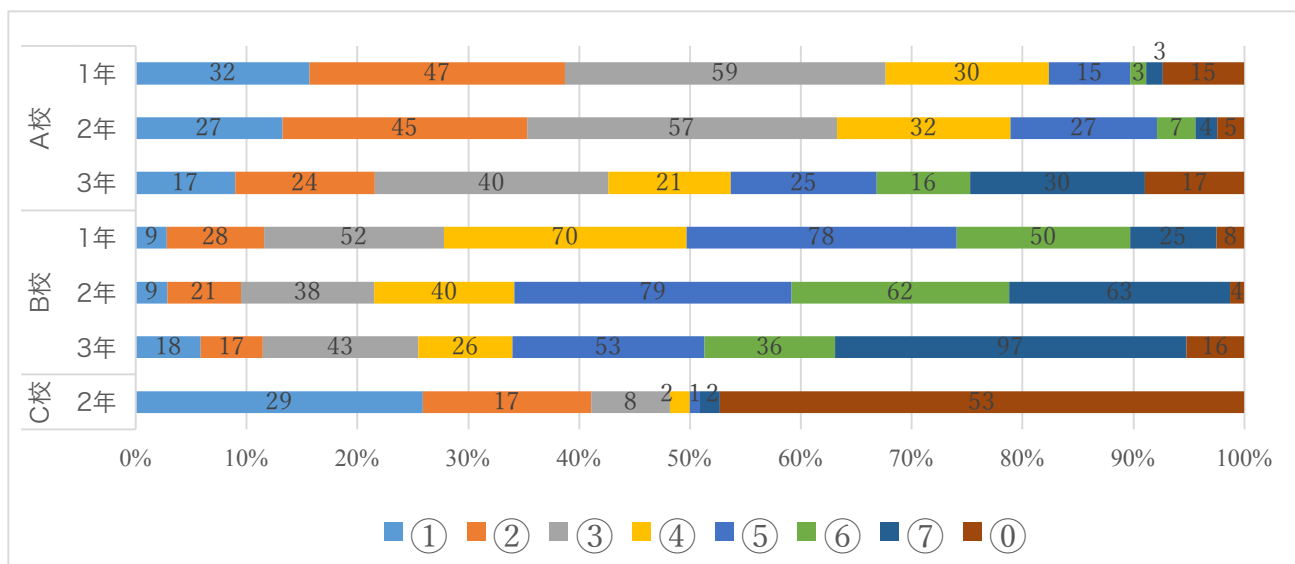


【授業以外の英語学習】

以下の設問は、学校内での授業以外の学習（自習学習や自宅学習・塾での学習）についての質問です。※「英語に接している」とは英語を読む、聞く、書く、話すのいずれも含みます。

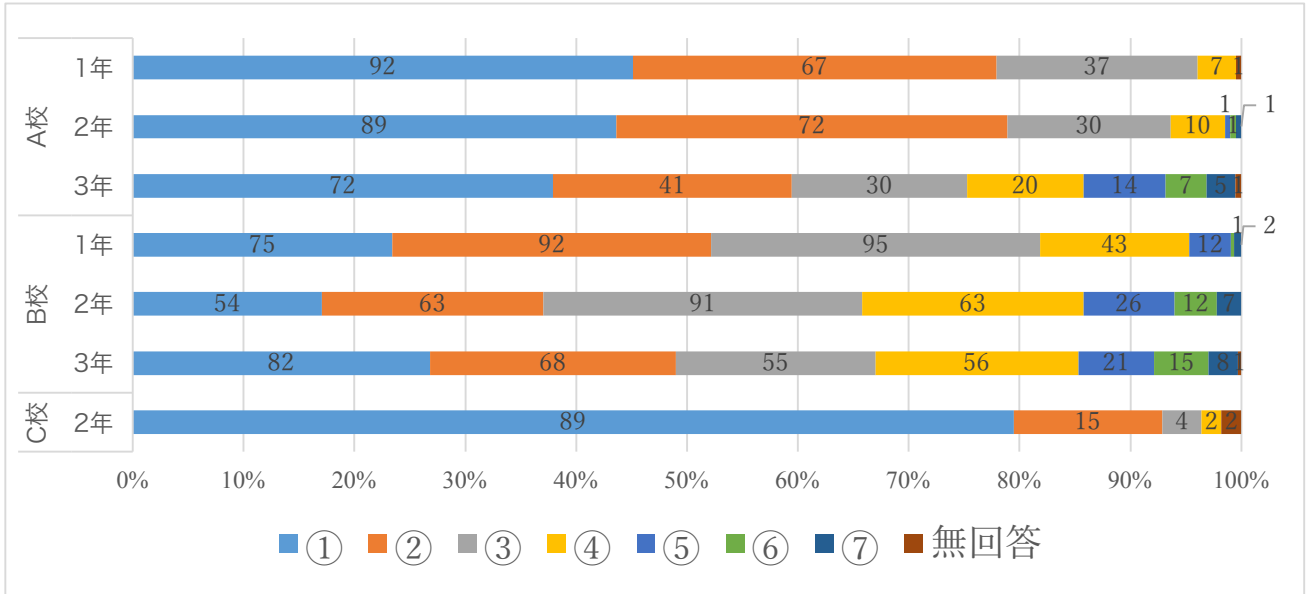
28. (学習塾・家庭教師を除き、) 授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

- ①1日 ②2日 ③3日 ④4日 ⑤5日 ⑥6日 ⑦7日 ⑧1日も接しない



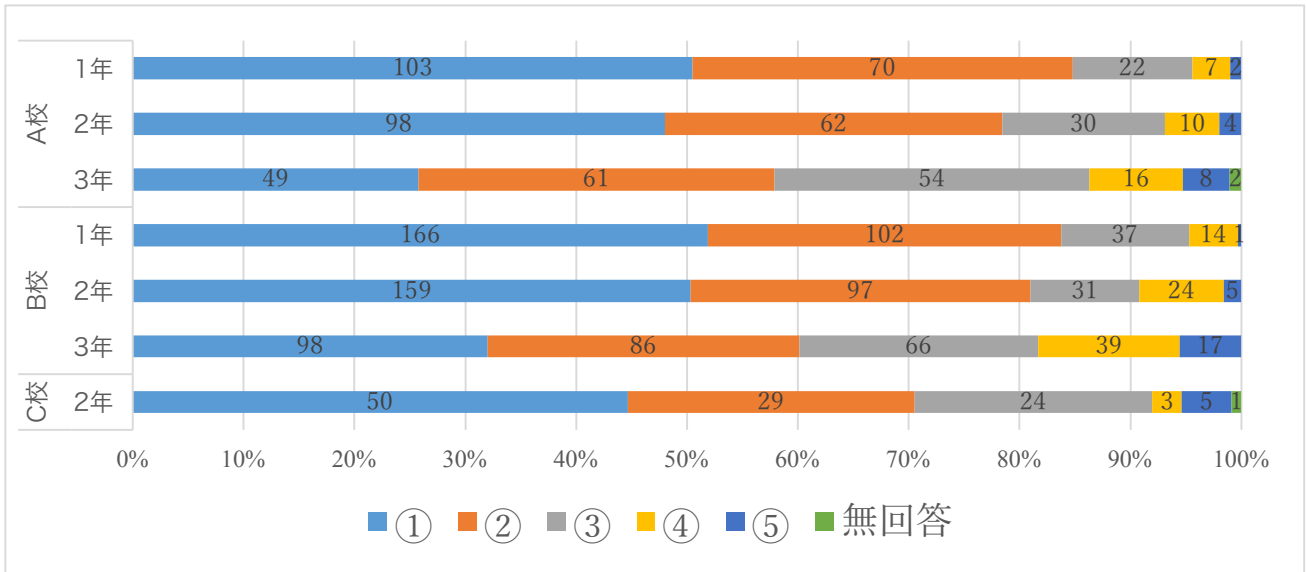
29. (学習塾・家庭教師を除き、) 授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

- ①2時間未満 ②2時間以上4時間未満 ③4時間以上6時間未満 ④6時間以上8時間未満
⑤8時間以上10時間未満 ⑥10時間以上12時間未満 ⑦12時間以上



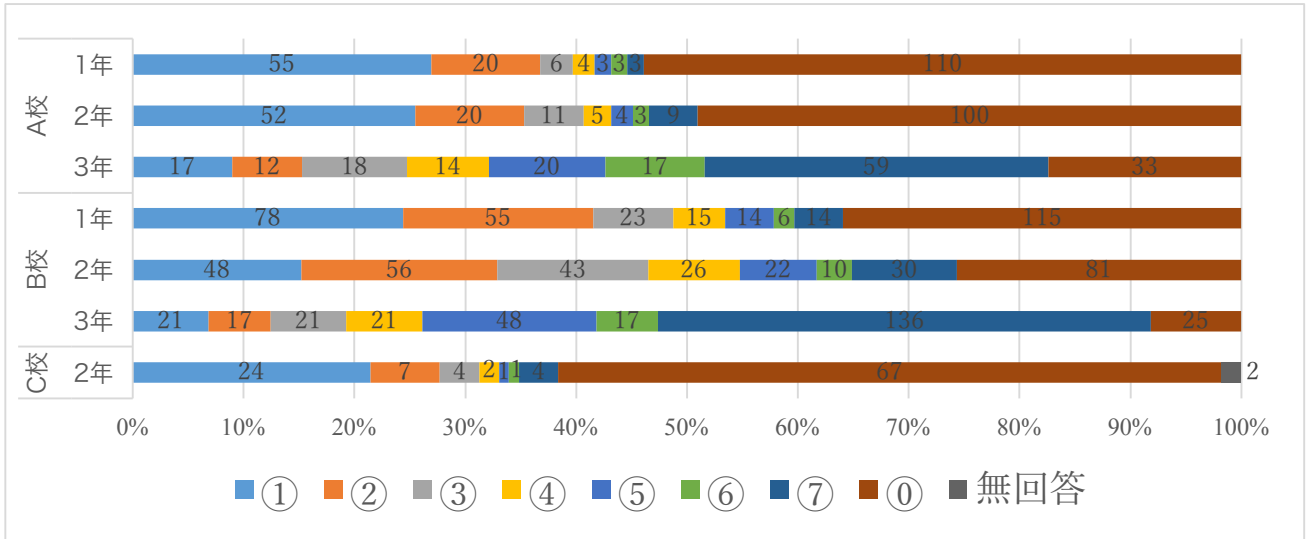
30. 29.について、授業の予習や復習・課題の学習時間は十分だと思いますか。

- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
 ④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している



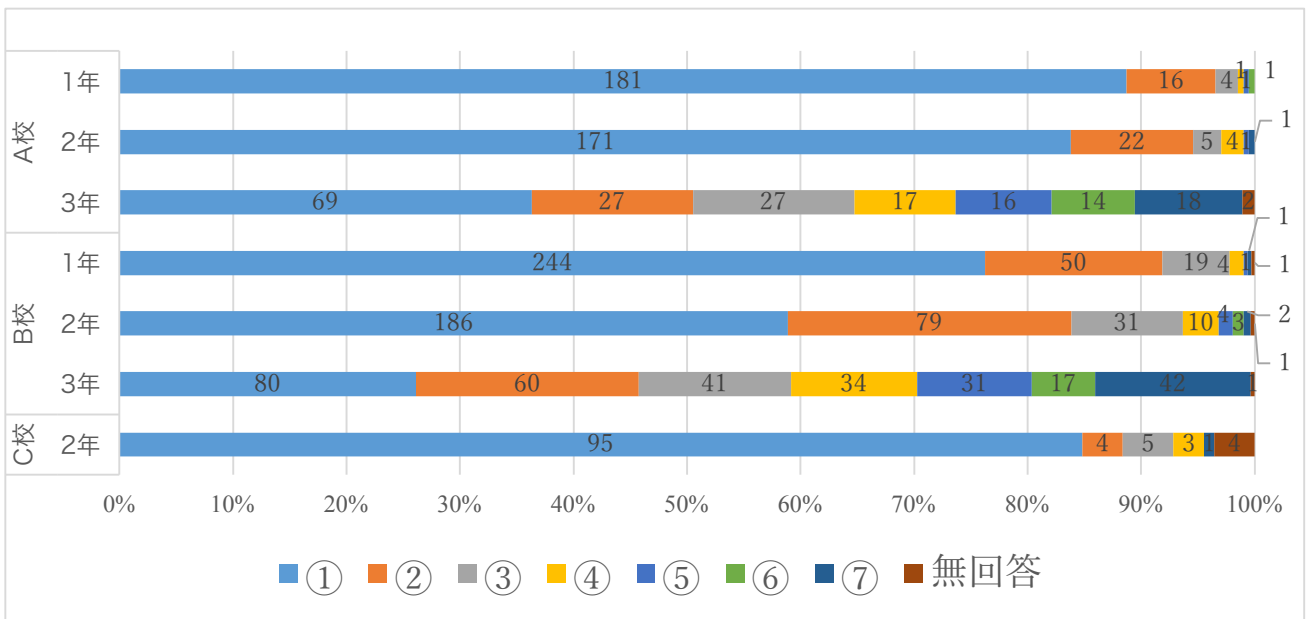
31. (学習塾・家庭教師を除き、) 予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

- ①1日 ②2日 ③3日 ④4日 ⑤5日 ⑥6日 ⑦7日 ⑧1日も接しない



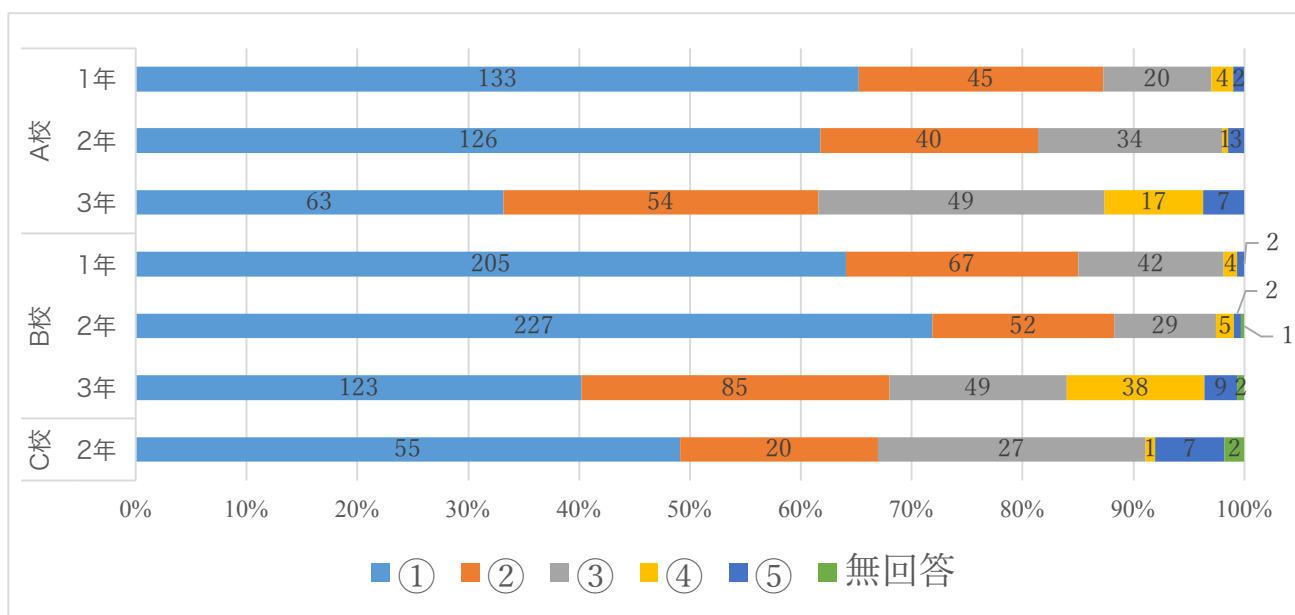
32. (学習塾・家庭教師を除き、) 予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

- ①2時間未満 ②2時間以上4時間未満 ③4時間以上6時間未満 ④6時間以上8時間未満
⑤8時間以上10時間未満 ⑥10時間以上12時間未満 ⑦12時間以上



33. 32.について、予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除いた学習時間は十分だと思いますか。

- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している

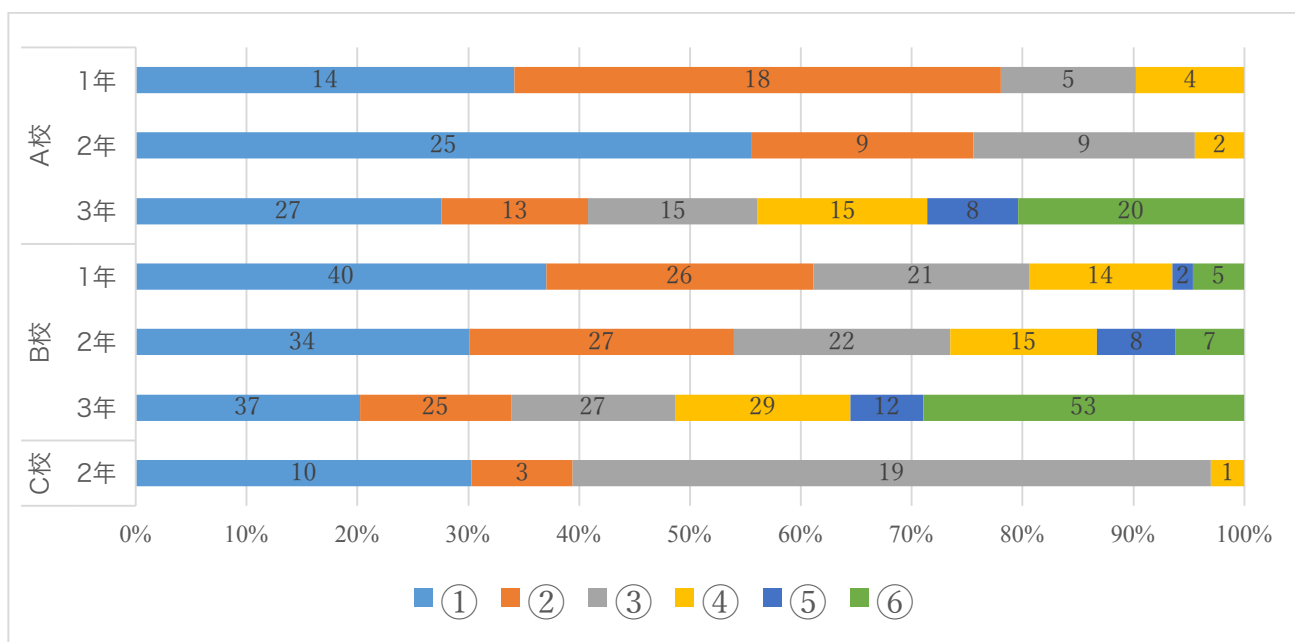


34. (授業以外で、パソコンやタブレット・携帯電話などを活用して英語に接している方のみ対象)
 英語に関わるどのようなことのために、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
 活用していることをすべて書いてください(記述式, 略)。

【学習塾(家庭教師も含む)の学習時間(共通項目19aの補足)】

35. (19aで②と回答した方のみ対象) 学習塾(家庭教師も含む)では1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

- ①2時間未満 ②2時間以上3時間未満 ③3時間以上4時間未満 ④4時間以上5時間未満
 ⑤5時間以上6時間未満 ⑥6時間以上



第2節 英語学習に関するアンケート（中学校）単純集計^{※1}

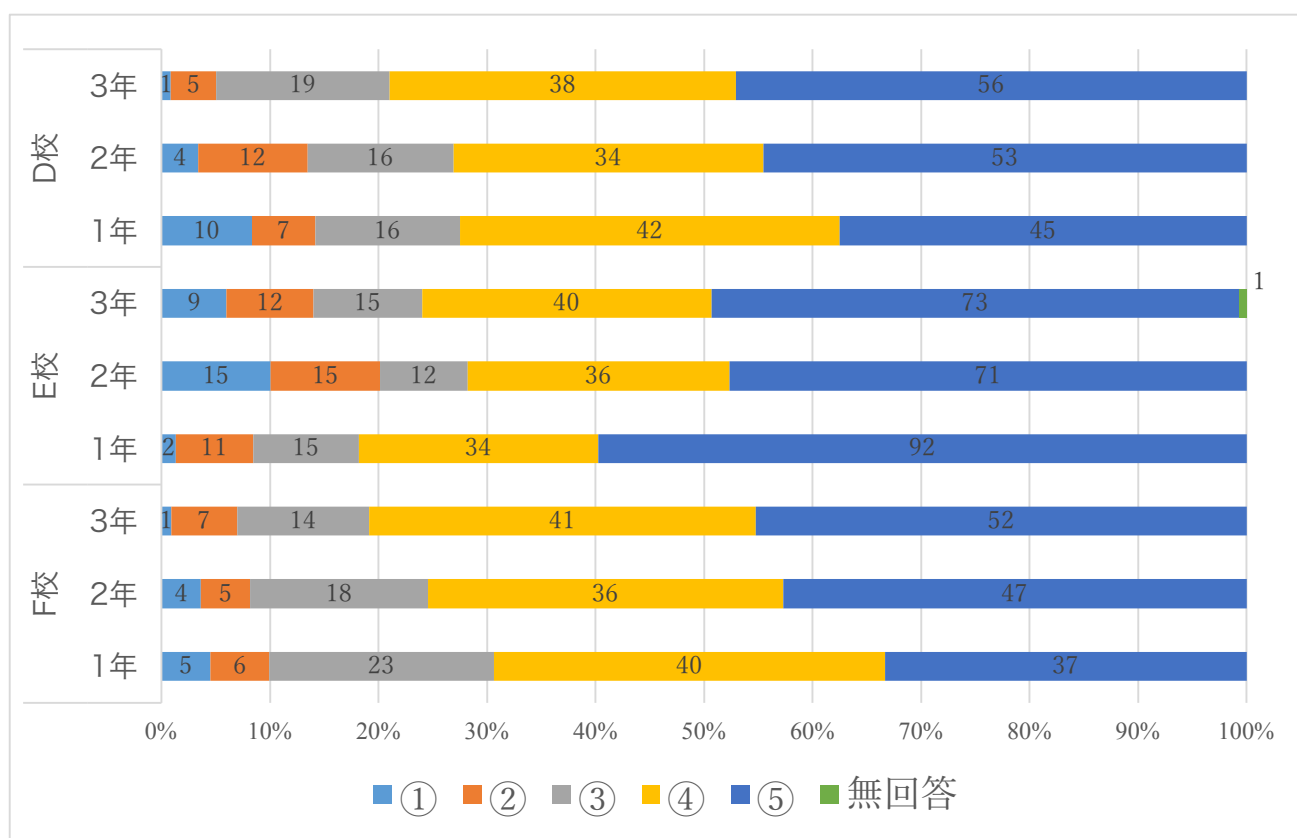
※1 第1節と同じ理由により、データ・クリーニング作業中のため、自由記述を除外し、特定項目回答者のみを対象とする条件付き質問は参考値として集計。選択肢が多く、図から数値が読み取りにくいもののみ表を付した。

第1項 共通項目^{※2}

※2 第1節第1項と同様、「共通項目」とは、本事業を委託した3大学機関（静岡大学・信州大学・兵庫教育大学）で共通に質問し回答を得た項目を指す。以下の報告での番号は資料編の質問紙の番号と必ずしも対応しないが、共通項目と静岡大学独自の追加項目を分けて報告する。

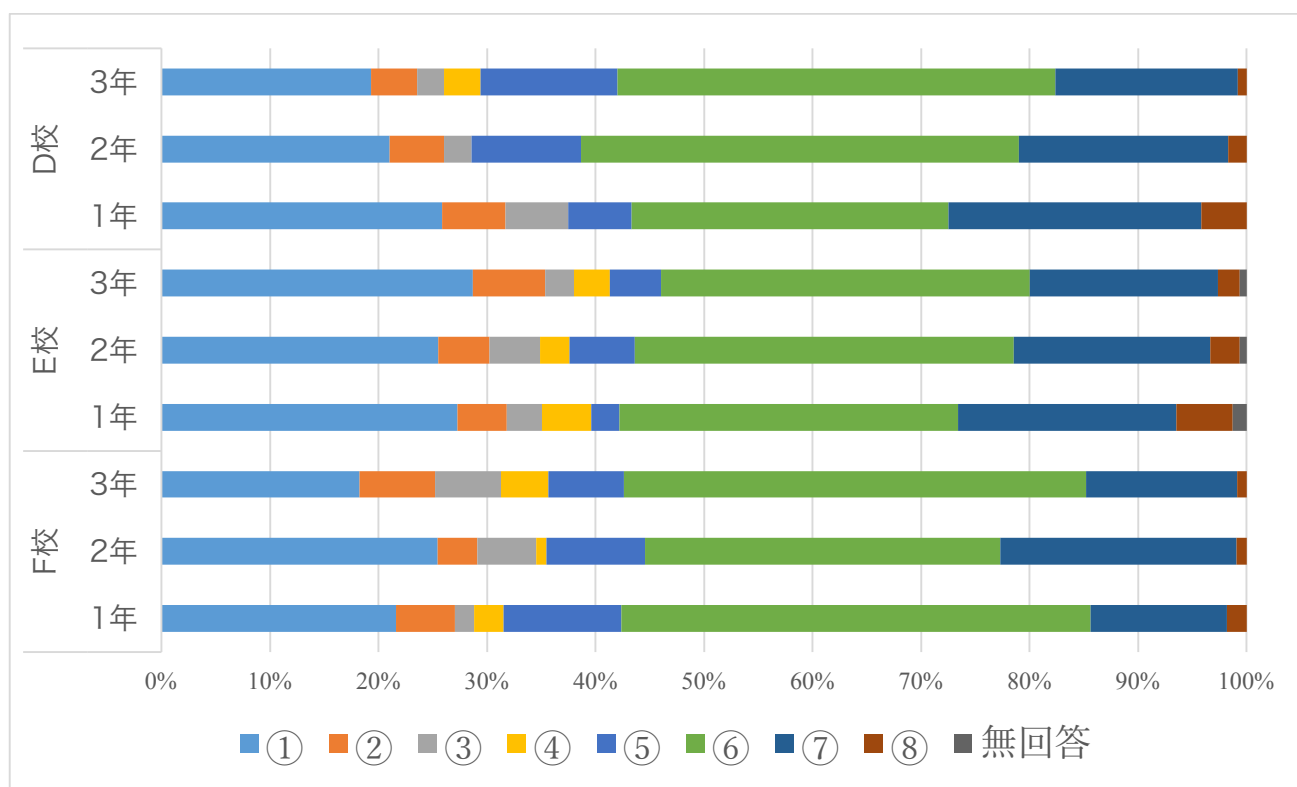
1. 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらでもない
④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う



2. どの程度まで英語を身につけたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

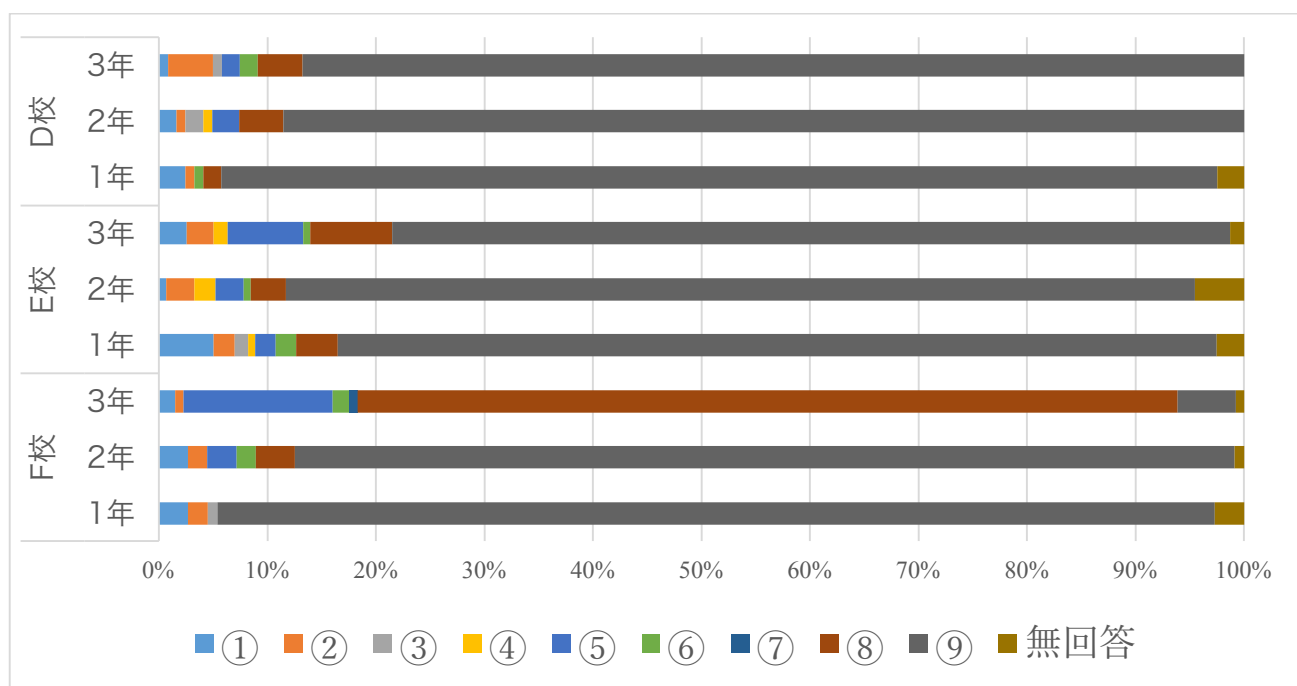
- ①英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- ②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
- ③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい
- ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
- ⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい
- ⑥海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
- ⑦大学入試に対応できる力を付けたい
- ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない



| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | 無回答 | n |
|----|----|----|----|---|---|----|----|----|---|-----|-----|
| D校 | 1年 | 31 | 7 | 7 | 0 | 7 | 35 | 28 | 5 | 0 | 120 |
| | 2年 | 25 | 6 | 3 | 0 | 12 | 48 | 23 | 2 | 0 | 119 |
| | 3年 | 23 | 5 | 3 | 4 | 15 | 48 | 20 | 1 | 0 | 119 |
| E校 | 1年 | 42 | 7 | 5 | 7 | 4 | 48 | 31 | 8 | 2 | 154 |
| | 2年 | 38 | 7 | 7 | 4 | 9 | 52 | 27 | 4 | 1 | 149 |
| | 3年 | 43 | 10 | 4 | 5 | 7 | 51 | 26 | 3 | 1 | 150 |
| F校 | 1年 | 24 | 6 | 2 | 3 | 12 | 48 | 14 | 2 | 0 | 111 |
| | 2年 | 28 | 4 | 6 | 1 | 10 | 36 | 24 | 1 | 0 | 110 |
| | 3年 | 21 | 8 | 7 | 5 | 8 | 49 | 16 | 1 | 0 | 115 |

3. 中学生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

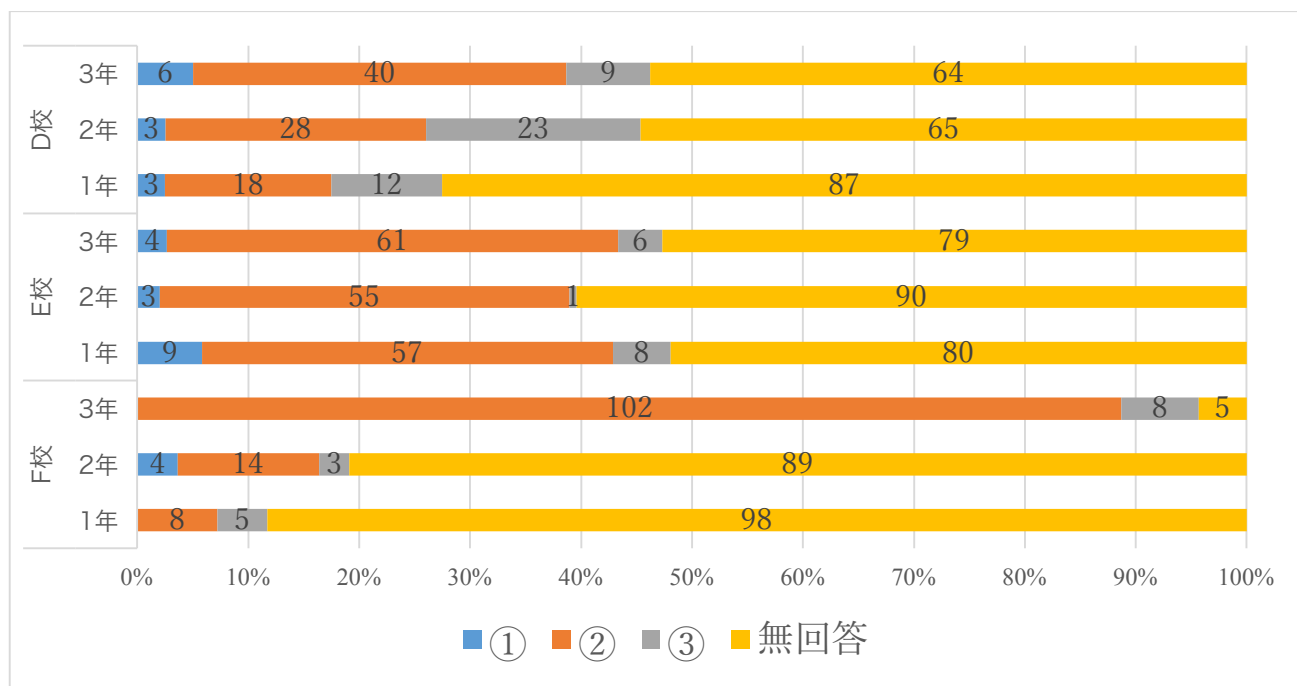
- ①イングリッシュキャンプ
- ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
- ③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く）
- ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
- ⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満）
- ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
- ⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上）
- ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
- ⑨当てはまるものはない



| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | 無回答 | <i>n</i> |
|----|----|---|---|---|---|----|---|---|----|-----|-----|----------|
| D校 | 1年 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 112 | 3 | 120 |
| | 2年 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 5 | 108 | 0 | 119 |
| | 3年 | 1 | 5 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 5 | 105 | 0 | 119 |
| E校 | 1年 | 8 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | 0 | 6 | 128 | 4 | 154 |
| | 2年 | 1 | 4 | 0 | 3 | 4 | 1 | 0 | 5 | 129 | 7 | 149 |
| | 3年 | 4 | 4 | 0 | 2 | 11 | 1 | 0 | 12 | 122 | 2 | 150 |
| F校 | 1年 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 102 | 3 | 111 |
| | 2年 | 3 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 4 | 97 | 1 | 110 |
| | 3年 | 2 | 1 | 0 | 0 | 18 | 2 | 1 | 99 | 7 | 1 | 115 |

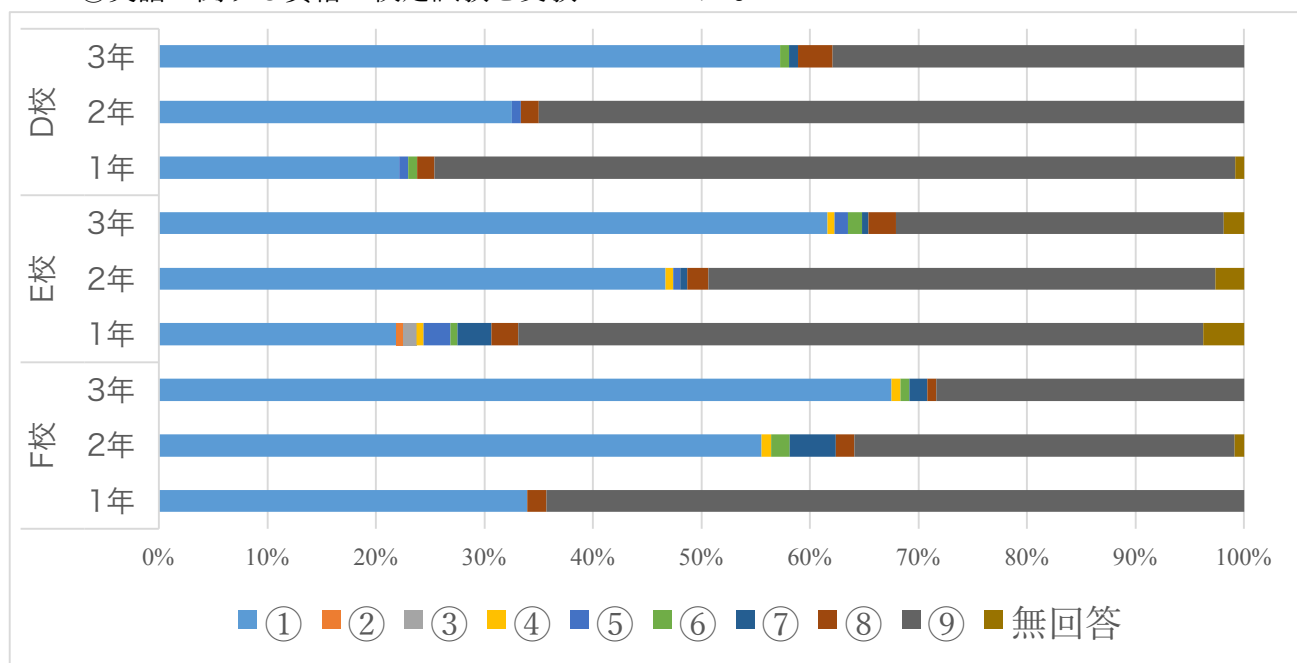
4. (3で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。当てはまるものを1つ選んで下さい(複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んで下さい、参考数値)。

①中学1年生 ②中学2年生 ③中学3年生



5. 中学生になってから、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい(複数回答可)。

①英検(実用英語技能検定) ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL
 ⑤TOEFL Junior ⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他
 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

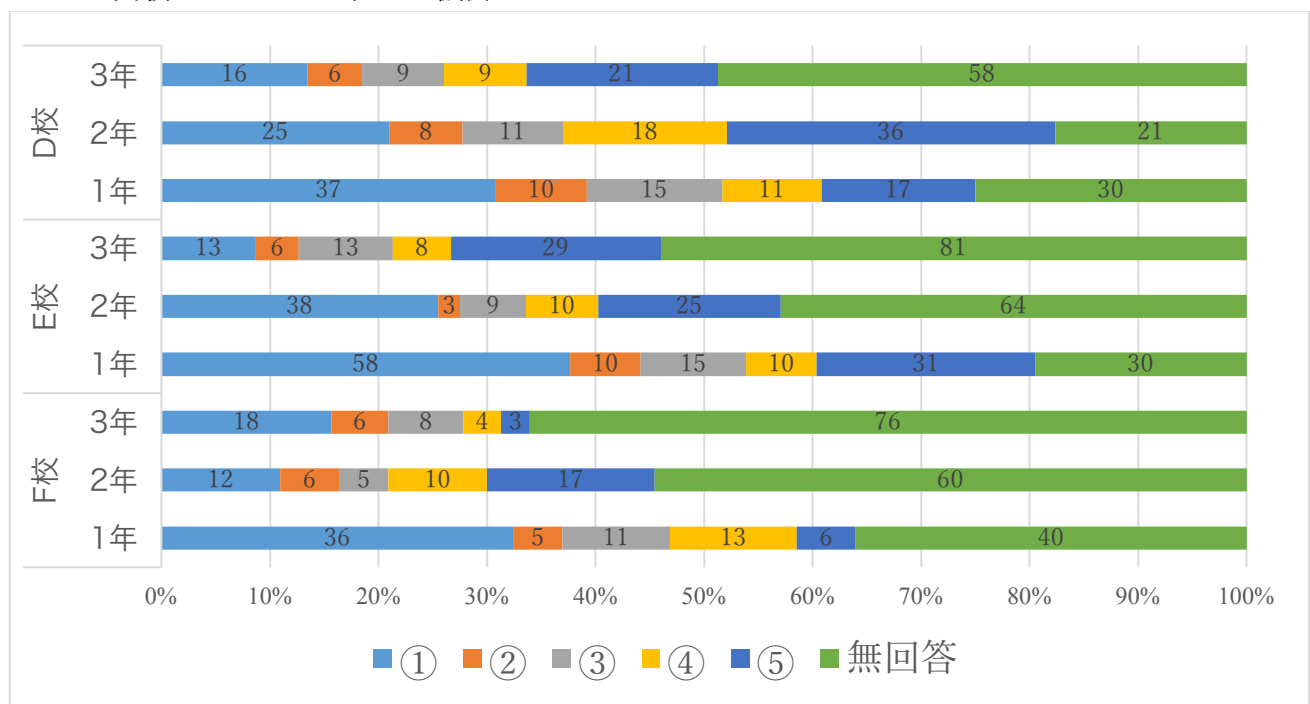


| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | 無回答 | n |
|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|-----|-----|-----|
| D校 | 1年 | 27 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 90 | 1 | 120 |
| | 2年 | 39 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 78 | 0 | 119 |
| | 3年 | 71 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 47 | 0 | 119 |
| E校 | 1年 | 35 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 | 5 | 4 | 101 | 6 | 154 |
| | 2年 | 71 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 71 | 4 | 149 |
| | 3年 | 98 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 4 | 48 | 3 | 150 |
| F校 | 1年 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 72 | 0 | 111 |
| | 2年 | 65 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 5 | 2 | 41 | 1 | 110 |
| | 3年 | 81 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 34 | 0 | 115 |

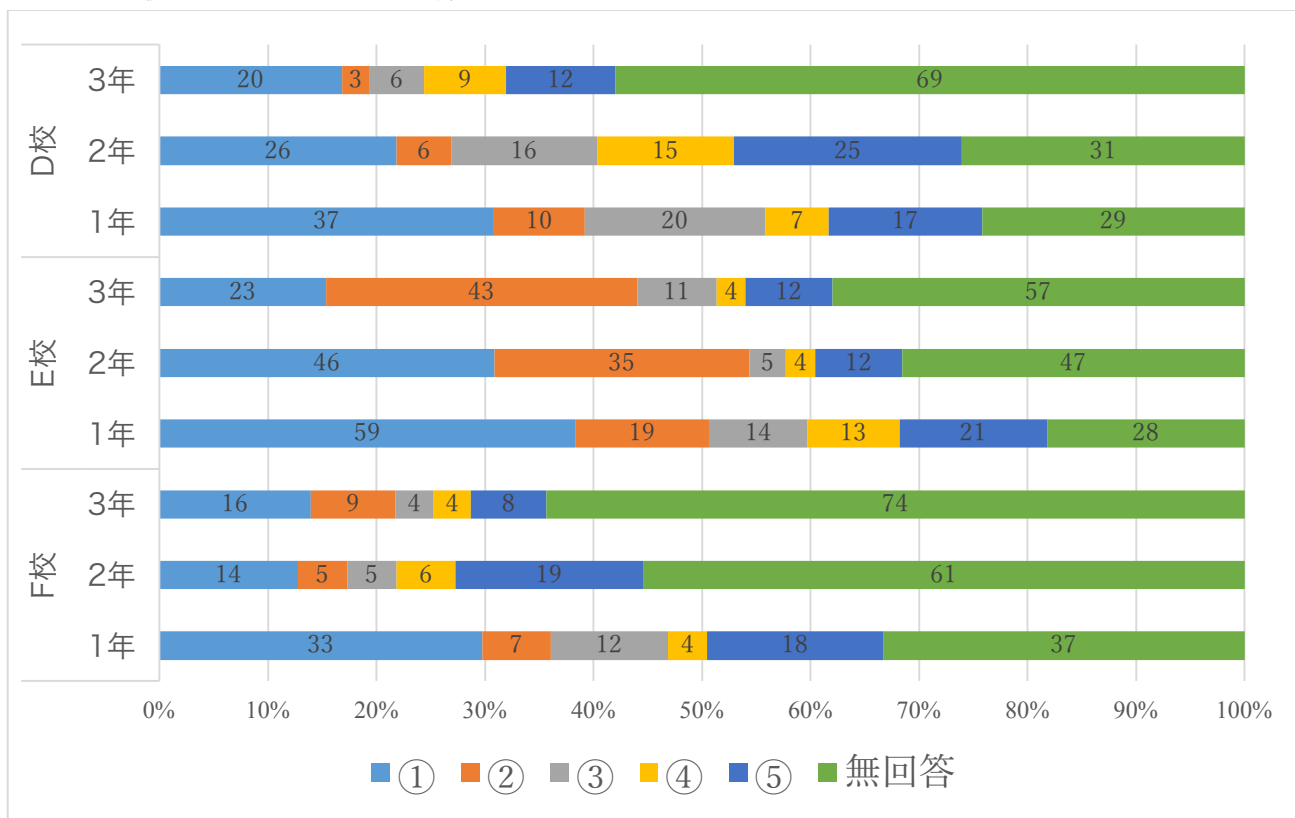
6. (5で⑨と回答した方のみ) 受験したことがない理由は何ですか (参考数値)。

- ①あてはまらない ②どちらかといえばあてはまらない ③どちらともいえない
④どちらかといえばあてはまる ⑤当てはまる

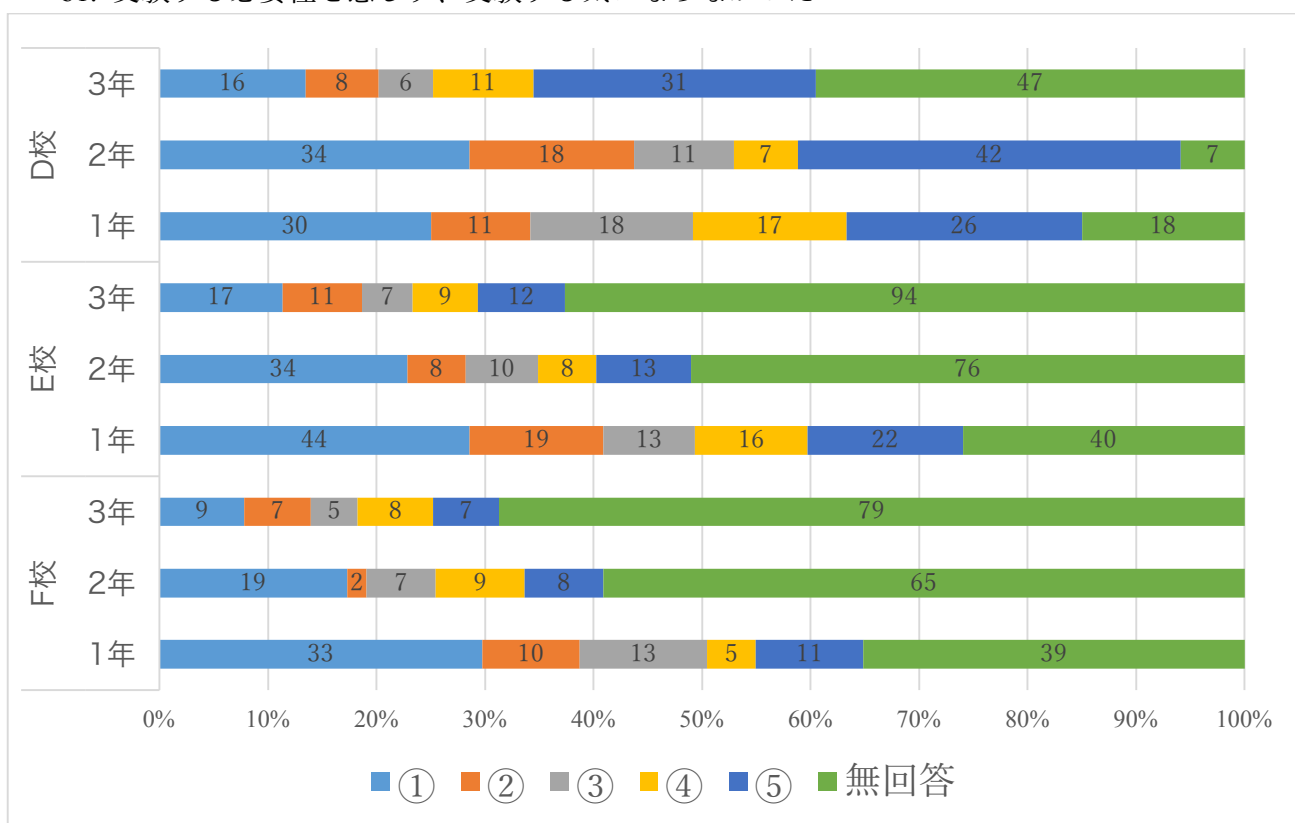
a1. 受験したかったが、その機会がなかった



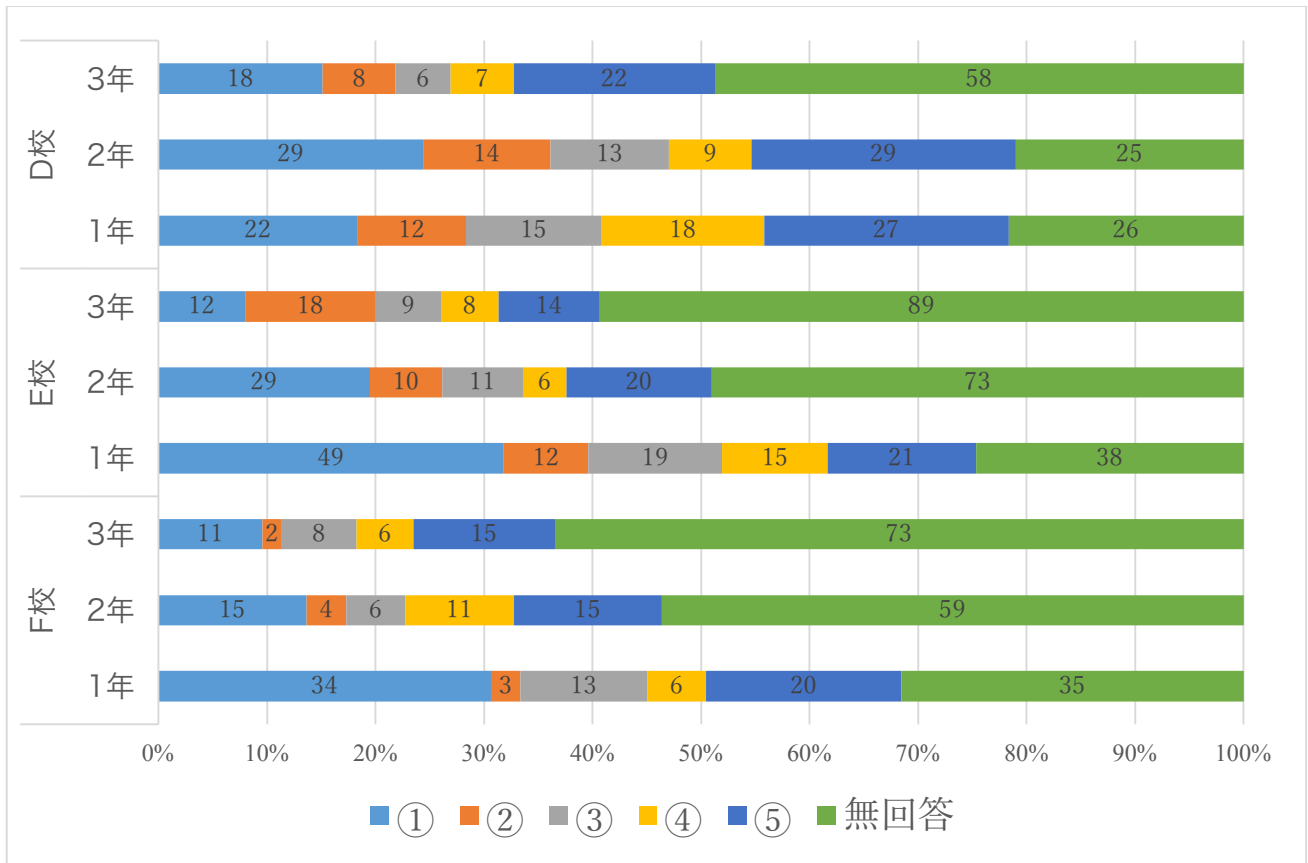
a2. 受験したかったが、その都合をつけられなかった



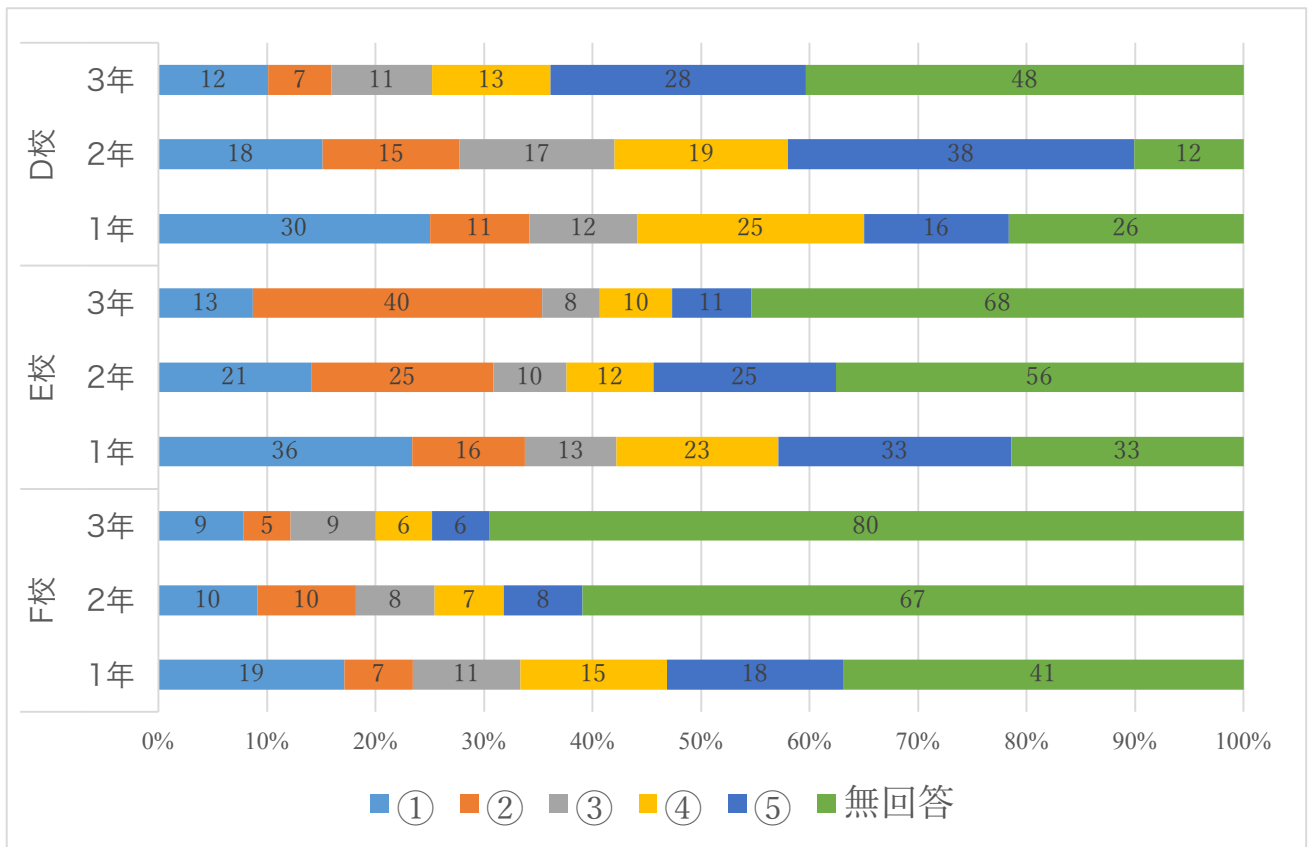
b1. 受験する必要性を感じず、受験する気にならなかった



b2. 漠然と受験する気が起こらなかった

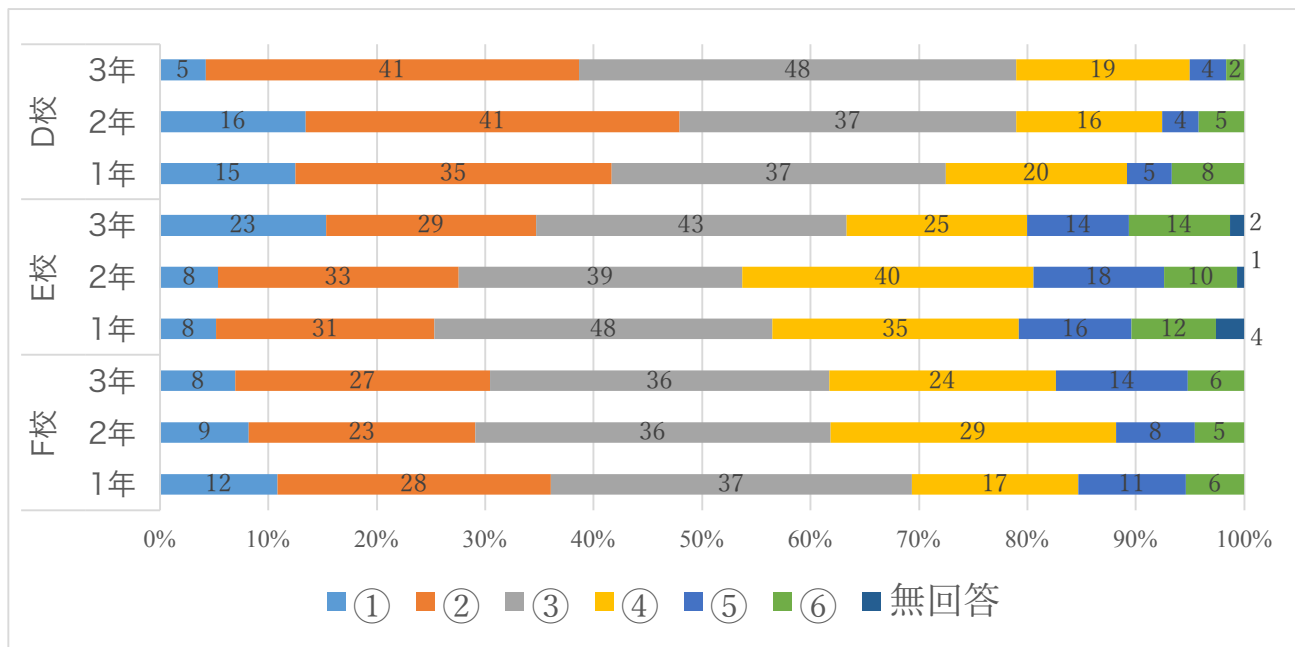


c. 自分の英語力に自信がなく、受験したくなかった



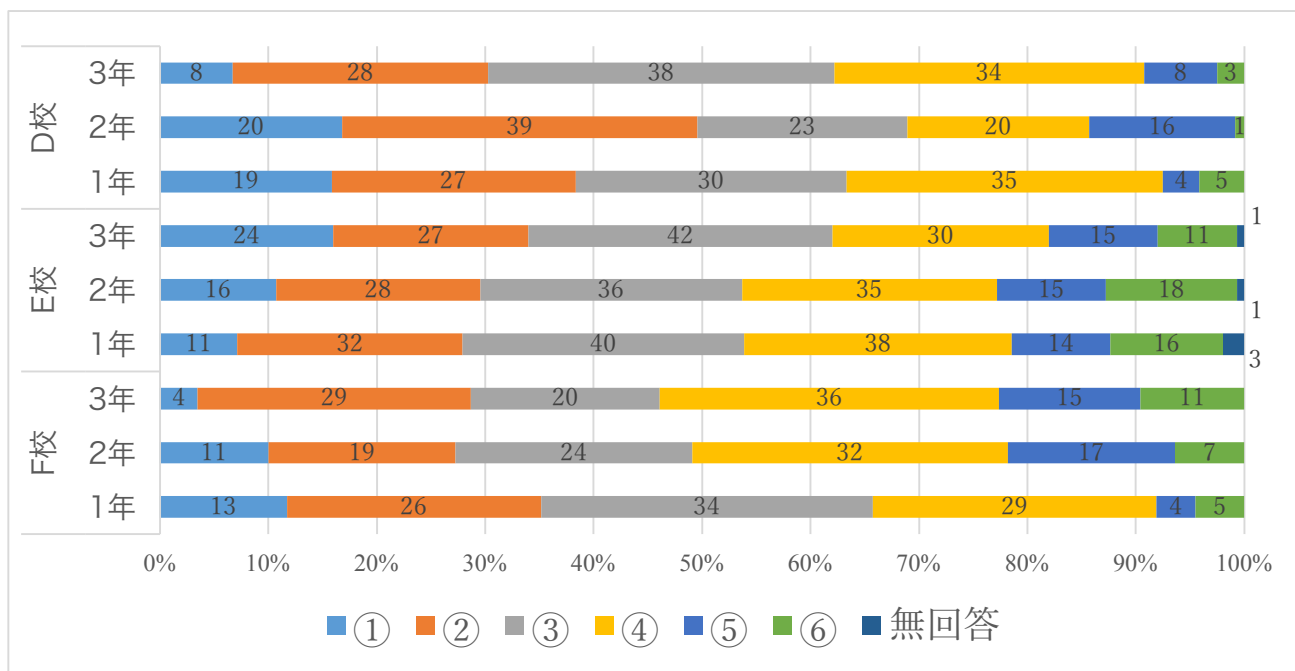
7. 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
 ⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上



8. 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
 ⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上



9. 学校の授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。※³

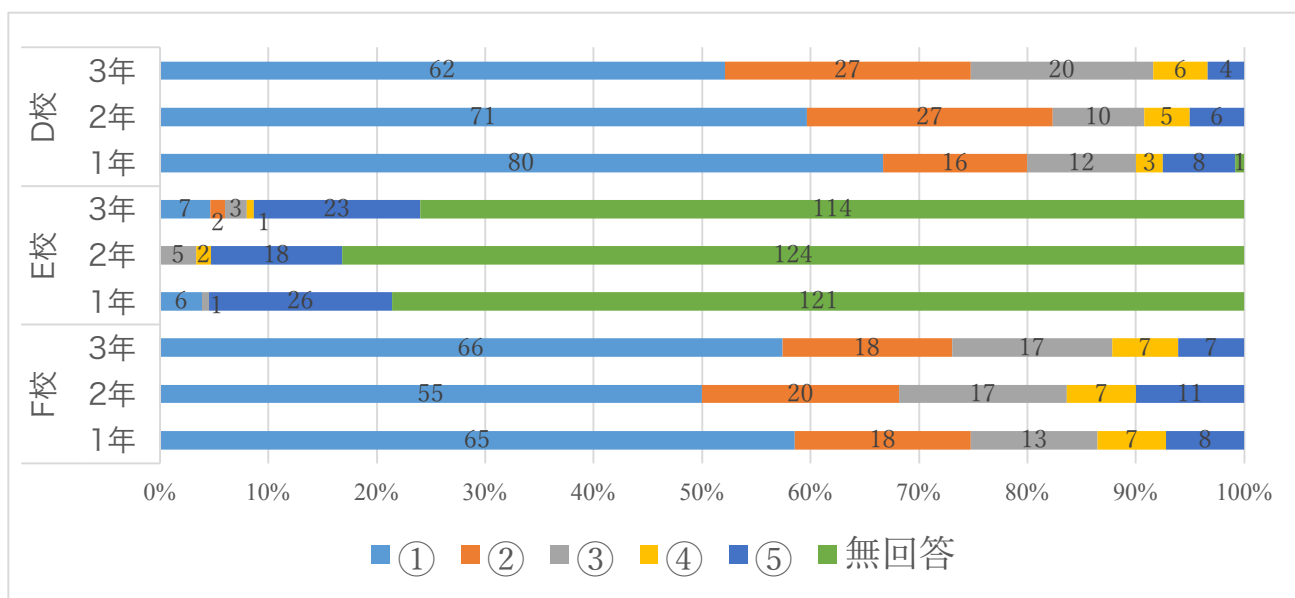
- ①パソコンを活用している ②タブレットを活用している ③スマートフォンや携帯電話を活用している ④その他の情報機器を活用している ⑤活用していない

※³ 高校と同様、拠点校間の塾・家庭教師等の経験の差を考慮して下記の通り質問した。ただしE校はa～dを区別した回答が得られなかったため欠測項目。9a, 9b共に、a～d全体に対して記入された回答を参考としてaに記載した。

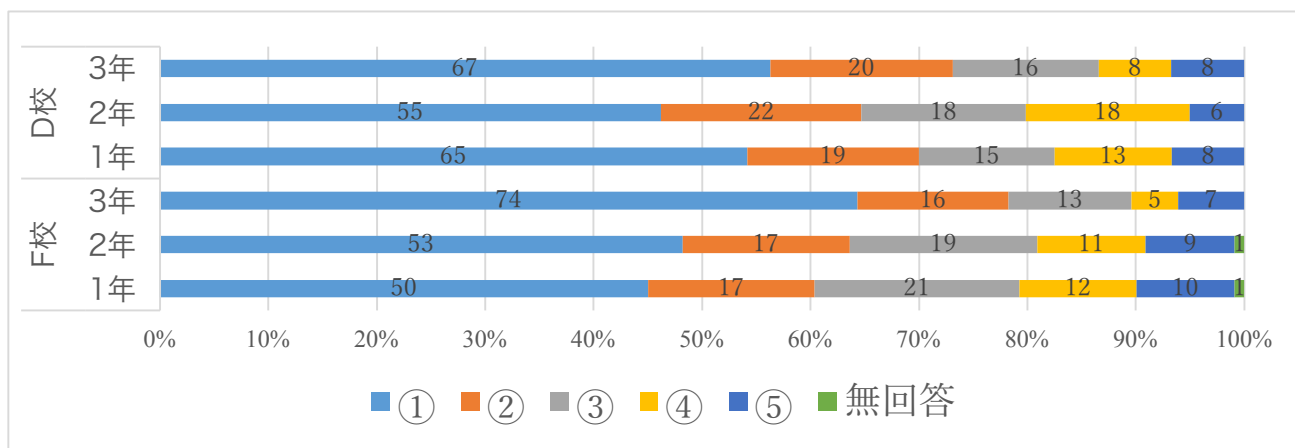
9a. (学習塾・家庭教師を除き、) 学校での授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記a.～d.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

- ①全く活用していない授業以外での英語の0% ②活用している1%～25%未満
 ③まあまあ活用している25%～50%未満 ④頻繁に活用している50%～75%未満
 ⑤とても頻繁に活用している75%～100%

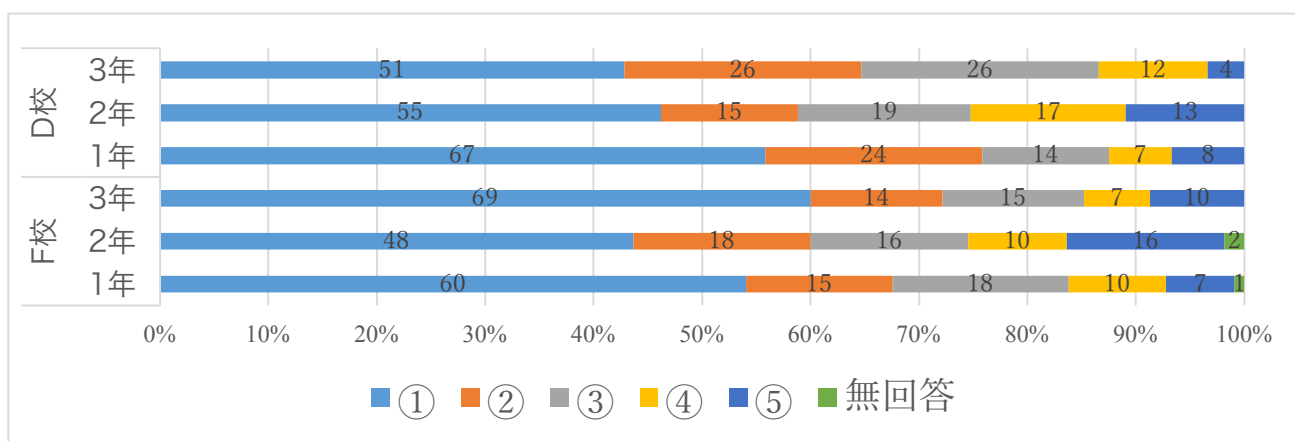
a. パソコン



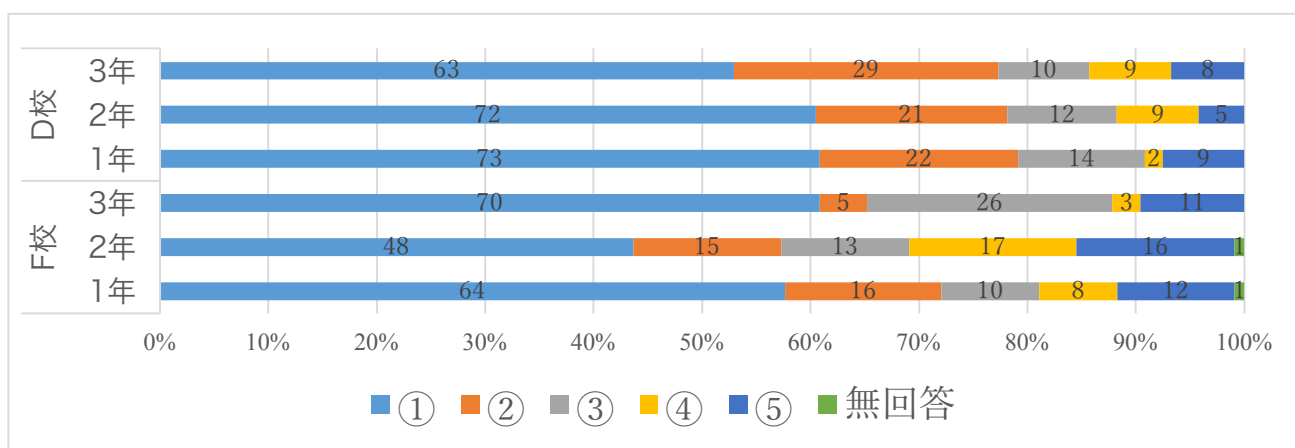
b. タブレット



c. スマートフォンや携帯電話



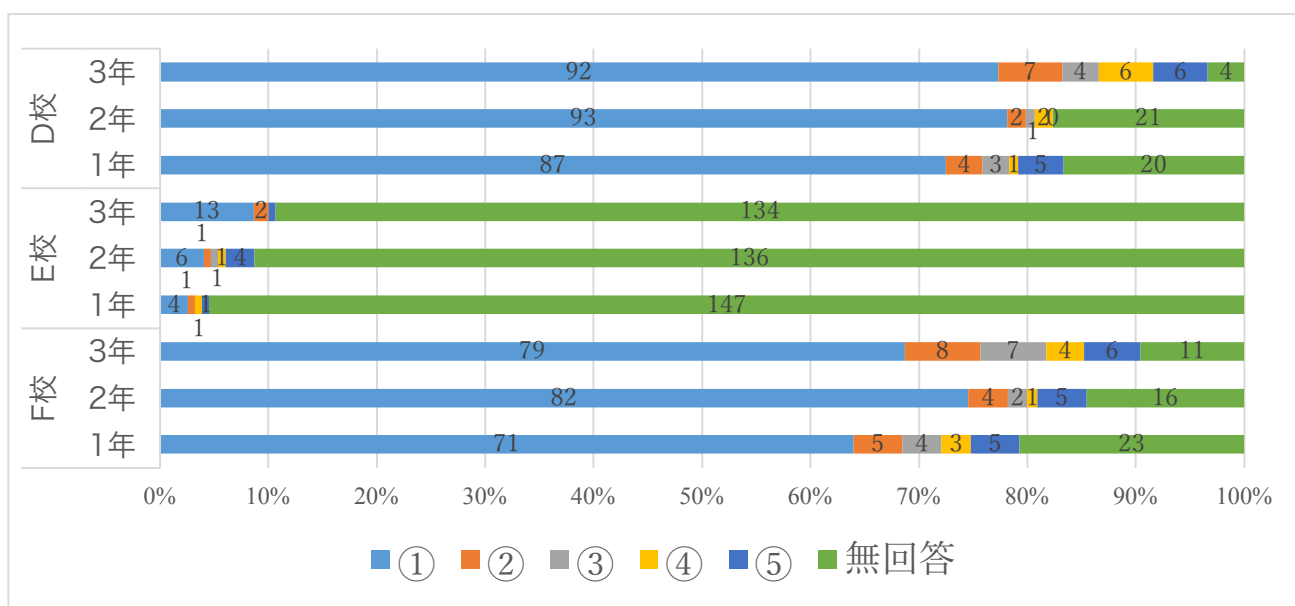
d. その他の情報機器



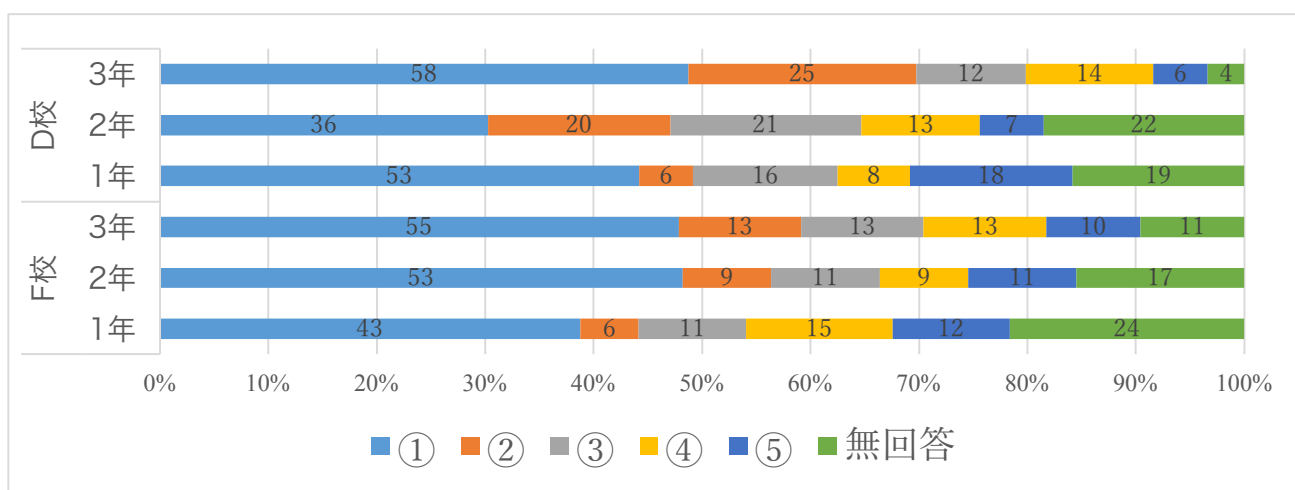
9b. (学習塾で勉強していると回答した方のみ対象) 学習塾(家庭教師を含む)で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください(参考数値)。

- ①全く活用していない授業以外の英語の 0% ②活用している 1%~25%未満 ③まあまあ活用している 25%~50%未満 ④頻繁に活用している 50%~75%未満 ⑤とても頻繁に活用している 75%~100%

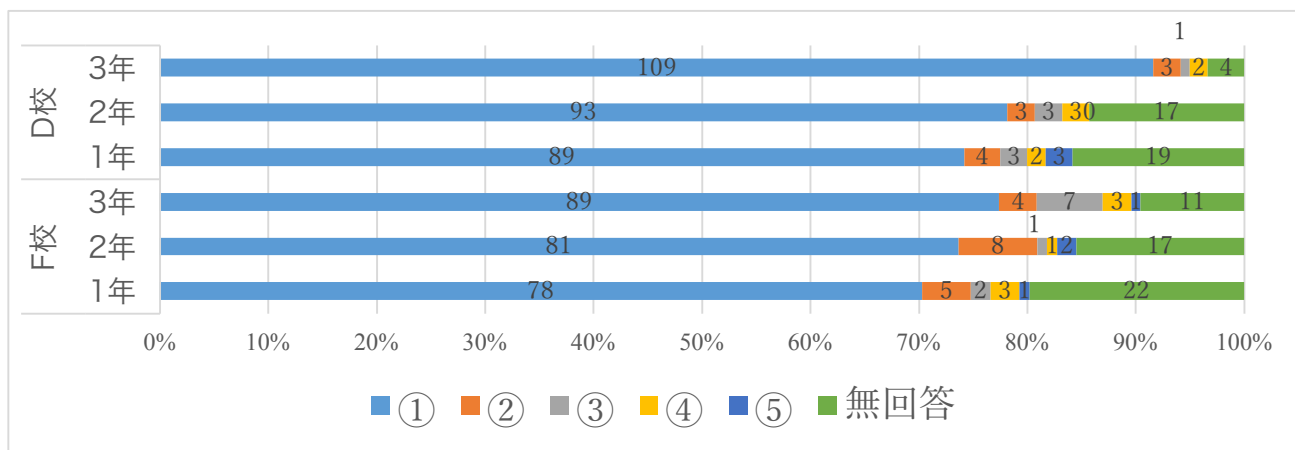
a. パソコン



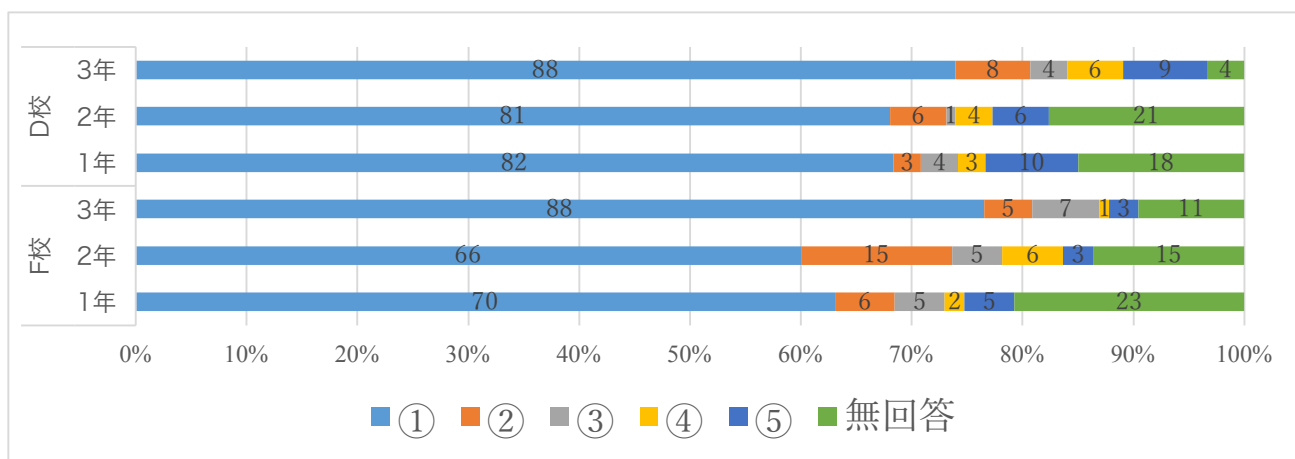
b. タブレット



c. スマートフォンや携帯電話



d. その他の情報機器

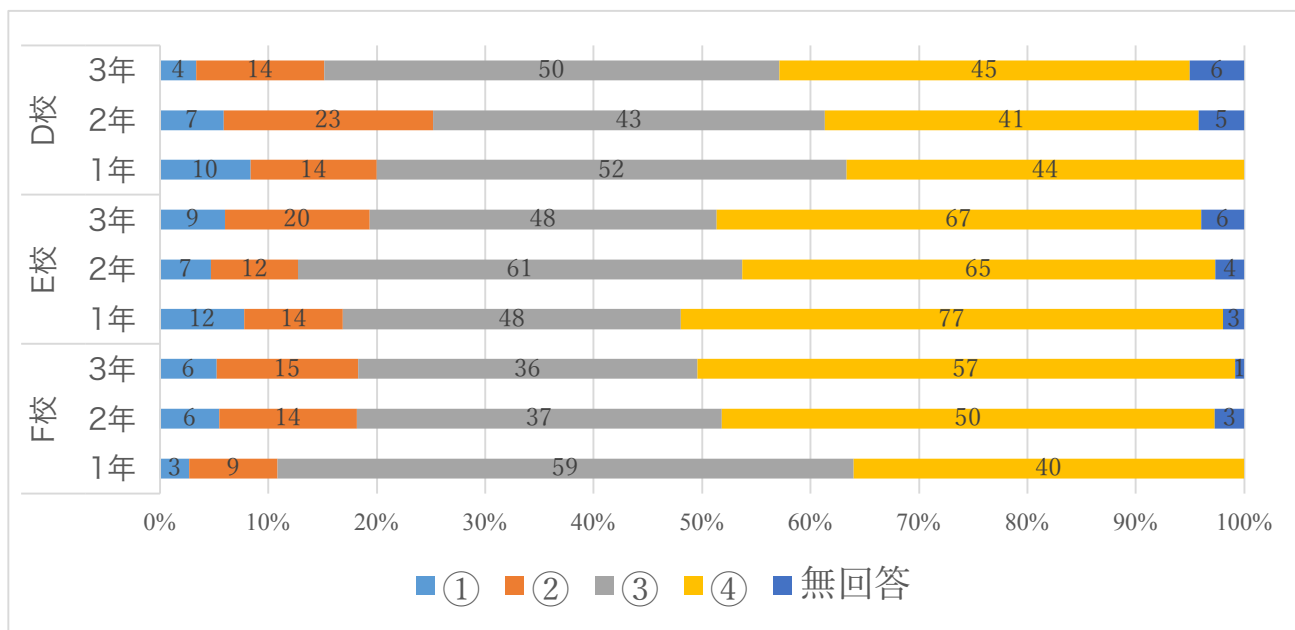


以下の質問項目は全て、

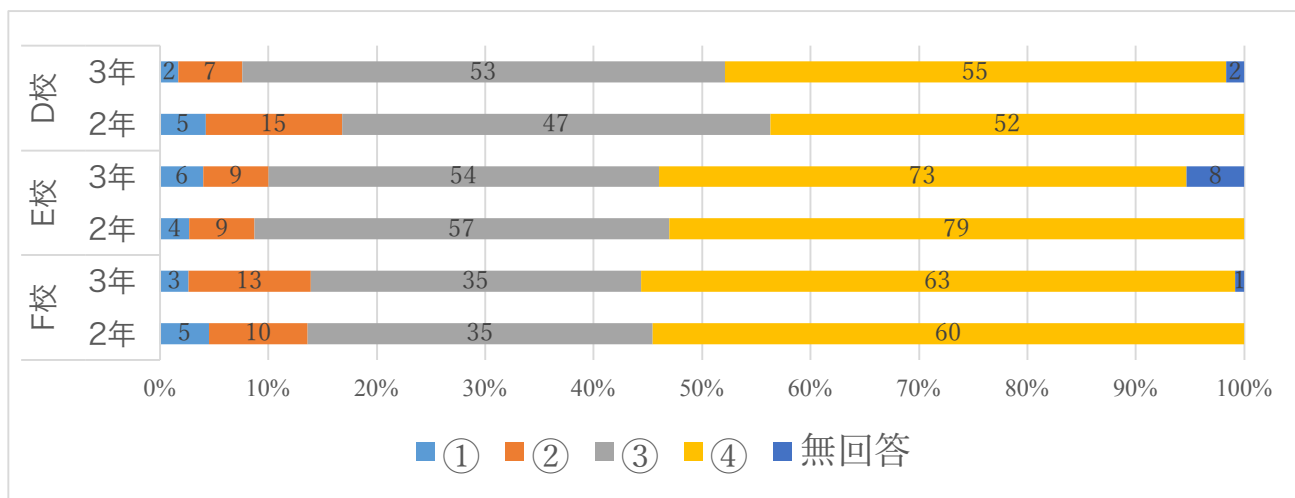
- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらかといえばそう思う ④ そう思う

10. 次の学年の英語の授業では、英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

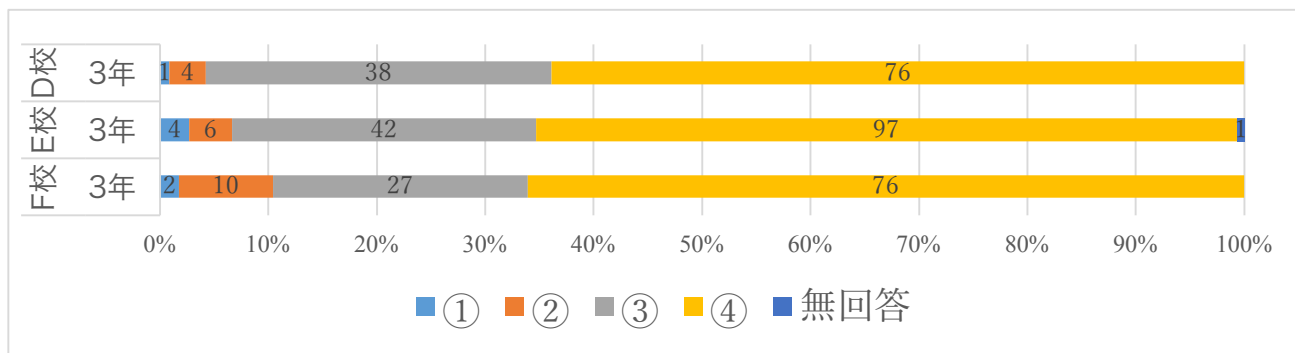
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

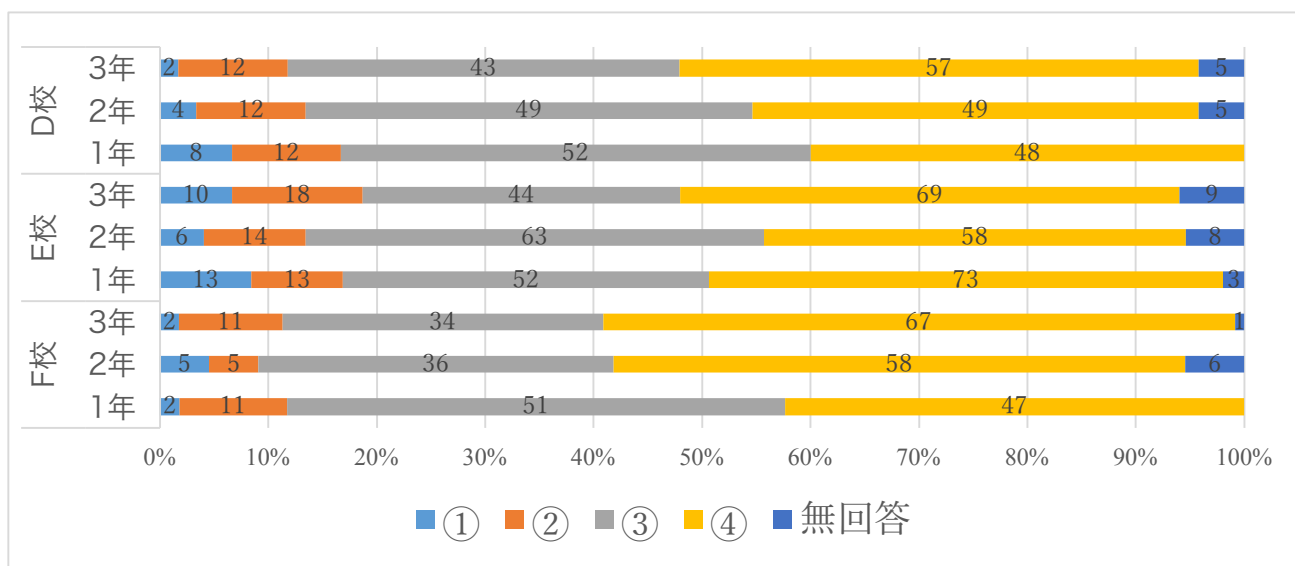


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

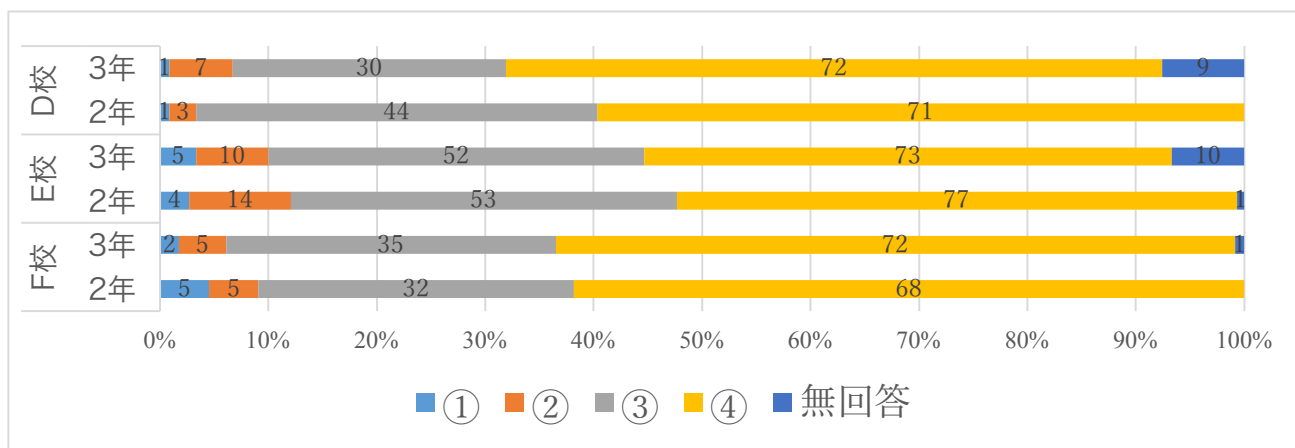


11. 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていただきたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

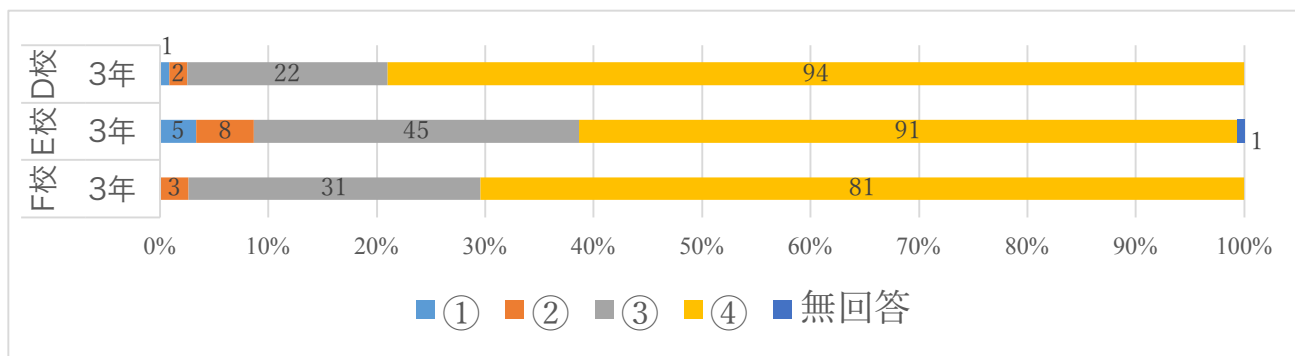
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

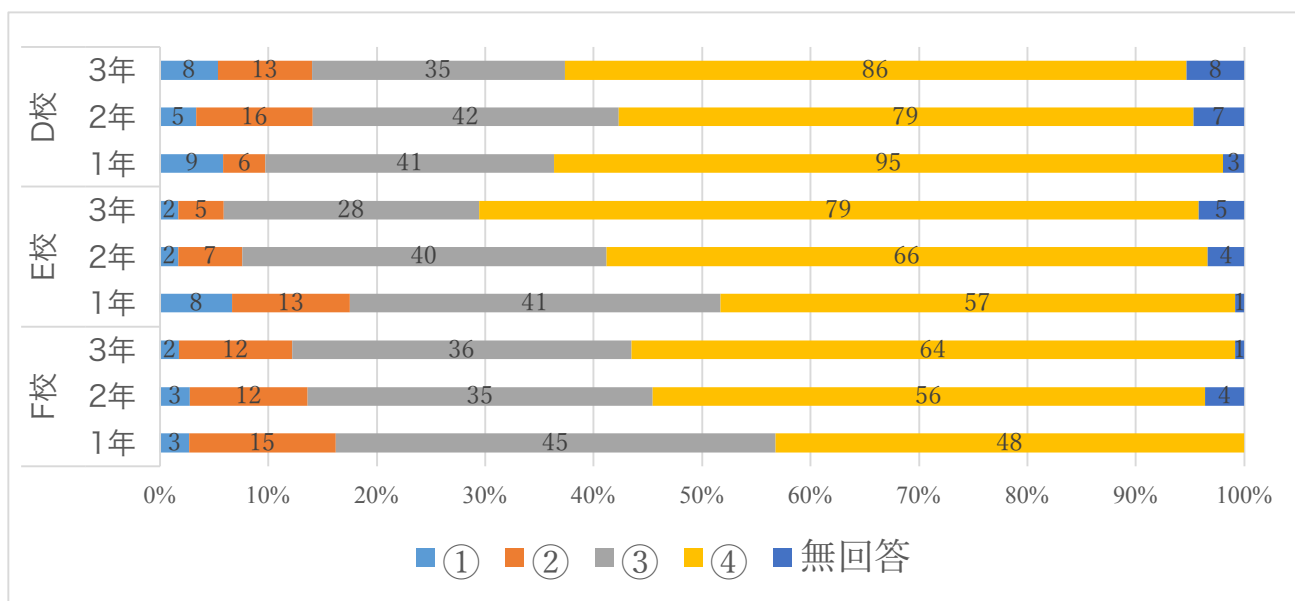


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

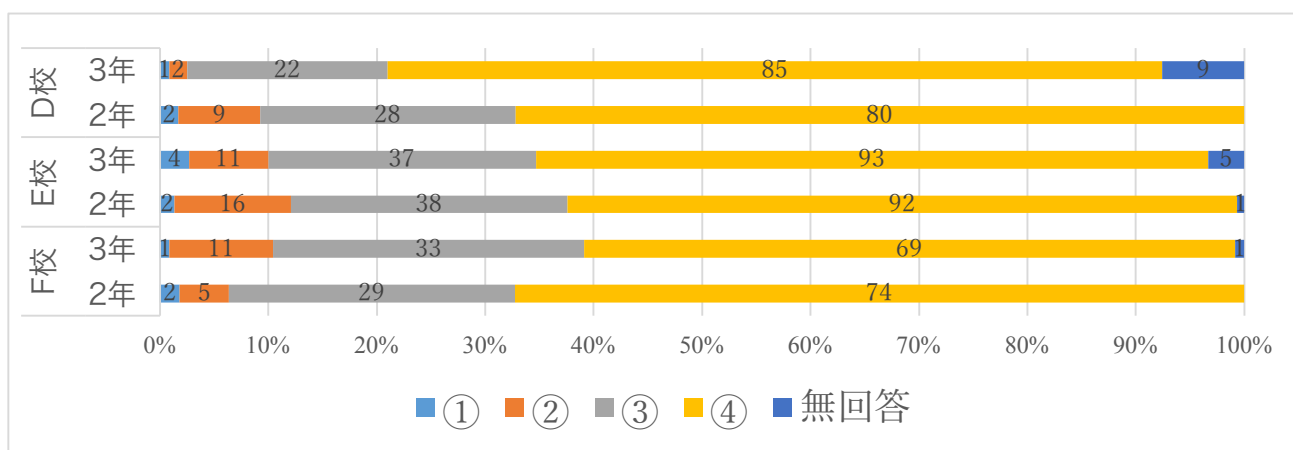


12. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

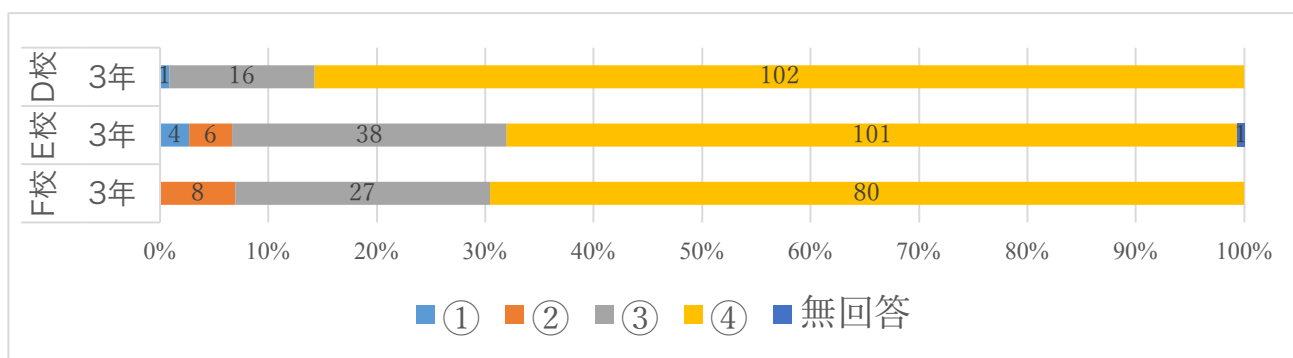
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

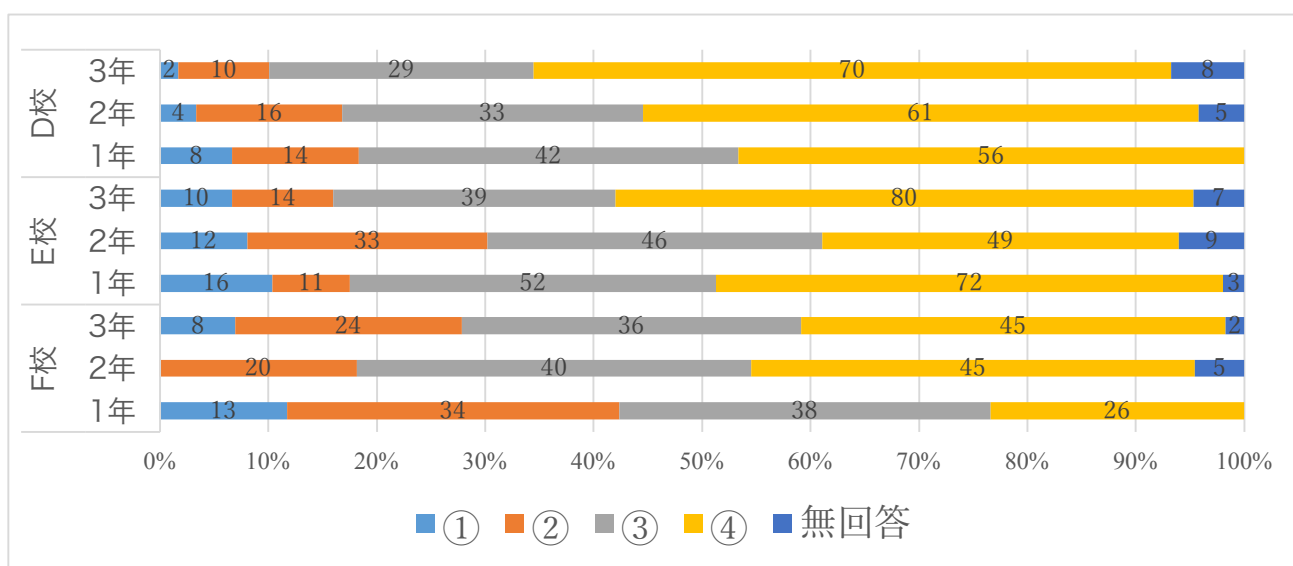


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

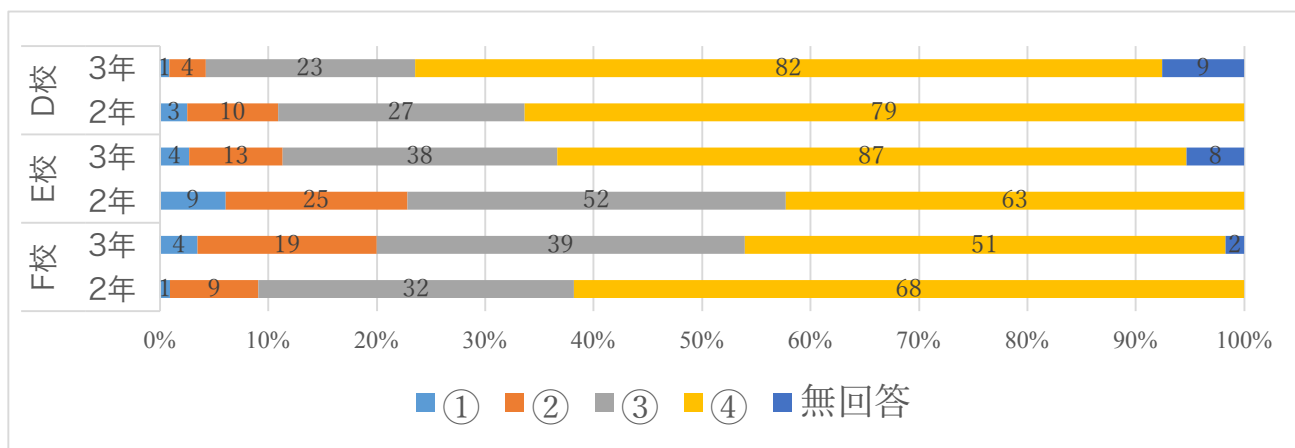


13. 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

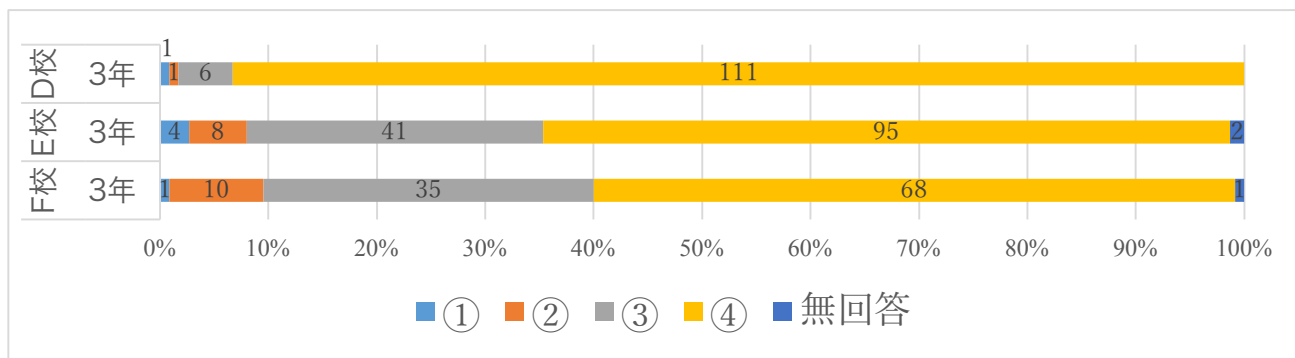
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

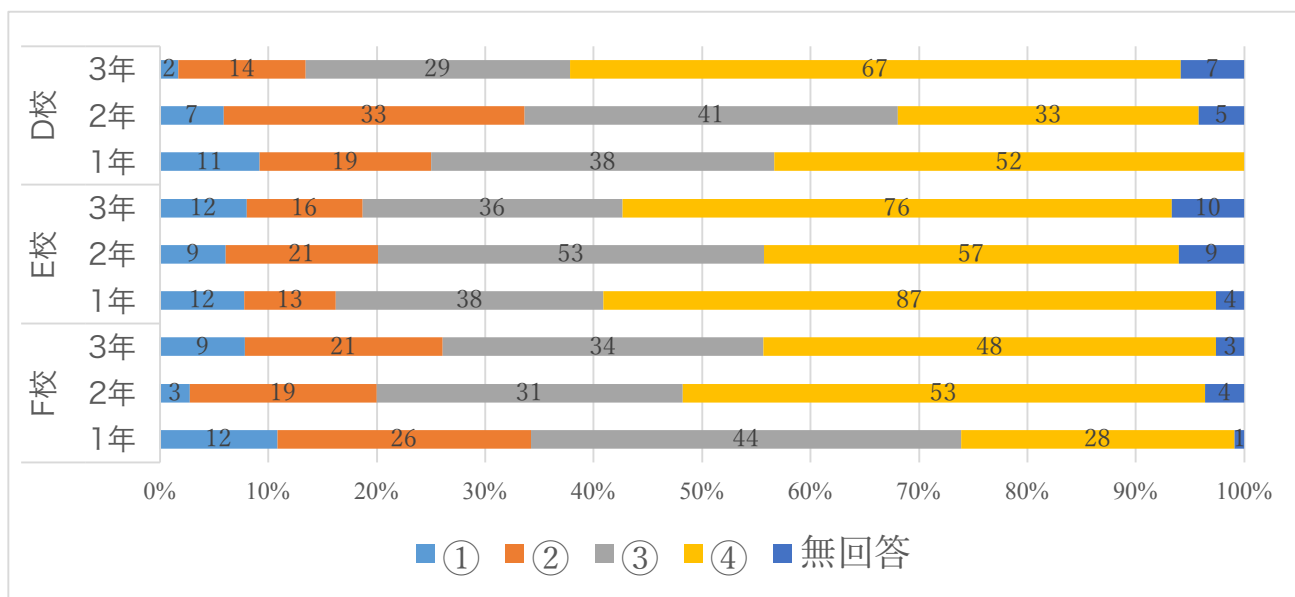


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

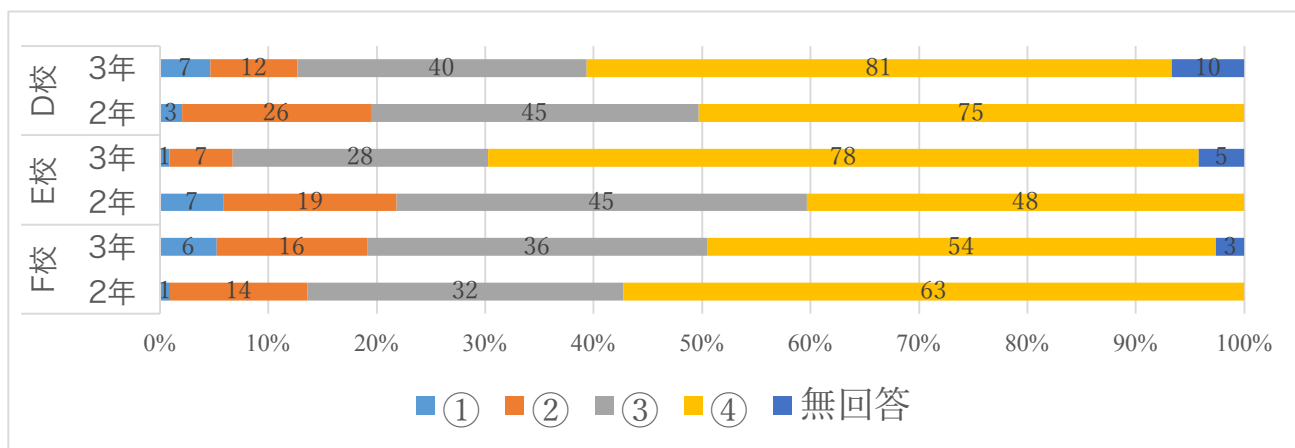


14. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

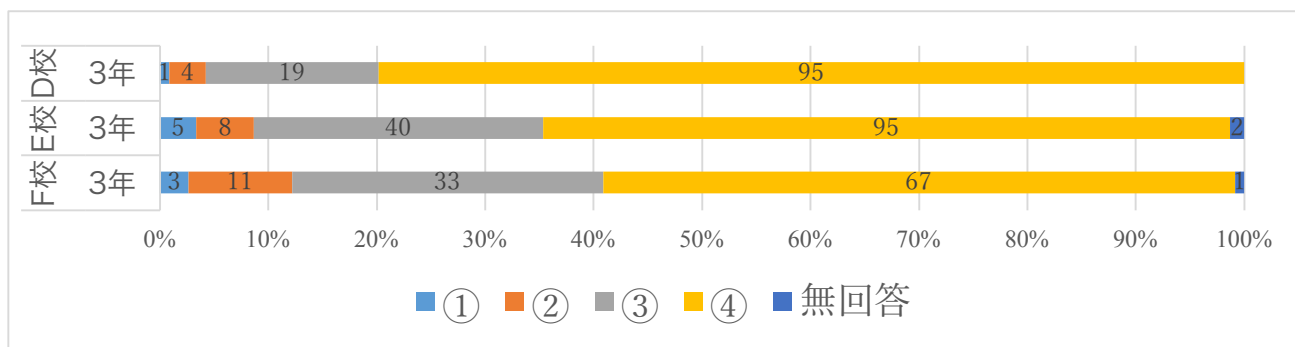
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

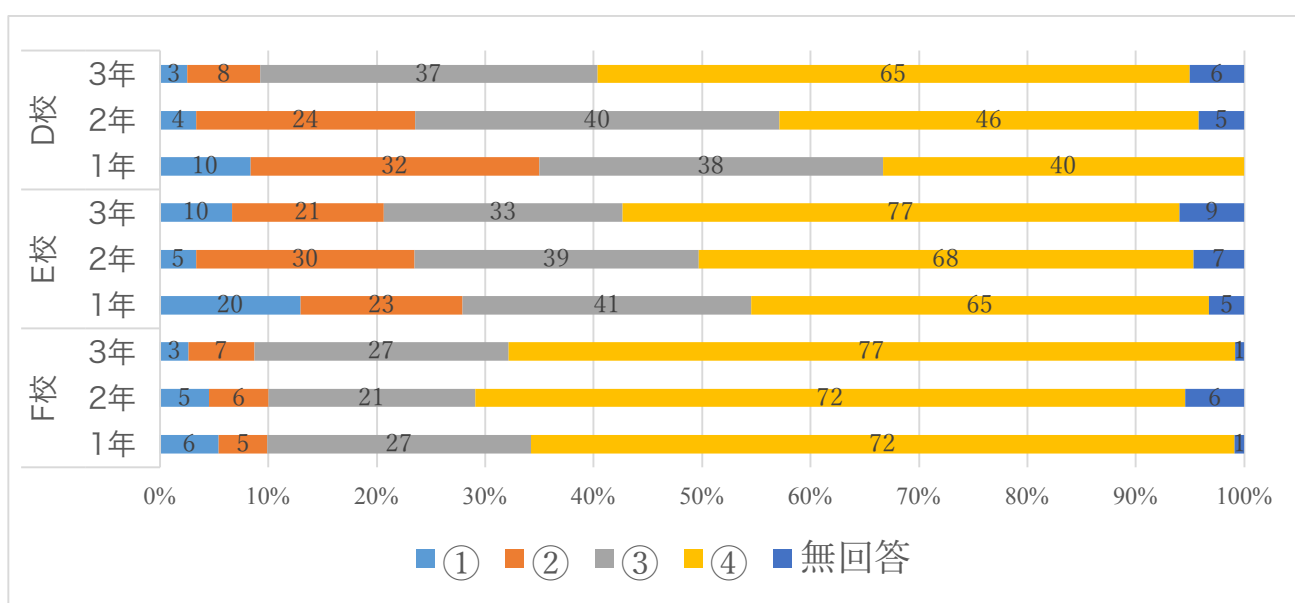


(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

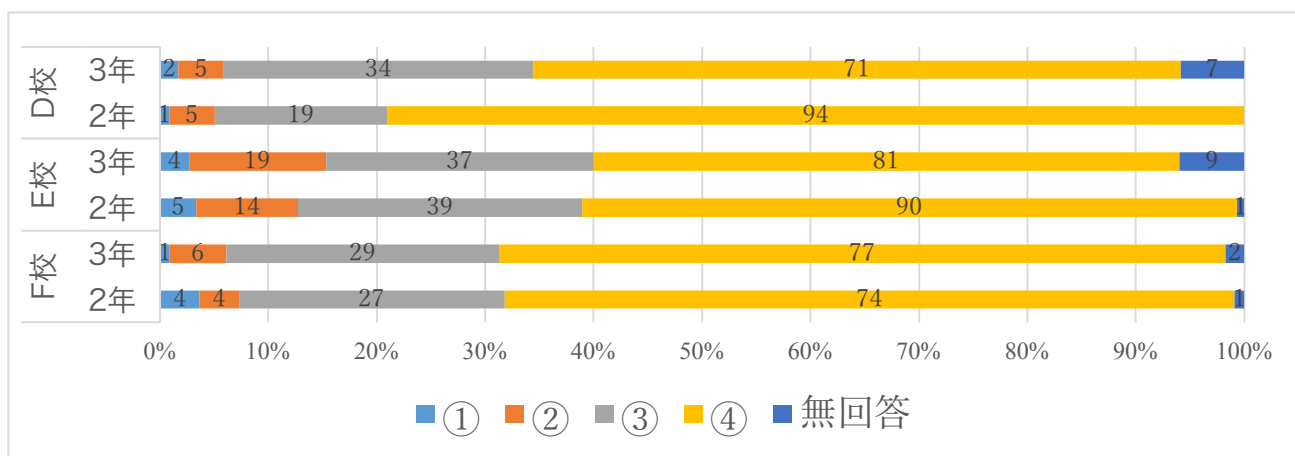


15. 英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

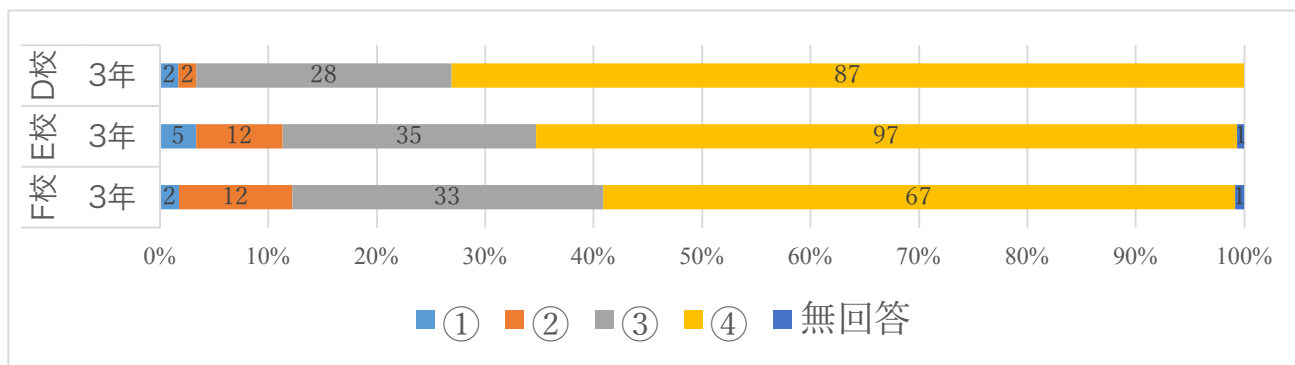
(1) 第1学年



(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）



(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

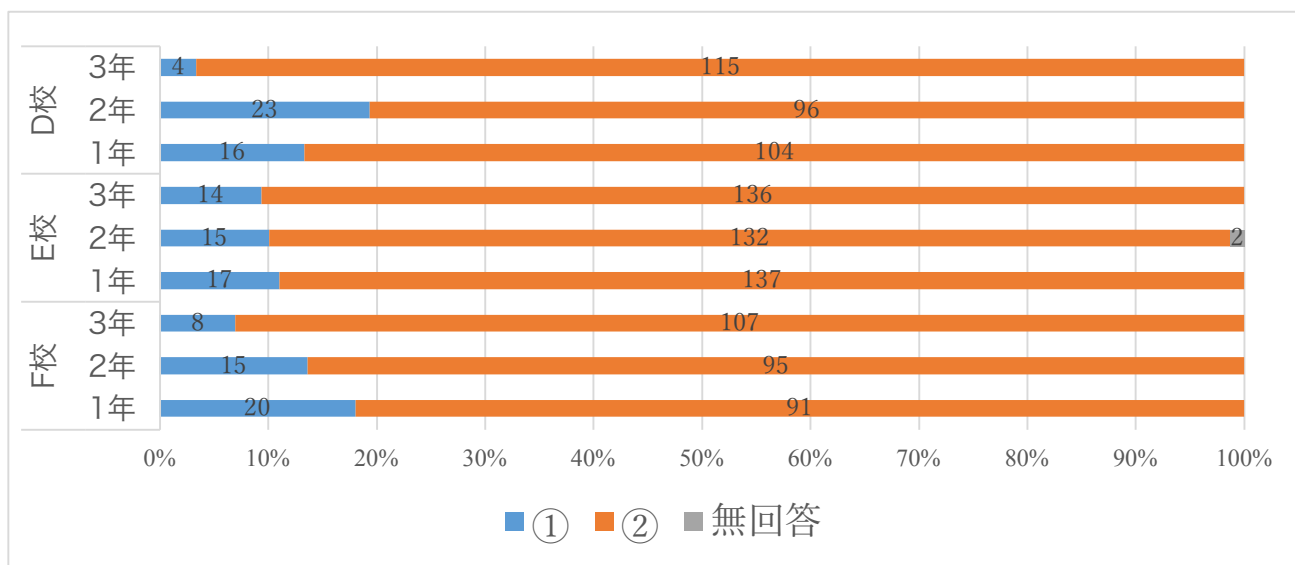


16. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。

→高等学校と同様、下記のように質問した。

16a. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。

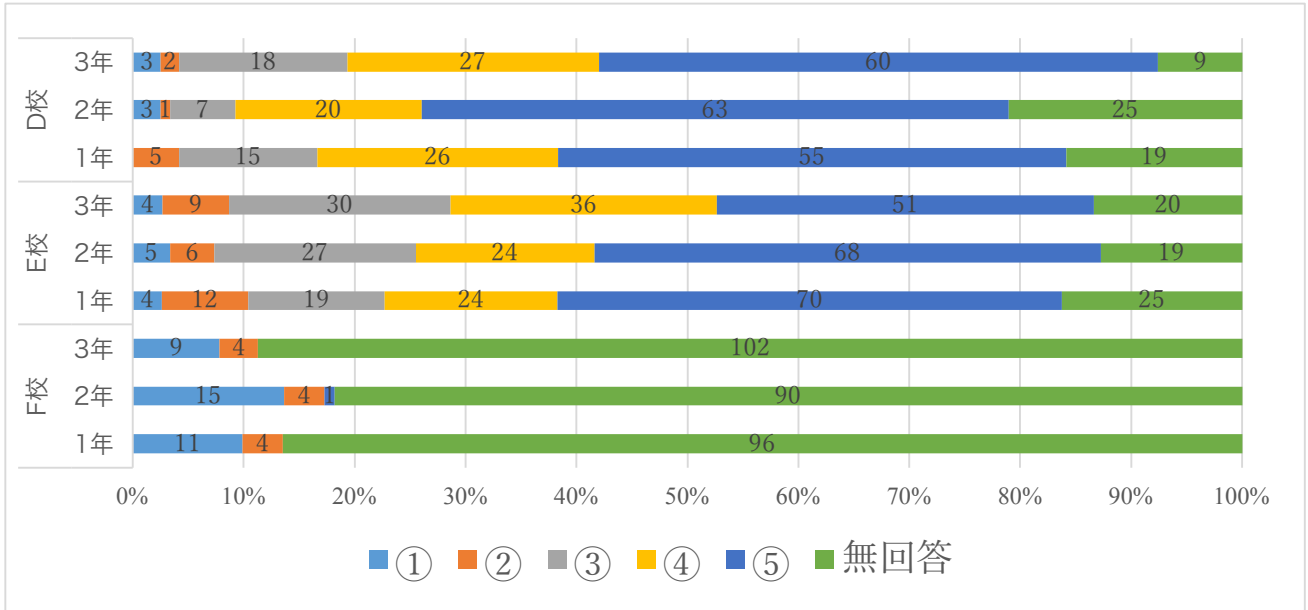
- ①学習塾で勉強していない ②学習塾で勉強している



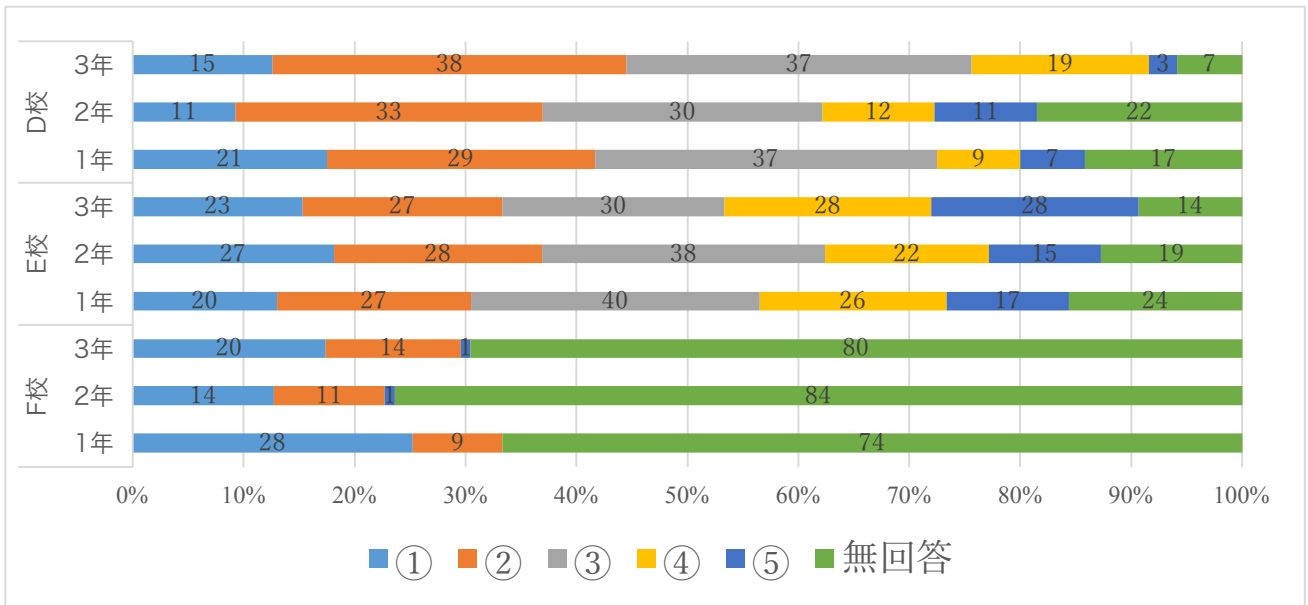
16b. (16aで②と回答した方のみ対象) 学習塾ではどのようなことを勉強していますか。下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください(参考数値)。

- ①全く勉強していない塾学習の 0% ②勉強している 1%～25%未満
- ③まあまあ勉強している 25%～50%未満 ④頻繁に勉強している 50%～75%未満
- ⑤とても頻繁に勉強している 75%～100%

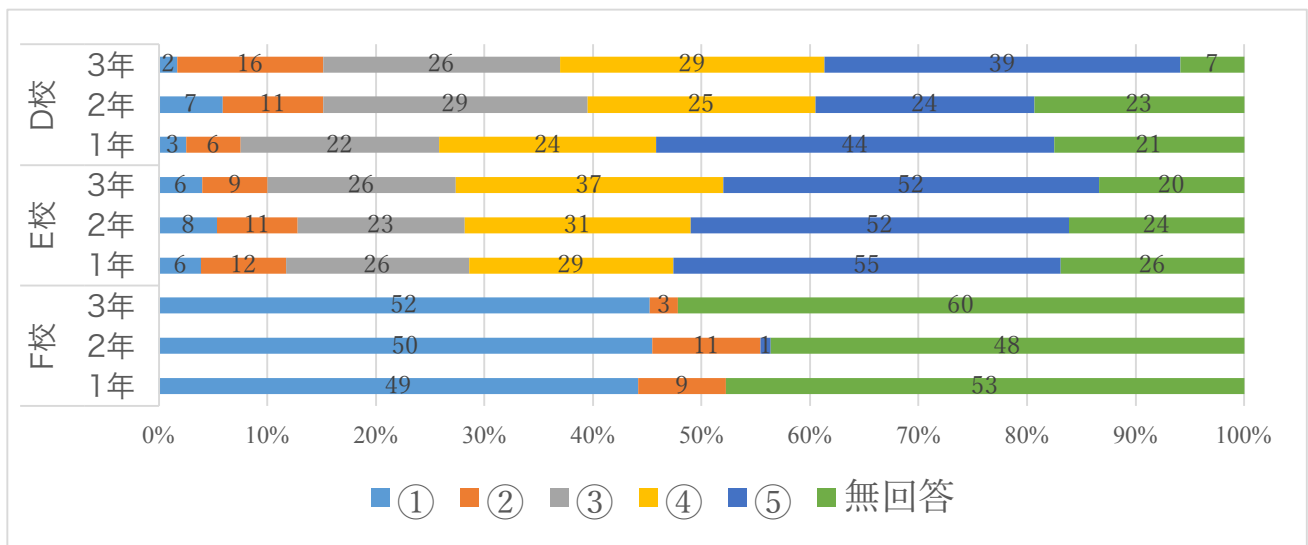
a. 学校の勉強より進んだ内容(予習)



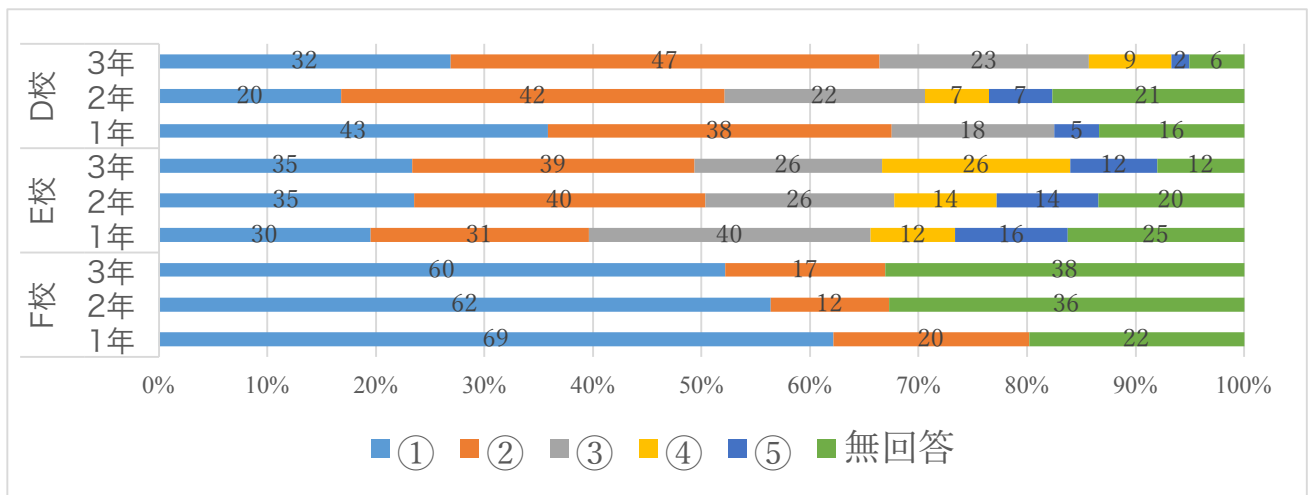
b. 学校の勉強でよく分からなかった内容



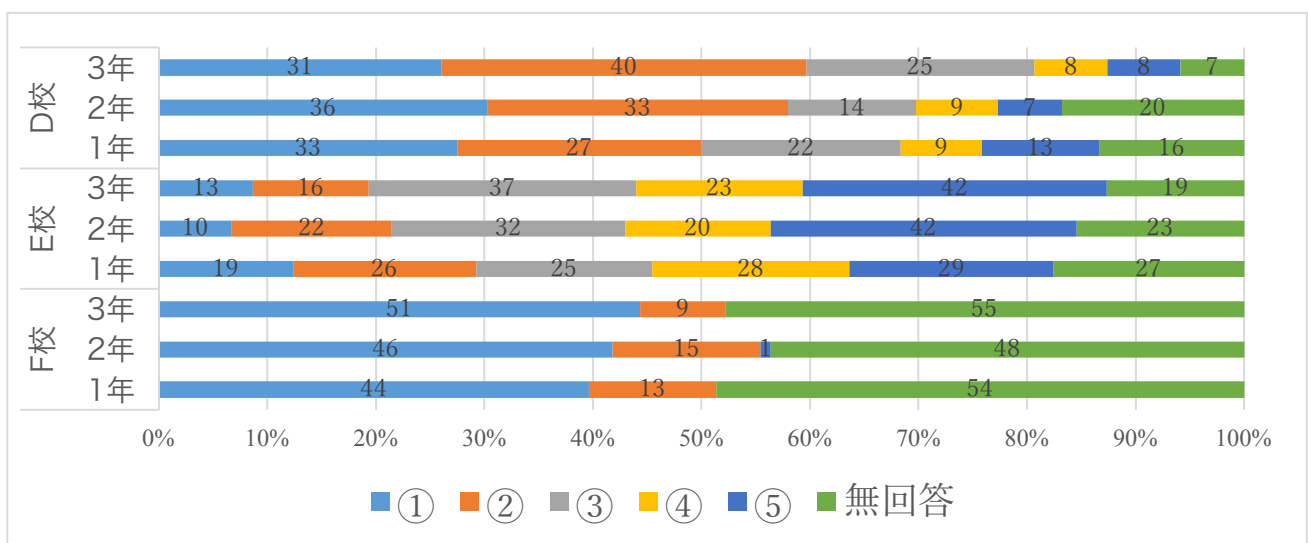
c. 学校の勉強より難しい内容



d. 学校の勉強より簡単な内容



e. 学校の勉強とは異なる内容

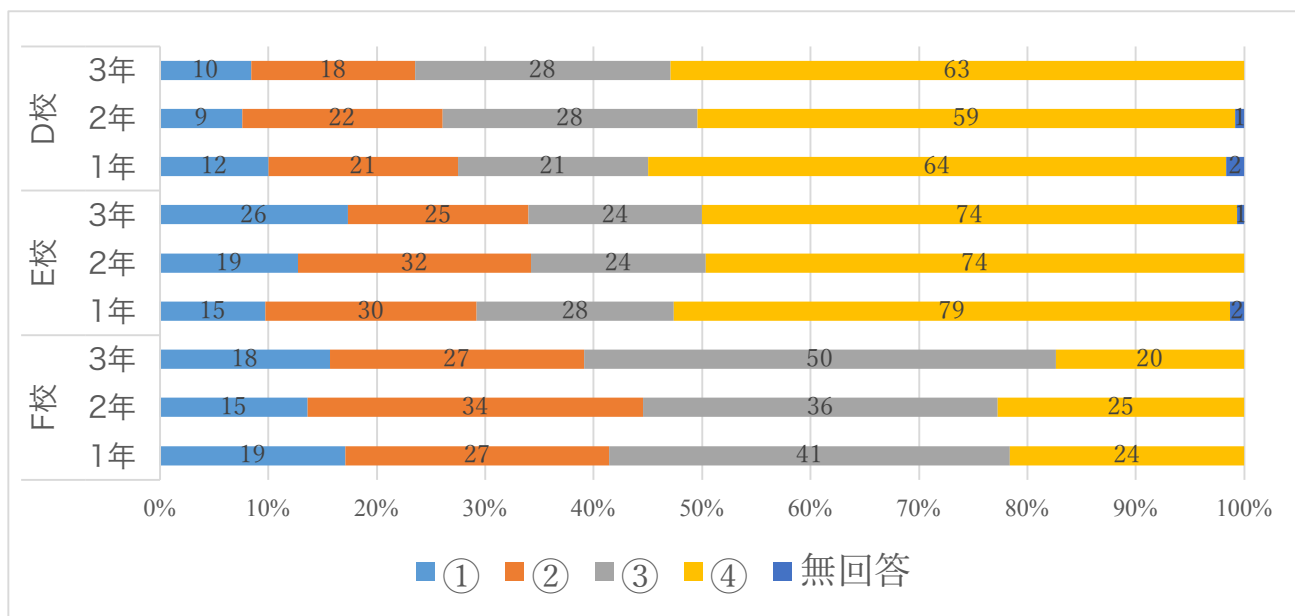


第2節 追加項目

【英語学習歴・海外経験】

17. 「英語学習歴欄」あなたがいつ英語学習をはじめたかを下記から選び、マークしてください。

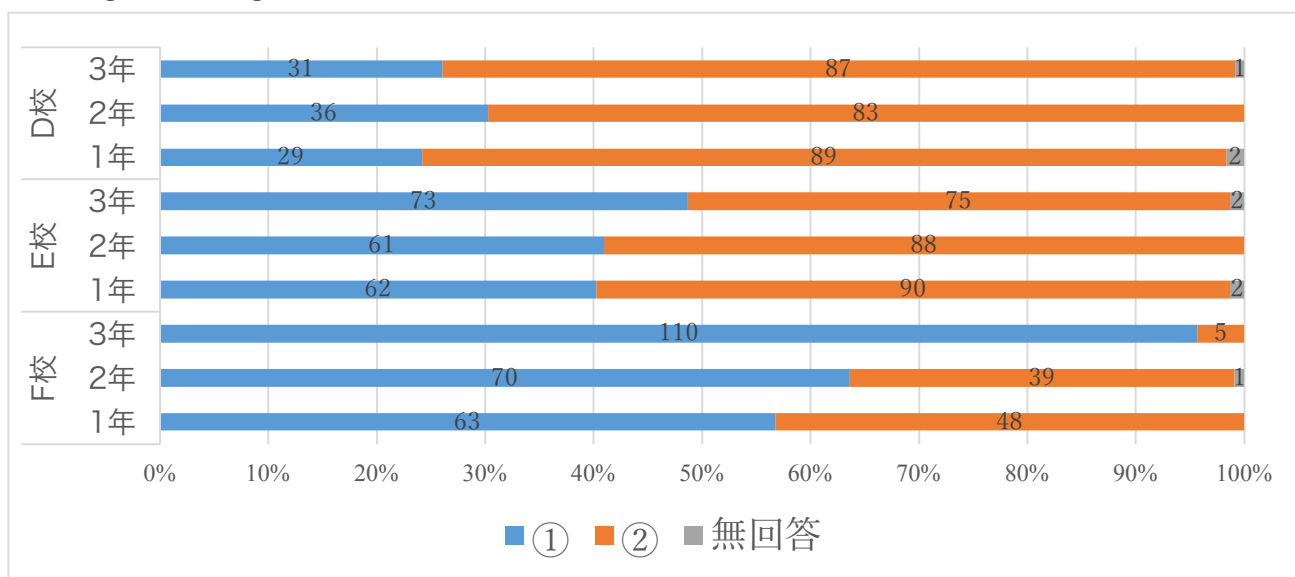
- ①3歳以下 ②4歳～5歳ぐらい ③小学1年生～3年生 ④小学4年生～6年生
⑤中学1年生以上



18. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.～d.の設問に回答してください。

a. 外国に滞在したことがありますか。

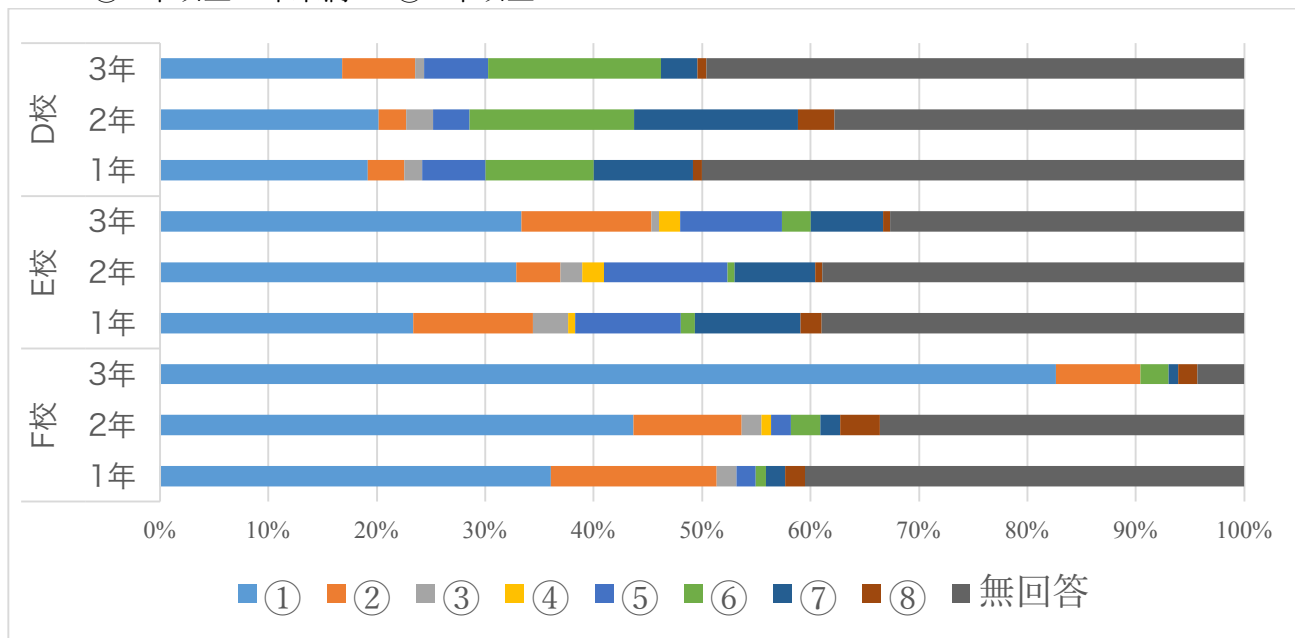
- ①ある ②ない



(以下、18a.で①と回答した者のみ。複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答)

b. 期間はどれくらいですか (参考数値)。

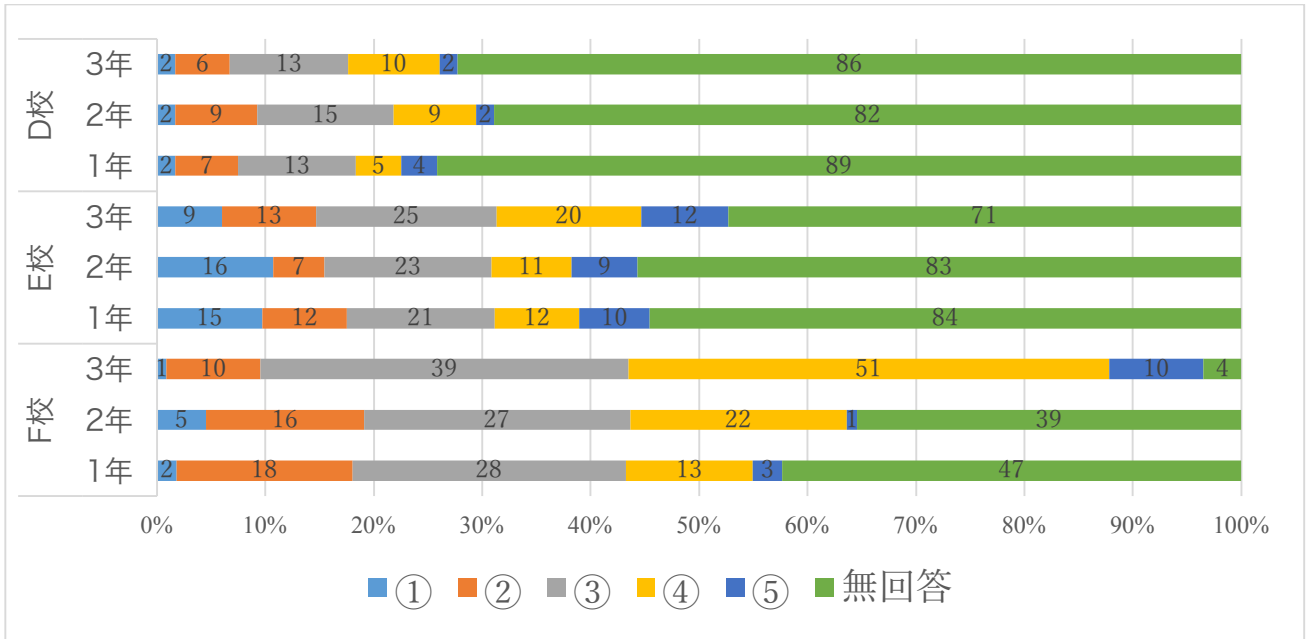
- ①2週間未満 ②2週間以上1か月未満 ③1か月以上3か月未満
 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満
 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上



| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | 無回答 | <i>n</i> |
|----|----|----|----|---|---|----|----|----|---|-----|----------|
| D校 | 1年 | 23 | 4 | 2 | 0 | 7 | 12 | 11 | 1 | 60 | 120 |
| | 2年 | 24 | 3 | 3 | 0 | 4 | 18 | 18 | 4 | 45 | 119 |
| | 3年 | 20 | 8 | 1 | 0 | 7 | 19 | 4 | 1 | 59 | 119 |
| E校 | 1年 | 36 | 17 | 5 | 1 | 15 | 2 | 15 | 3 | 60 | 154 |
| | 2年 | 49 | 6 | 3 | 3 | 17 | 1 | 11 | 1 | 58 | 149 |
| | 3年 | 50 | 18 | 1 | 3 | 14 | 4 | 10 | 1 | 49 | 150 |
| F校 | 1年 | 40 | 17 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 45 | 111 |
| | 2年 | 48 | 11 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 4 | 37 | 110 |
| | 3年 | 95 | 9 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 5 | 115 |

c. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか (参考数値)。

- ①英語以外のみ ②主に英語以外 ③英語以外: 半分ぐらい、英語: 半分ぐらい
 ④主に英語のみ ⑤英語のみ



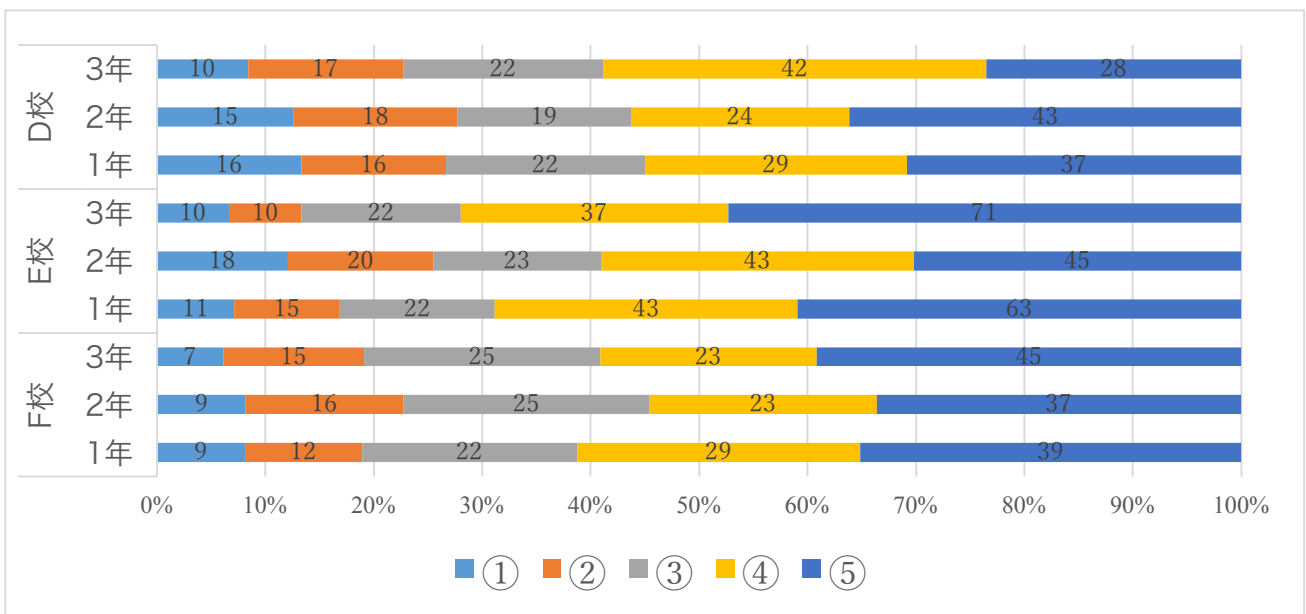
d. 場所はどこですか（記述式，略）。

【英語学習の目的・展望】

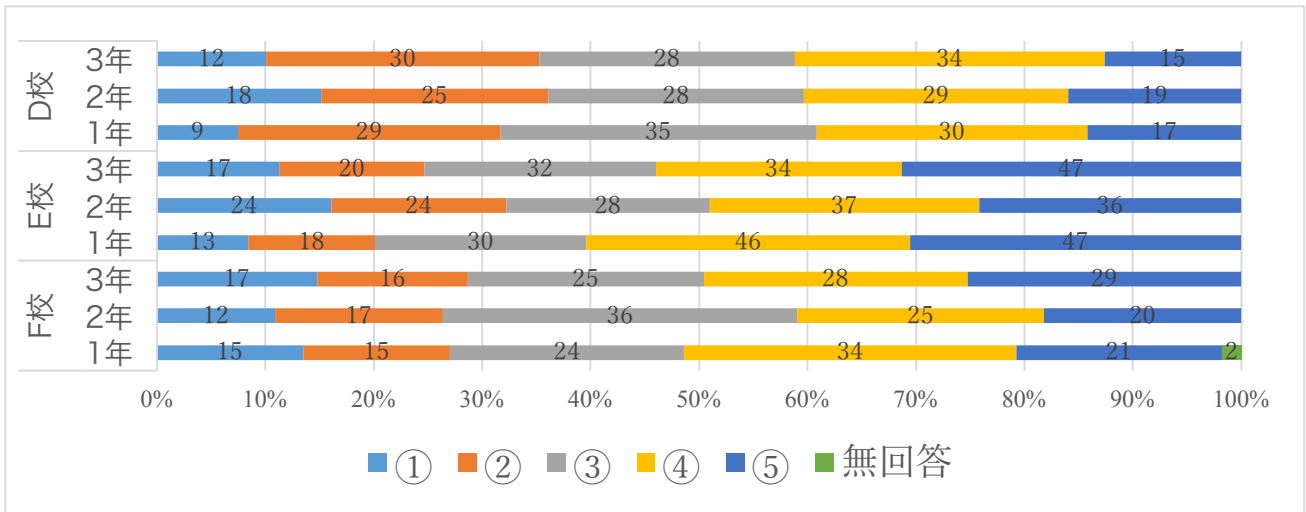
19. どのような場面で英語を活用したいと思いますか。下記 a.~i.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない ③ どちらでもない
- ④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う

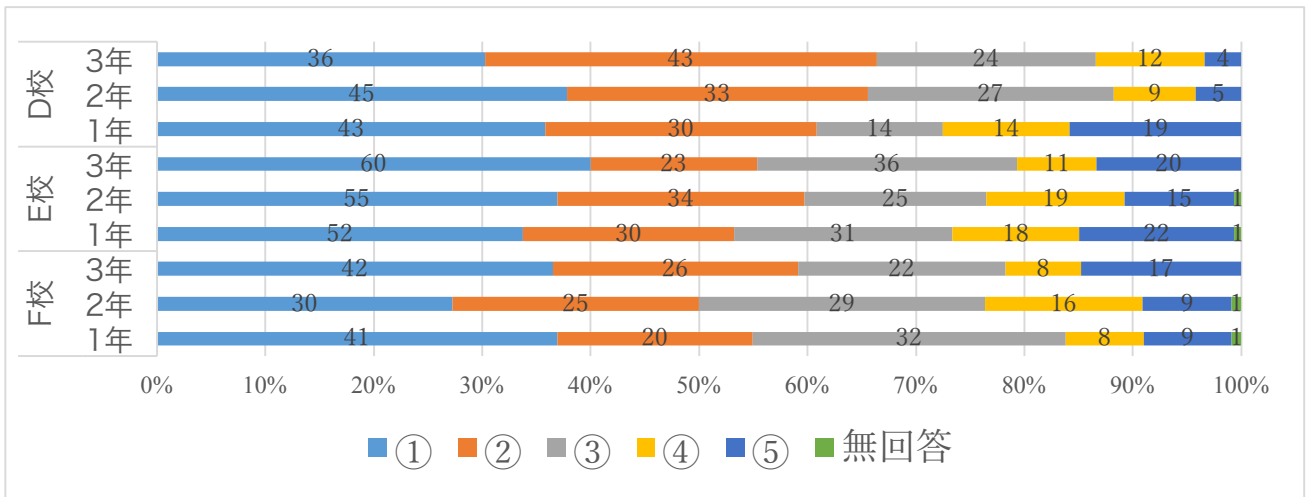
a. 学校を卒業後、英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい



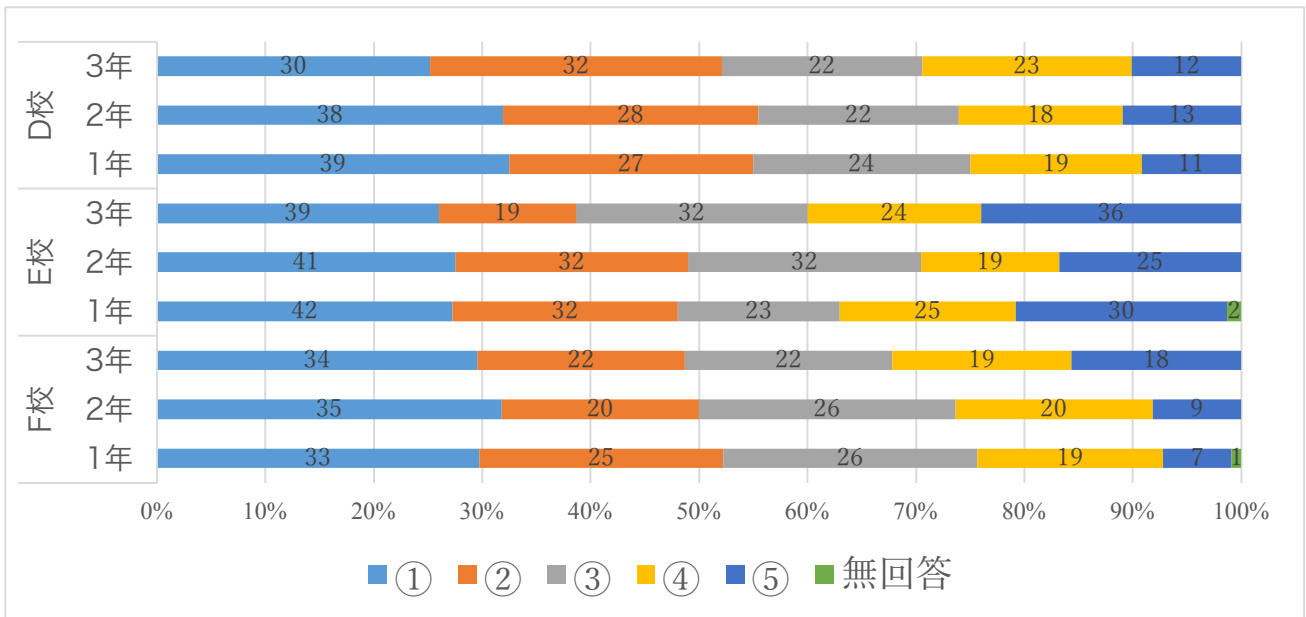
b. 日本の大学で、英語を活用して自分が専攻する学問を学ぶことができるようになりたい



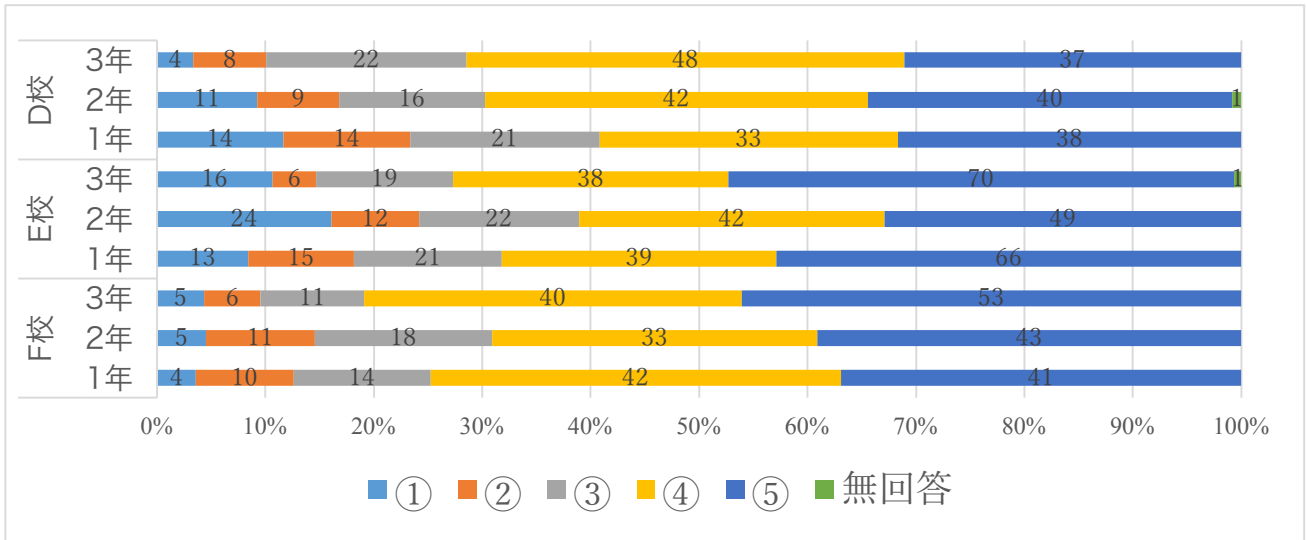
c. 高校卒業後に、海外の大学に進学できるようになりたい



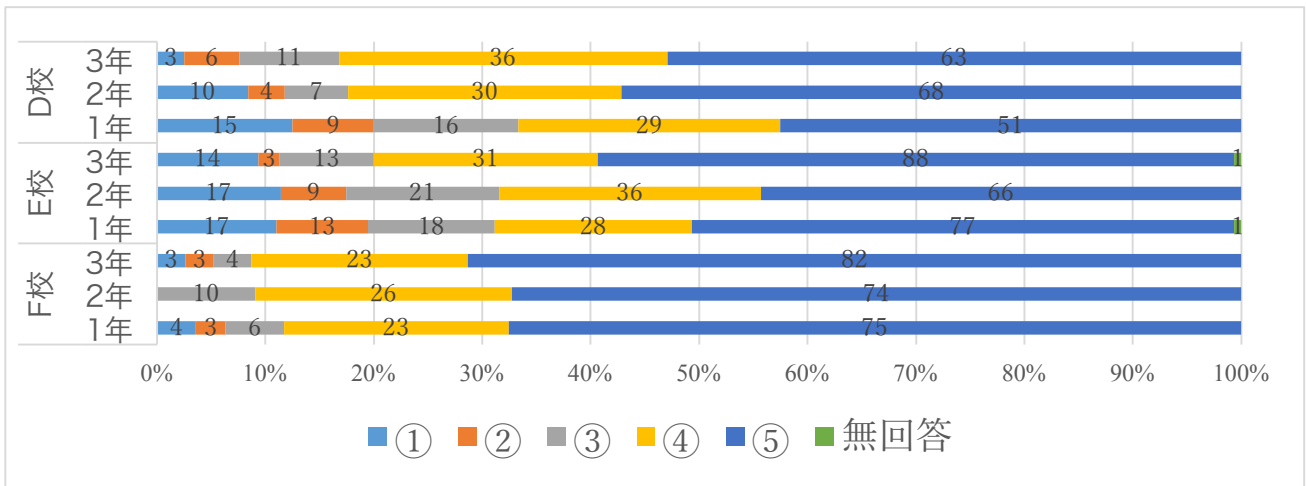
d. 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい



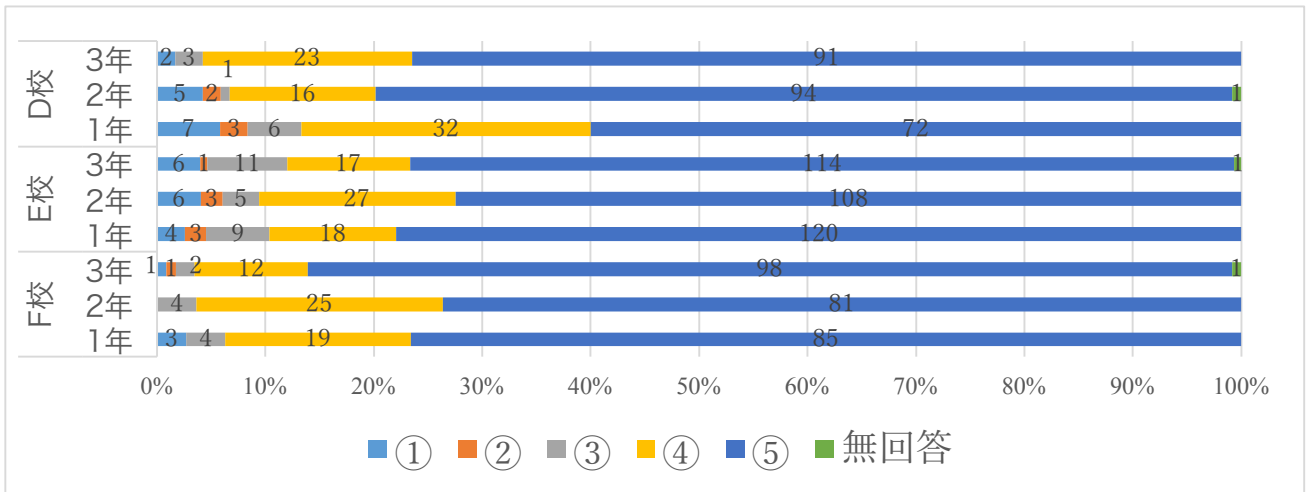
e. 海外での語学研修に参加する際にスムーズに開始できるようになりたい



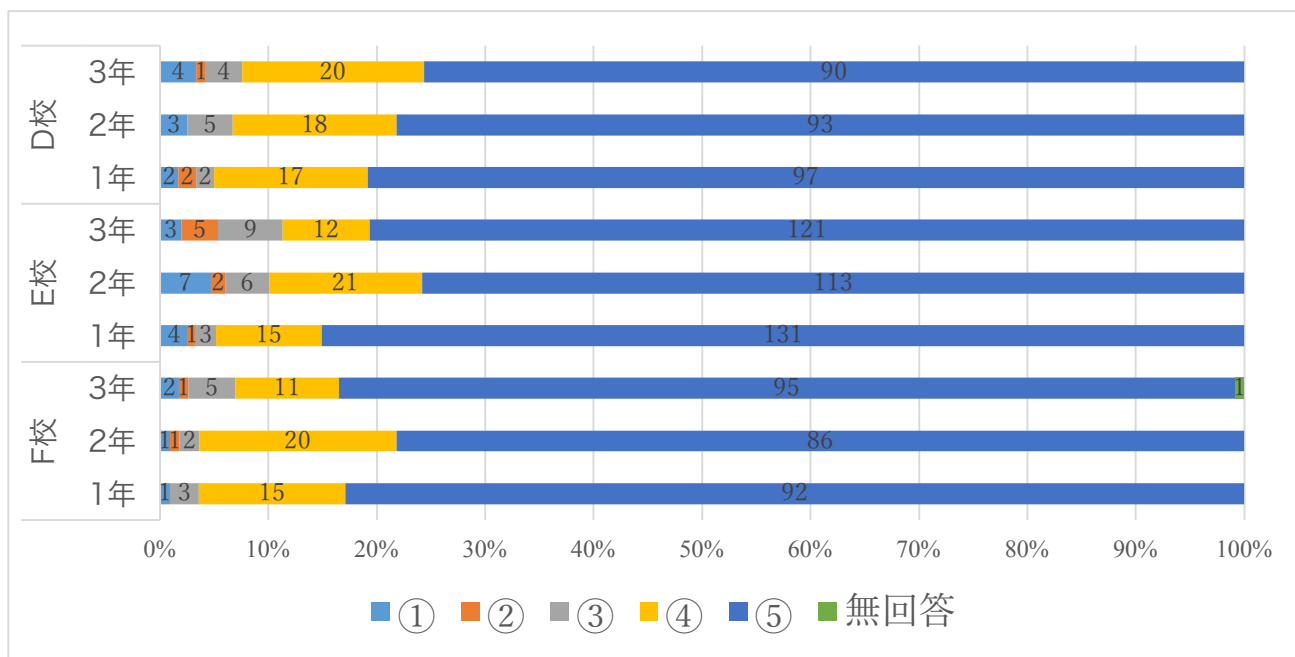
f. 海外でのホームステイで、英語で日常的な会話をし、円滑なコミュニケーションができるようになりたい



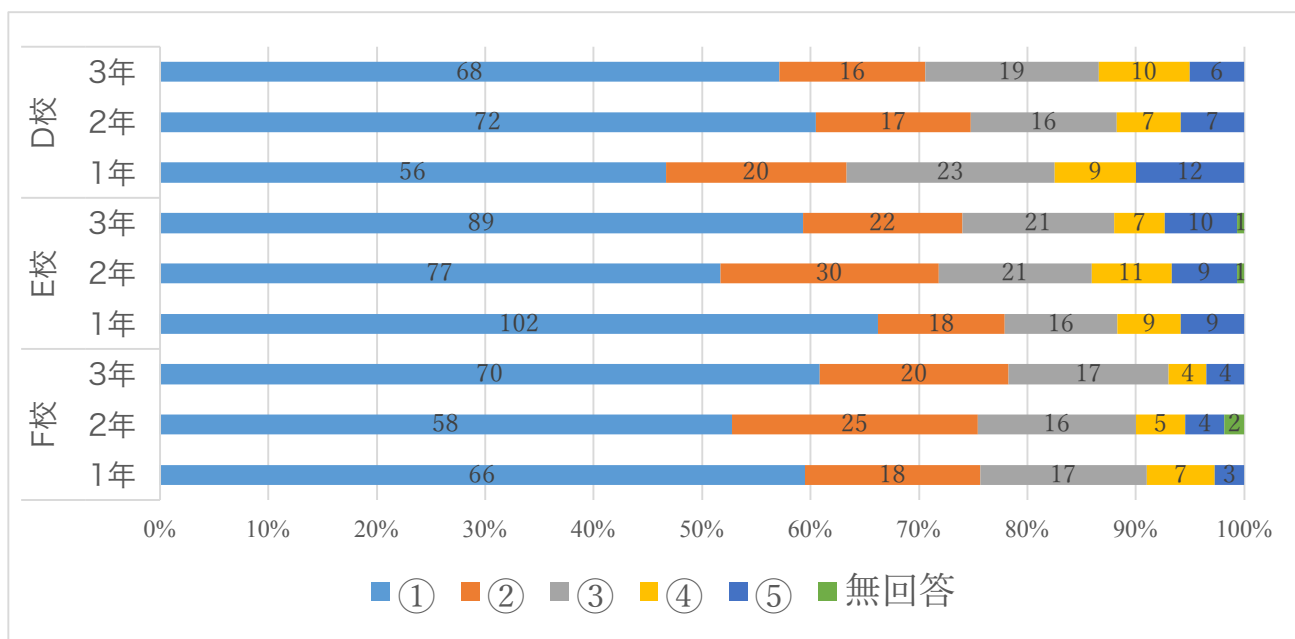
g. 海外旅行をするときに、英語でコミュニケーションができるようになりたい



h. 大学入試に対応できる力をつけたい



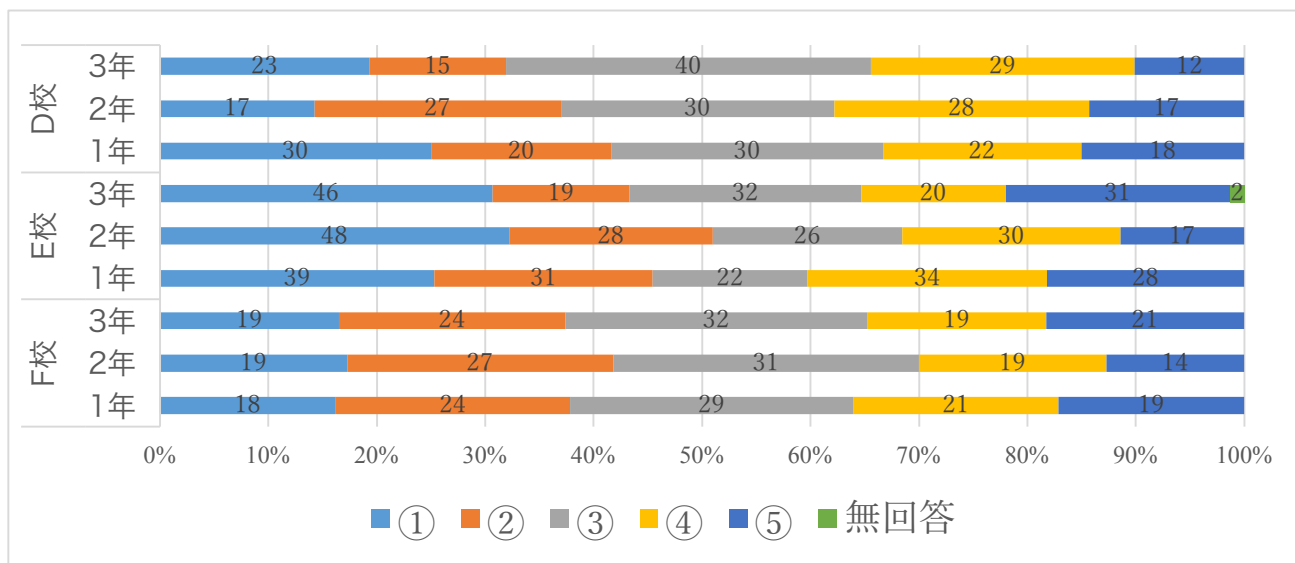
i. 特に学校の授業以外での利用を考えていない



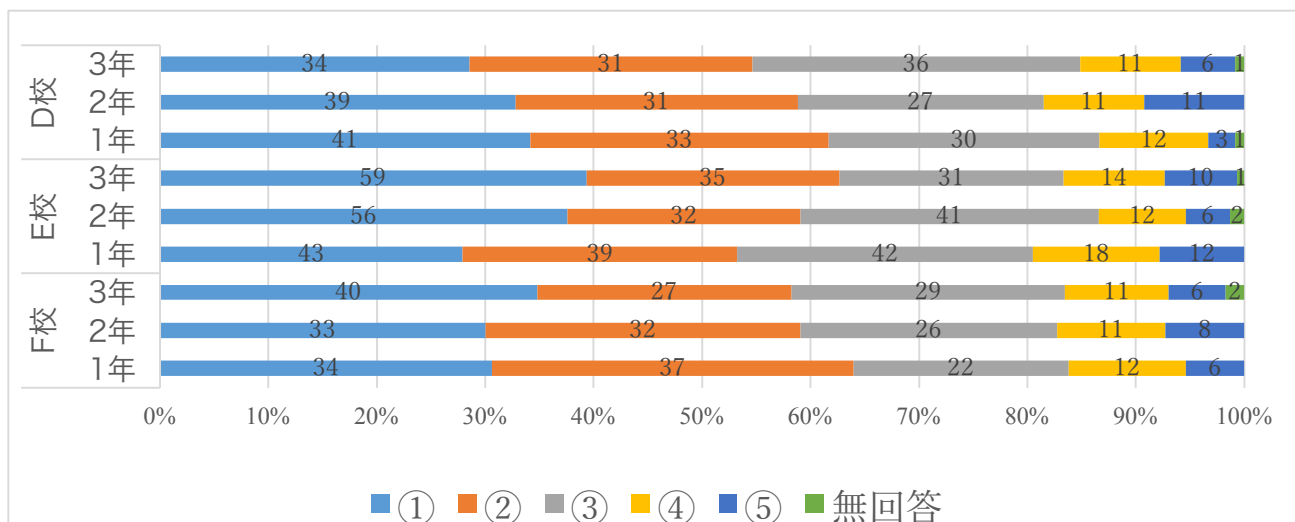
20. 下記 a.~j.の活動について、今後(または今後も)、参加したいと思いますか。a.~j.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※留学は、学校主催のプログラムも含みます。

- ①参加したくない ②どちらかといえば参加したくない ③どちらでもない
 ④どちらかといえば参加したい ⑤参加したい

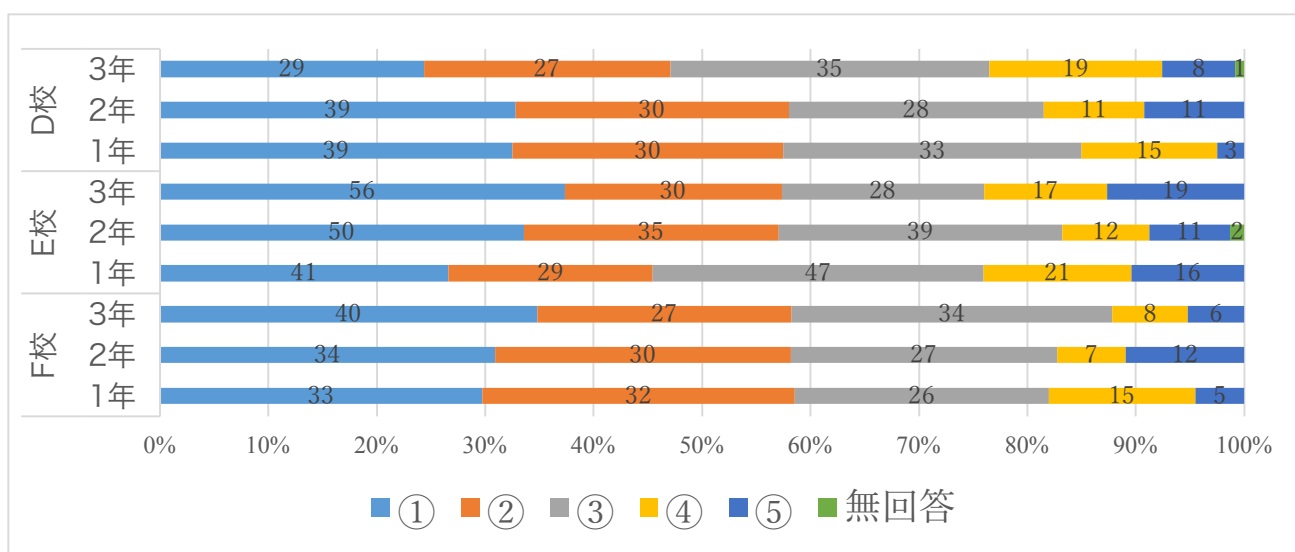
a. イングリッシュキャンプ（主に英語を使用して行なわれるキャンプイベント）



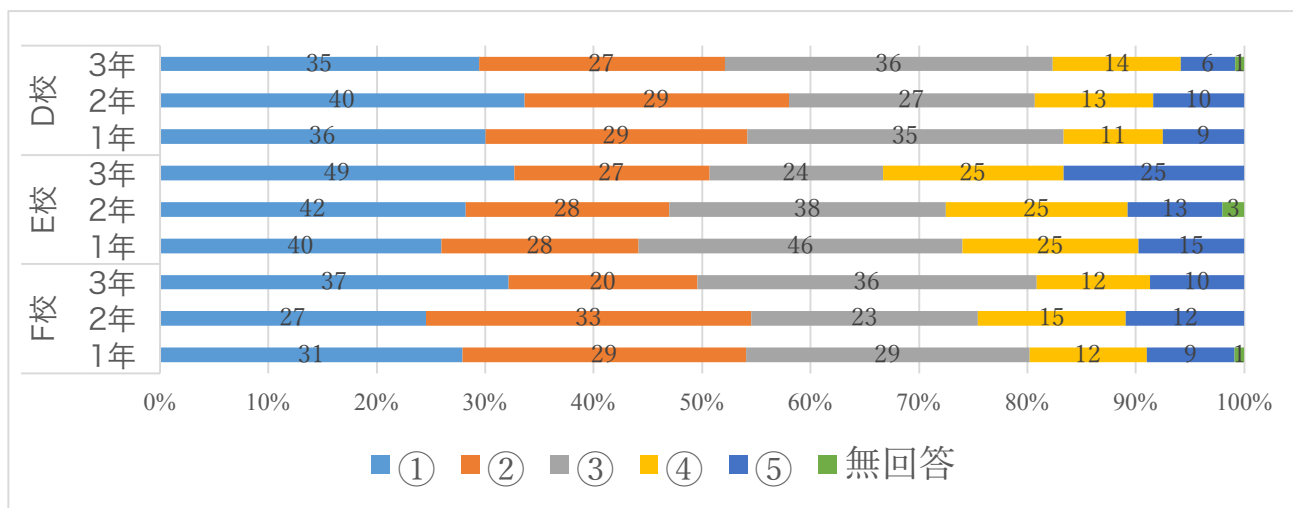
b. 英語のスピーチ大会（校内での予選は除く）



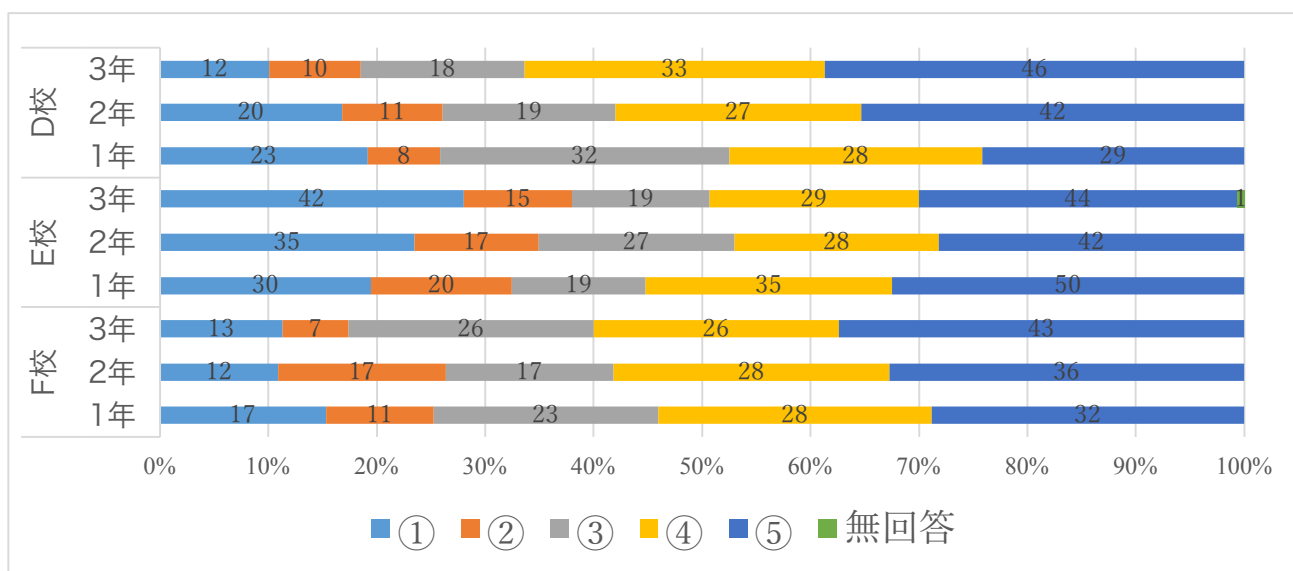
c. 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選は除く）



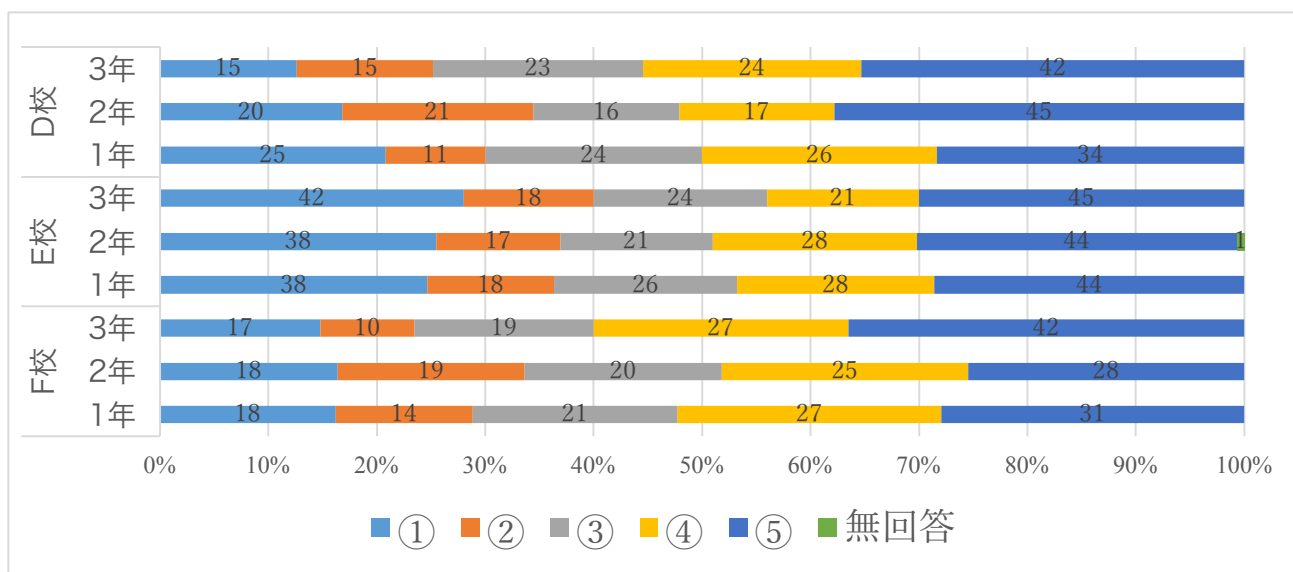
d. 英語のディベート大会（校内での予選は除く）



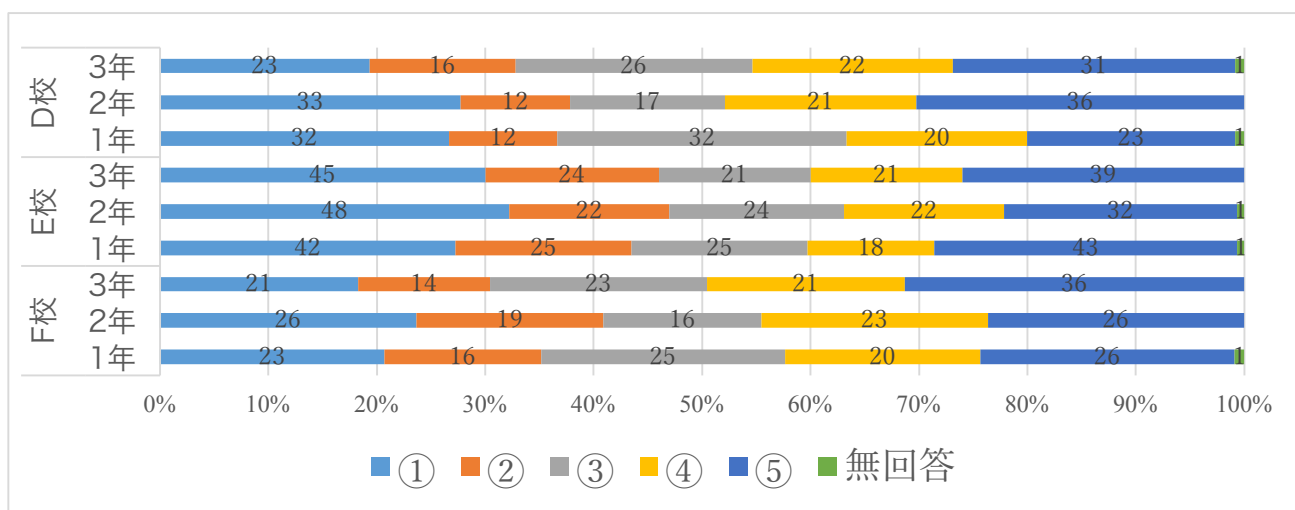
e. 留学：2週間未満



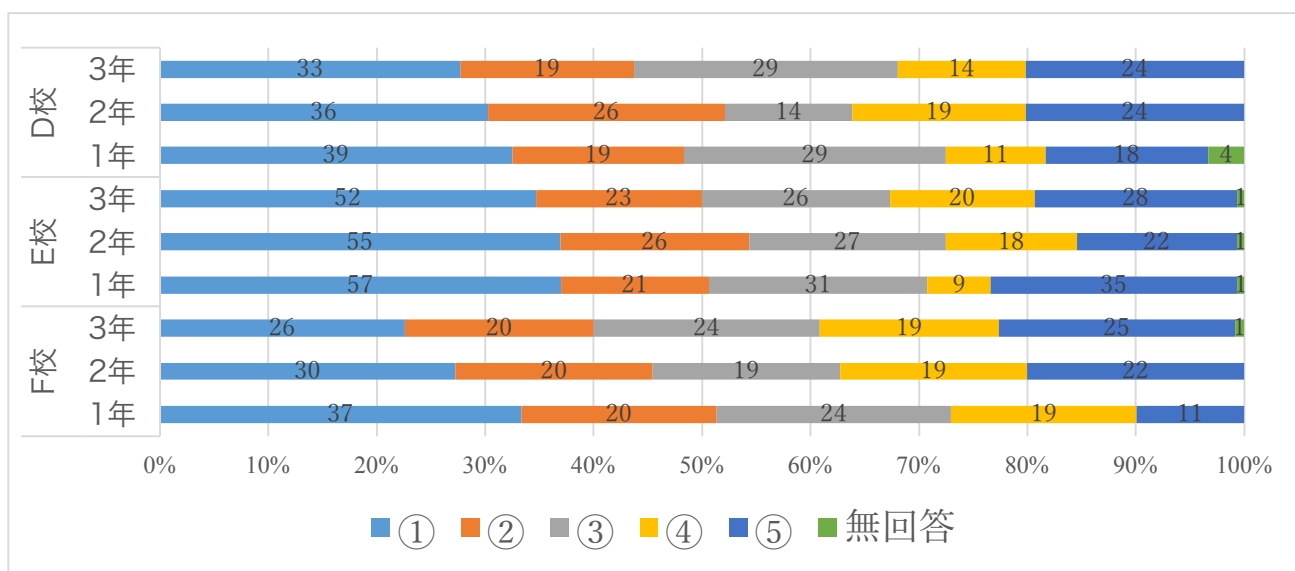
f. 留学：2週間以上3か月未満



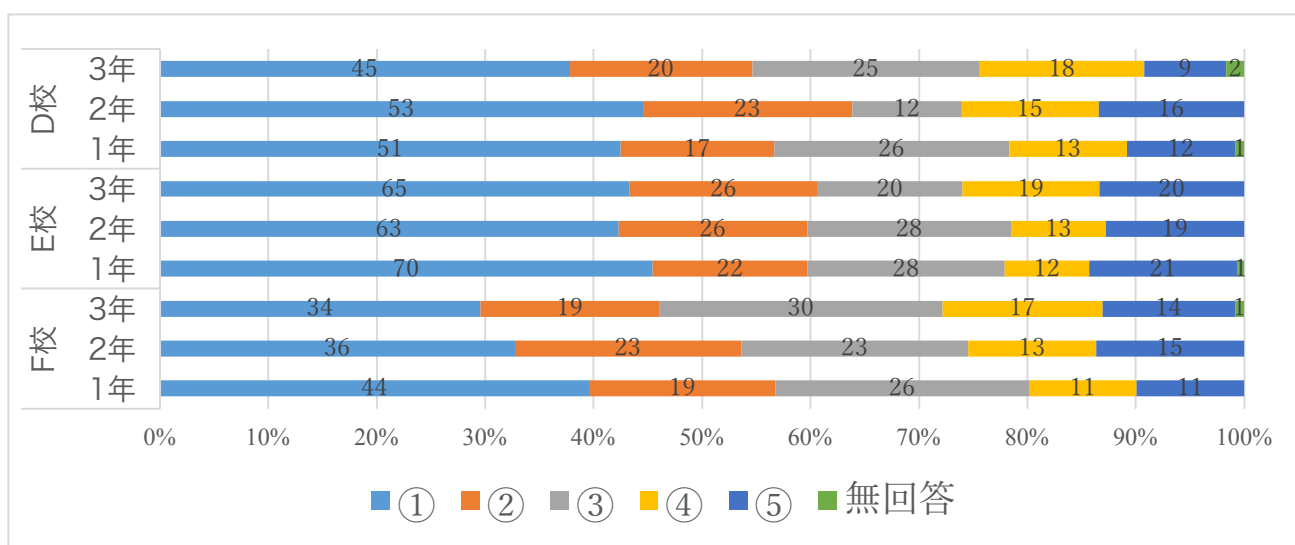
g. 留学：3 か月以上 1 年間未満



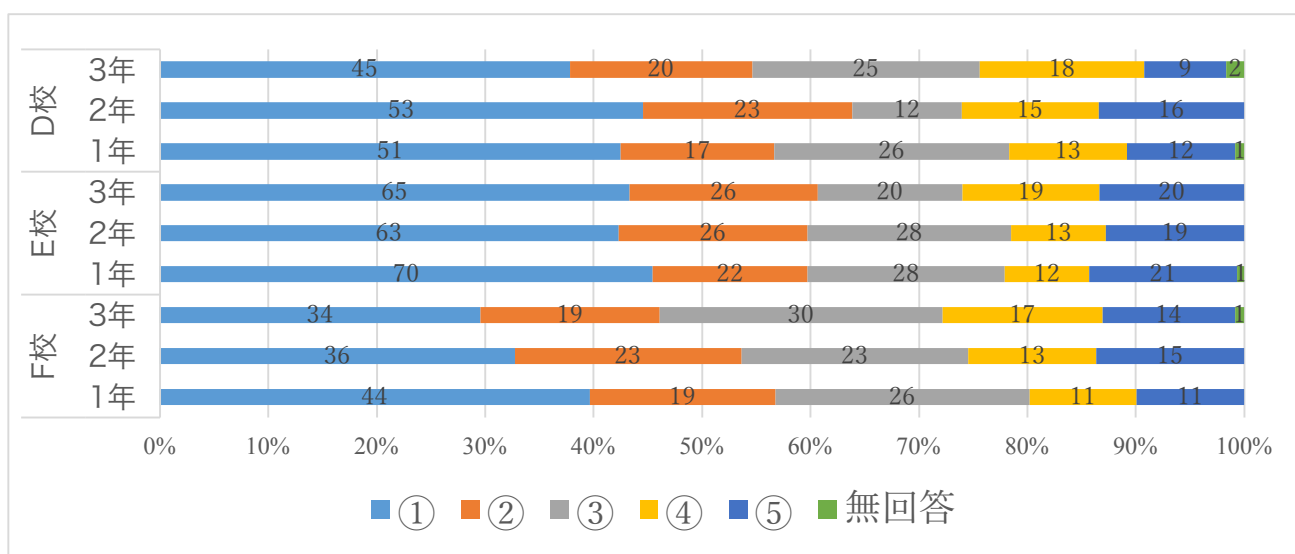
h. 留学：1 年間以上 4 年間未満



i. 留学：4 年間以上

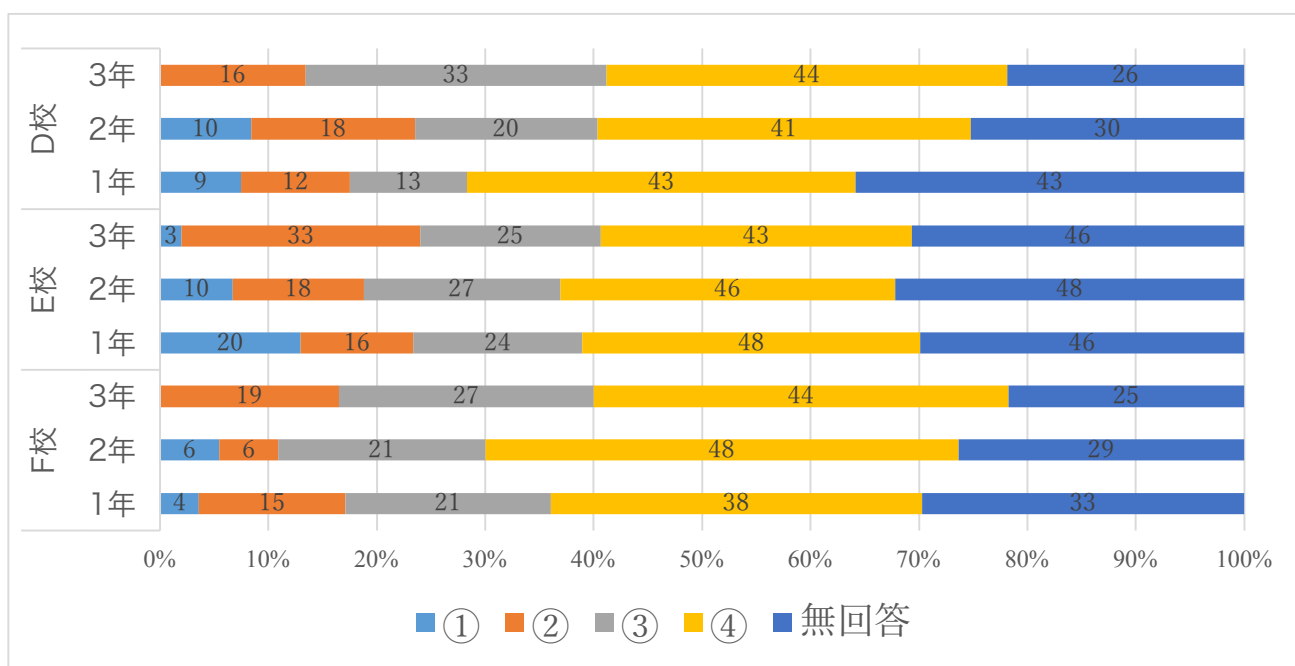


j. ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）



21. (20.で留学に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した方のみ対象) 留学に行きたいと思う時期はいつですか。※複数回の留学を望む場合は最も早い時期を選択してください(参考数値)。

- ①中学在学中 ②中学卒業後3年以内の間に ③中学卒業後4年以上過ぎてから
 ④特に時期は考えていない



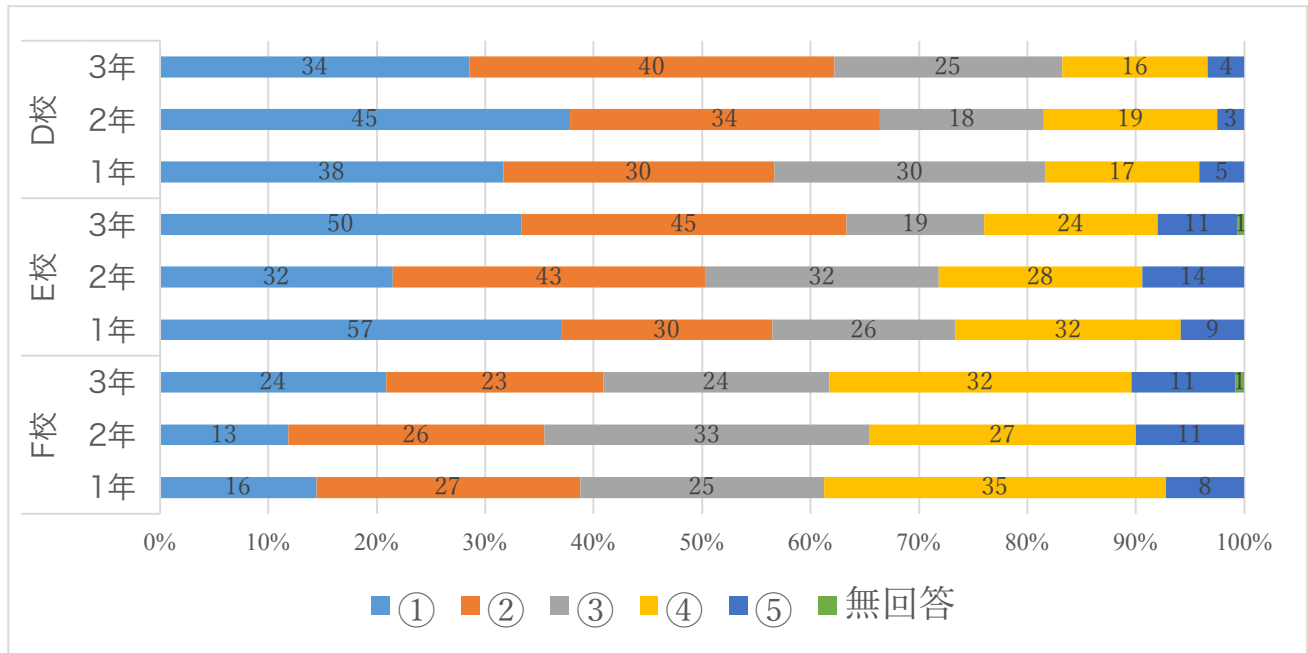
22. 英語を使って、できるようになりたいことは何ですか。最もできるようになりたいと思うことを1つ、できるだけ具体的に記載してください(記述式)。

【英語使用不安】

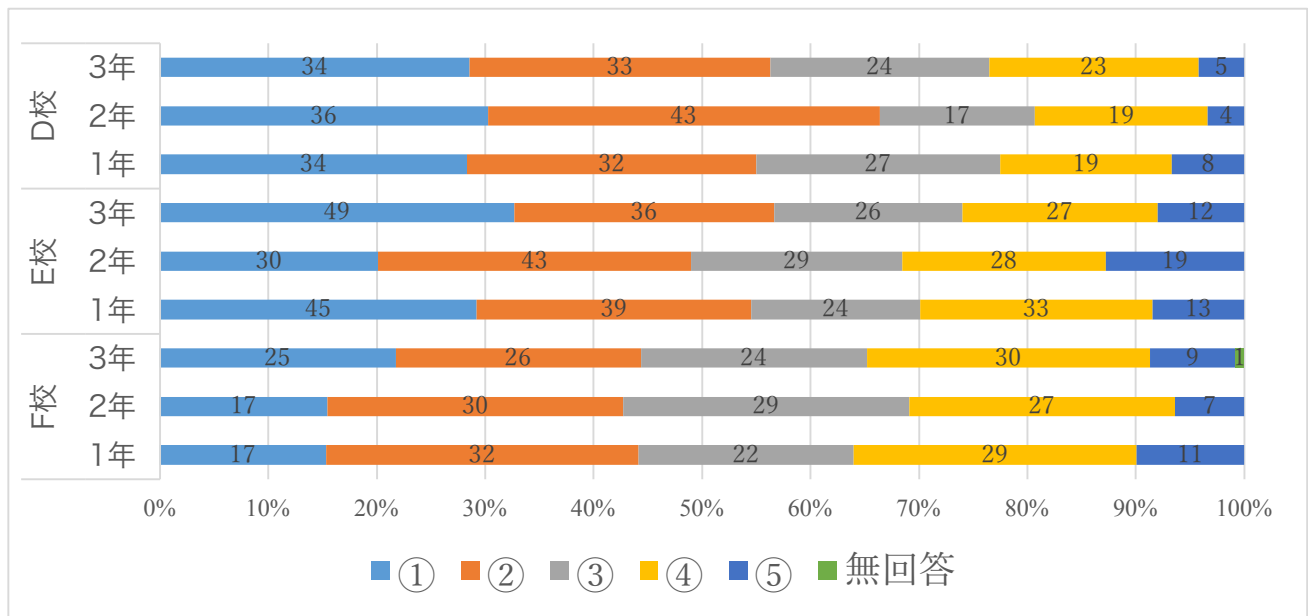
23. 授業で英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
 ④緊張する ⑤とても緊張する

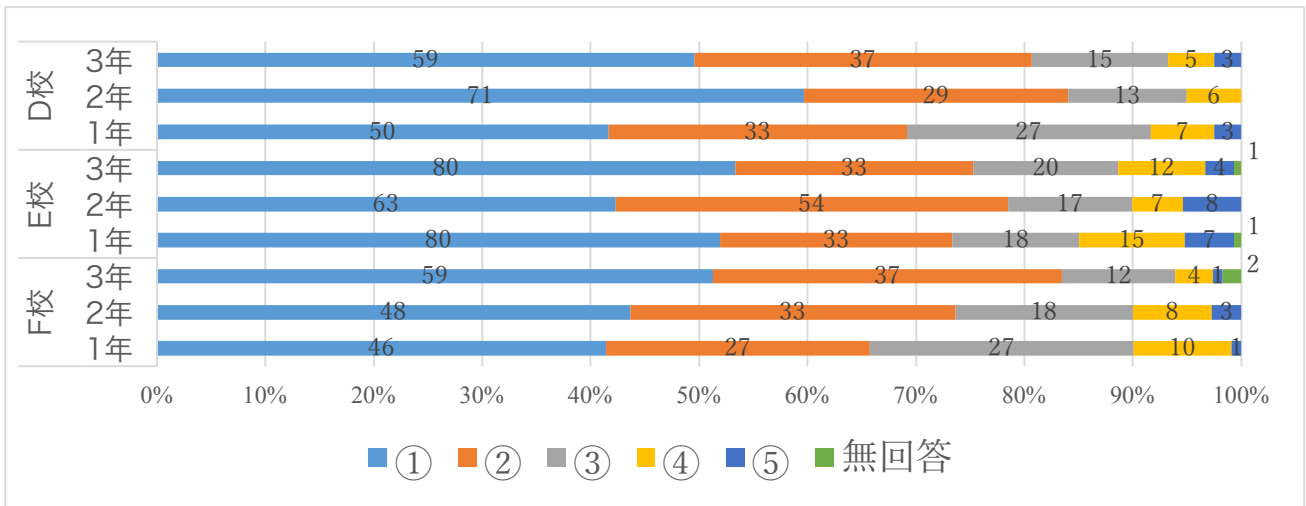
a. 英語を使った活動の時に、分からないことを英語で質問する



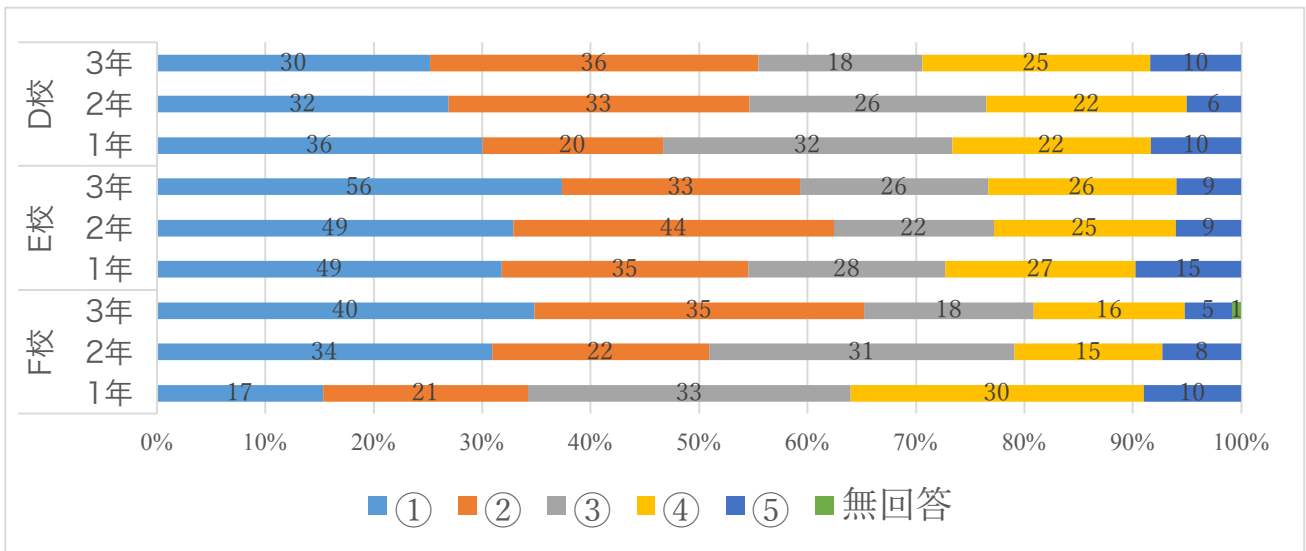
b. 英語を使った活動の時に、きかれた質問に英語で答える



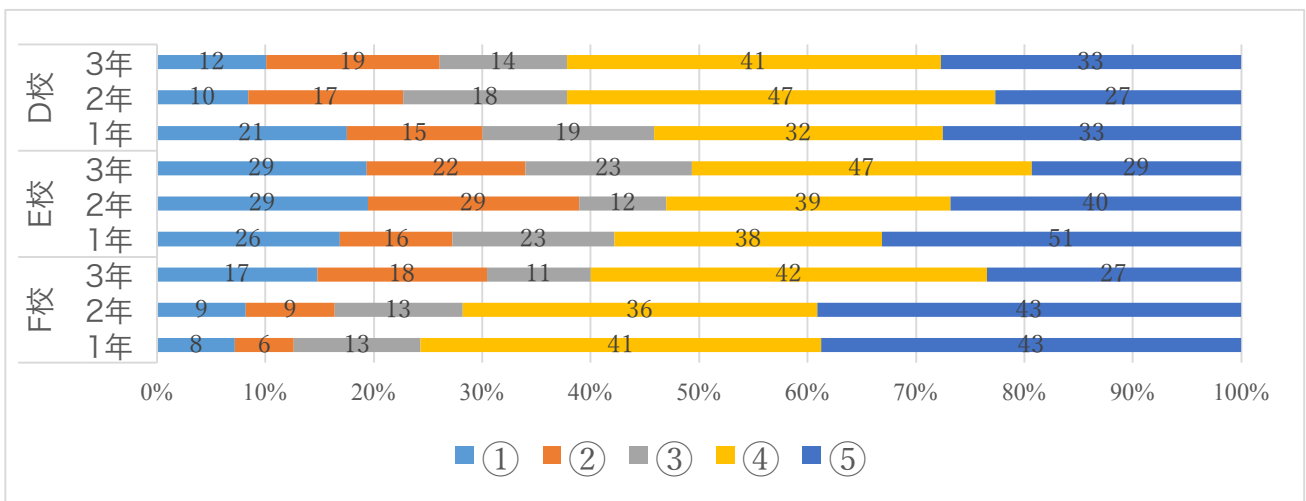
c. クラスメイトと英語で会話をする



d. クラスメイトが集まったグループで、英語で議論する



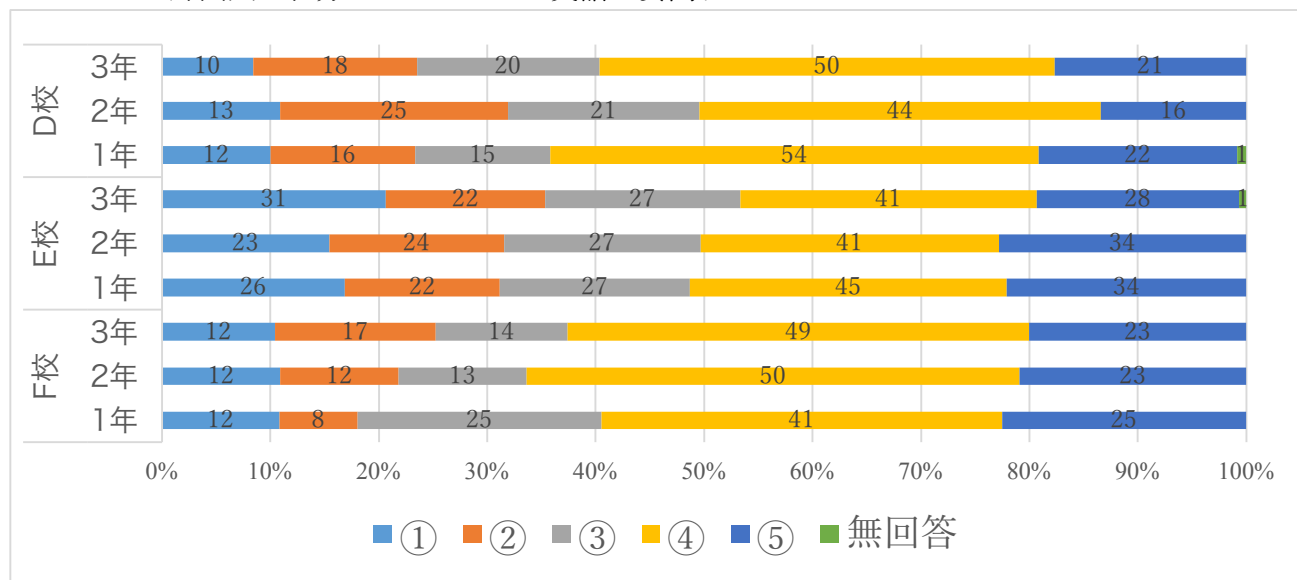
e. クラスメイトの前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする



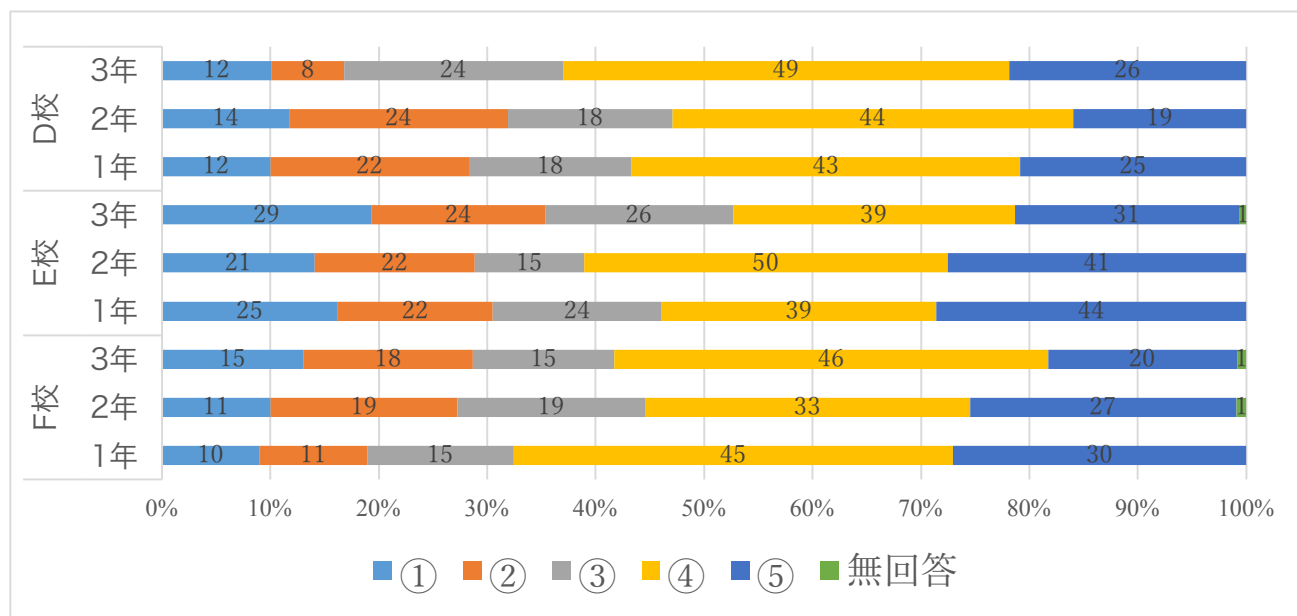
24. 外国人と英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e. それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
 ④緊張する ⑤とても緊張する

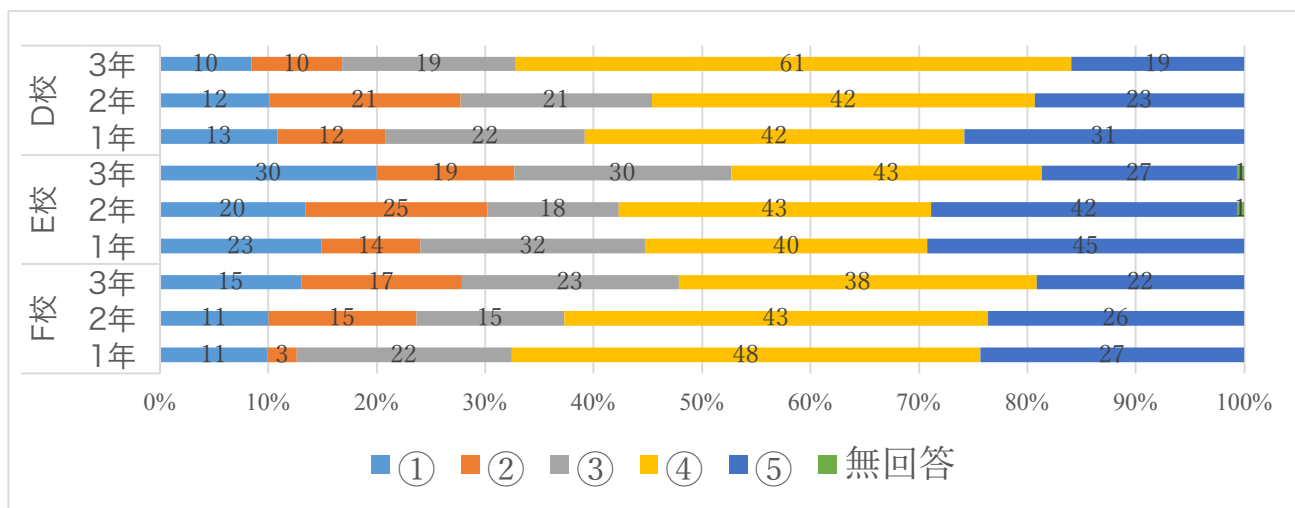
a. 外国人に、分からないことを英語で質問する



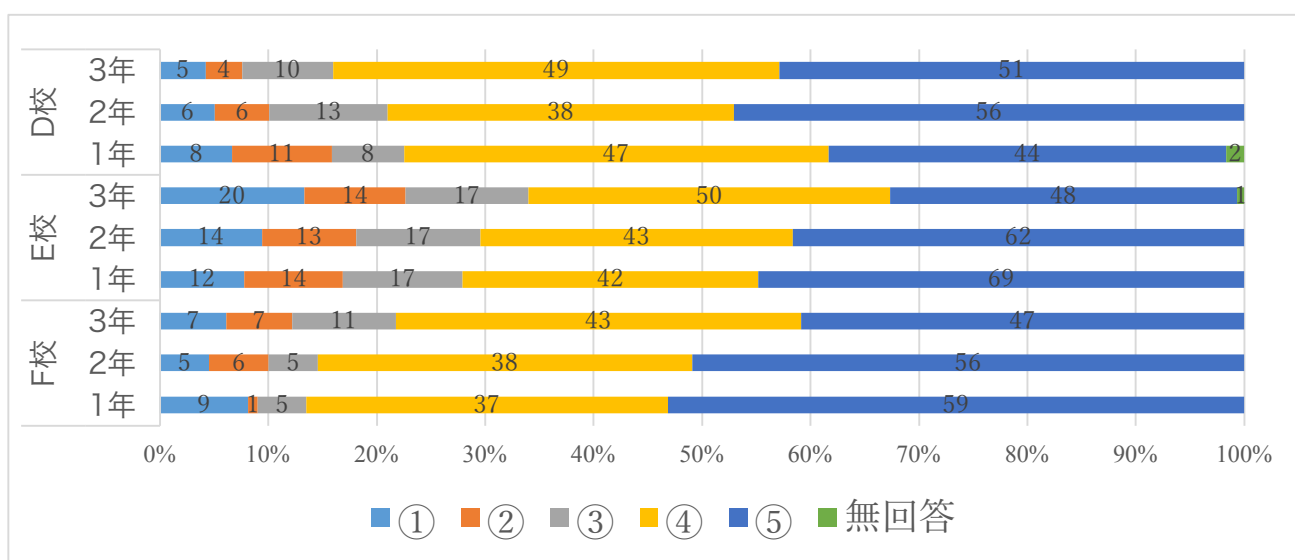
b. 外国人からの質問に英語で答える



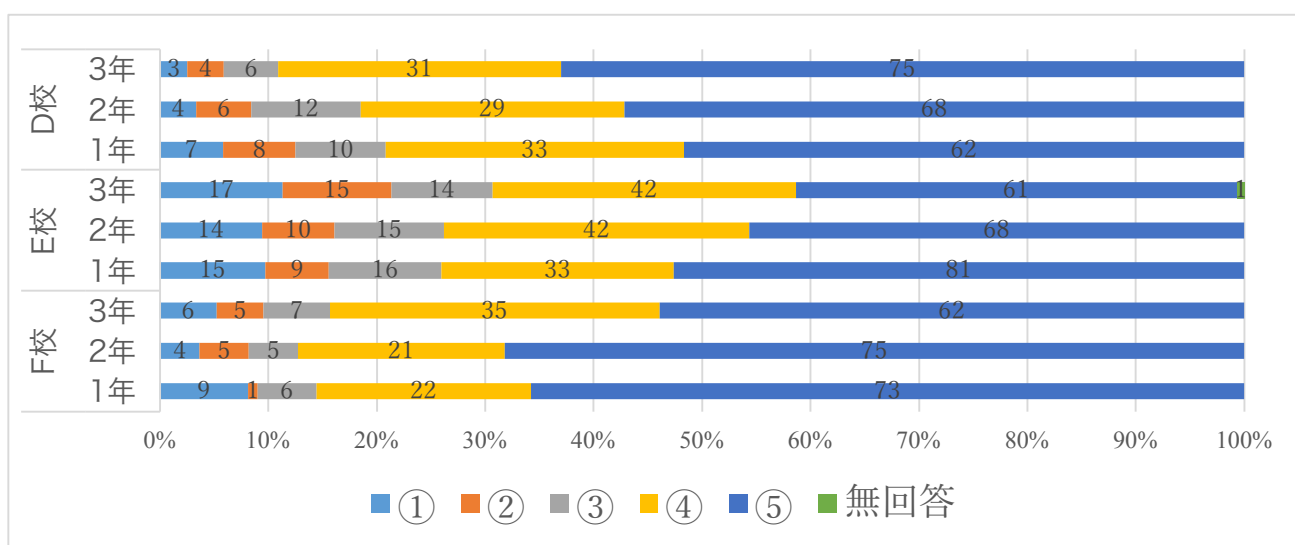
c. 外国人と英語で会話をする



d. 外国人が集まったグループで、英語で議論する



e. 外国人の前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

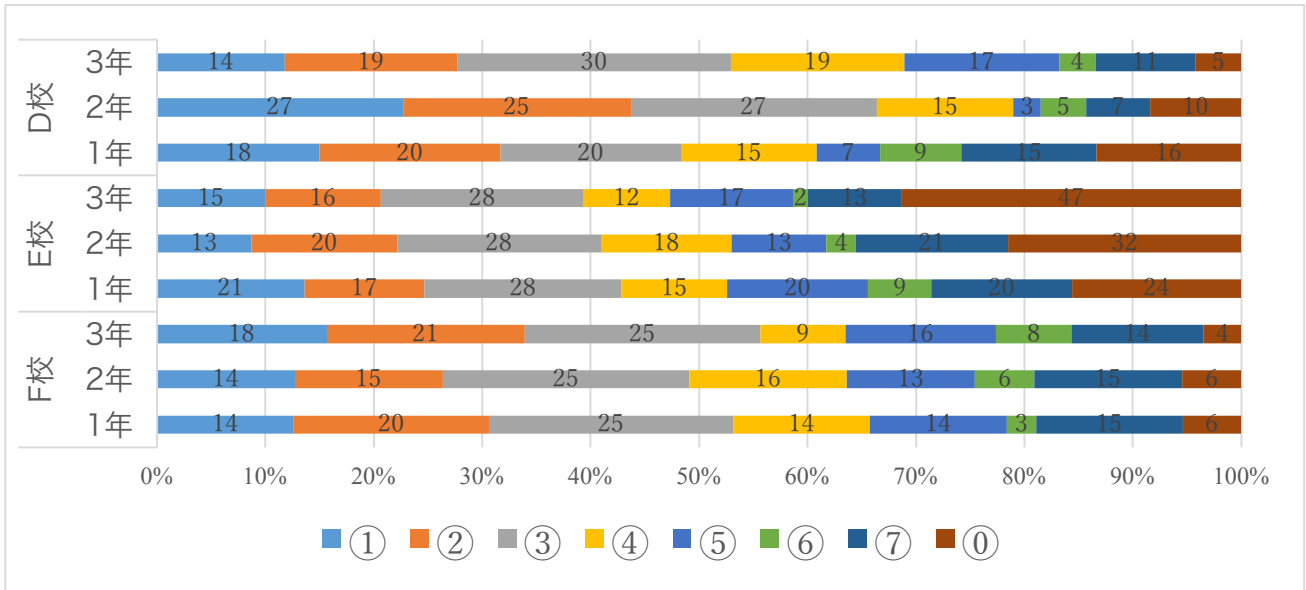


【授業以外の英語学習】

以下の設問は、学校内での授業以外の学習（自習学習や自宅学習・塾での学習）についての質問です。※「英語に接している」とは英語を読む、聞く、書く、話すのいずれも含みます。

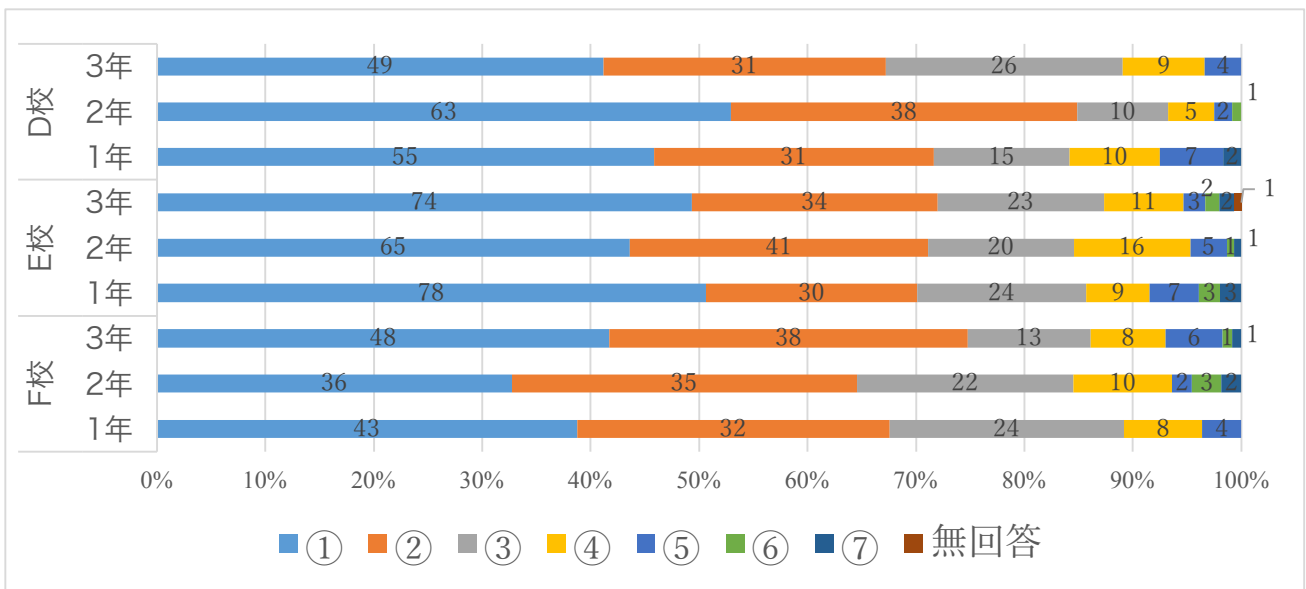
25.（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

- ①1日 ②2日 ③3日 ④4日 ⑤5日 ⑥6日 ⑦7日 ⑧1日も接しない



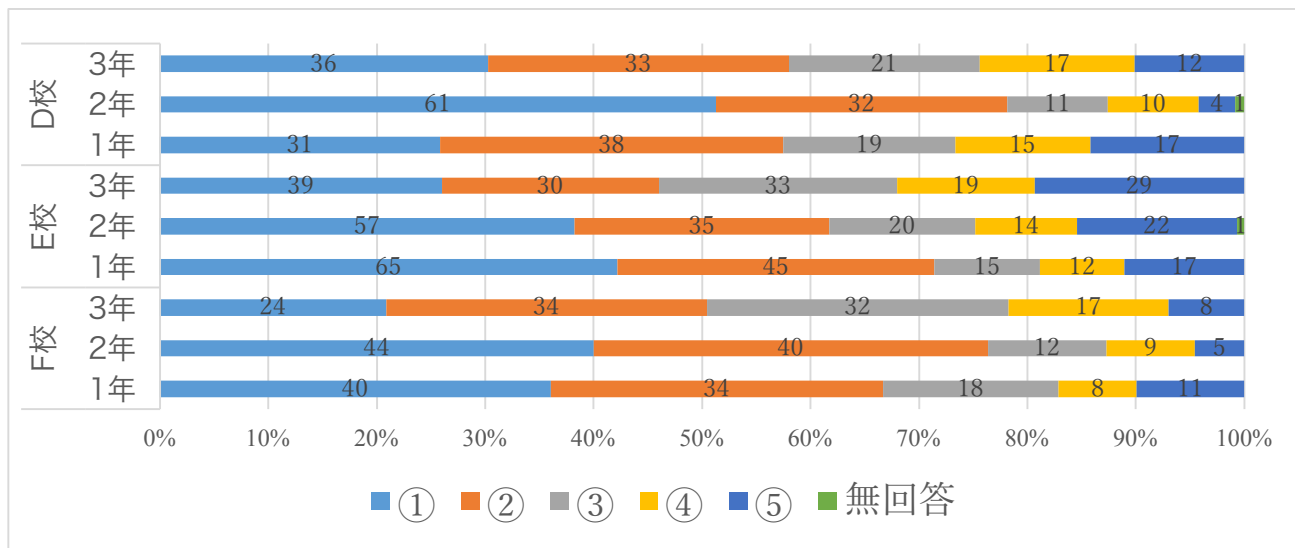
26.（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

- ①2時間未満 ②2時間以上4時間未満 ③4時間以上6時間未満 ④6時間以上8時間未満
⑤8時間以上10時間未満 ⑥10時間以上12時間未満 ⑦12時間以上



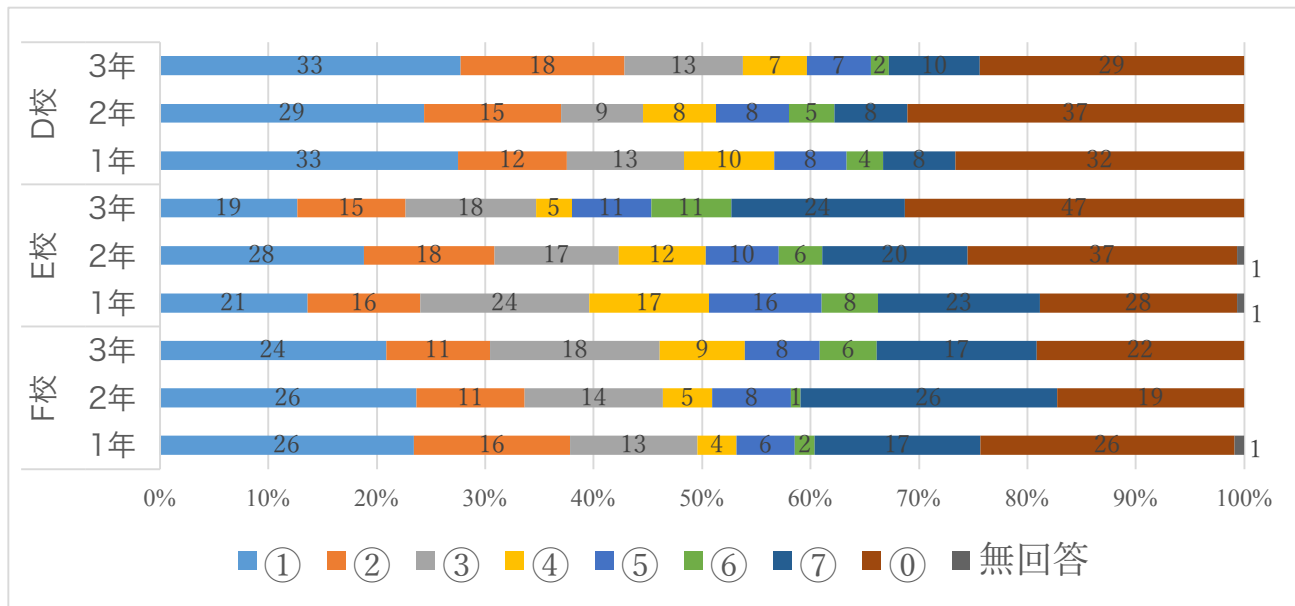
27. 26.について、授業の予習や復習・課題の学習時間は十分だと思いますか。

- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している



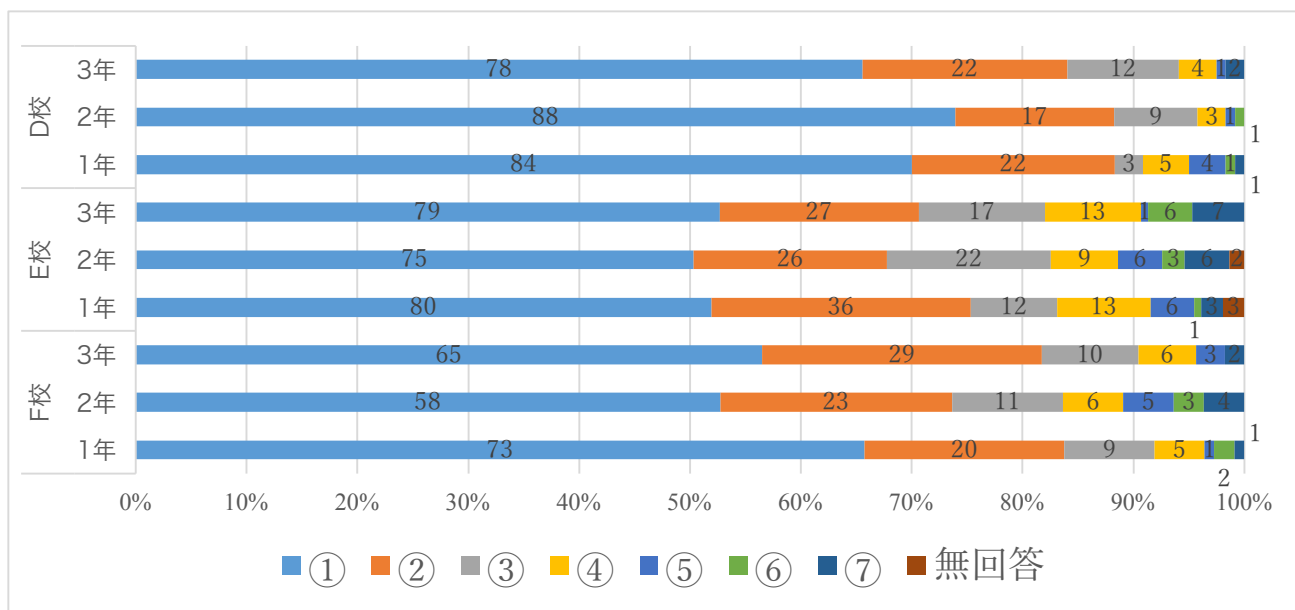
28. (学習塾・家庭教師を除き、) 予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

- ①1日 ②2日 ③3日 ④4日 ⑤5日 ⑥6日 ⑦7日 ⑧1日も接しない



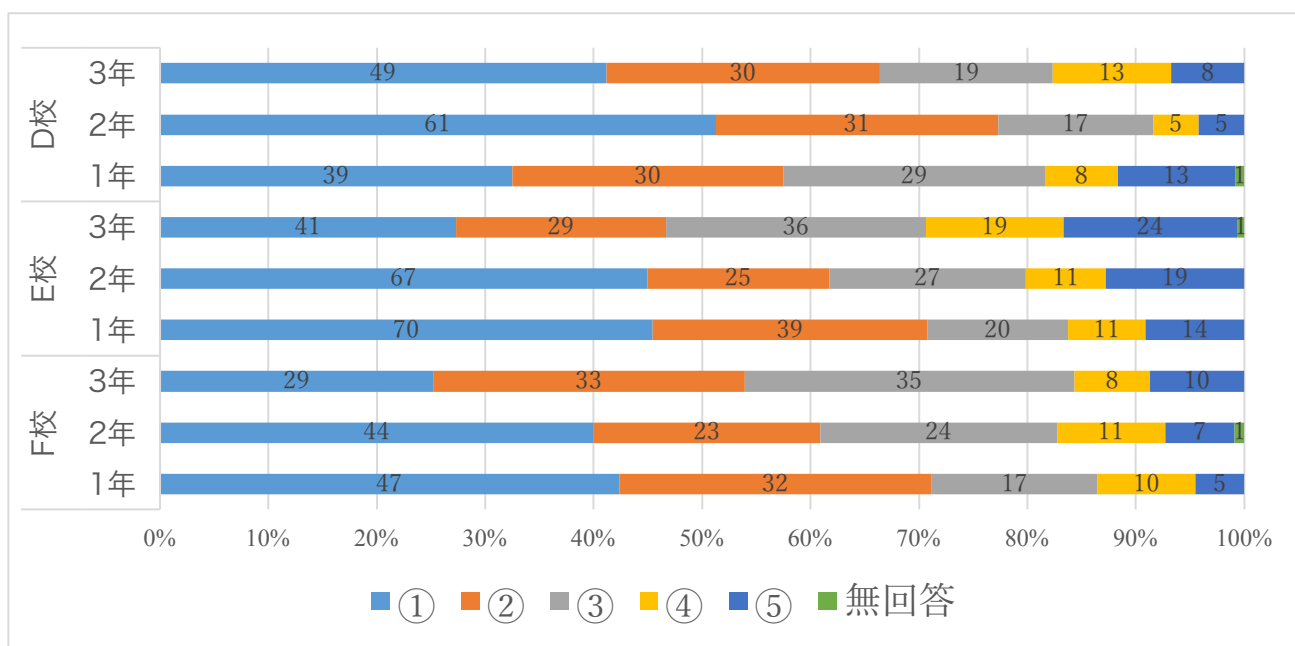
29. (学習塾・家庭教師を除き、) 予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

- ①2時間未満 ②2時間以上4時間未満 ③4時間以上6時間未満 ④6時間以上8時間未満
⑤8時間以上10時間未満 ⑥10時間以上12時間未満 ⑦12時間以上



30. 29.について、予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除いた学習時間は十分だと思いますか。

- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
 ④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している

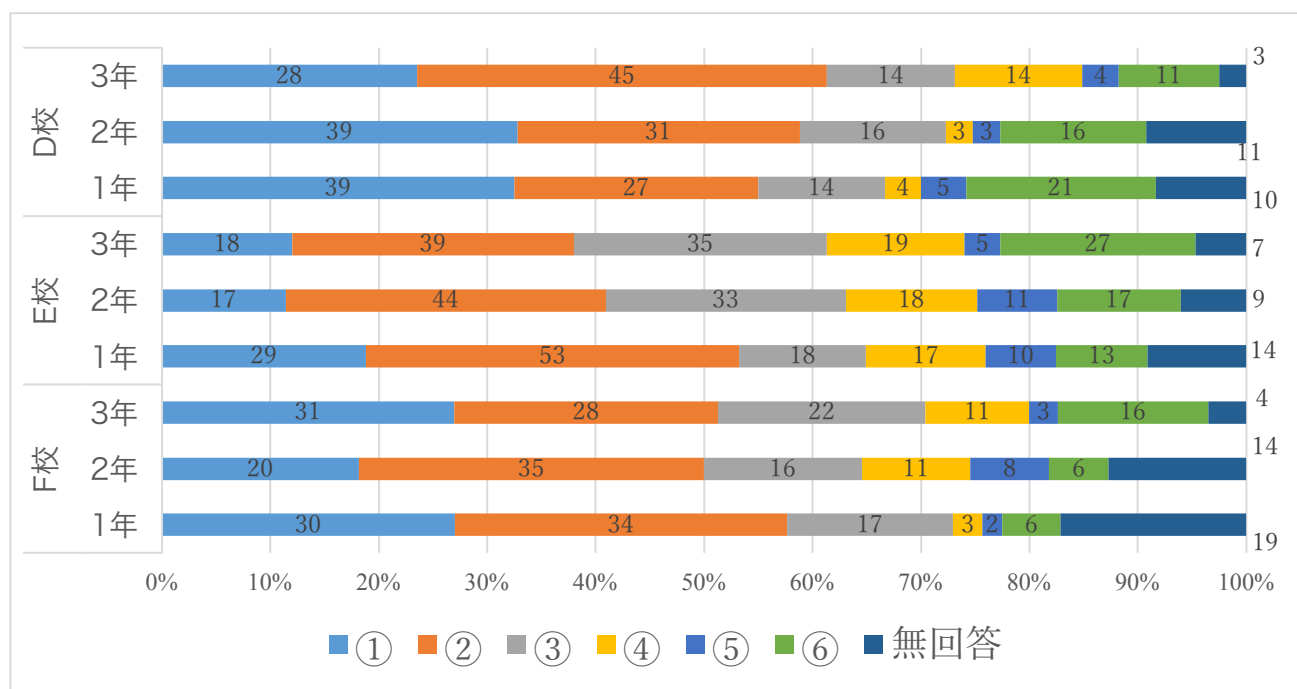


31. (授業以外で、パソコンやタブレット・携帯電話などを活用して英語に接している方のみ対象)
 英語に関わるどのようなことのために、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
 活用していることをすべて書いてください(記述式)。

【学習塾（家庭教師も含む）の学習時間（共通項目 16a の補足）】

32.（16a で②と回答した方のみ対象）学習塾（家庭教師も含む）では1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか（参考数値）。

- ①2時間未満 ②2時間以上3時間未満 ③3時間以上4時間未満 ④4時間以上5時間未満
⑤5時間以上6時間未満 ⑥6時間以上



第 3 章: 質問紙調査 (教員)

第 1 節 回答教員の経験・資格等^{※1}

※1 サンプルサイズが小さいため、学校ごとの集計はせず、第 2 節以降においては学校種ごとに集計した。

- 回答者に占める英検準 1 級相当以上取得者の割合は 50.00%である。
 - 回答者に占める採用後に何らかの検定試験を受験した者の割合は 57.14%である。
 - 回答者に占める半年以上、海外滞在を経験した者の割合は 42.86%である。
1. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.~d.の設問に回答してください。
 - b. 期間はどれくらいですか。
 - ①2 週間未満 ②2 週間以上 1 か月未満 ③1 カ月以上 3 か月未満 ④3 か月以上 6 か月未満
 - ⑤6 カ月以上 1 年未満 ⑥1 年以上 2 年未満 ⑦2 年以上 3 年未満 ⑧3 年以上
 - c. 場所はどこですか。マークシートの「6.c. 記述欄」に記載してください。
 - d. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか。
 - ①英語以外のみ ②主に英語以外 ③英語以外: 半分ぐらい、英語: 半分ぐらい
 - ④主に英語のみ ⑤英語のみ
 2. 中学・高校の教員になる前に、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可）。
 - ①英検 ②GTEC ③IELTS ④TOEFL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし
 3. 教員になってから、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可、共通項目）。
 - ①英検 ②GTEC ③IELTS ④TOEFL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし
 4. これまでに取得した英語関連の資格の認定級あるいは最高スコアおよび取得時期をすべて記入してください（共通項目「外部検定試験を受験し、英検準 1 級、TOFEL iBT 80 点、TOEIC 730 点以上のいずれかを取得していますか」を代替）。

| 担当 教員 教歴 | A 校 (n = 6) | | | | | |
|----------------|-------------|-----------------|--------------|--------------|------|---------------------------|
| | 1 年 | | 2 年 | | 3 年 | |
| | A | B | C | D | E | F |
| | 5 年 | 16 年 | 21 年 | 22 年 | 14 年 | 21 年 |
| 1b | 半年~1 年 | 半年~1 年 | 2 週間~1 か月 | 2 週間~1 か月 | 選択なし | 2 週間~1 か月 |
| 1c | カナダ | アメリカ | アメリカ | アメリカ | 記入なし | アメリカ |
| 1d | 英語のみ | 主に英語のみ | 英語のみ | 英語のみ | 選択なし | 英語のみ |
| 2. | 英検, TOEIC | 英検, TOEFL | 英検 | 英検 | 受験なし | 英検 |
| 3. | 受験なし | 英検 | 英検, TOEIC | 受験なし | 受験なし | 英検, TOEIC |
| 4. | 2 級 870 | 2 級 (大学 1 年) | 準 1 級 780 | 2 級 (大学時) | 記入なし | 準 1 級(2015) 845 (2016) |

| B校 (n = 10) | | | | | | |
|-------------|------|---------------------|-----------------|--------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 担当 | 1年 | | 2年 | | 3年 | |
| 教員 | G | H | I | J | K | L |
| 教歴 | 17年 | 28年 | 17年 | 25年 | 29年 | 21年 |
| 1b | 選択なし | 半年～1年 | 2週間～1か月 | 2週間未満 | 半年～1年 | 2年～3年 |
| 1c | 記入なし | オーストラリア | アメリカ 中国 | シンガポール オーストラリア ドイツ | イギリス | カナダ |
| 1d | 選択なし | 英語のみ | 半々ぐらい | 半々ぐらい | 英語のみ | 英語以外のみ |
| 2. | 受験なし | 英検 | 英検、TOEIC その他 | 英検 | 英検 | 英検、TOEFL |
| 3. | 受験なし | IELTs | 英検 | 受験なし | 英検、TOEIC ケンブリッジ | TOEIC TOEFL |
| 4. | 記入なし | 2級 (高1) IELTS-失念 | 準1級 (10年前) | 3級 | 1級 (1987) 940 (2000) CAE (2015) | (2010) |

| C校 (n = 2) | | | D校 (n = 3) | | |
|------------|--------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------|------------|
| 担当 | 2年 | 3年 | 1・3年 | 2年 | 3年 |
| 教員 | M | N | O | P | Q |
| 教歴 | 1年 | 11年 | 1年 | 10年 | 10年 |
| 1b | 選択なし | 半年～1年 | 1か月～3か月 | 2週間未満 | 2週間未満 |
| 1c | 記入なし | タイ | アメリカ | アメリカ カナダ オーストラリア | アメリカ 韓国 |
| 1d | 選択なし | 英語以外のみ | 主に英語のみ | 主に英語のみ | 主に英語のみ |
| 2. | 英検, GTEC, TOEIC | TOEFL | 英検, TOEIC | 英検, TOEIC | 英検 |
| 3. | 受験なし | 英検, TOEFL | 受験なし | 受験なし | 受験なし |
| 4. | 750 | 準1級 (2005) 790 (2016) | 2級 (高2) 600 (大学1年) | 2級 | 2級 (高2) |

| | E 校 (n = 3) | | | F 校 (n = 2) | |
|----------|-------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------|-----------|
| | 1・3 年 | 1・3 年 | 2・3 年 | 1・3 年 | 2 年 |
| 担当 教員 | R | S | T | U | V |
| 教歴 | 8 年 | 13 年 | 16 年 | 16 年 | 18 年 |
| 1b | 半年～1 年 | 半年～1 年 | 1 か月～3 か月 | 1 年～2 年 | 半年～1 年 |
| 1c | カナダ | アメリカ | アメリカ | オーストラリア | アメリカ |
| 1d | 主に英語のみ | 主に英語のみ | 主に英語のみ | 主に英語のみ | 主に英語のみ |
| 2. | 英検, TOEIC | 英検, TOEIC | 英検, TOEIC TOEFL, その他 | TOEIC | 英検, TOEFL |
| 3. | 受験なし | 英検 ケンブリッジ英検 | TOEIC | 受験なし | TOEIC |
| 4. | 2 級 (2001) | 準 1 級 TOEIC 680 | 準 1 級 (2015) 786 (2016) TOEFL iBT 86 (2013) ボランティア通訳 B | 記入なし | 2 級 |

第 2 節 共通項目（高等学校）

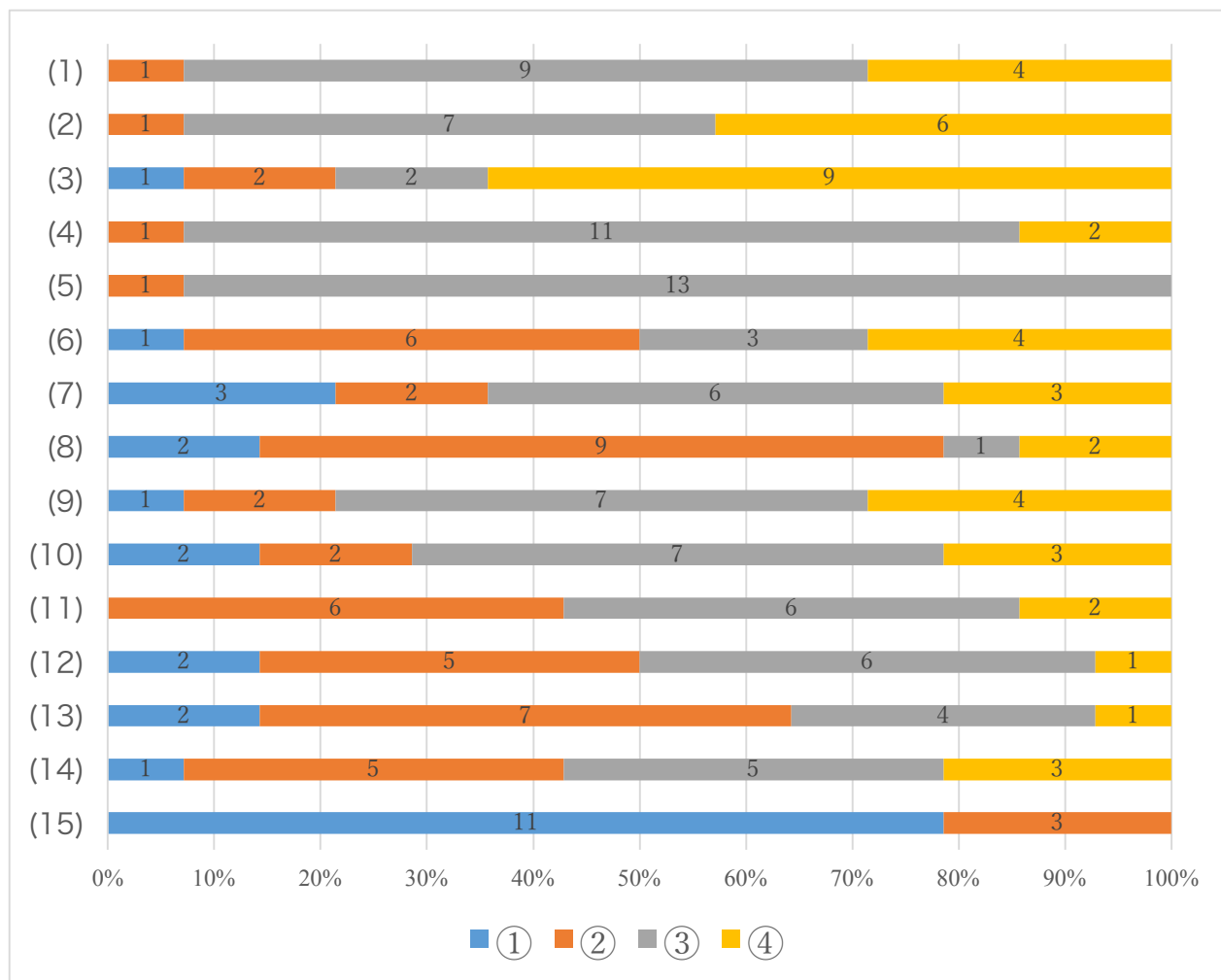
1. 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答してください。

- ①ほとんどそう思わない ②どちらかといえばそう思わない
③どちらかといえば、そう思う ④そう思う

- (1) 英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。
- (2) 英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。
- (3) 音読や暗唱を行っていますか。
- (4) 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。
- (5) 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。
- (6) リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりするよう指導していますか。
- (7) 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりするよう指導していますか。
- (8) 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりするよう指導していますか。
- (9) 速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていますか。
- (10) 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら、読んだり書いたりするよう指導していますか。
- (11) 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら、聞いたり読んだりするよ

う指導していますか。

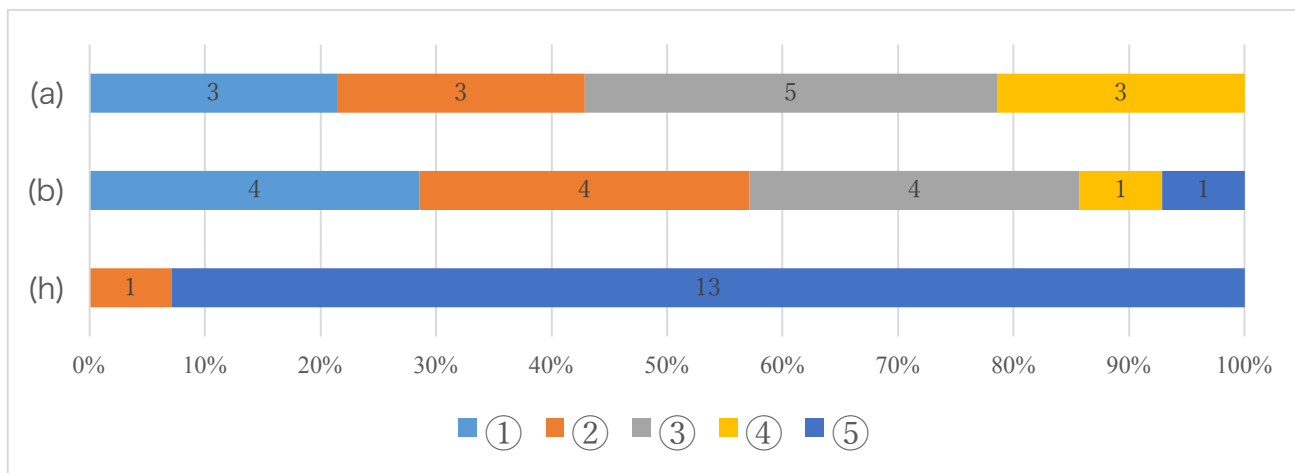
- (12) 与えられた話題について、即興で話す活動を行っていますか。
 (13) 与えられた条件（話題、話す時間や量など）に合わせて、即興で話す活動を行っていますか。
 (14) スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。
 (15) デイバートやディスカッションを行っていますか。



2. 今年度の主担当学年の授業において、先生ご自身はどの程度英語を使用していますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください（c～gは担当者がいないため省略）。

- ①あまり行っていない（25%程度未満）
- ②発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満）
- ③発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
- ④発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上）
- ⑤今年度は当該科目を担当していない

- (a) コミュニケーション英語Ⅰ，ⅡあるいはⅢ
- (b) 英語表現ⅠあるいはⅡ
- (h) 学校設定科目



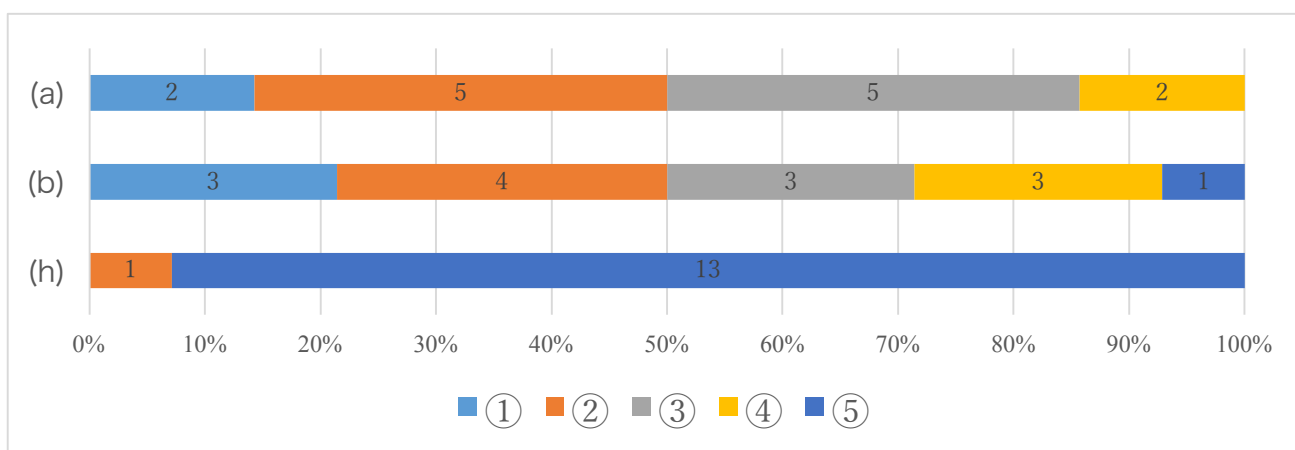
3. 今年度の主担当学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください（c～g は担当者がいないため省略）。

- ①あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
- ②半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満）
- ③半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
- ④授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上）
- ⑤今年度は当該科目を担当していない

(a) コミュニケーション英語 I， IIあるいはIII

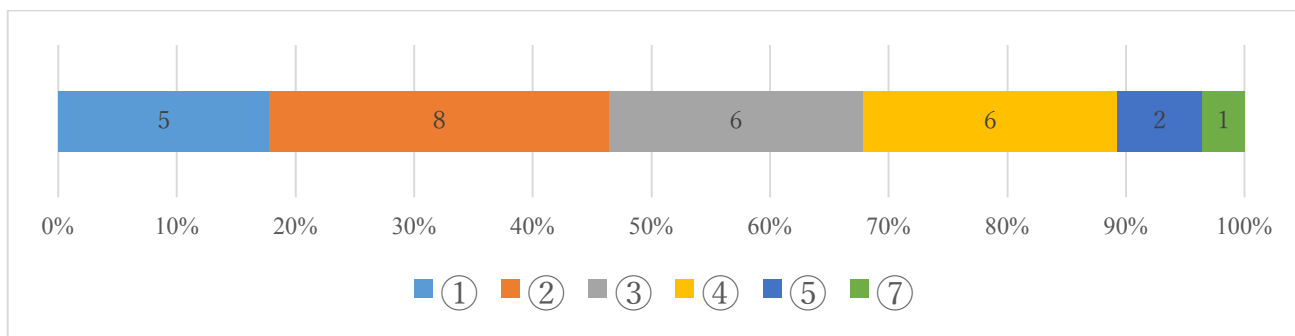
(b) 英語表現 I あるいは II

(h) 学校設定科目



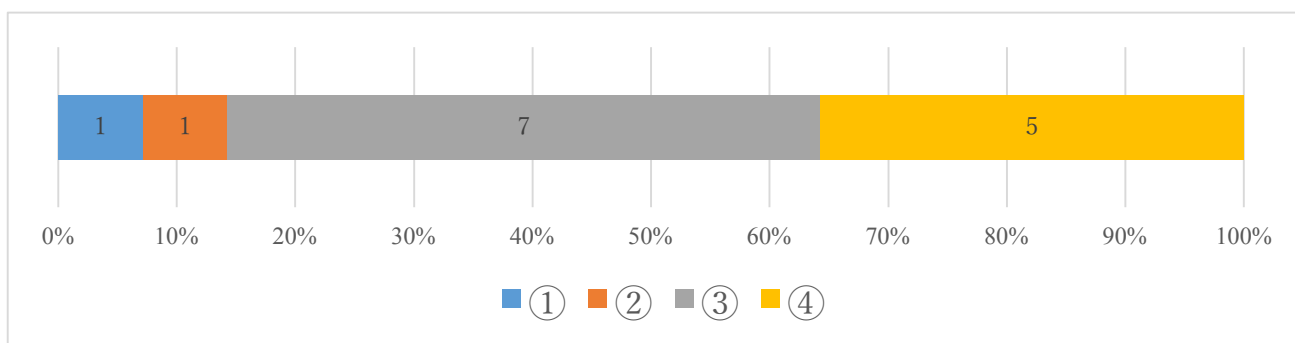
4. 自分の英語力を向上させるための取組をしていますか（複数回答可）。

- ①英字新聞や英語の雑誌、本を読む
- ②ラジオやテレビの英語講座で学習する
- ③英語のニュース番組や映画、ドラマを見る
- ④英語教材で学習する
- ⑤英語のウェブサイトを見たり、英語でEメールのやりとりをする
- ⑥国内の語学学校に通う
- ⑦SNSや教材等を利用して英語を話す練習をする
- ⑧その他



5. 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

①ほとんどしていない ②あまりしていない ③どちらかといえば、している ④よくしている



第3節 追加項目（高等学校）

6. 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

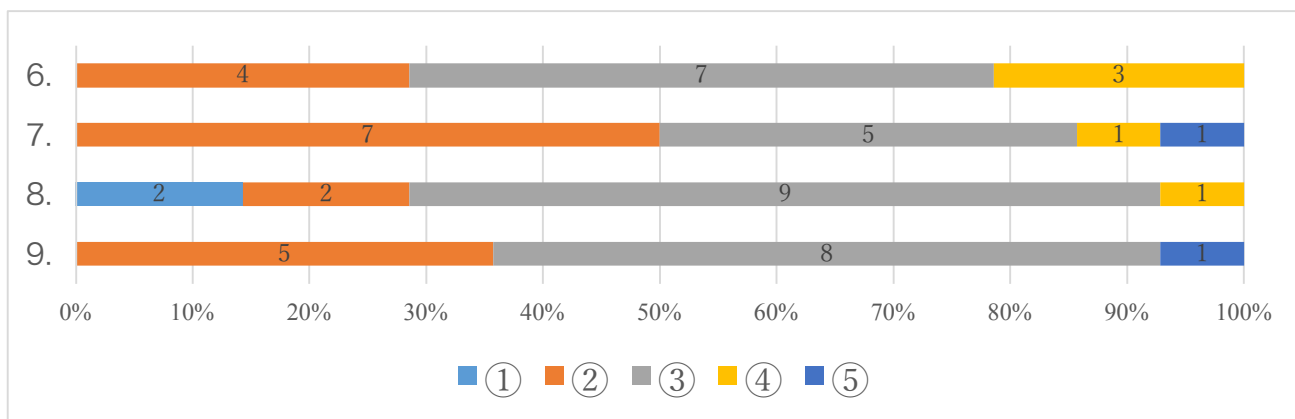
7. 今年度の主担当学年での英語表現の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

8. 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

9. 今年度の主担当学年での英語表現の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

- ①まったく行っていない ②あまり行っていない ③ある程度行っている
 ④十分に行っている ⑤今年度は当該科目を担当していない

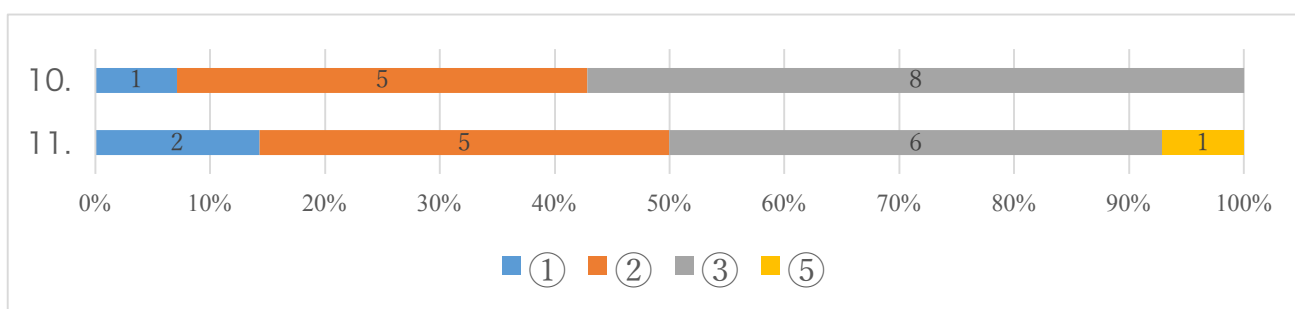
* 即興性があるとは、活動前に準備時間を与えないことあるいはごく短い準備時間であることとし、自発性があるとは、生徒自身を書くあるいは話すべき英語を考えることとします。したがって、音読やリピーティング、レシテーション、穴埋め作文、和文英訳などは含みません。要約やストーリー・リテリングは含むこととします。



10. 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

11. 今年度の主担当学年での英語表現の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

- ①まったくできていない ②あまりできていない ③ある程度できている
 ④十分にできている ⑤今年度は当該科目を担当していない



第4節 共通項目（中学校）

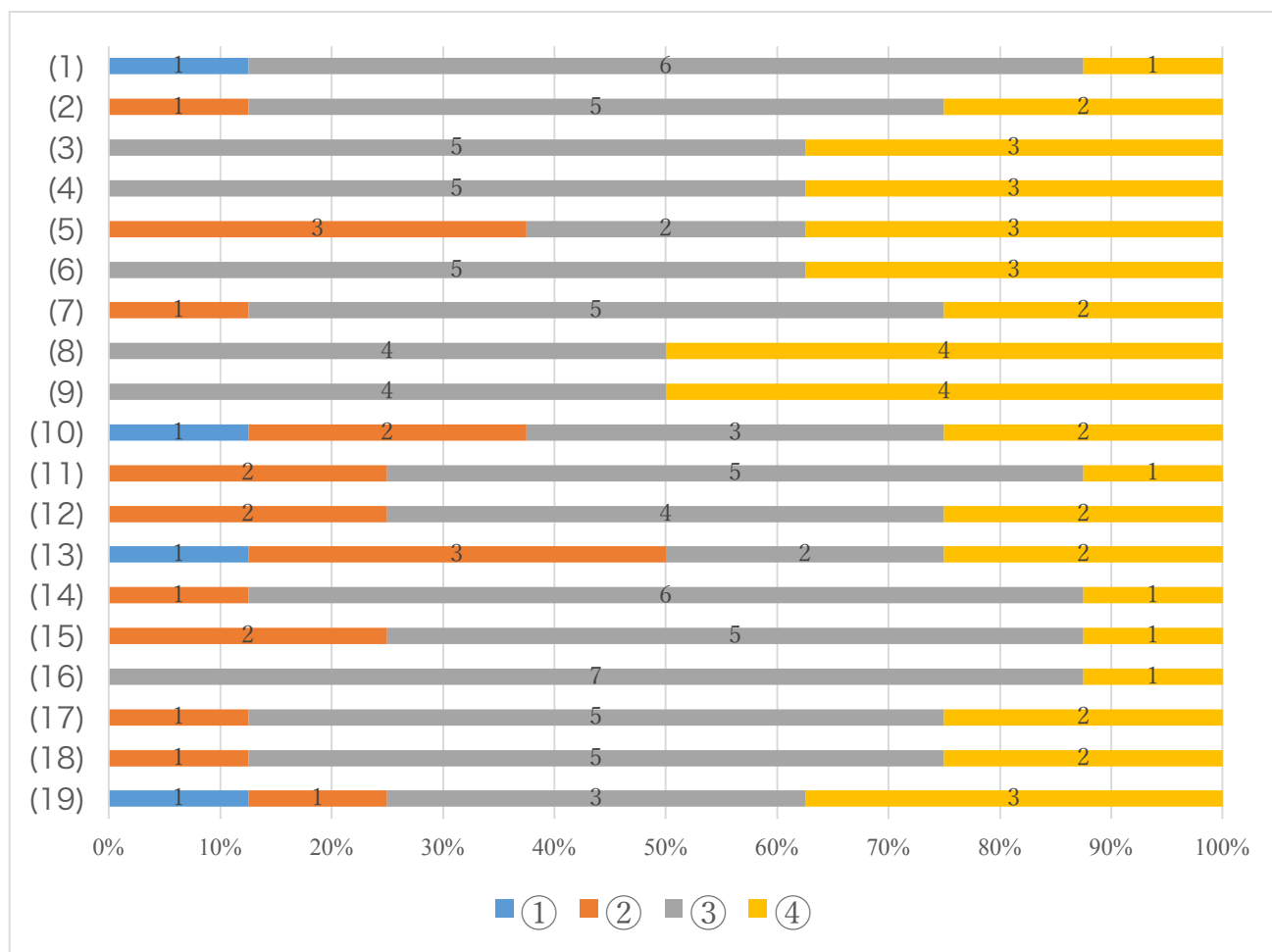
1. 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答してください。

- ①ほとんどそう思わない ②どちらかといえばそう思わない
 ③どちらかといえば、そう思う ④そう思う

- (1) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴に注意しながら聞いたり話したりするよう指導していますか。
 (2) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取る活動を行っていますか。
 (3) 質問や依頼などを聞いて適切に応じる活動を行っていますか。
 (4) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解する活動を行っていますか。
 (5) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動を行っていますか。
 (6) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える活動を行っていますか。
 (7) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動を行って

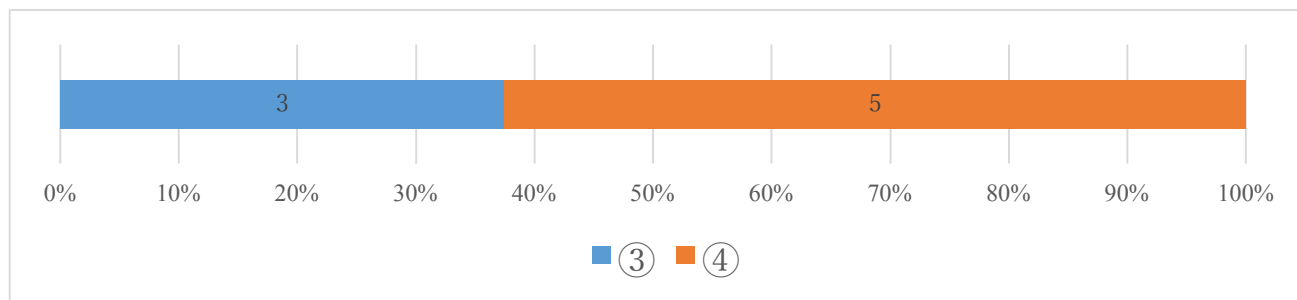
ますか。

- (8) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続ける活動を行っていますか。
- (9) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをする活動を行っていますか。
- (10) 文字や符号を識別し、正しく読むよう指導していますか。
- (11) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読したりする活動を行っていますか。
- (12) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る活動を行っていますか。
- (13) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる活動を行っていますか。
- (14) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動を行っていますか。
- (15) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くよう指導していますか。
- (16) 語と語のつながりなどに注意して正しく分を書くよう指導していますか。
- (17) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由をかいたりなどする活動を行っていますか。
- (18) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書く活動を行っていますか。
- (19) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く活動を行っていますか。



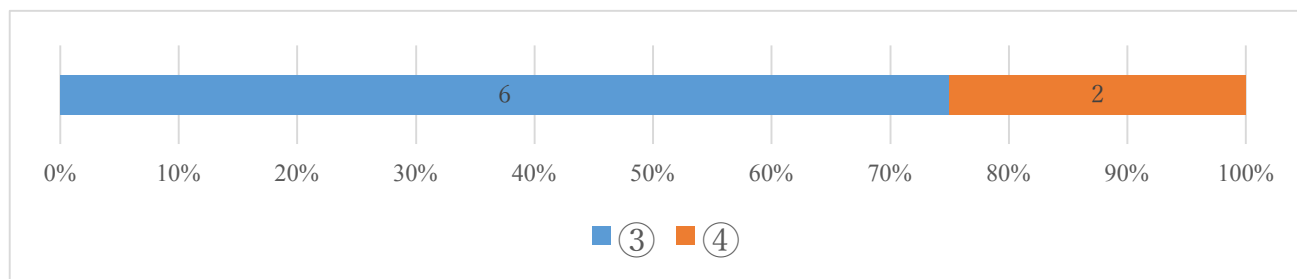
2. 今年度の主担当学年の授業において、先生ご自身はどの程度英語を使用していますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください。

- ①あまり行っていない（25%程度未満）
- ②発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満）
- ③発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
- ④発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上）



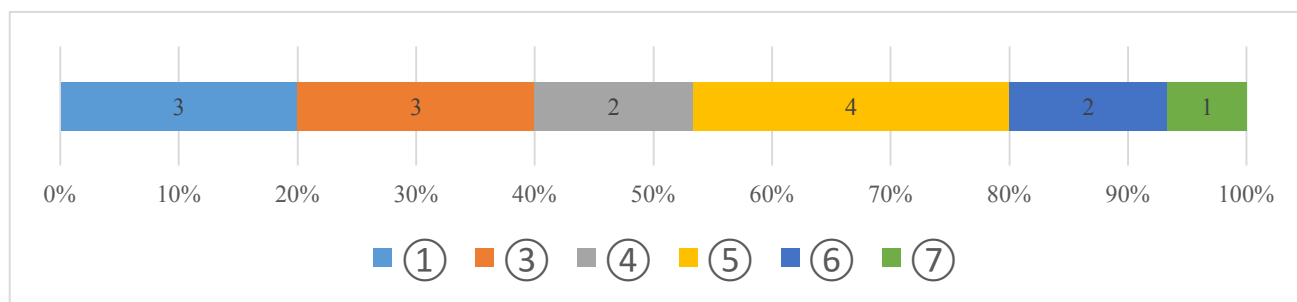
3. 今年度の主担当学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください。

- ①あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
- ②半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満）
- ③半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
- ④授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上）



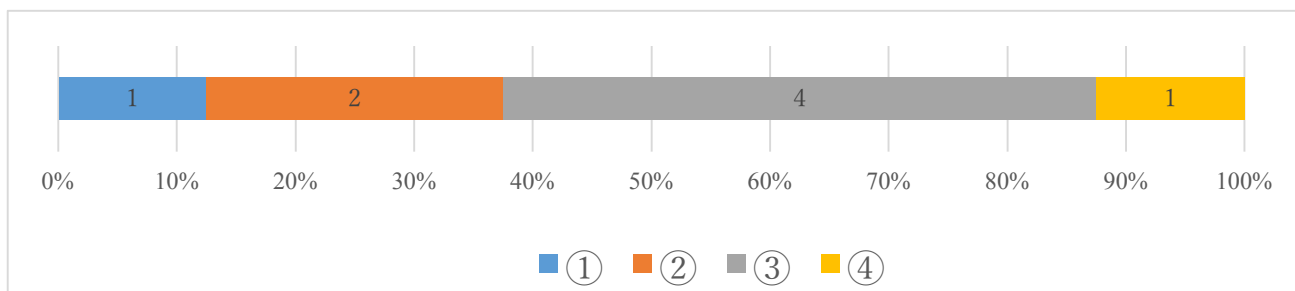
4. 自分の英語力を向上させるための取組をしていますか（複数回答可）。

- ①英字新聞や英語の雑誌、本を読む
- ②ラジオやテレビの英語講座で学習する
- ③英語のニュース番組や映画、ドラマを見る
- ④英語教材で学習する
- ⑤英語のウェブサイトを見たり、英語でEメールのやりとりをする
- ⑥国内の語学学校に通う
- ⑦SNSや教材等を利用して英語を話す練習をする
- ⑧その他



5. 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

①ほとんどしていない ②あまりしていない ③どちらかといえば、している ④よくしている



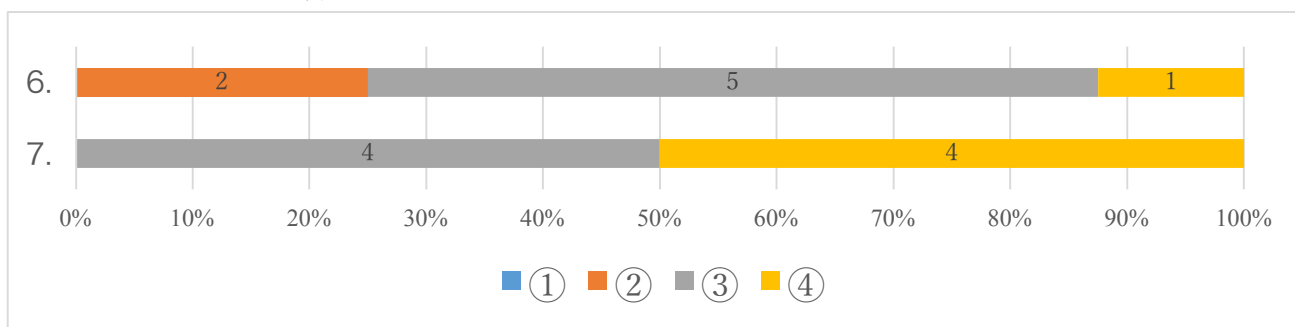
第5節 追加項目（中学校）

6. 今年度の英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

7. 今年度の英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

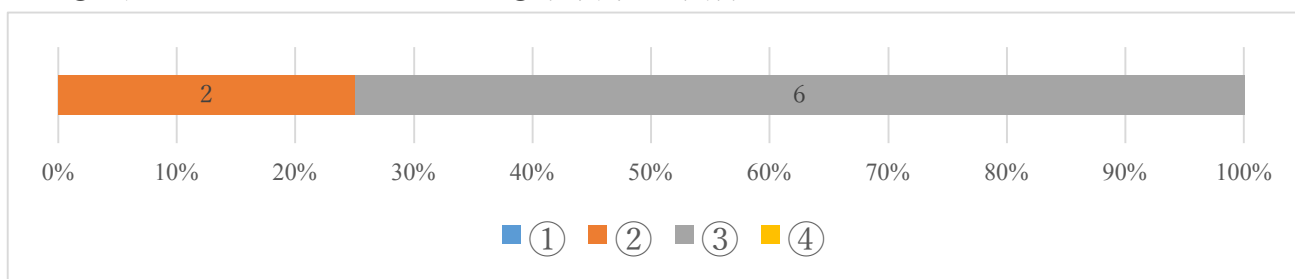
①まったく行っていない ②あまり行っていない ③ある程度行っている
④十分に行っている ④今年度は当該科目を担当していない

* 即興性があるとは、活動前に準備時間を与えないことあるいはごく短い準備時間であることとし、自発性があるとは、生徒自身が書くあるいは話すべき英語を考えることとします。したがって、音読やリピーティング、レシテーション、穴埋め作文、和文英訳などは含みません。要約やストーリー・リテリングは含むこととします。



8. 今年度の英語の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

①まったくできていない ②あまりできていない ③ある程度できている
④十分にできている ④今年度は当該科目を担当していない



第 4 章: 英語力調査 (生徒)

第1節 技能別スコア単純集計

第1項 学校別全体スコア分布^{※1}

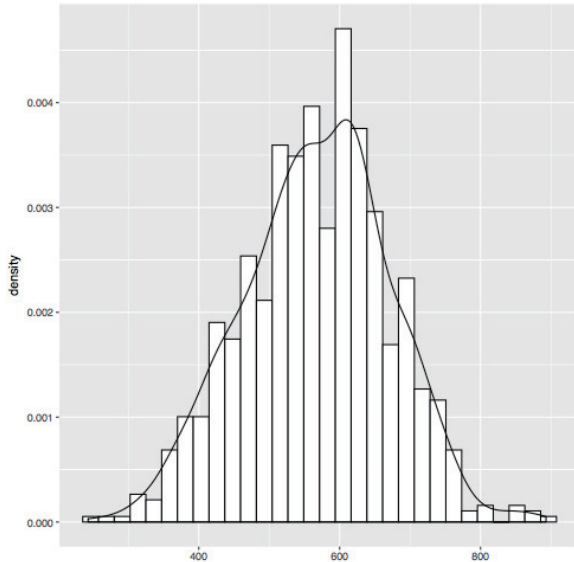


図1. 全体のスコア分布^{※2}

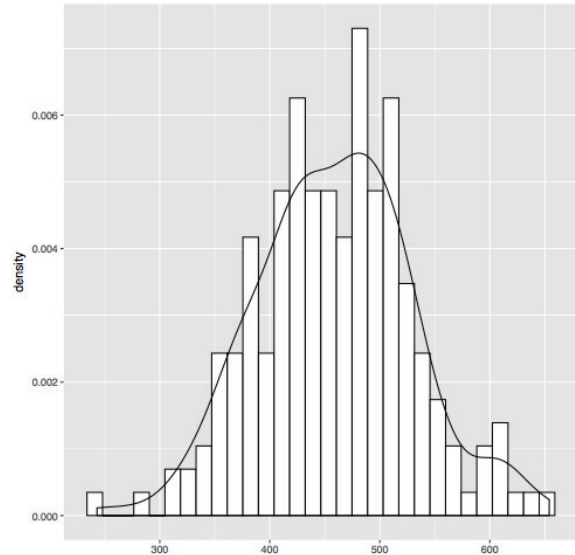


図2a. 学校別スコア分布 (A校1年)

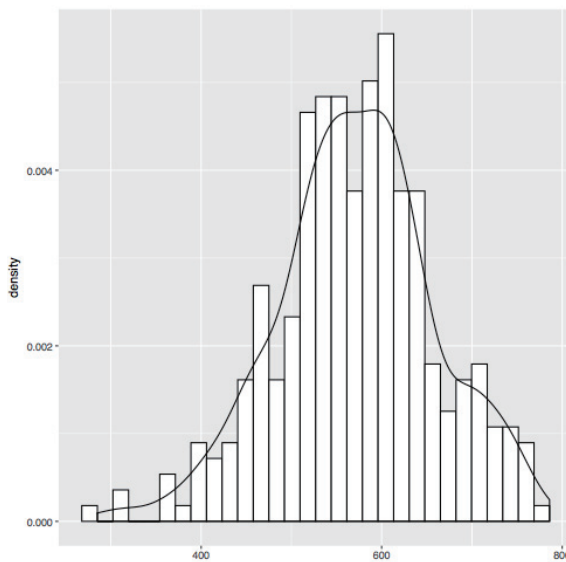


図2b. 学校別スコア分布 (B校1年)

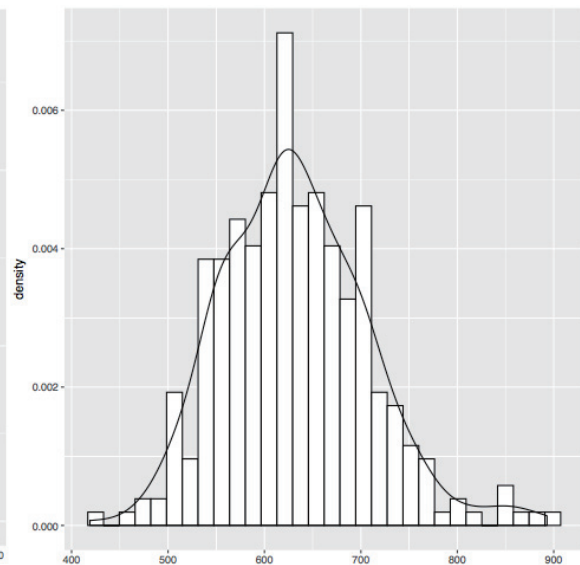


図2c. 学校別スコア分布 (B校2年)

^{※1} 3技能と Speaking の合計。上限値は1年生の受験したタイプでは830 (3技能660, Speaking170), 2年生の受験したタイプでは980 (3技能810, Speaking170)

^{※2} 全受験者847名中, 3技能と Speaking の両方の合計スコアが算出された者844名の分布。

第2項 学校・学級別集計

| HR | A校1年 (n=204) | | | | A校1年 (n=203) | | | | |
|-----|-------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| | Total | 第30回 Basic ^{※3} | | | Total | 2016 No. 2 Speaking Test Core ^{※4} | | | |
| | | Reading | Listening | Writing | | Speaking | | | |
| | | | | | Vocabulary | Grammar | Pronunciation | Fluency | |
| 1 | 381.43 (66.57) | 132.08 (33.02) | 151.55 (30.89) | 97.80 (20.15) | 64.62 (10.56) | 2.26 (0.61) | 1.96 (0.40) | 1.51 (0.22) | 1.30 (0.34) |
| 2 | 396.05 (61.90) | 136.46 (38.19) | 156.51 (24.30) | 103.07 (14.77) | 67.39 (11.93) | 2.18 (0.57) | 1.95 (0.44) | 1.58 (0.17) | 1.33 (0.35) |
| 3 | 415.95 (65.26) | 148.68 (33.87) | 161.54 (34.08) | 105.73 (14.84) | 63.32 (11.65) | 2.07 (0.40) | 1.90 (0.37) | 1.61 (0.24) | 1.40 (0.37) |
| 4 | 369.22 (63.46) | 126.73 (28.83) | 141.02 (28.72) | 101.46 (22.75) | 63.17 (9.56) | 1.91 (0.27) | 1.93 (0.43) | 1.55 (0.20) | 1.30 (0.35) |
| 5 | 384.80 (63.84) | 128.05 (30.65) | 151.00 (34.72) | 105.76 (11.05) | 64.00 (13.89) | 2.18 (0.54) | 1.94 (0.30) | 1.52 (0.19) | 1.35 (0.34) |
| All | 389.53 (65.52) | 134.41 (33.69) | 152.33 (31.23) | 102.79 (17.30) | 69.57 (10.86) | 2.12 (0.50) | 1.94 (0.39) | 1.55 (0.21) | 1.34 (0.35) |

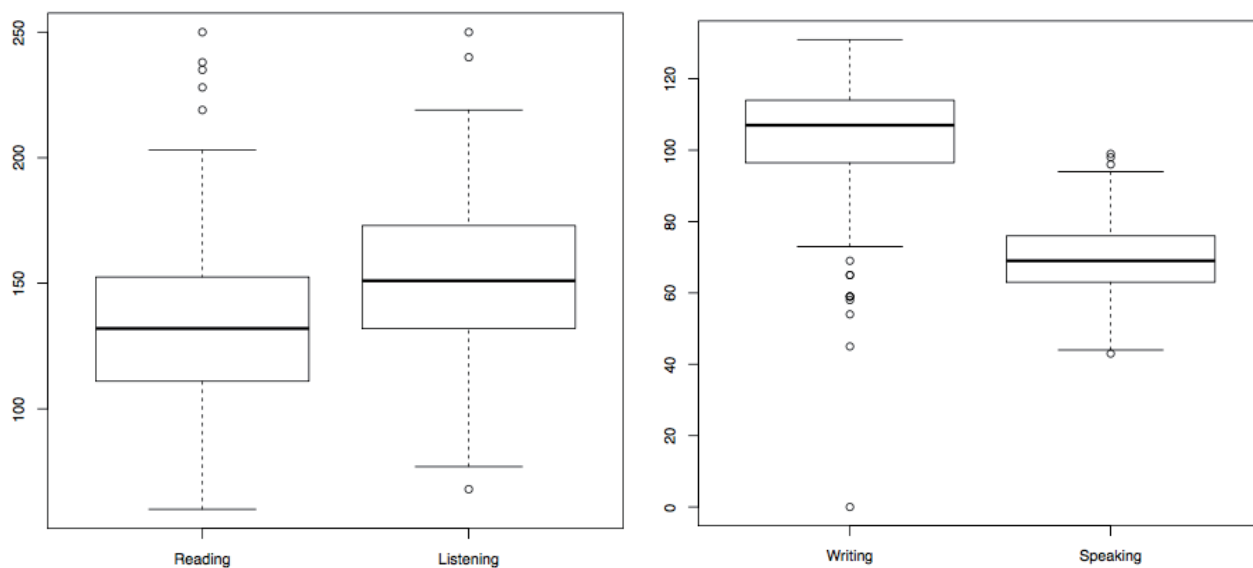


図3. A校1年のスコア分布

※³ スコア上限値は Reading および Listening が 250, Writing が 160。

※⁴ スコア上限値は 170。

| HR | B 校 1 年 (n = 323) | | | | B 校 1 年 (n = 323) | | | | |
|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | Total | 第 30 回 Basic | | | 2016 No. 2 Speaking Test Advanced ^{※5} | | | | |
| | | Reading | Listening | Writing | Total | Vocabulary | Grammar | Pronunciation | Fluency |
| 1 | 488.29 (69.47) | 177.73 (40.58) | 195.15 (35.89) | 115.41 (7.01) | 101.78 (14.73) | 2.51 (0.55) | 1.85 (0.44) | 1.50 (0.16) | 1.04 (0.13) |
| 2 | 449.53 (74.25) | 166.95 (38.49) | 169.38 (38.98) | 113.20 (10.18) | 99.05 (12.56) | 2.41 (0.52) | 1.95 (0.46) | 1.51 (0.14) | 1.03 (0.11) |
| 3 | 446.71 (73.43) | 167.00 (36.50) | 164.83 (40.81) | 114.88 (8.22) | 95.98 (16.13) | 2.28 (0.47) | 1.90 (0.44) | 1.50 (0.16) | 1.02 (0.11) |
| 4 | 444.23 (80.59) | 163.70 (40.59) | 167.90 (37.01) | 112.63 (11.03) | 96.65 (19.23) | 2.36 (0.55) | 1.83 (0.41) | 1.45 (0.19) | 1.05 (0.31) |
| 5 | 489.95 (73.24) | 184.12 (40.38) | 187.93 (35.14) | 117.90 (7.00) | 100.32 (16.74) | 2.34 (0.56) | 1.93 (0.40) | 1.50 (0.19) | 1.04 (0.17) |
| 6 | 471.82 (77.89) | 182.08 (38.68) | 174.82 (39.01) | 114.92 (10.13) | 102.87 (14.89) | 2.51 (0.64) | 1.95 (0.38) | 1.52 (0.19) | 1.04 (0.13) |
| 7 | 465.80 (70.13) | 173.23 (35.33) | 179.43 (38.85) | 113.15 (8.14) | 99.28 (22.10) | 2.48 (0.71) | 1.83 (0.51) | 1.50 (0.23) | 1.04 (0.21) |
| 8 | 512.29 (75.10) | 194.54 (38.59) | 202.29 (38.97) | 115.46 (7.75) | 108.32 (15.62) | 2.72 (0.73) | 2.01 (0.43) | 1.50 (0.15) | 1.09 (0.22) |
| All | 471.24 (76.99) | 176.21 (39.52) | 180.32 (39.83) | 114.71 (8.84) | 100.54 (16.50) | 2.45 (0.63) | 1.91 (0.43) | 1.50 (0.18) | 1.04 (0.16) |

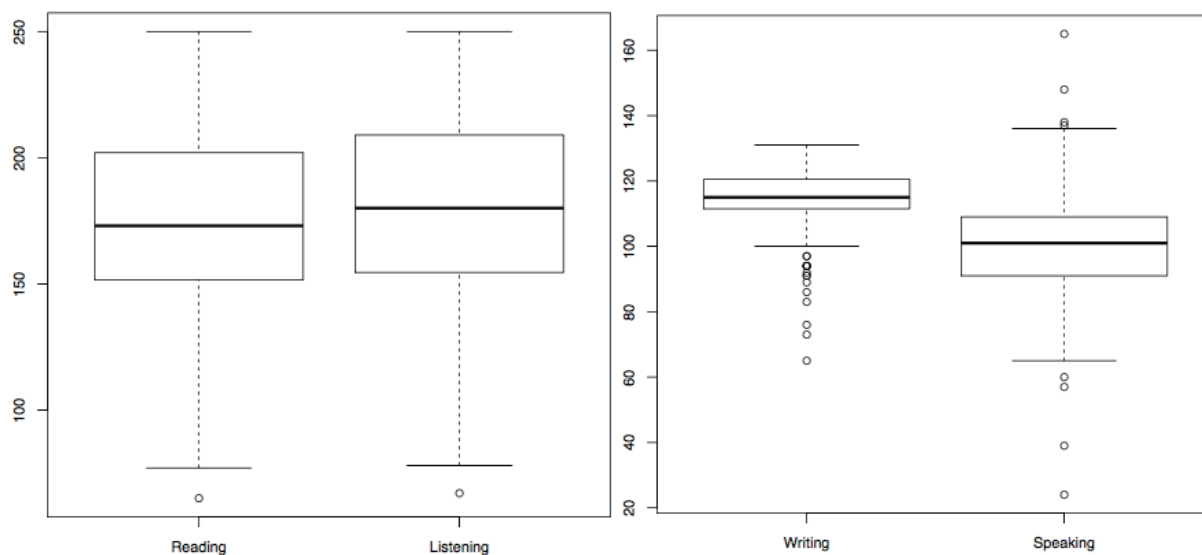


図 4. B 校 1 年のスコア分布

※5 スコア上限値は 170。

| HR | B 校 2 年 ($n = 318$) ^{*6} | | | | B 校 2 年 ($n = 320$) | | | | |
|-----|-------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 第 31 回 Advanced ^{*7} | | | | 2016 No. 2 Speaking Test Advanced | | | | |
| | Total | Reading | Listening | Writing | Total | Speaking | | | |
| | | | | | | Vocabulary | Grammar | Pronunciation | Fluency |
| 1 | 502.00 (50.82) | 186.00 (24.27) | 199.23 (27.03) | 116.77 (12.26) | 102.47 (13.52) | 2.72 (0.74) | 2.25 (0.44) | 1.81 (0.40) | 1.00 (0.00) |
| 2 | 506.89 (56.85) | 190.66 (30.04) | 198.05 (31.07) | 118.18 (9.60) | 101.05 (17.28) | 2.66 (0.75) | 2.18 (0.39) | 1.53 (0.56) | 1.03 (0.16) |
| 3 | 499.81 (69.74) | 186.03 (34.26) | 194.27 (34.26) | 119.51 (8.89) | 100.14 (17.67) | 2.68 (0.82) | 2.16 (0.44) | 1.59 (0.50) | 1.00 (0.00) |
| 4 | 530.83 (59.72) | 196.97 (28.63) | 213.44 (32.91) | 120.42 (8.10) | 105.97 (15.54) | 2.83 (0.70) | 2.33 (0.53) | 1.61 (0.49) | 1.06 (0.23) |
| 5 | 523.78 (61.54) | 201.87 (30.06) | 202.24 (33.81) | 119.67 (9.40) | 105.24 (11.91) | 2.62 (0.65) | 2.20 (0.40) | 1.76 (0.43) | 1.00 (0.00) |
| 6 | 533.04 (52.77) | 203.51 (30.47) | 209.80 (24.53) | 119.73 (8.52) | 106.20 (15.20) | 2.60 (0.65) | 2.31 (0.47) | 1.76 (0.43) | 1.04 (0.21) |
| 7 | 511.88 (54.53) | 190.30 (28.87) | 201.50 (29.65) | 116.47 (19.73) | 103.84 (14.24) | 2.77 (0.78) | 2.30 (0.51) | 1.63 (0.49) | 1.00 (0.00) |
| 8 | 603.58 (67.76) | 232.55 (37.18) | 245.03 (33.62) | 126.00 (6.92) | 113.08 (11.98) | 2.98 (0.70) | 2.35 (0.53) | 1.90 (0.30) | 1.07 (0.27) |
| All | 527.15 (66.67) | 198.92 (33.57) | 208.10 (34.18) | 119.61 (11.41) | 104.85 (15.03) | 2.73 (0.72) | 2.26 (0.47) | 1.70 (0.47) | 1.02 (0.16) |

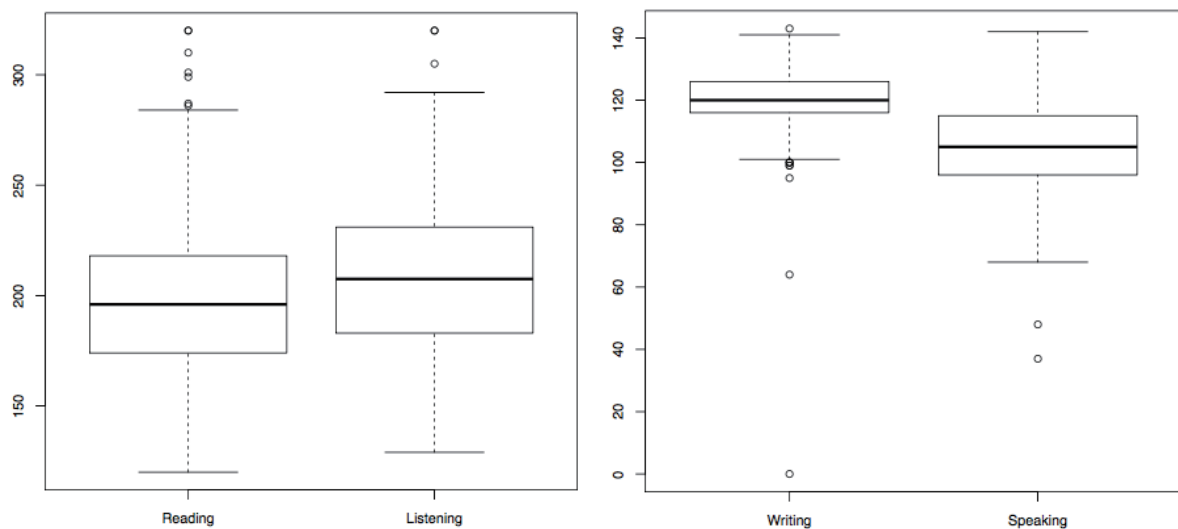


図 5. B 校 2 年のスコア分布

※⁶ 欠席の1名に加えて、Readingのみを受験し、他の得点が欠損しているため総合点が算出されていない受験者が1名いる。

※⁷ スコア上限値は Reading および Listening が 320, Writing が 170。

第2節 GTEC for STUDENTS グレードの分布

第1項 A校1年

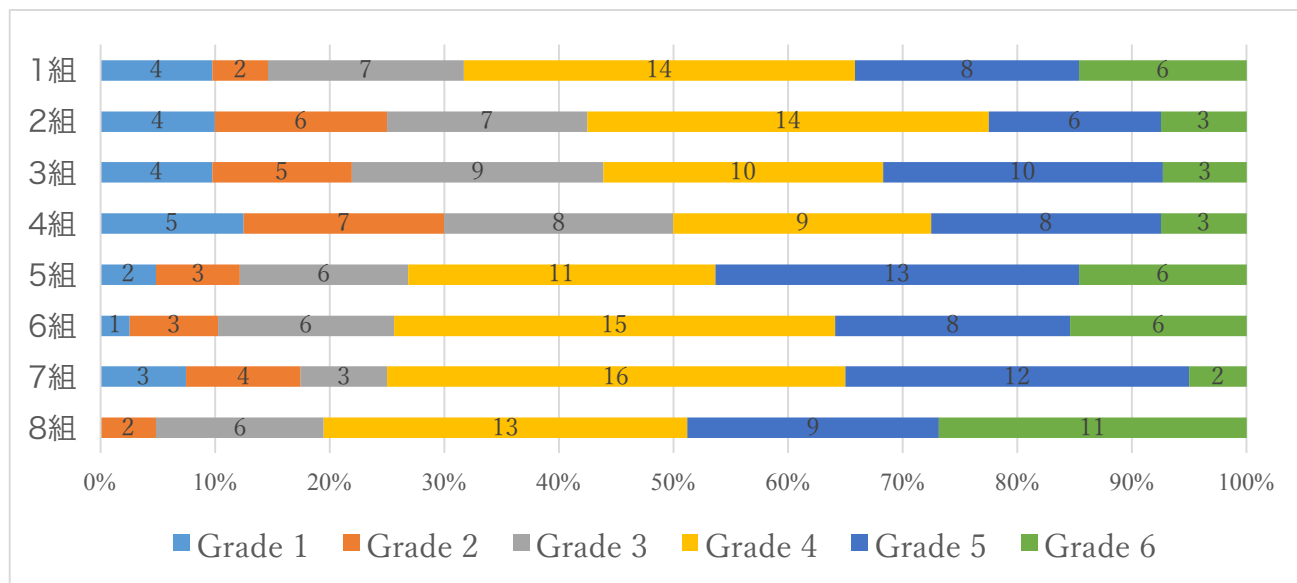
1. 学校全体のグレード分布

| グレード | A校1年※ ⁸ | | | | Speaking |
|----------|--------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| | Reading | Listening | Writing | 3技能 Total | |
| 1 | 67 32.84% | 67 32.84% | 1 0.49% | 17 8.33% | 103 50.74% |
| 2 | 54 26.47% | 56 27.45% | 18 8.82% | 72 35.29% | 90 44.33% |
| 3 | 40 19.61% | 45 22.06% | 42 20.59% | 70 34.31% | 10 4.93% |
| 4 | 32 15.69% | 23 11.27% | 142 69.61% | 39 19.12% | 0 0.00% |
| 5 | 8 3.92% | 11 5.39% | 1 0.49% | 6 2.94% | 0 0.00% |
| 6 | 3 1.47% | 2 0.98% | 0 0.00% | 0 0.00% | 0 0.00% |
| 7 | | | | | |
| <i>n</i> | 204 | 204 | 204 | 204 | 203 |

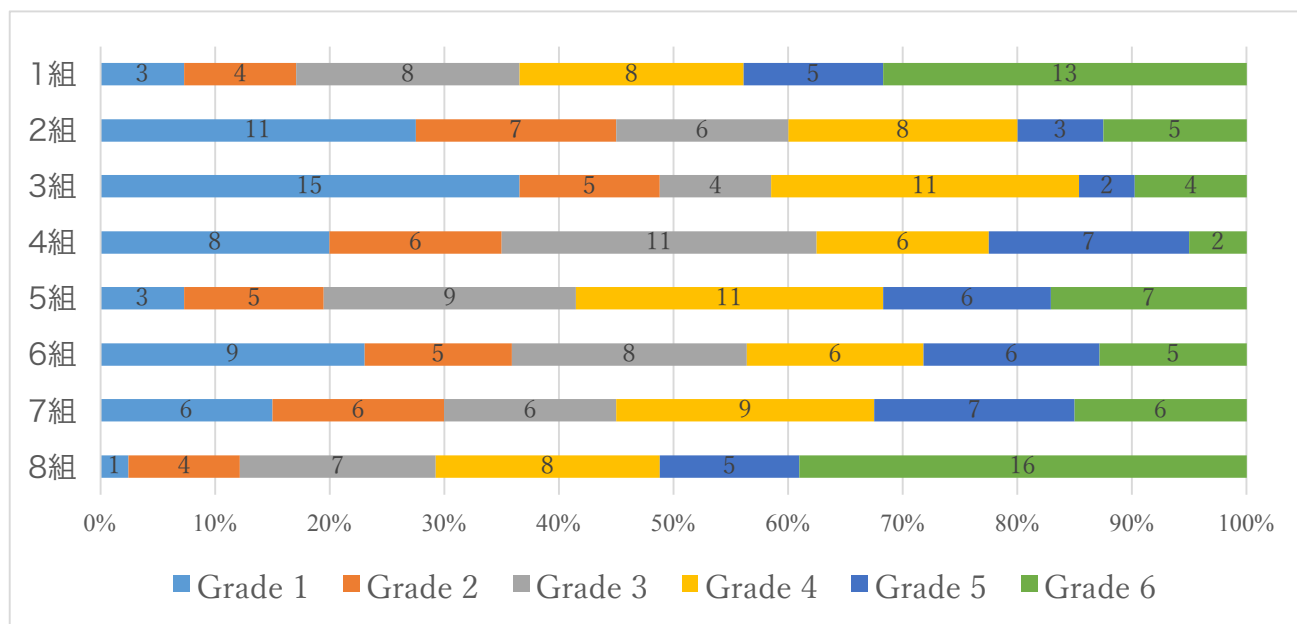
※⁸ Basic タイプのスコア上限値により、Grade の最高は Grade 6 となる。

2. 技能・学級別グレード分布 (1年)

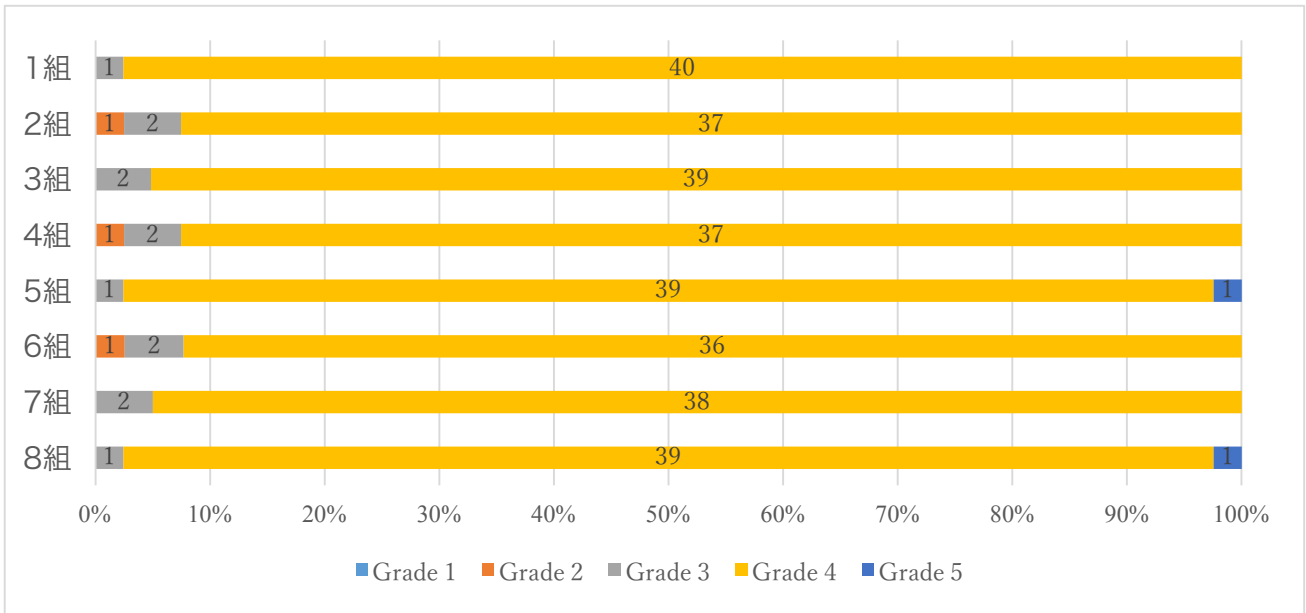
(1) Reading



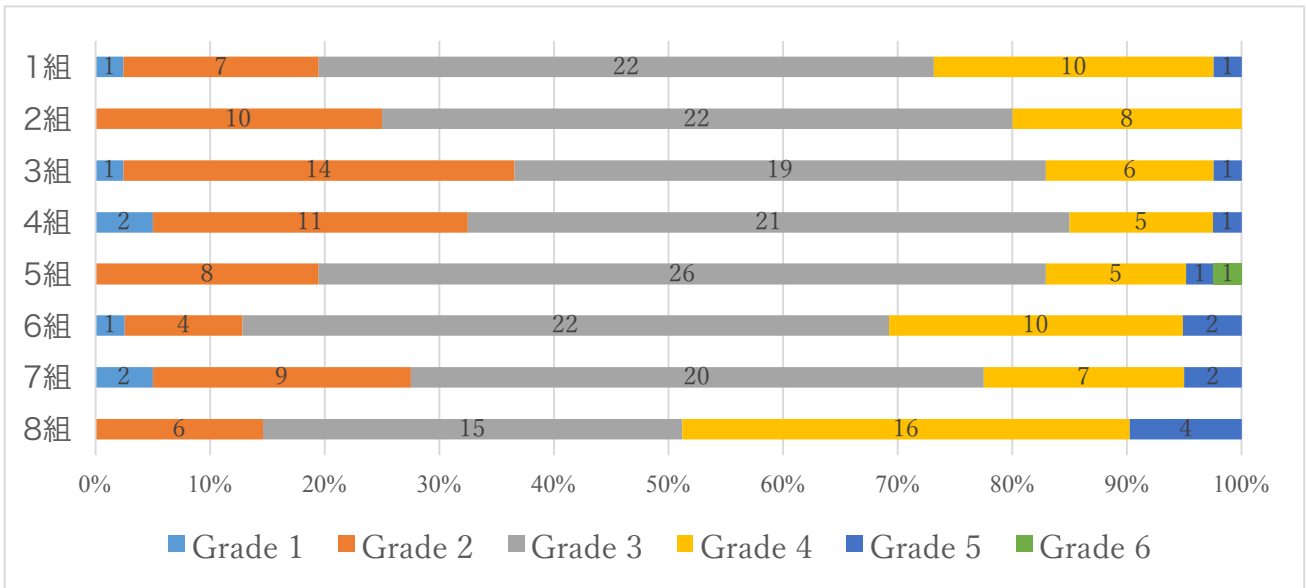
(2) Listening



(3) Writing

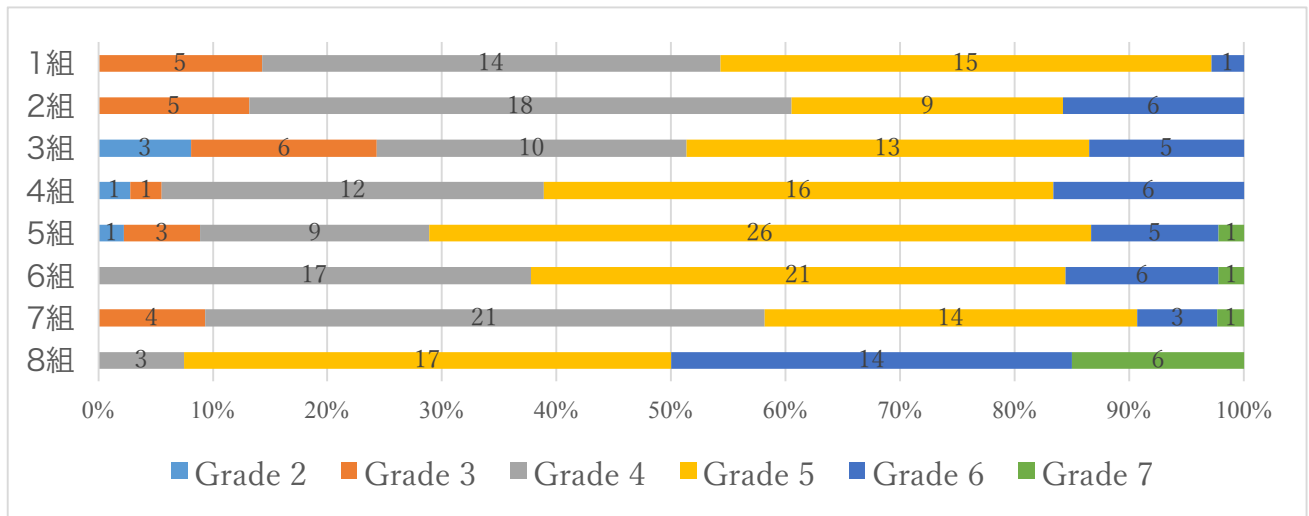


(4) Speaking

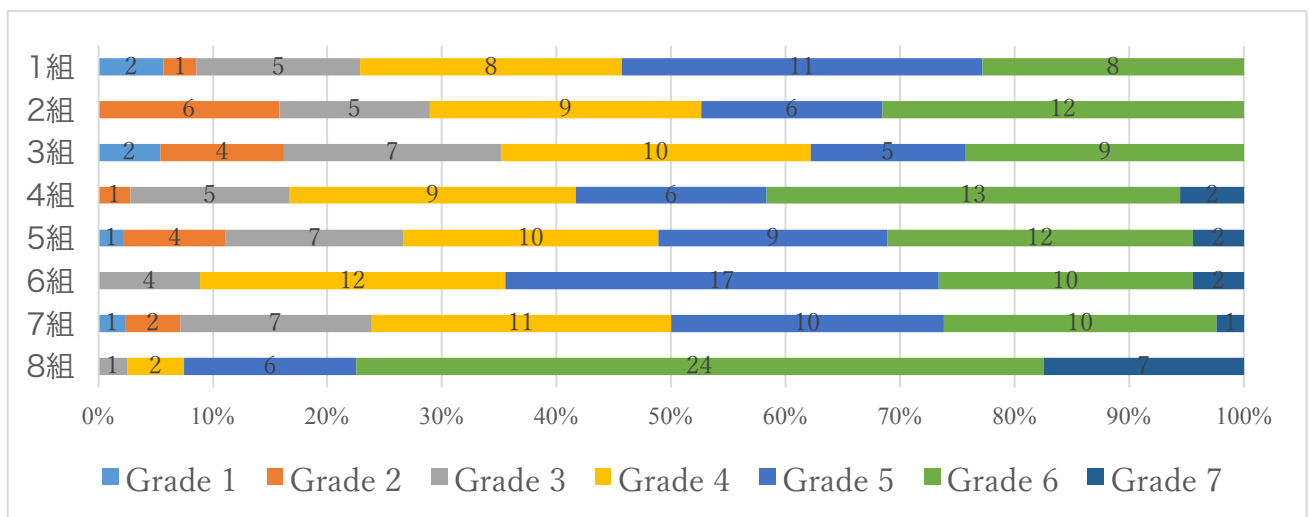


3. 技能・学級別グレード分布 (2年)

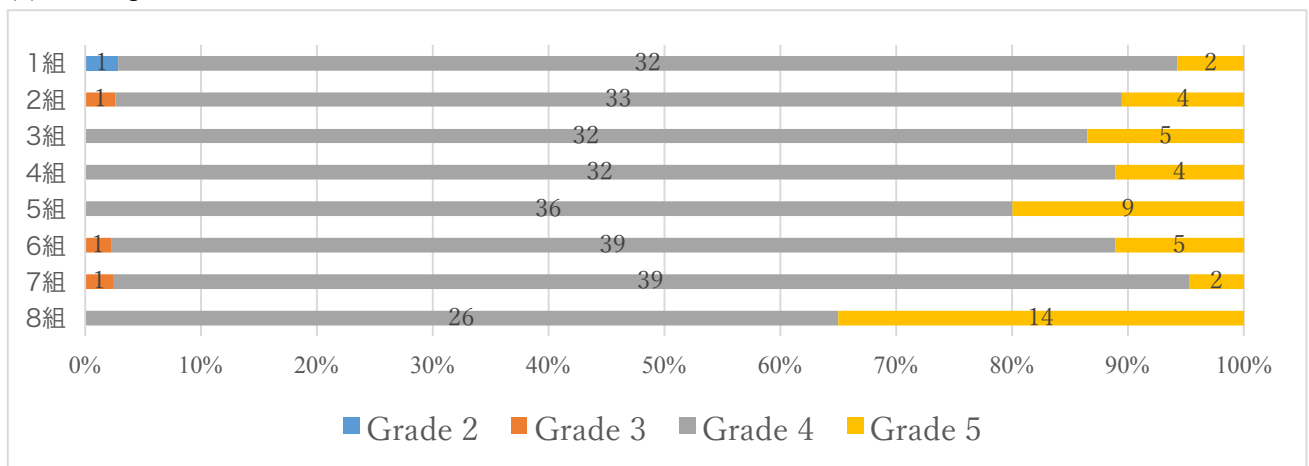
(1) Reading



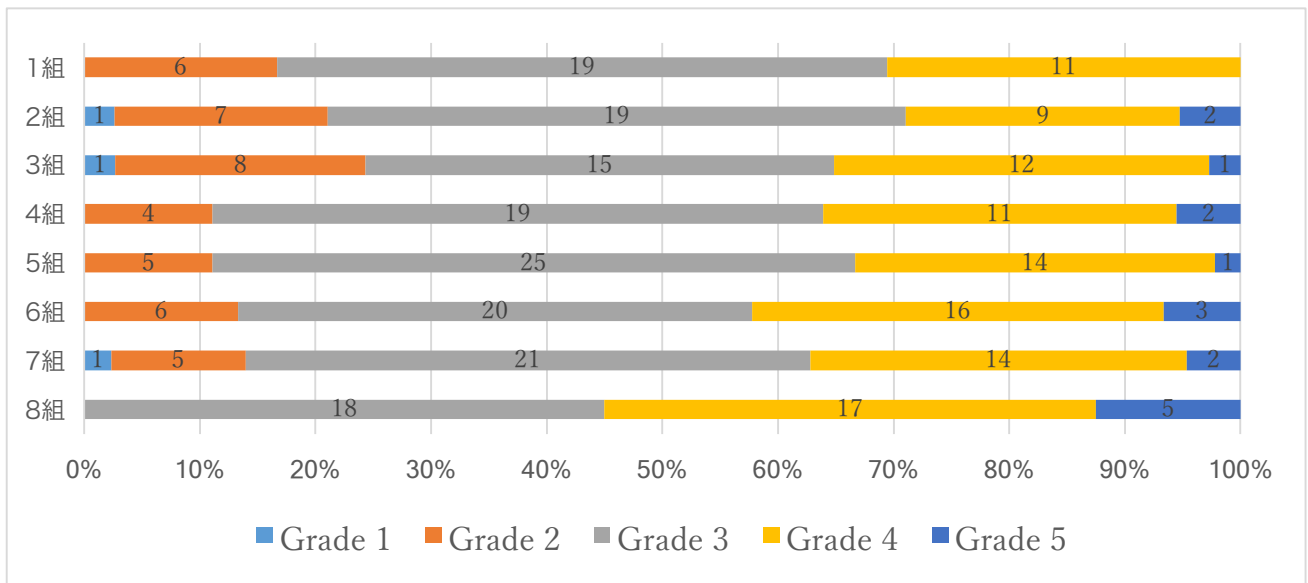
(2) Listening



(3) Writing



(4) Speaking



第 5 章: クロス集計

第1節 共通項目^{※1}とGTEC for STUDENTSのクロス集計^{※2}

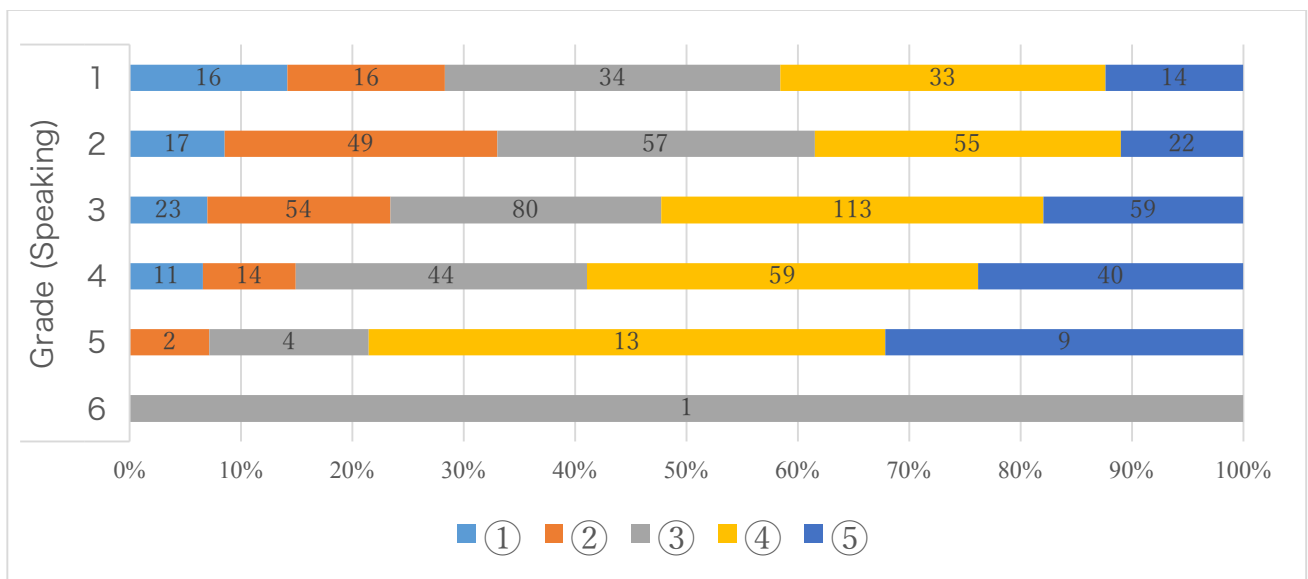
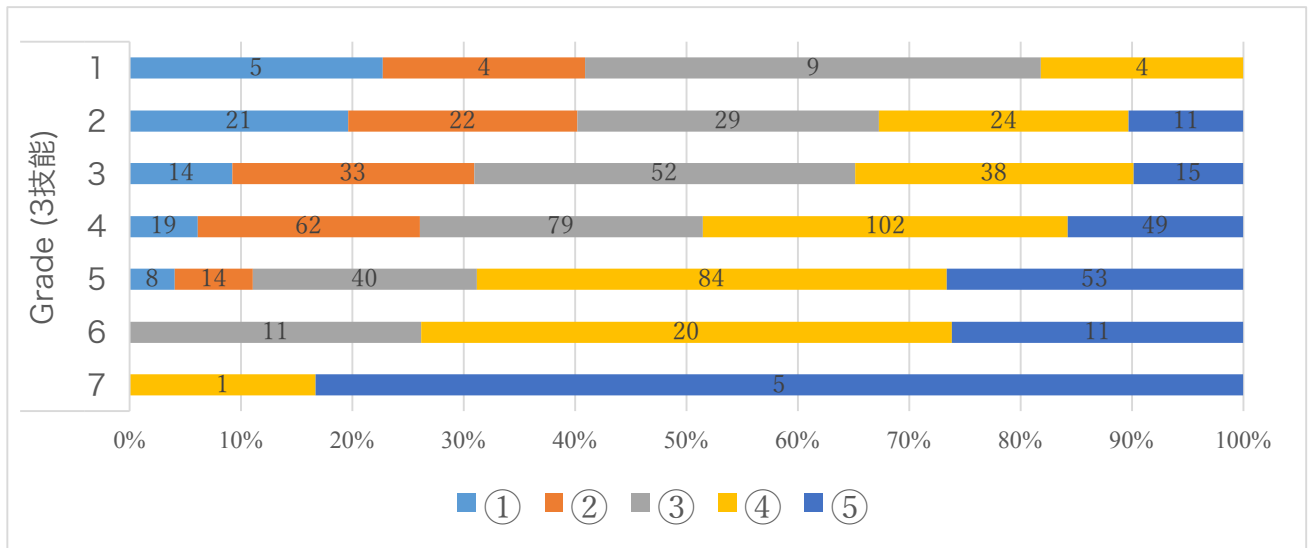
※1 「共通項目」とは、本事業を委託した3大学機関（静岡大学・信州大学・兵庫教育大学）で共通に質問し回答を得た項目を指す。第2章を参照。

※2 ここでは、質問項目の内容に応じて、GTEC for STUDENTS 3技能全体または各技能ごとのグレードそれぞれ、または両方とのクロス集計を報告する。

1. 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

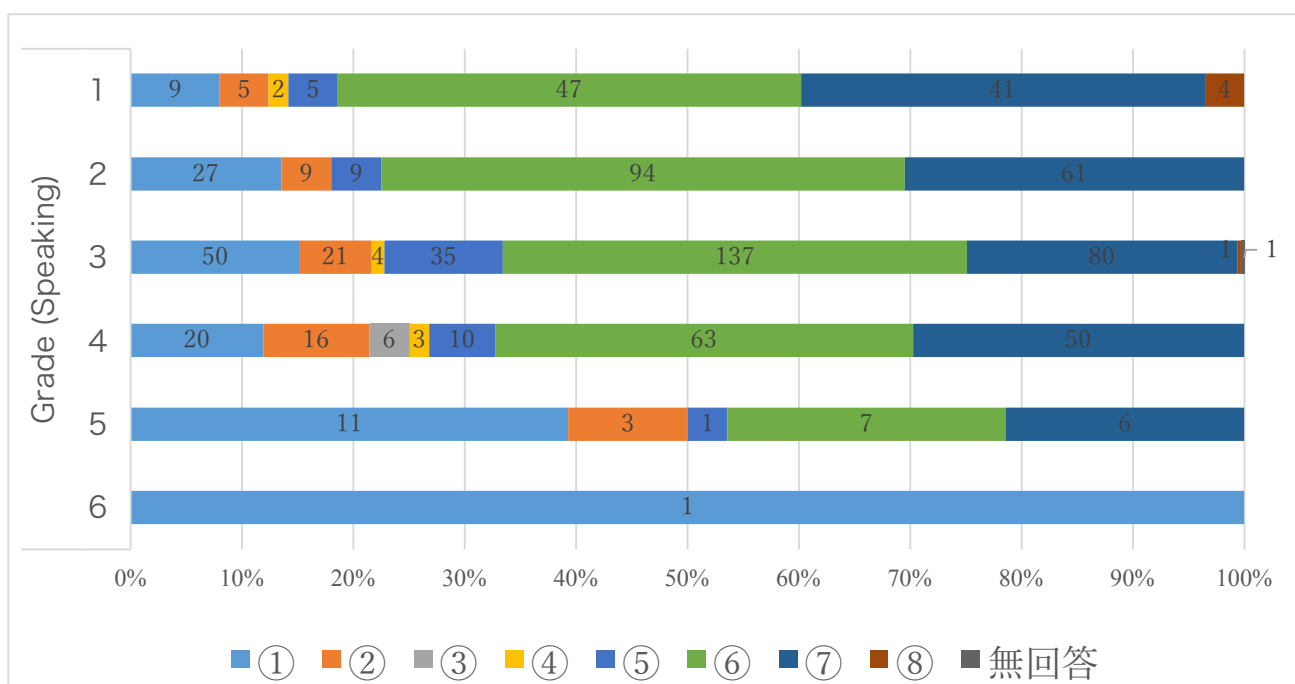
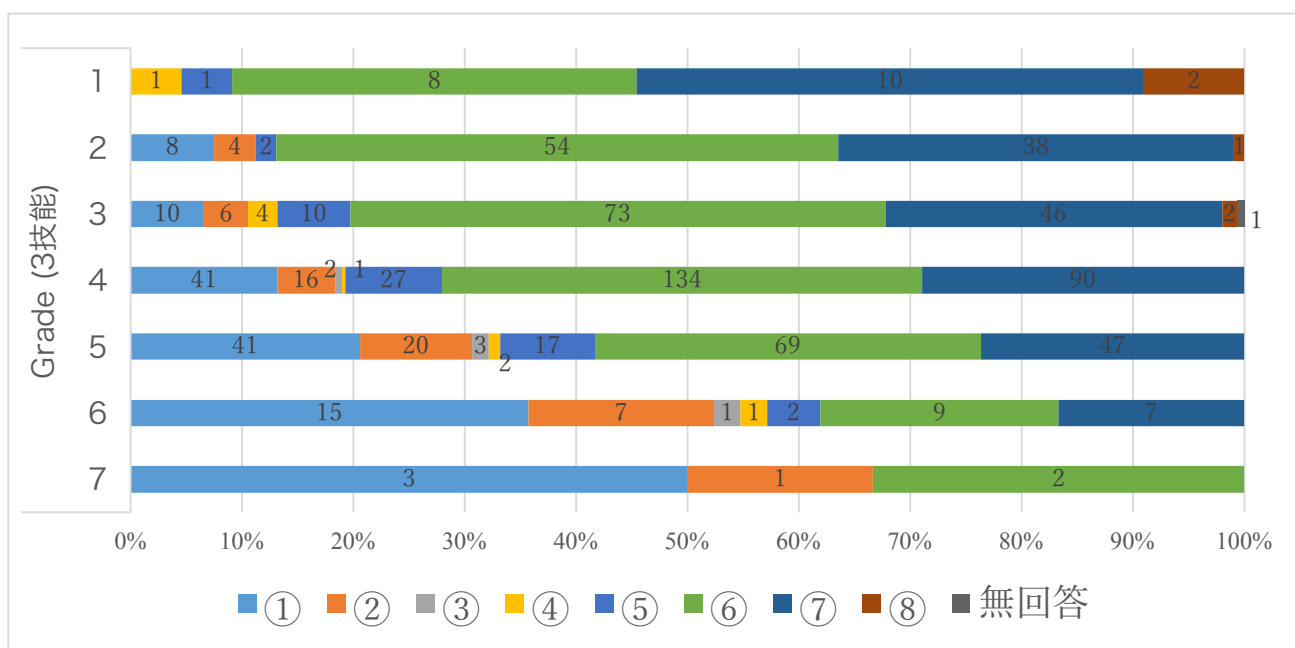
- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない
③ どちらでもない ④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う

○ （Speakingの1名を除き）Gradeが高くなればなるほど好きだと感じている生徒が多い。



2. どの程度まで英語を身につけたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。
- ①英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい ②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい ③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい ⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい ⑥海外旅行などをするときに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい ⑦大学入試に対応できる力を付けたい ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない

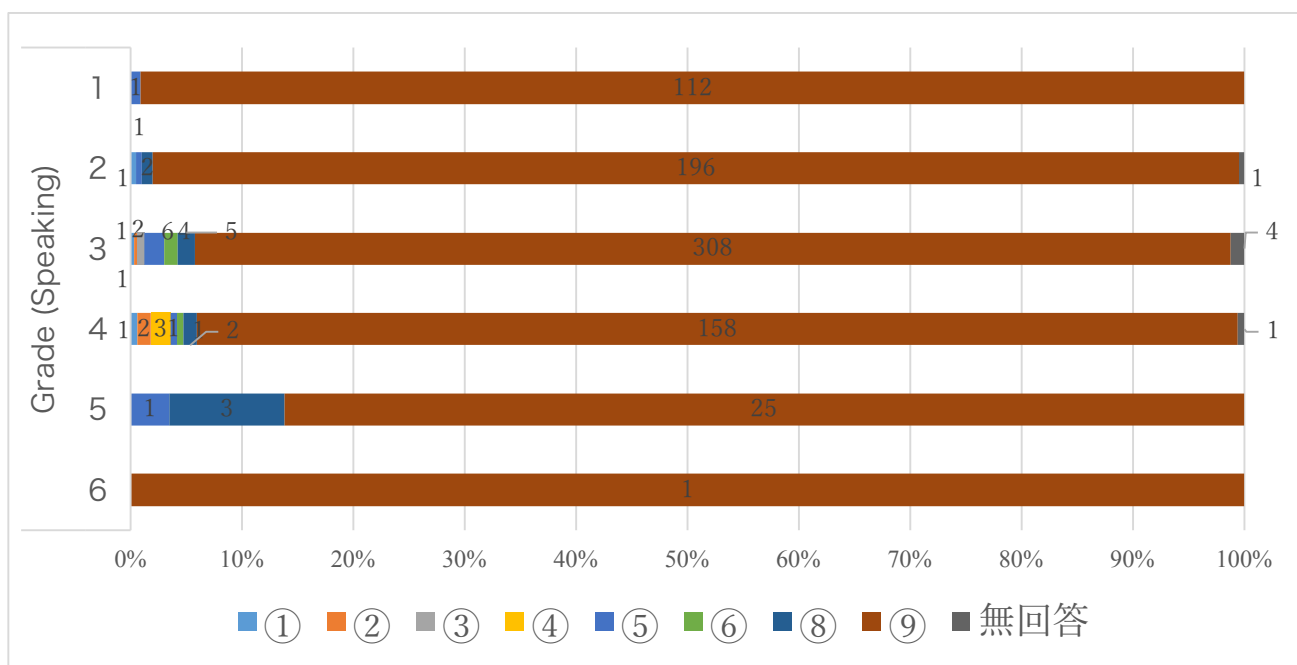
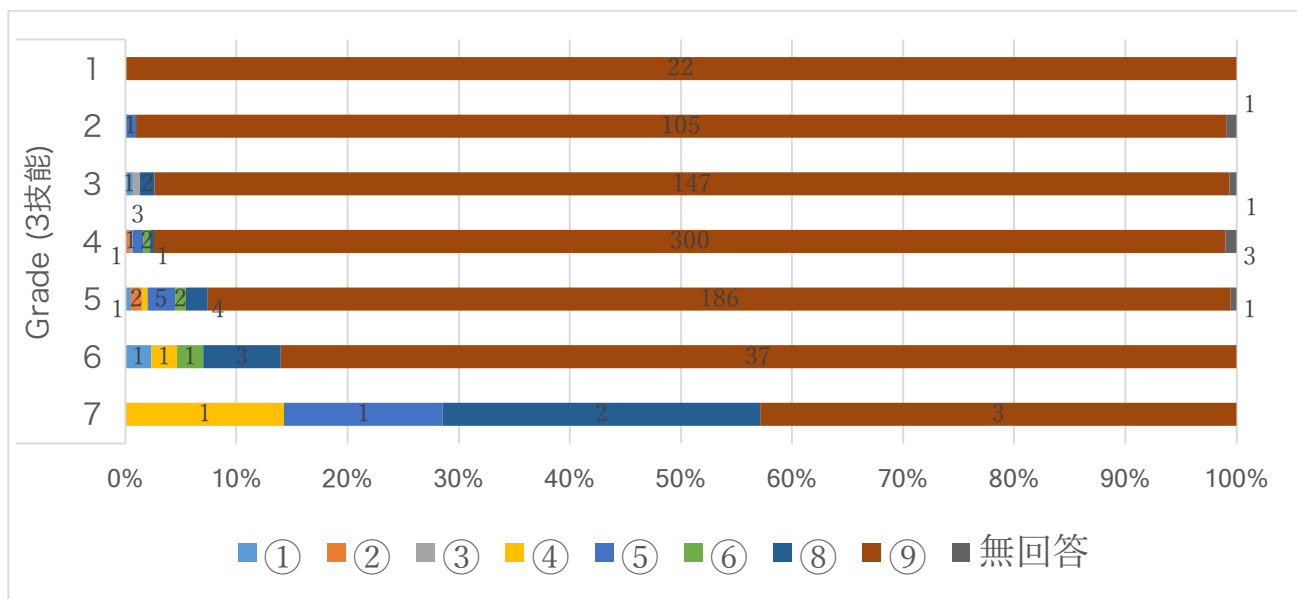
○ Grade が高くなると国際志向に関連する選択肢の割合が増える一方で、低くなると相対的に海外旅行などでの日常会話志向に関連する選択肢と大学入試に関する選択肢の割合が増える。



3. 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい。

- ①イングリッシュキャンプ ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く） ③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く） ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く） ⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満） ⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く） ⑨当てはまるものはない

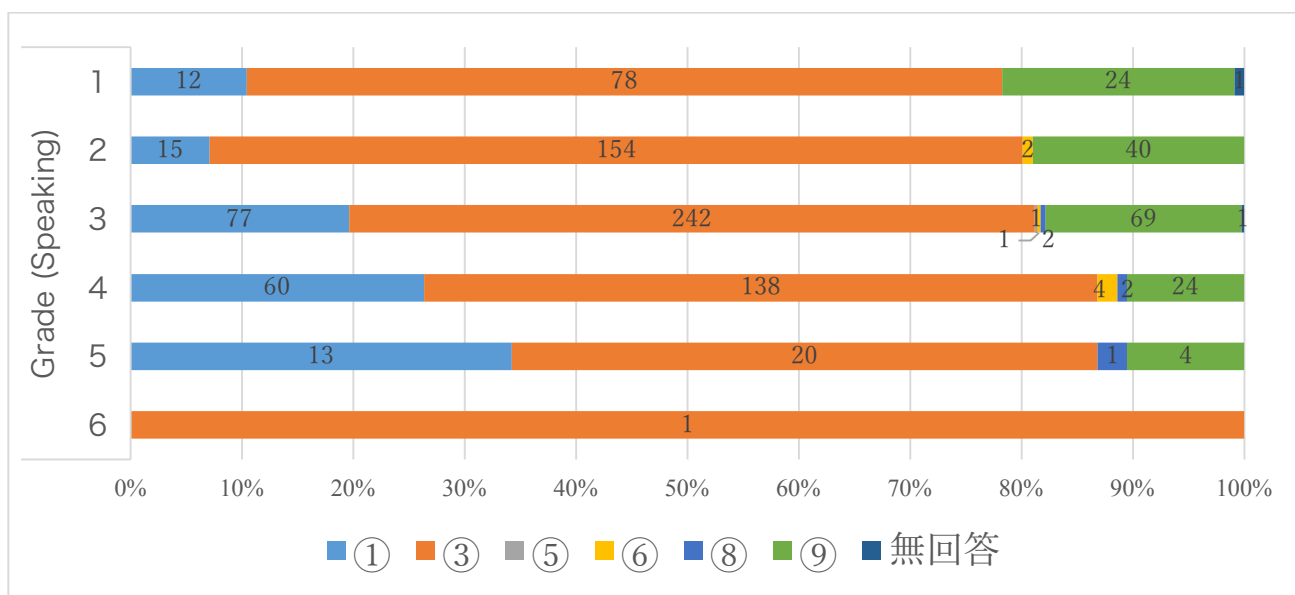
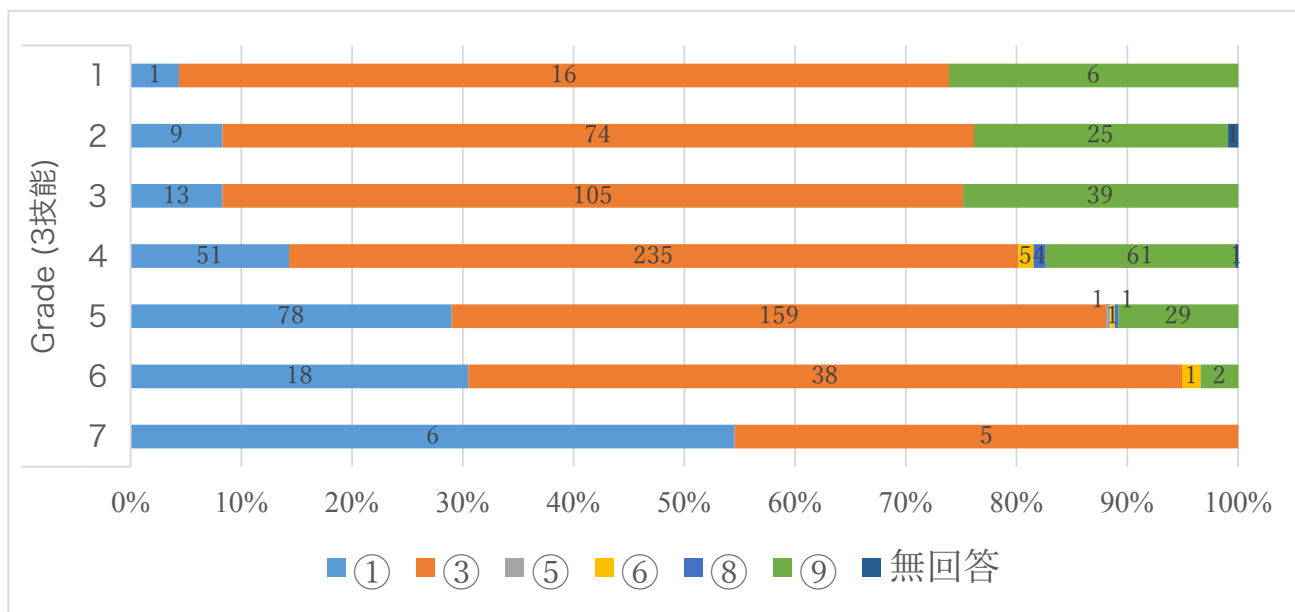
○ Grade が高い層に多様な英語使用経験を持った者がいると言えそうだが、拠点校の範囲では大半の者がいずれも未経験である。



5. 高校生になってから、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL
 ⑤TOEFL Junior ⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

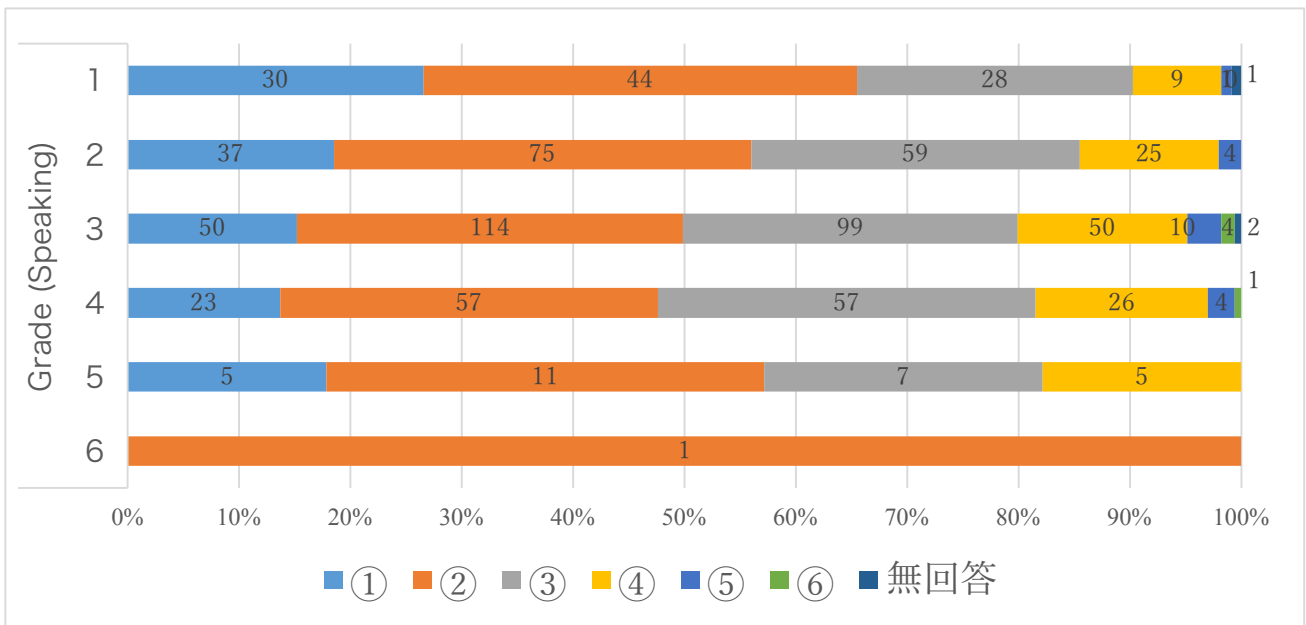
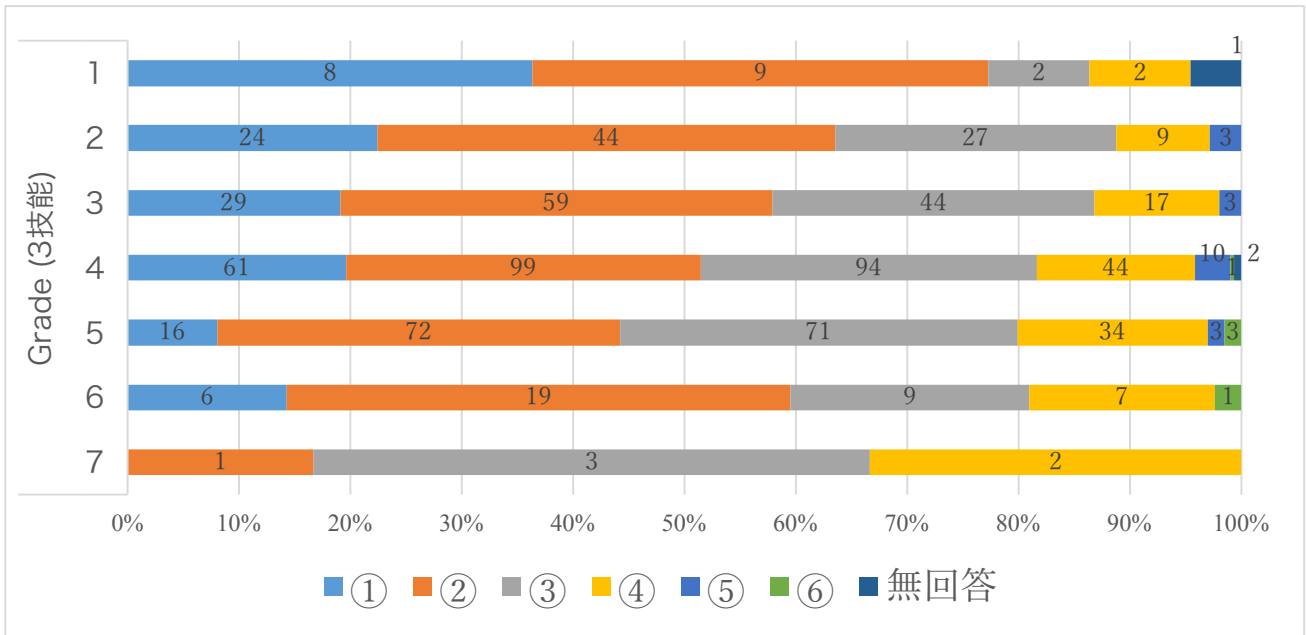
○ Gradeが高くなると英検受験率が高くなる（GTEC for STUDENTSは質問紙調査実施のタイミングの都合で一部、本事業での受験を含むため、本事業以外の受験についてはわからない）。



7. 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
 ⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上

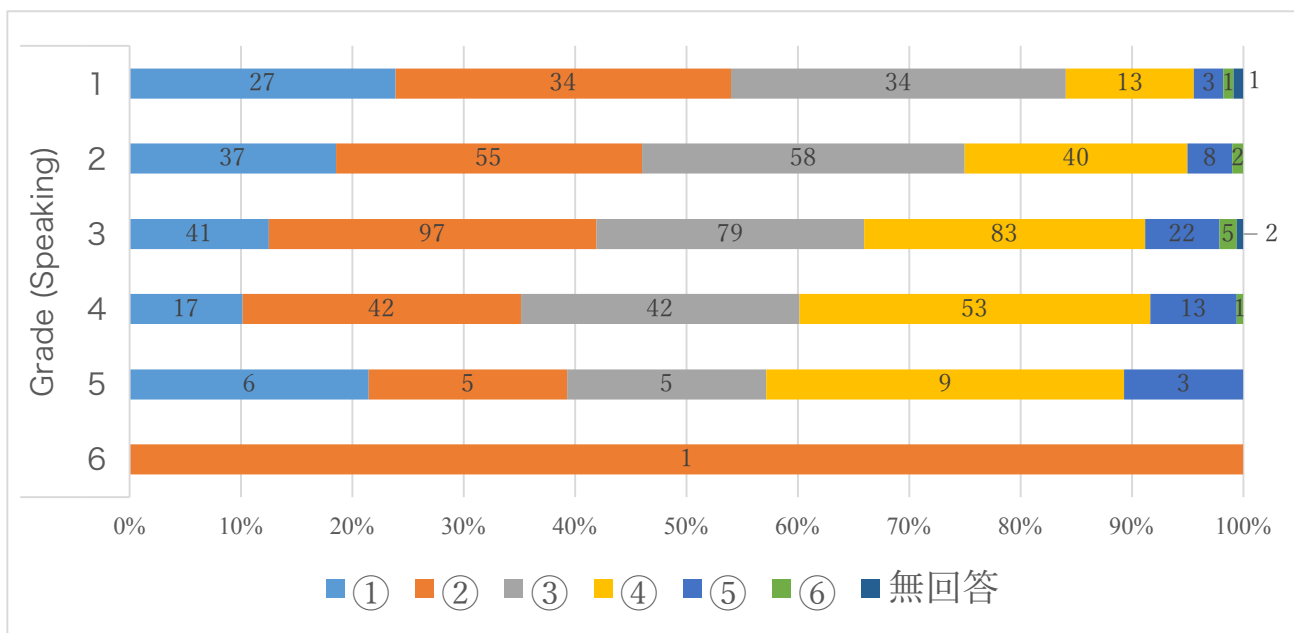
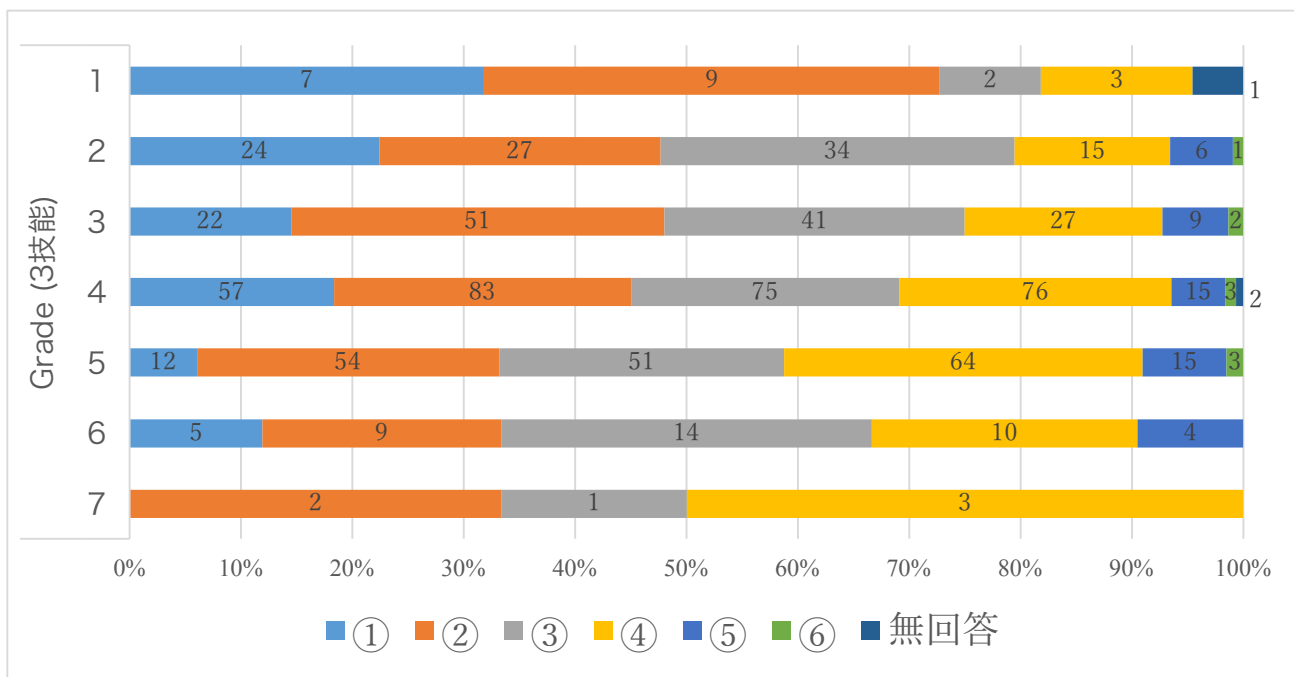
○ Grade が高くなると英語接触時間が多いとまでは言えないが、Grade が低いと授業以外で英語に全く接触しない者が多くなるということは言える。



8. 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①全くしない ②30分未満 ③30分以上1時間未満 ④1時間以上2時間未満
- ⑤2時間以上3時間未満 ⑥3時間以上

≈

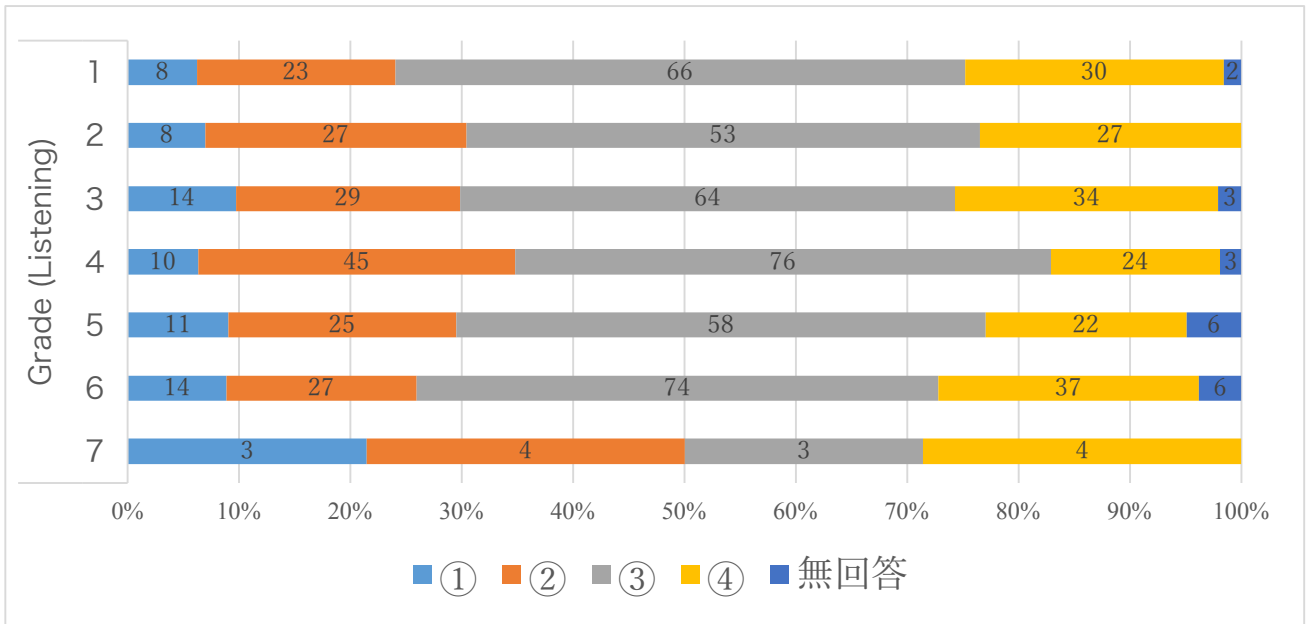


10. 次の学年の英語の授業では、英語を聞いて、(一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください※³。

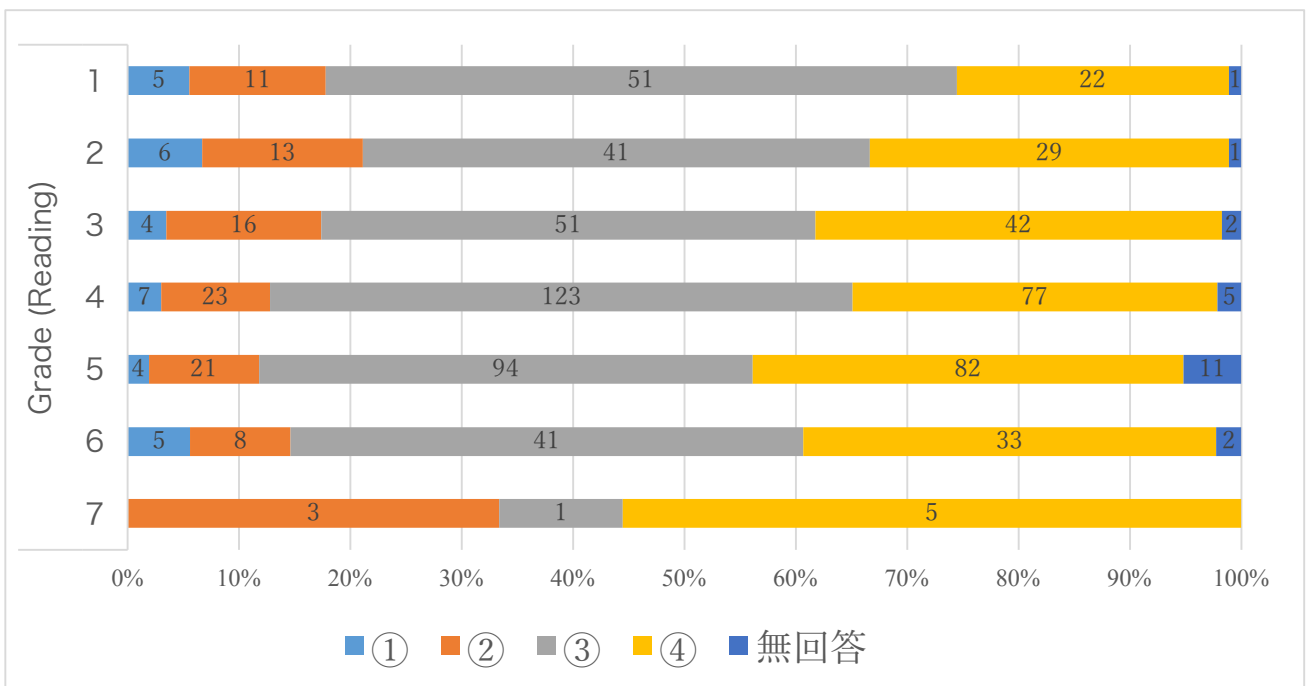
- ① そう思わない ② どちらかといえばそう思わない
④ どちらかといえばそう思う ⑤ そう思う

※³ 以下の各質問については第1学年のみ集計

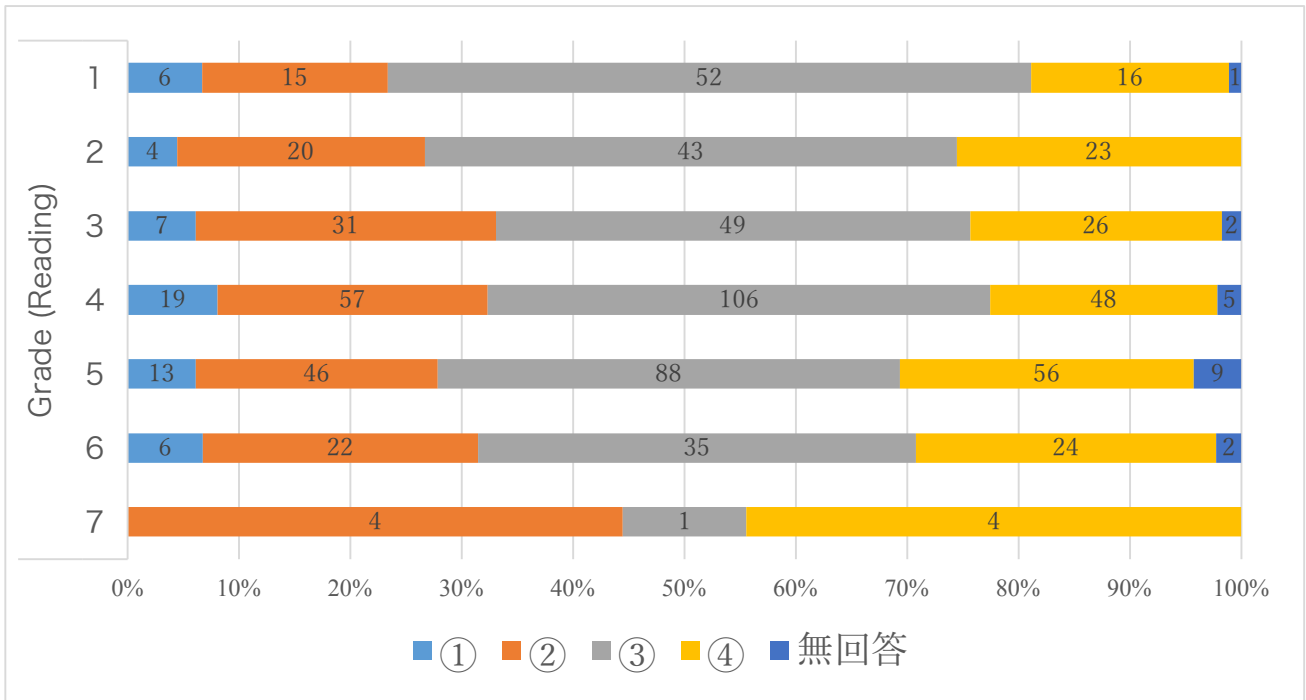
○ 学校間・クラス間の差が大きく、Grade の高低との関係というよりは、授業についての意識の強さ(メタ認知能力)、つまり Grade が高いゆえに授業のことをよく考えている、もしくは Grade が低いゆえに授業に対する関心が薄いといったことを反映した結果と捉えるのが自然であろう。



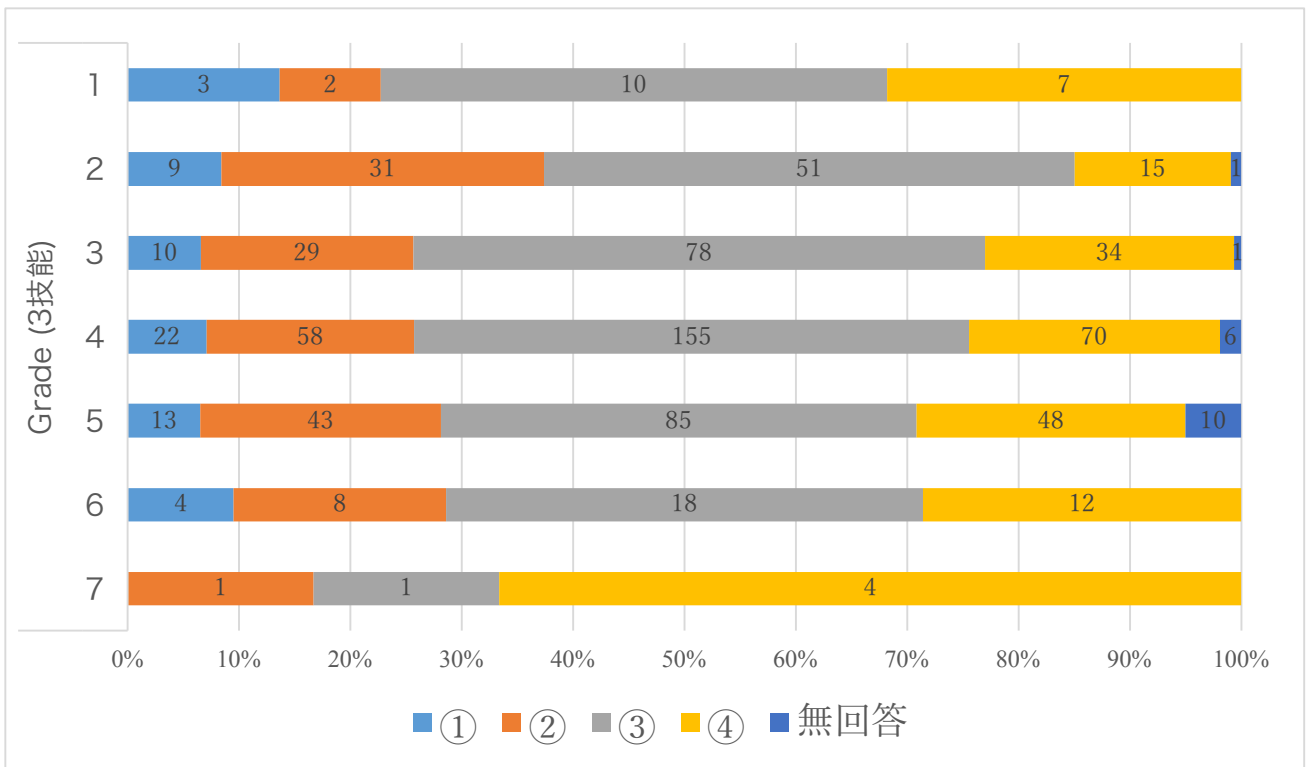
11. 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、(一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動をしていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。



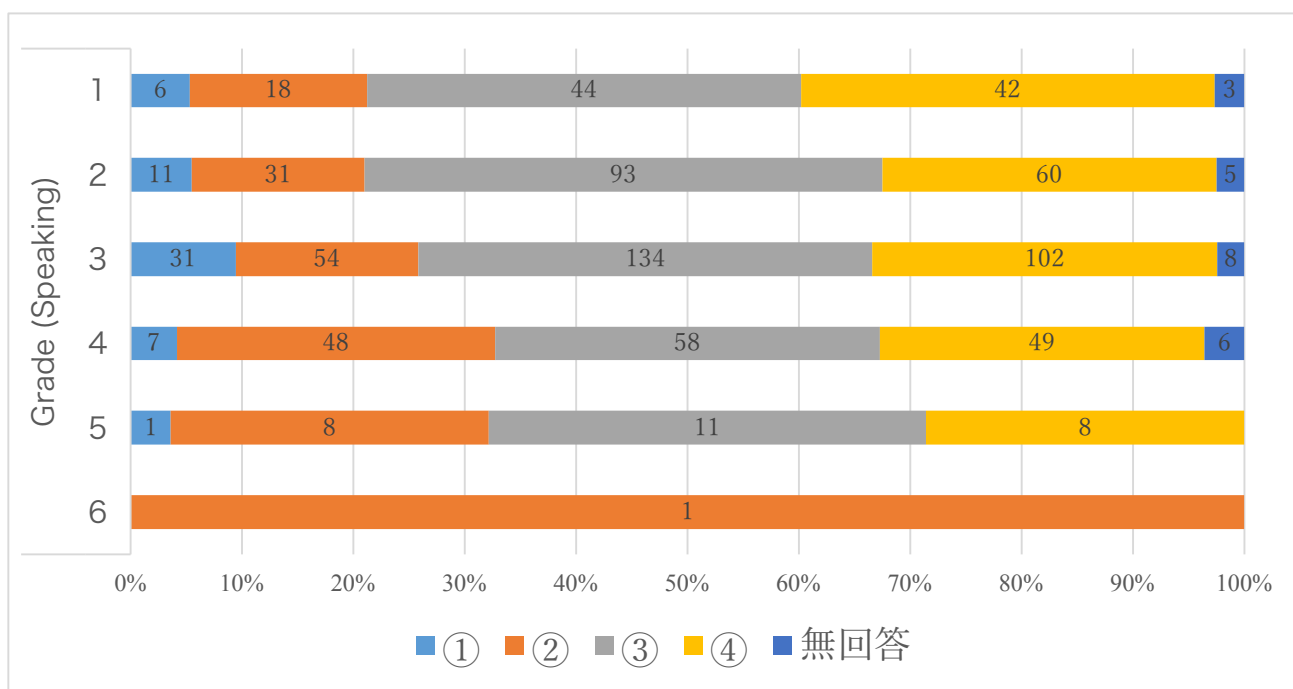
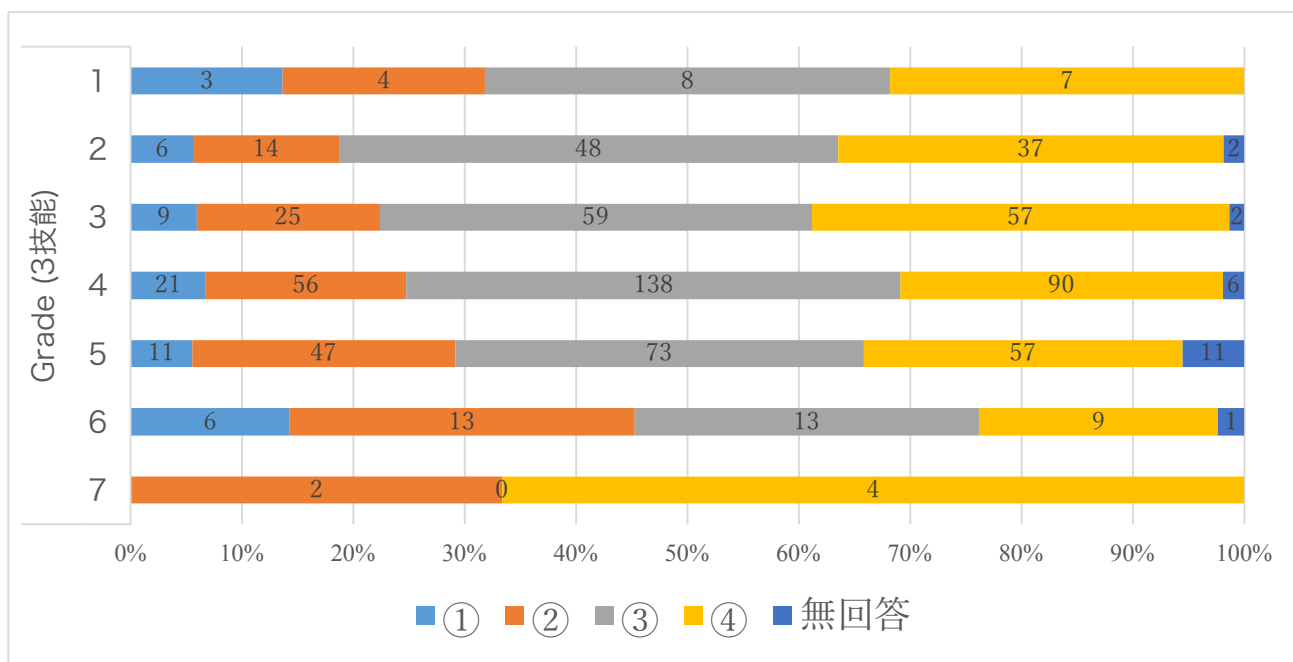
12. 次の学年の英語の授業では、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。



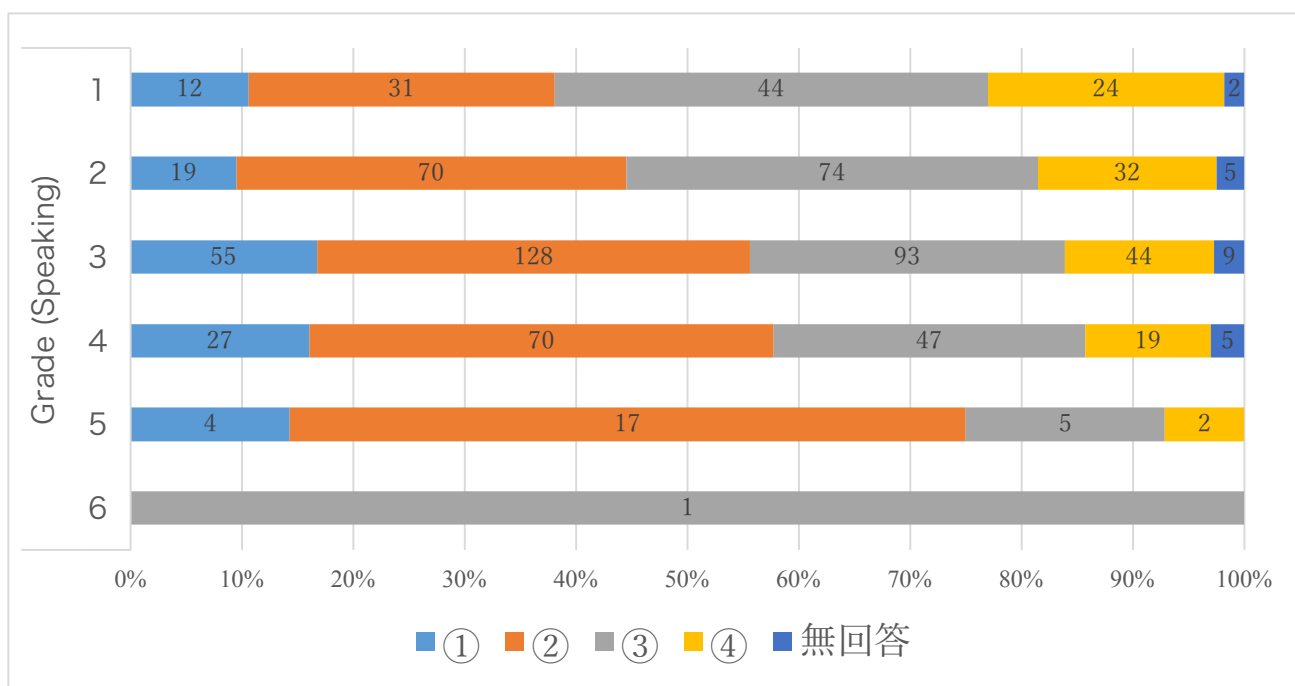
13. 次の学年の英語の授業では、英語を聞いたり読んだりする際、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりするなどして理解するようにしていたと思いますか。当てはまるものを 1つ 選んでください。



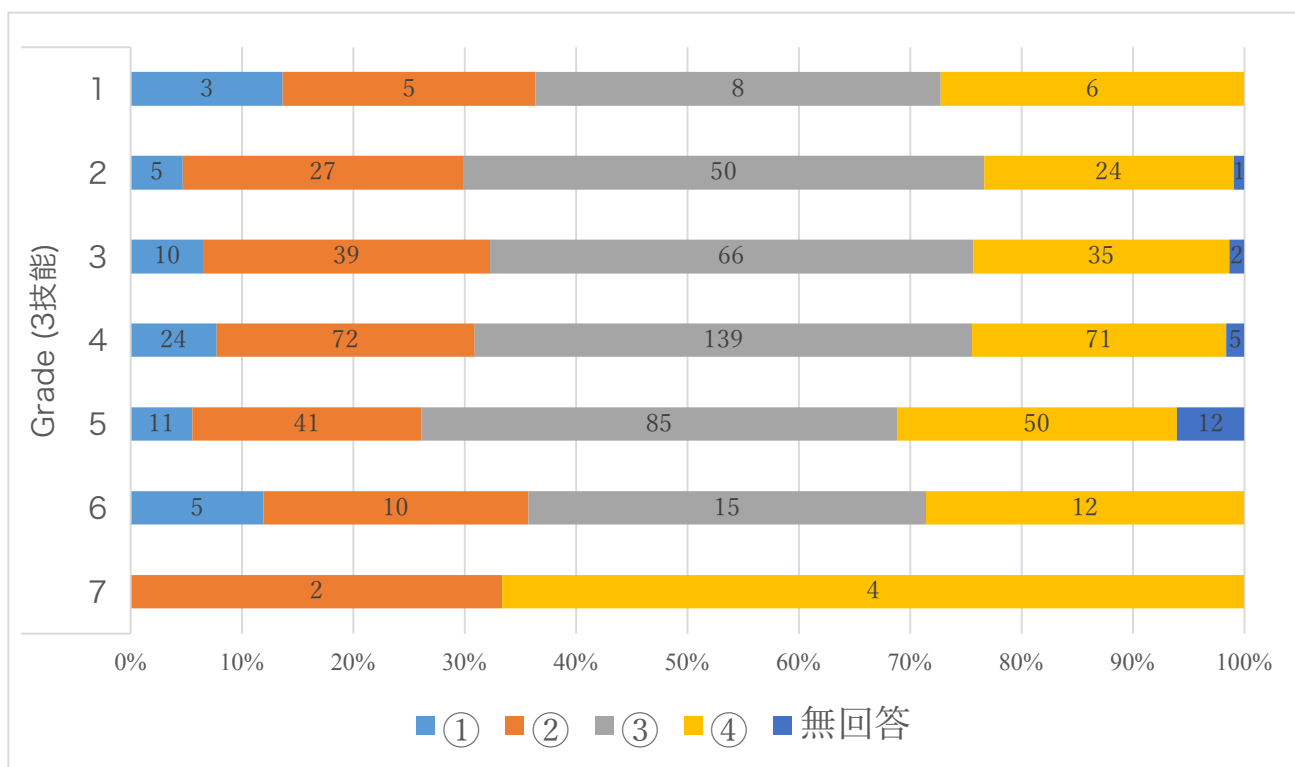
14. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

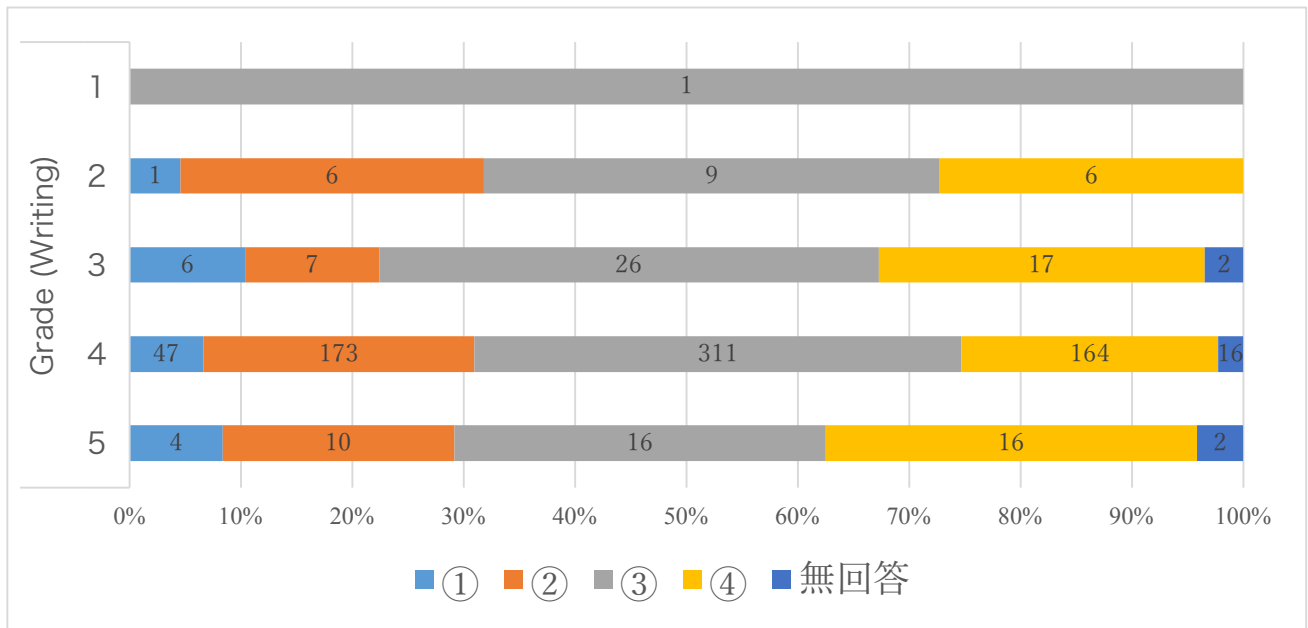


15. 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、(特に準備をすることなく) 即興で話す活動をしていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

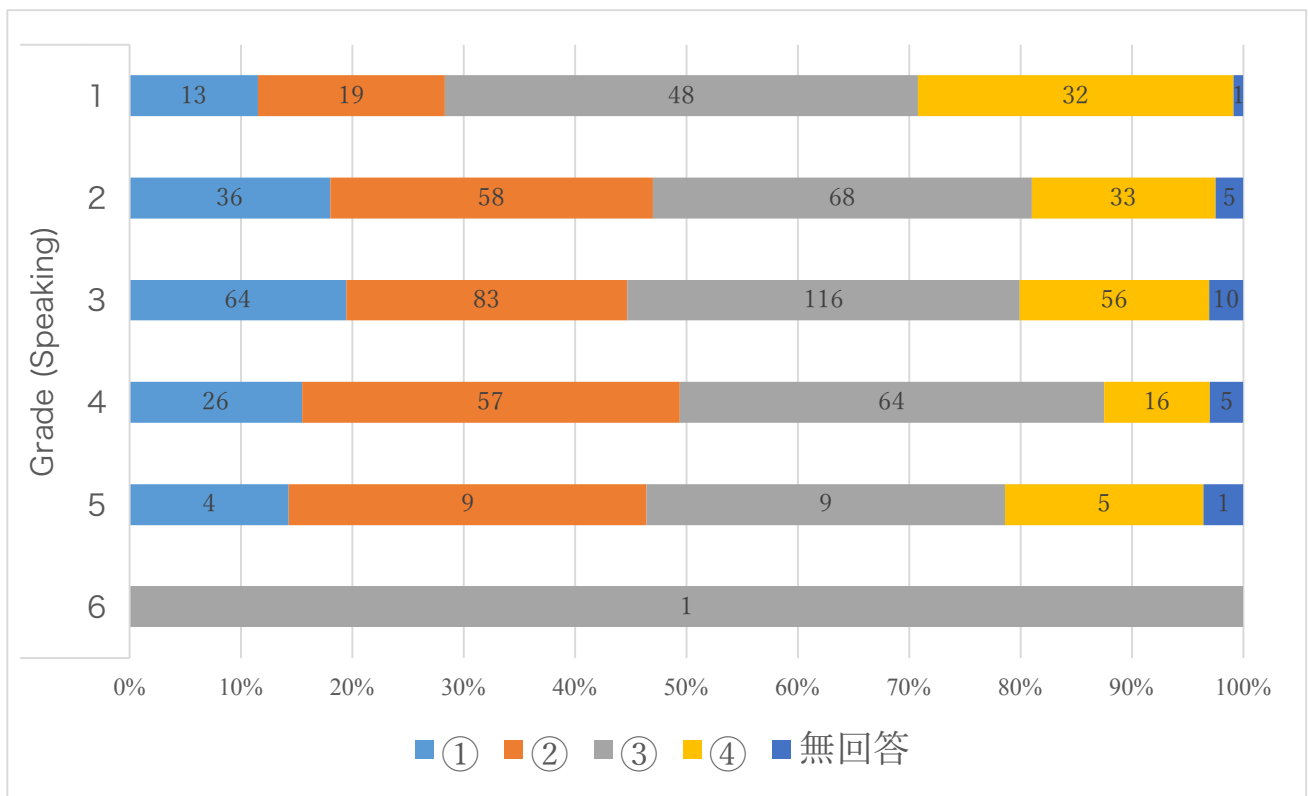


16. 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

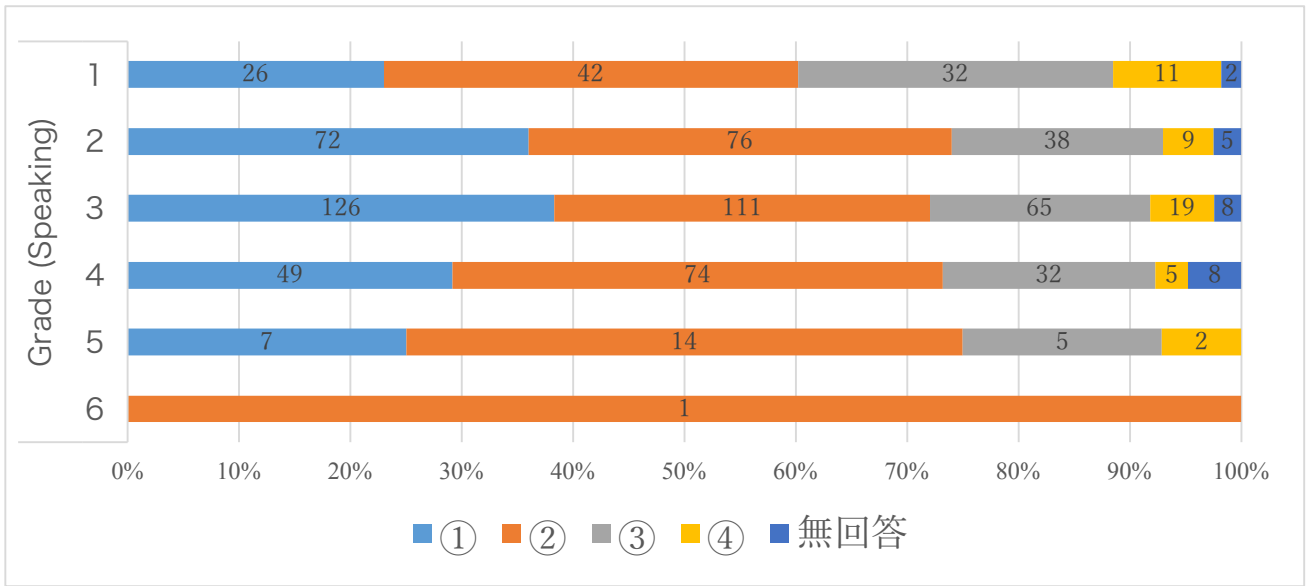




17. 次の学年の英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。
 当てはまるものを1つ選んでください。

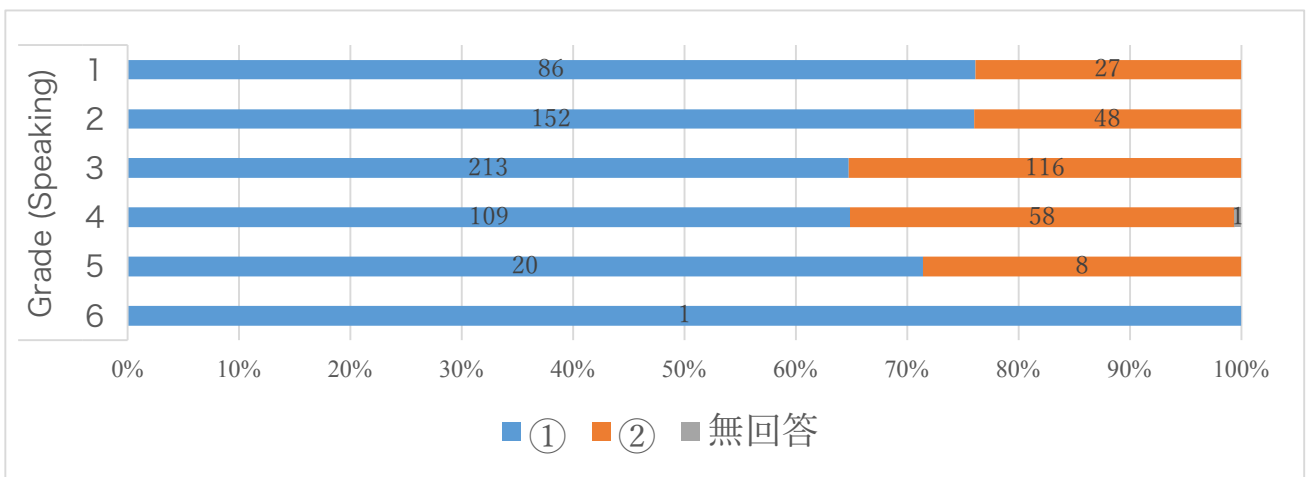
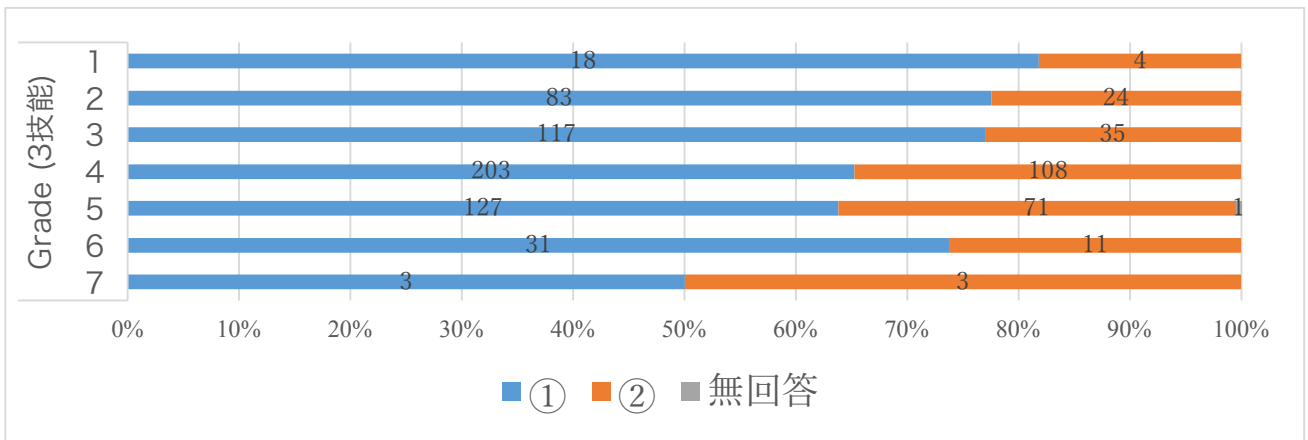


18. 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。当
てはまるものを1つ選んでください。



19a. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。

学習塾で勉強していない ②学習塾で勉強している



第2節 追加項目と GTEC for STUDENTS のクロス集計※4

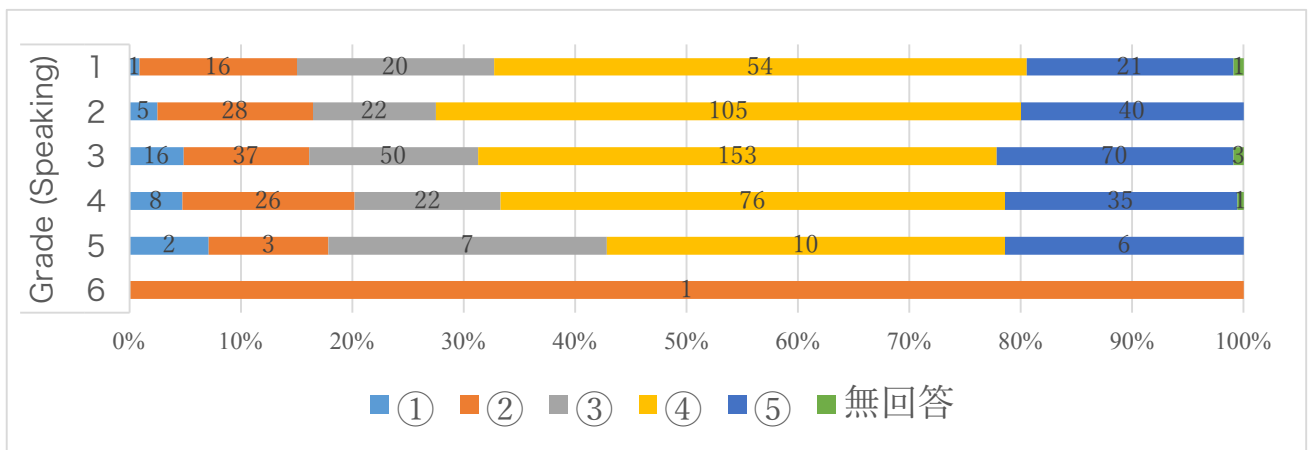
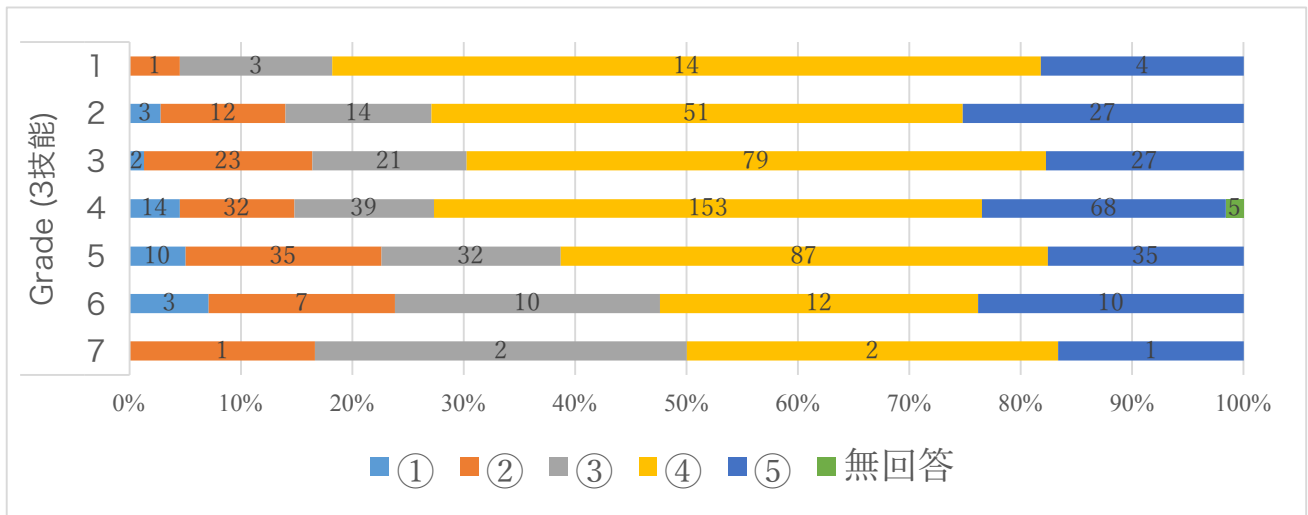
※4 参考数値の項目、および共通項目と結果が重複する者は割愛した。

【英語学習歴・海外経験】

20. 「英語学習歴欄」あなたがいつ英語学習をはじめたかを下記から選び、マークしてください。

- ①3歳以下 ②4歳～5歳ぐらい ③小学1年生～3年生 ④小学4年生～6年生
⑤中学1年生以上

○ 中学1年生以上で学習を始めた者の Grade 間の分布に差はないが、Grade が高くなると小学3年生以下で英語学習を始めた者の割合が多くなる。

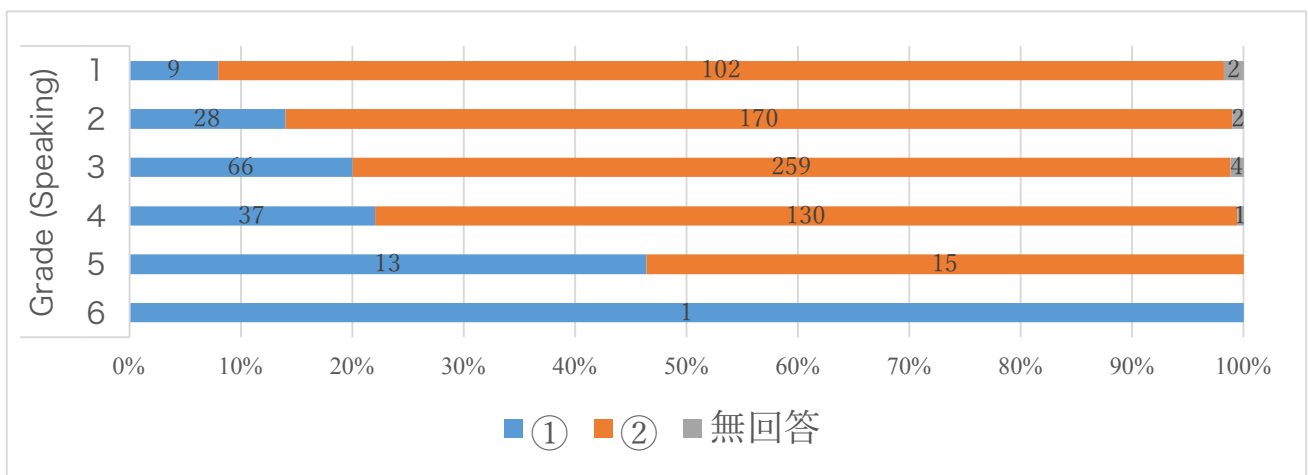
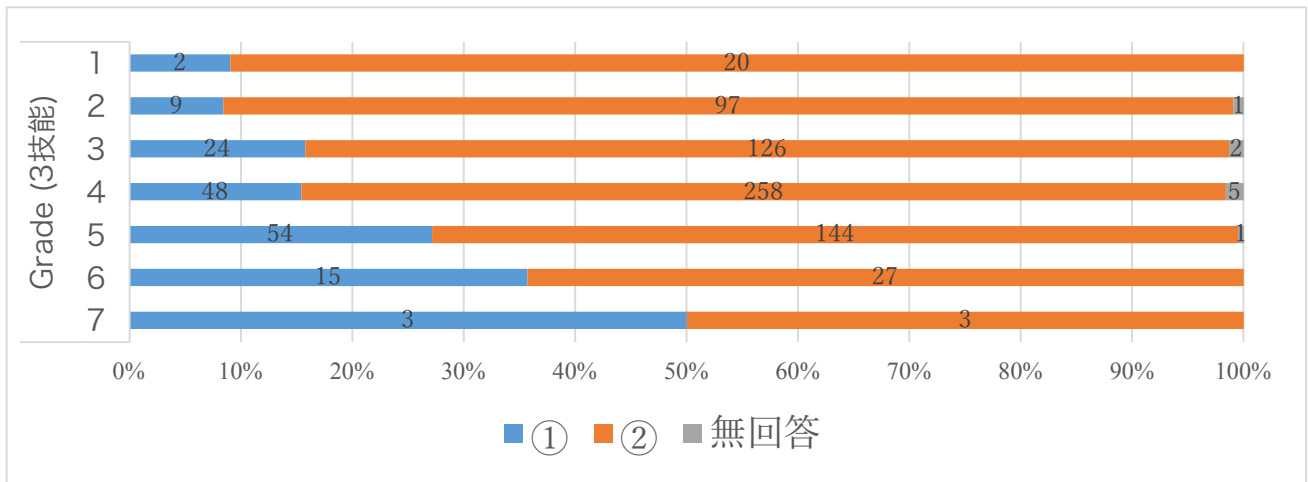


21. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.～d.の設問に回答してください。

a. 外国に滞在したことがありますか。

- ①ある ②ない

○ Grade が高くなるほど海外に滞在したことがある者の割合が多くなる。



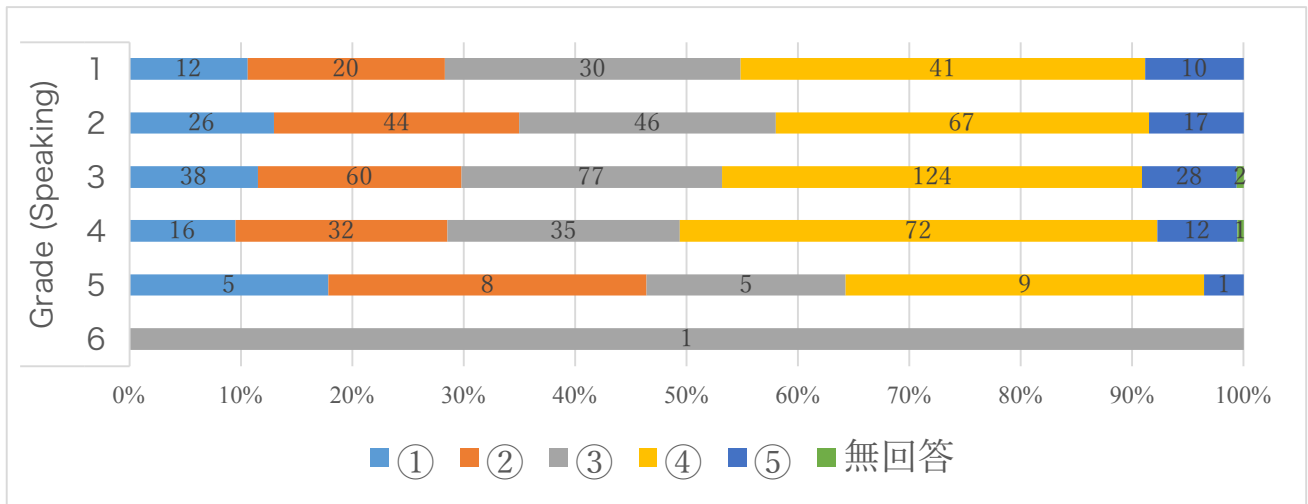
【英語使用不安】

26. 授業で英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

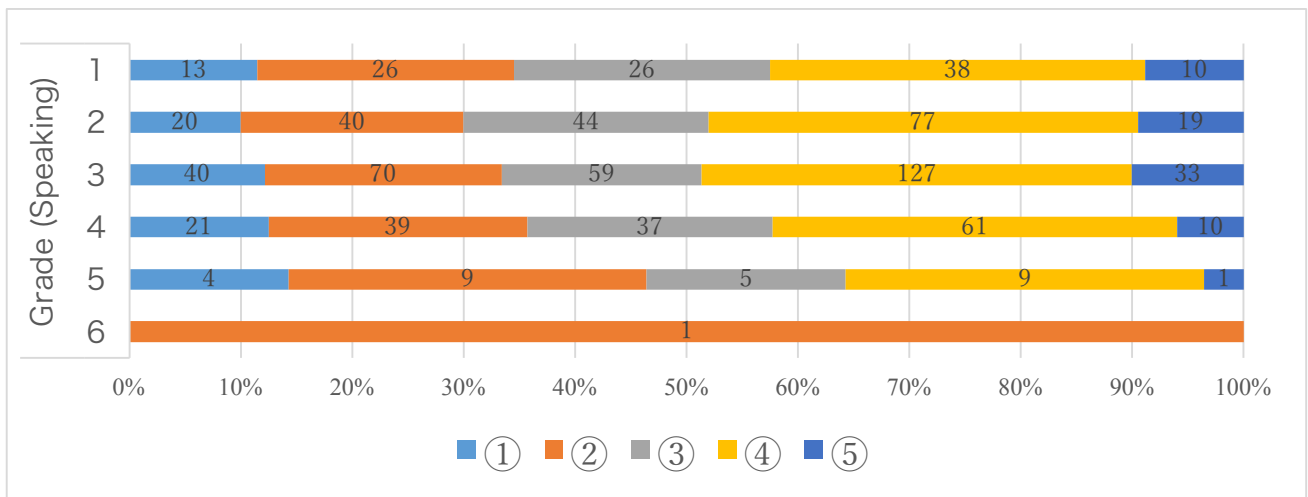
- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
 ④緊張する ⑤とても緊張する

○ Speaking の Grade が高ければ授業での英語使用について緊張しなくなるということはなく、緊張するかしないかは項目の影響が大きい（対クラスメイトの英語使用より、わからないことを英語で質問したり、きかれた質問に英語で答えるほうが緊張すると答える者が多い）が、Grade が高くなれば、クラスメイトとの会話や、グループでの議論、クラスメイトの前でのスピーチ・プレゼンテーションにおいて緊張すると答える者の割合はやや減る。

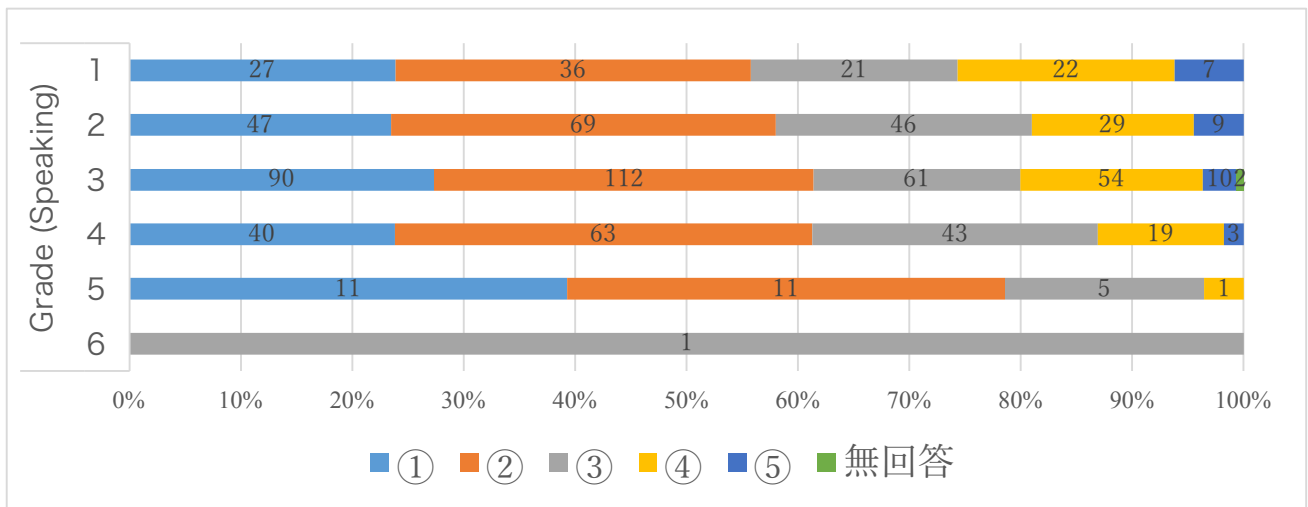
a. 英語を使った活動の時に、分からないことを英語で質問する



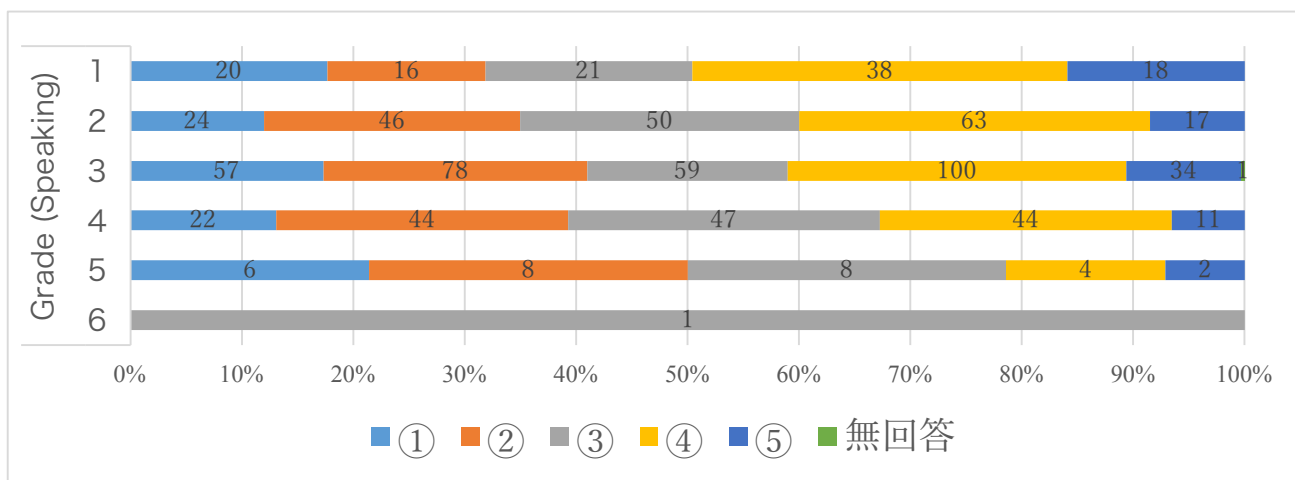
b. 英語を使った活動の時に、きかれた質問に英語で答える



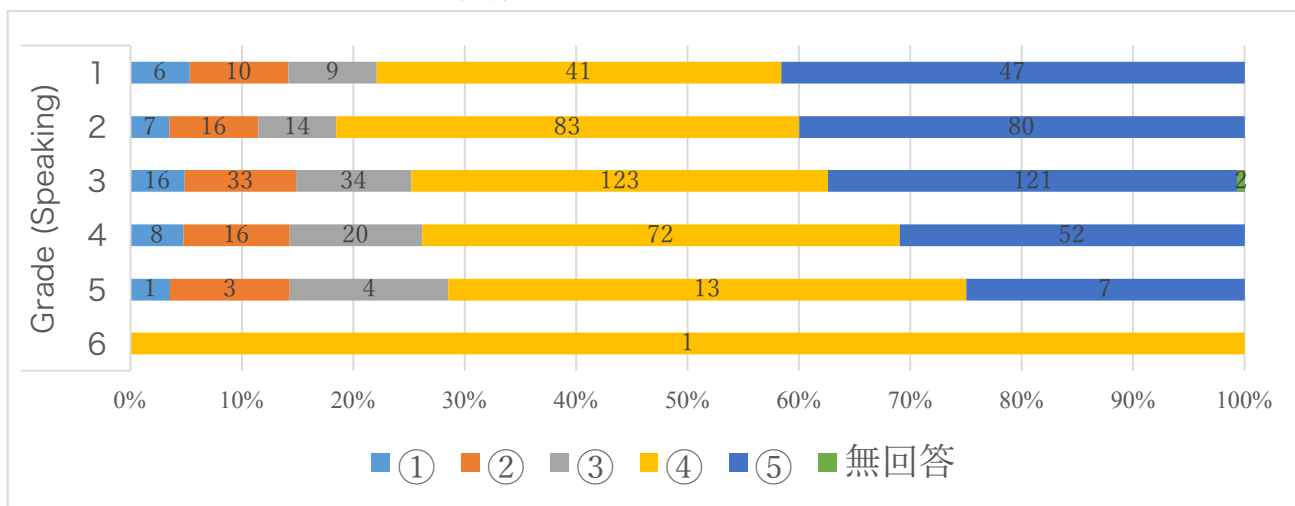
c. クラスメイトと英語で会話をする



d. クラスメイトが集まったグループで、英語で議論する



e. クラスメイトの前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

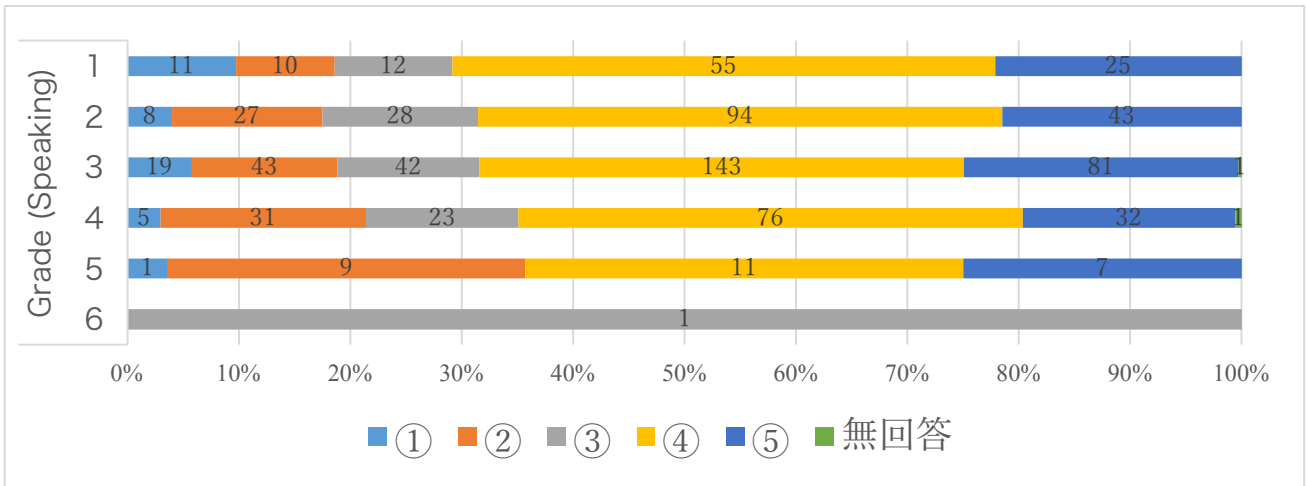


27. 外国人と英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

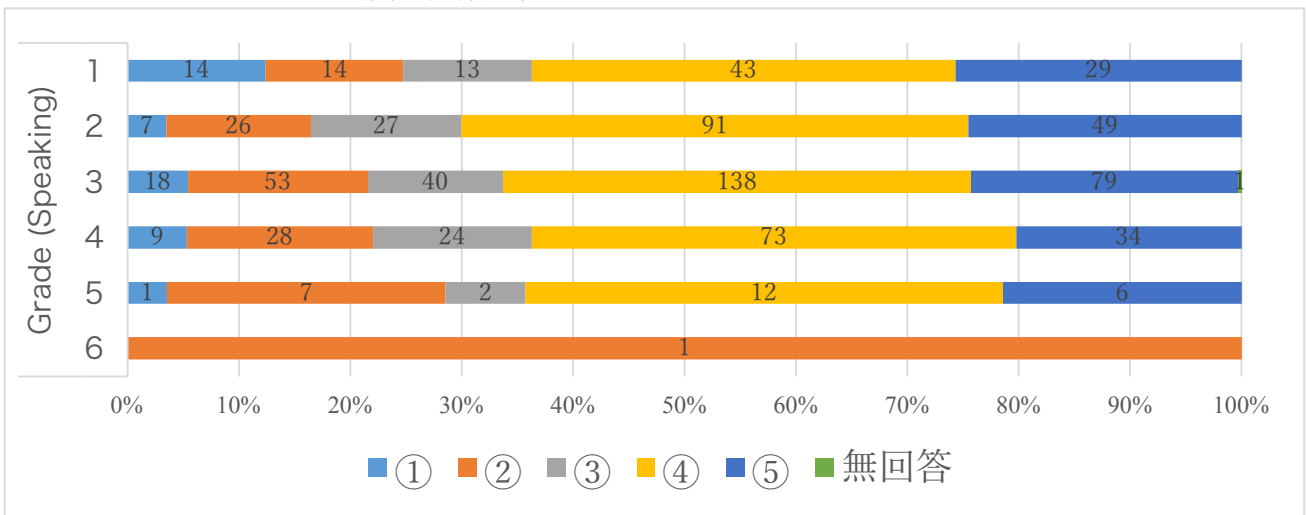
- ①全く緊張しない ②ほとんど緊張しない ③どちらでもない
 ④緊張する ⑤とても緊張する

○ Speaking の Grade が高ければ外国人との英語でのコミュニケーションについて緊張しなくなるといことはなく、Grade と英語使用不安との間にはっきりとした関係は認められない。

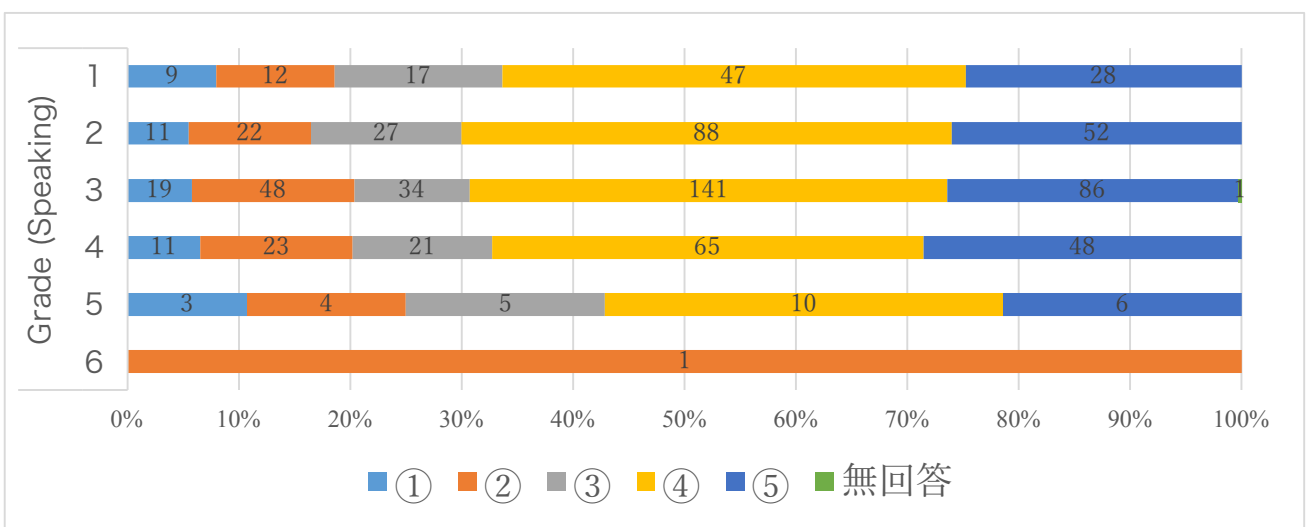
a. 外国人に、分からないことを英語で質問する



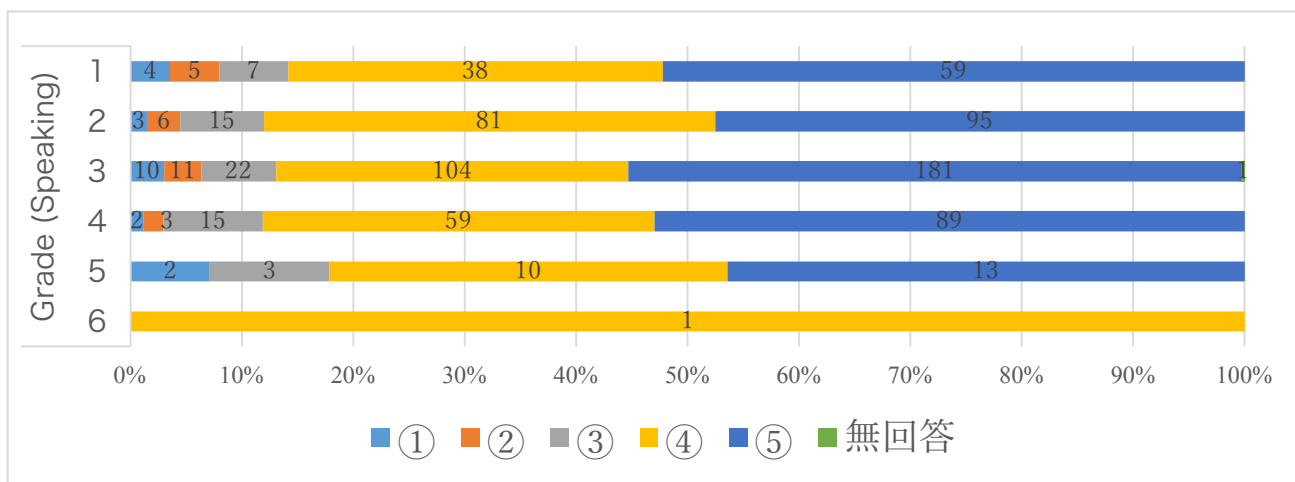
b. 外国人からの質問に英語で答える



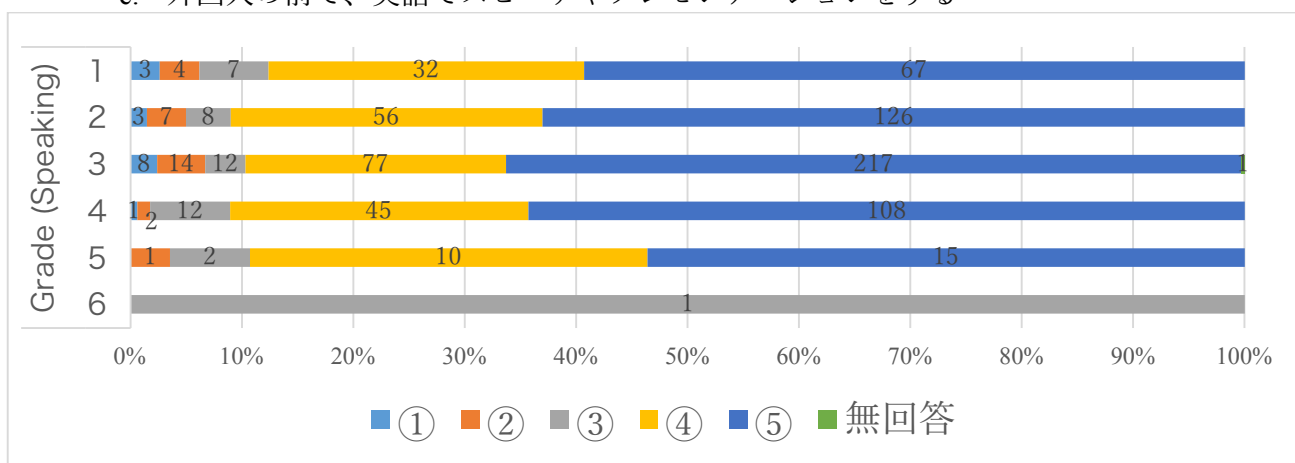
c. 外国人と英語で会話をする



d. 外国人が集まったグループで、英語で議論する



e. 外国人の前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

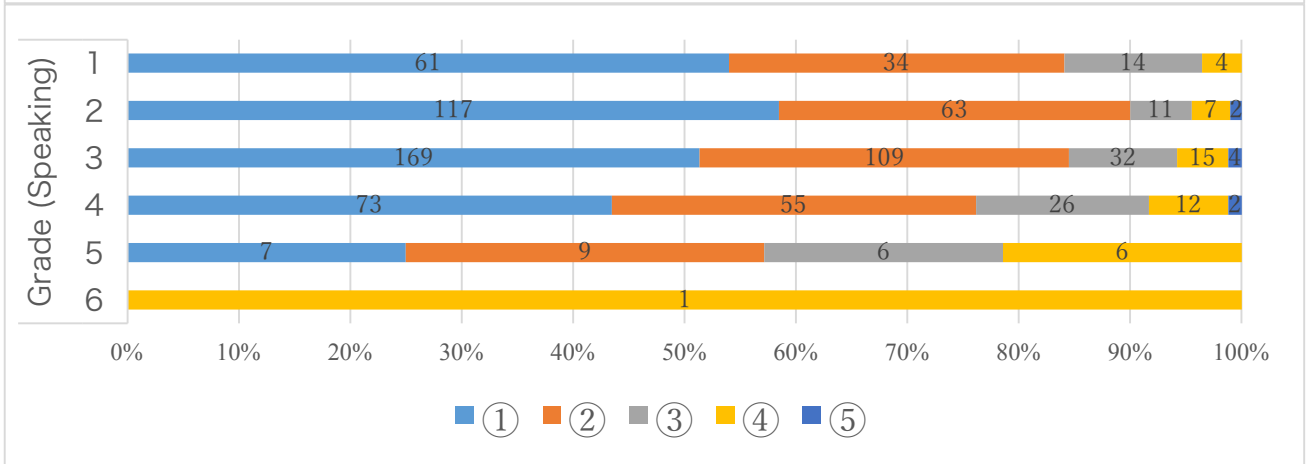
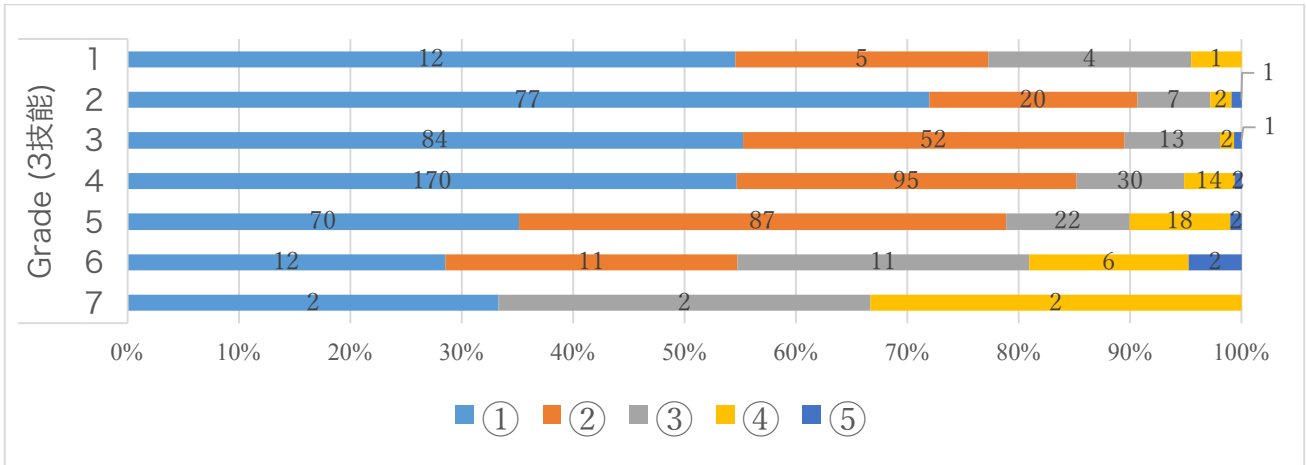


【授業以外の英語学習】

30. 29.について、授業の予習や復習・課題の学習時間は十分だと思いますか。

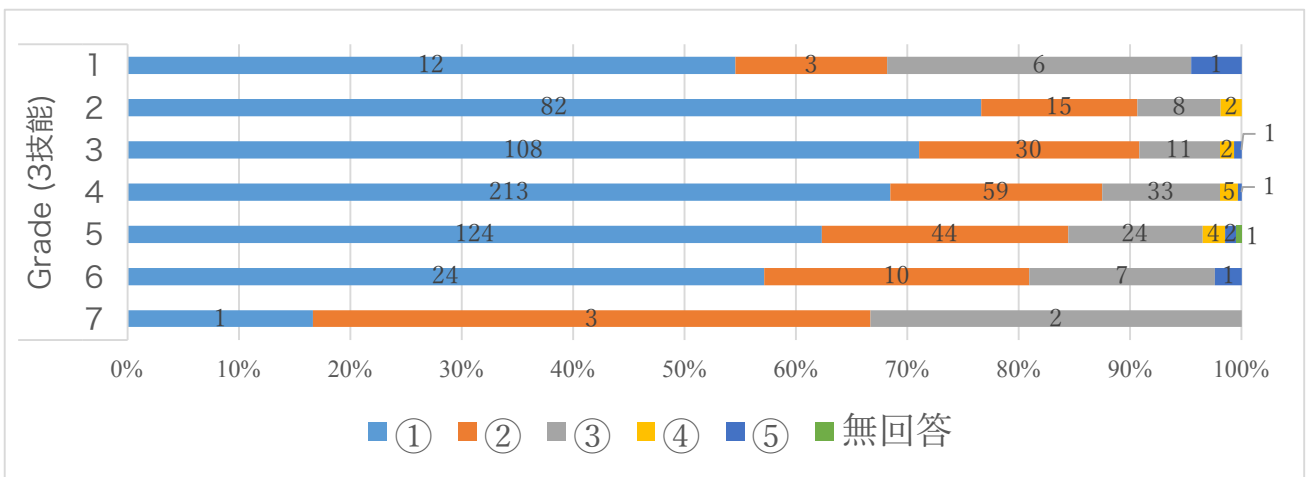
- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している

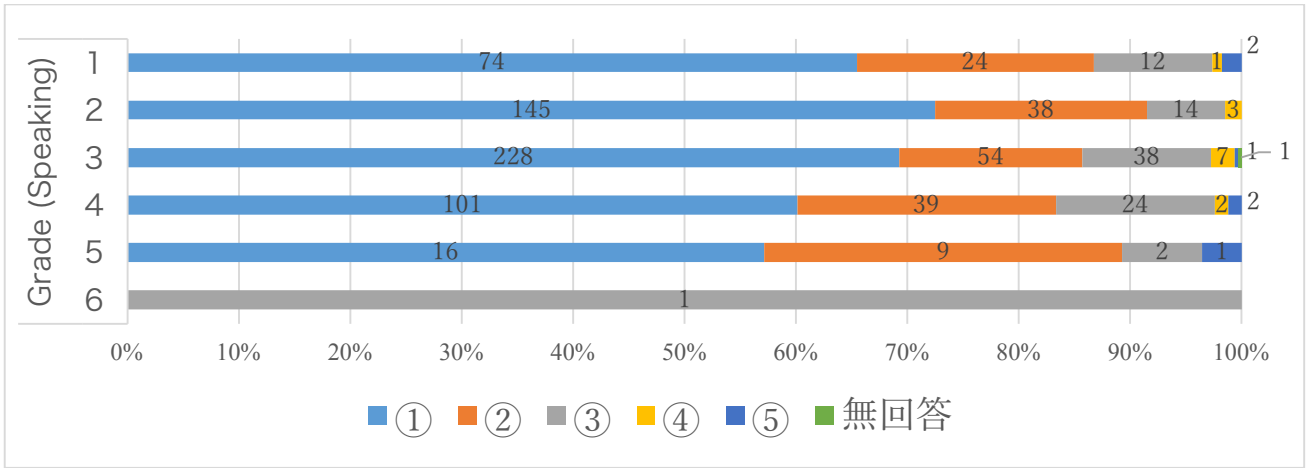
○ ピークは Grade1 ではなく 2 にあるが、Grade 低くなるともっと勉強が必要だと感じている者の割合が多くなる。



33. 32.について、予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除いた学習時間は十分だと思いますか。
- ①もっと勉強が必要である ②どちらかといえばもっと勉強が必要である ③どちらでもない
④どちらかといえば十分に勉強している ⑤十分に勉強している

○ 授業の予習や復習・課題の学習時間以上に、Grade 低くなるともっと勉強が必要だと感じている者の割合が多くなる。ただし、そのピークは Grade 2 にあり、Speaking の場合、傾向は必ずしも明確ではない。





第 6 章: 外部専門家委員会

第1節 拠点校授業外部専門家委員会の提言（概要）

- 拠点校の現状と課題，および来年度（以降）の展望についての各委員の提言は次頁以降を参照。
- A校のコミュニケーション英語は生徒中心・活動中心と言える部分が多く、またA校・B校ともに英語で授業を運営する力量が高い教員もいる一方，英語表現はいずれも教師主導の「答え合わせ」式の授業が多く，授業構成の抜本的改善を要する。C校の授業も同様。
- 単元・本時のゴールを明確にし，そこに向かって活動を組み立てるという観点が必要。本時の目標とアウトラインを授業冒頭に生徒に示すことを徹底すると良い。いずれもインプットしたものを定着させるための活動が不足している。語彙指導も改善を要する。
- 来年度は，拠点校教員や他の英語教員も招いてフォーラムの形式で開催してはどうか。

第2節 データ分析外部専門家委員会の提言（概要）

- 得られたデータの範囲では英語力（GTEC for STUDENTS スコア）に対して学校間の違いが最も大きく，次いで英語が好きかどうか，種々の分析を重ねるとメタ認知能力の高さ（活動の意味，自分の知識の活用）が大きな要因になっている。
- 情意面で見ると，進路・家庭の状況も大きく反映されているものの，動機づけ（国際志向・統合的，コミュニケーション志向，道具志向）と英語使用不安（対クラスメート，対外国人，発表）を因子として，英語の好き嫌いに関してそれぞれ5類型ぐらいの生徒像を取り出すことができる。
- GTEC for STUDENTS（特に Writing/Speaking）は，観点ごとのスコアで見ないと十分な分析はできない。Writing は一問のみで拠点校の生徒に対する十分なアセスメントをなし得るかという問題があり，Speaking についても，やりとりする力を直接測っているとは言えないため，その点について考慮が必要である。（教員の違いよりは）様々な観点での指導状況と生徒を紐付きにして分析すると指導法改善の糸口がつかめるかもしれない。
- 求められる英語力を有する生徒の割合を3年目末の時点で6割（ $M = 535, SD = 65$ ）にするためには，B校は1割の生徒が鍵で，A校には $d = 1.30$ 程度の効果のある介入が必要。Hattie Table (Hattie, J. (2009). *Visible learning: A synthesis of over 800 meta-analyses relating to achievement*. Oxon, UK: Routledge.)に基づけば「教師が生徒に期待をかけること」，「教師の説明の明瞭さ」，「フィードバック」，「(カリキュラムに対する) 形成的評価」あたりが有望か。同僚性を高め，教員の意識を徐々に変えることが必要。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 三浦 孝 (静岡大学・名誉教授)

A校

1. コミュニケーション英語 I, A 教諭, 2017 年 1 月 31 日 3 時間目 (3 組)
 - ・ 授業タイプ分類: Student-centered, Activity-based
 - ・ 構成する各活動: "When you see a stranger, you should help him/her. Agree or disagree?"という問題提起から入り、ストーリーのカギとなる 4 つの地名を探させる導入は experience-based で良い。ただし、その後に日本語の映画を見せて話の概要を紹介したのは、英語理解にはならず、冗長。続いて単語リストを音読する活動に長く (20 分) 依存しすぎ、後半は機械的練習。
 - ・ 教師の英語指示力: 教師が英語で授業を運営する力量は高い。発音も明瞭。
 - ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 最初の Agree or disagree?で見る限り、即興で意見が表明できる力がある。ペア活動に積極的に参加できている。
 - ・ 良い点: ペアワークの名作を全体の前で発表する機会を設けていること。
 - ・ 提案したい改善点: 最初の問題提起の質問は、抽象的で意見が言いにくい。むしろ授業のオープニングにはコミュニケーション的な帯活動が望ましいのではないか。
2. 英語表現 I, A 教諭, 2017 年 1 月 31 日 4 時間目 (5 組)
 - ・ 授業タイプ分類: Teacher-centered, Lecture & drill style
 - ・ 構成する各活動: ①"I like winter. Do you agree or disagree?"の問いを投げ掛け。左右ペアで Agree 派と Disagree 派を分担してミニ・ディベート 2 分間。(合計 14 分) ②教科書の文法説明 (p.82 原形比較、比較級を使って旧来型の文法解説、日本語) (18 分) ③比較級の練習問題に各自で解答、それから教師主導で答合わせ (18 分)。
 - ・ 教師の英語指示力: 活動①での英語指示は明瞭で簡潔。他は、日本語による授業。
 - ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 即興でミニ・ディベートを行う力がある。

- ・ 提案したい改善点: このような文法書的な教科書の説明を、順番どおりにやる必要はない。授業の3分の2が旧来型の文法解説で、活動が中心となっていない。
3. 英語表現 I, B 教諭/ALT, 2017 年 1 月 31 日 6 時間目 (2 組)
- ・ 授業タイプ分類: Teacher-centered, Lecture & drill style
 - ・ 構成する各活動: 生徒同士が意味を伝達する活動は、合計 5 分のみで、残りは 45 分は Teacher-centered の解説と答合わせになっている。目的の無い授業 (その 50 分の Goal Task と、それを達成させるための下位 task という構成を持たず、テキストの練習問題を順番に消化しているにすぎない。) ALT の存在意義が無い。Gerund, Infinitive, Clause などといった文法事項説明は、英語で行うべきではない。
 - ・ 教師の英語指示力: 説明や指示が冗長で時間にムダが多い。板書、掲示、表等の利用が乏しく、工夫が足りない。JTE の英語は不必要に丁寧で、発音が不正確 (/v/ /r/ /z/)。
 - ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 不明
 - ・ 提案したい改善点: ①Teacher-centered の「答合わせ」式授業から脱却し、生徒が英語を使って意思伝達を図る活動を授業の中心とすべし。②チームティーチングの良さをもっと出してほしい (例: ALT と JTE の英語による掛け合いで授業を進める)。③不定詞、動名詞、節などを英語で説明する必要はない (文科省はそのようなことを奨励していない)。

B 校

1. 英語表現 I, W 教諭, 2016 年 11 月 7 日 3 時間目 (5 組)
- ・ 授業タイプ分類: 前半は Teacher-centered lecture-style, 後半は Student-centered activity-based
 - ・ 構成する各活動: (1) p. 83④リスニング問題に答える、(2)p. 83⑤モデル対話の意味解説とリピート練習、(3)p. 83 Nutrition Facts の表について Q&A, (4) モデル対話を応用して guided conversation、(5)guided conversation で聞いたクラスメートの答を報告する speech 原稿を書く、(6)4 名の生徒が speech でクラスに報告。(5)(6)がゴールタスクになっているらしい、そのことを授業最初に生徒に予告して始めれば、もっと

目的志向がはっきりするだろう。

- ・ 教師の英語指示力: 教師の英語指示力は有る。
- ・ 生徒のコミュニケーション活動力: ペアワークや発表を積極的に行おうとする姿勢がある。活発にペアワークができる。ただし、原稿を見ながらペアワークをしたり、スピーチをするなど、文字依存が強く、人に聞かせようとする話し方になっていない。
- ・ 良い点: その日の授業の頂点となる goal task を設定していること。後半は活動中心になっていること。
- ・ 提案したい改善点:
 - ・ 活動(1)～(4)は teacher dominating であり、改善したい。
 - ・ guided conversation の仕上げに、上手にできたペアに発表させたい。
 - ・ 人に聞かせようとする話し方を意識させたい。

2. 英語表現 I, G 教諭, 2016 年 12 月 12 日 5 時間目 (3 組)

- ・ 授業タイプ分類: その日の授業の Goal 意識が無く、ただ順番に教科書を教えている。Teacher-centered, Lecture-drill type
- ・ 構成する各活動: (1)単語導入の答合わせ、(2)ディクテーションと答合わせ、(3)お勧めの本について自分の原稿を作る、(4)ペアで「お勧めの本」について話し合う、(5)聞いた話を紹介して書くことの指示。
- ・ 教師の英語指示力: 教師の指導言が日本語に偏り、英語で言って十分通じることまで日本語で言っている。
- ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 不明
- ・ 良い点: 時々英語で指示を出しており、指導言を英語に変えていこうとする姿勢が見られる。
- ・ 提案したい改善点: 授業構造の全面的再編成が必要。教師が、「生徒は 1 から教えなければ何もできない」と信じ込んでいるように思われる。

C 校

1. コミュニケーション英語 II, M 教諭, 2017 年 2 月 1 日 5 時間目

- ・ 授業タイプ分類: Teacher-centered, Lecture & drill style
- ・ 構成する各活動: (1)生徒が問題に各自答える、(2)前時の復習: 新出語の英和対応と、内容に関する Q&A、(3)4 人グループで答合わせと、前時ス

トリー紹介用のプレゼンチャートの作成（これに 20 分を充てるのは間延びする）、(4)Q&A の答合わせ。各活動の関連づけが乏しく、本時の Goal Task に向かう授業構成になっていない。「何のためにこの活動をやっているのか」にしっかりと答えられていない。

- ・ 教師の英語指示力: 英語による指導言が使いこなせていない。
- ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 不明
- ・ 良い点: 授業開始時に英語で small talk をするなど、指導言を英語に変えていこうとする姿勢が見られる。
- ・ 提案したい改善点: 授業の構造を再構築すべし。授業中に生徒が英語を聞く・話す量を増やすこと。活動中心に授業を構築すること。本時の Goal Task を設定し、それに向けて準備的 activities を積み上げること。指導言を英語にすること。

2. コミュニケーション英語 II, M 教諭, 2017 年 2 月 1 日 6 時間目

- ・ 授業タイプ分類: Teacher-centered, Lecture & drill style
- ・ 構成する各活動: (1) プリントに各自記入する、(2)辞書を使って各自作業、(3)テキスト P.78 の内容を問う Q&A 3 問に答える、(4)ペアで p. 79 を音読し Q&A 1 問に答える、(5)ペアで p. 80 を音読し Q&A 1 問に答える、(6)追加質問 "What has changed your life?" を示し、各自考えさせる。
- ・ 教師の英語指示力: 英語による指導言が使いこなせていない。
- ・ 生徒のコミュニケーション活動力: 最後に発表した生徒を見たかぎりでは、自分の考えを英語で表現する力は有る。
- ・ 良い点: 教材内容から生徒自身の人生につなげようとしたこと ("What has changed your life?") は良い。ただし、Q の意味の理解を確認し、表現モデルを例示したり、話し言葉らしく発音できるようにするといった導入が不十分。
- ・ 提案したい改善点: 授業の構造を再構築すべし。授業中に生徒が英語を聞く・話す量を増やすこと。活動中心に授業を構築すること。本時の Goal Task を設定し、それに向けて準備的 activities を積み上げること。指導言を英語にすること。生徒の各自作業の時間が長すぎて間延びしている。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 永倉 由里 (常葉大学短期大学部・教授)

1. はじめに

拠点校の現状と課題については、他の委員の授業ごとの詳細な分析に委ねさせていただき、私
はご参考までにいくつかの提案をさせていただきます。

特に目新しいものではありませんが、コミュニケーション能力を育てるためには、(1)コミュニカティブで主体的な活動の多いメリハリのある授業を展開することにより、(2)生徒も教師も happy で笑顔がこぼれる教室の創造が欠かせません。心と頭が“On”の状態でも活動してこそ「理解」や「思考」が促進され、満足度も上がり意欲も向上することから、結果としてより自律性のある学習者・教師(コーディネーター)への成長が期待されるからです。

2. 提案のアウトライン

次の3点です。いずれも慣れれば短時間でこなせるかと思います。

提案1 「お品書き」のように授業の流れを示す。

提案2 活動のタイプ(コミュニカティブさの程度, student-centered の程度)を意識する。

提案3 短時間で省察し、次につなげる。

「お品書き」にはそれぞれの「活動(ネーミングをするとよい)」だけでなく、「想定される所要時間」と「活動のタイプ」を加えます。

「活動のタイプ」は、Speaking, Writing といった output 活動の場合は、自分の体験や感情・意見を発信しているかという「コミュニケーション・レベル(=真のコミュニケーションか、リアルさの度合)」を記号で示しましょう。

◎=真のコミュニケーション, 自己表現活動, タスク活動

○=ロール・プレイ等の設定条件のもとでのコミュニケーション, タスクに準ずるもの

△=教科書のダイアログをペアで音読などのやりとり練習

(注)Listening, Reading であっても、より主体的な活動になるよう工夫しましょう。

「リアル度」の高い活動は、他教科の授業スタイル(受け身なものが多い?)もあり、いつでもどこでも誰でもスッと入っていけるものでもありません。スイッチを切り替えるためには、心と頭をほぐす

「帯活動」がおススメです。「リアル度」の高い活動は、居心地がよく、楽しく、共同的・協力的な雰囲気の中でこそ成り立ちます。経験上、主体的(≒脳動的)活動が多いほど「授業満足度」も上がります。

「帯活動」は、opening の icebreaking や前時の復習などで、10～15 分が適当です。なるべく英語で行いたいですが、ここで意識してほしいのが、「教師のリアル度」です。指示英語だけでなく、先生方自身の「本音トーク」を織り交ぜてください。

活動の順序、リアル度、時間配分を表にするとよいでしょう。生徒達は教師思いですから、予定通りに授業が進むよう気を遣ってくれます。また、「お品書き」があると、「省察」「振り返り」をメモするのにも便利です。

それでは、各校ごとに「授業の流れ」の一例をあげさせていただきます。

3. お品書き例 1 (A 校, コミュニケーション英語)

教師・生徒ともコミュニケーション英語使用能力に長けているので、いわゆるPDCA サイクルがうまく回っていきそうで、期待が膨らみます！

| | Today's Activities | 時間 | コミュ度 | コメント等 |
|---|--------------------|-----|------|-------|
| 1 | Icebreaking | 5分 | ◎ | |
| 2 | Mini Debate | 5分 | ◎ | |
| 3 | 『海難 1890』のプレタスク | 5分 | ◎ | |
| 4 | 『海難 1890』の鑑賞 | 15分 | | |
| 5 | 『海難 1890』のポスト・タスク | 5分 | | |
| 6 | Reading ※主体的な読み | 10分 | ※ | |
| 7 | 宿題・予習の指示とコメント | 5分 | | |

1,2,3,6 で、計 25 分 (50%)

1. Icebreaking (5分)

挨拶, small talk に加え、教師の経験談を。たとえば、旅先でのエピソードなど。生徒の皆さんは「へえ～、そんなことがあったんだあ～」と親しみを感じ、“On”の状態になり、次の活動にスムーズに入っていきます。

2. Mini Debate (5分)

活動への導入し仕方を考えておくといいのではないのでしょうか(以下、例)。

T: These days you sometimes see a stranger, don't you? Who has seen a stranger?

S: I saw a foreigner, maybe he was a backpacker.

T: Why?

S: He had a big backpack, and looked at the map.

T: And ...

S: I came close to him. Then he asked me where ○○ hot spring is.

T: Wow! Very kind of you!

Everyone! Let's enjoy talking about this topic. When you see a stranger, you should help him/her. Agree or disagree? Make pairs. I'll give you 3 minutes. Ready, go!

3. 『海難 1890』のプレタスク(5分)

ハンドアウトの上半分(トルコの位置等)の導入例

T: Talking of Turkey, what reminds you?

S1: Turkey also means a bird American people eat at a Christmas party.

T: That's right.

S2: Really? Why?

T: Good question. Then ... why don't you look it out by using your electronic dictionaries?

S3: My dictionary says turkeys were imported through Turkey into US.

T: Wow! I didn't know that. Thank you, S3. Good job!

ハンドアウトの上半分(現状通り)を使った活動へ。

Now let's enjoy the movie titled 『海難 1890』. Look at the handout. Fill the blanks after you watch it. I'll give you 30 seconds to read it.

4. 『海難 1890』の鑑賞(15分)

5. 『海難 1890』のポスト・タスク(5分)

ハンドアウトの下半分。ペアで確認し合うだけでも OK では？

6. Reading (10分)

映画鑑賞で心動かされているので、ここで part 2~を主体的に読む活動(Reading ⇄ Thinking)の時間を与えては？ 以下のようなヒント(未知語であろう語の日本語訳を記した表)を与えて、時間を与えて初見で主体的に読ませる。語数と難易度から教師が目標タイムを示す。目標タイムが5分の場合、黒板に4分、4分30秒、5分、5分30秒、6分と書いておき、その時間になったら二重線で

消していくとよい。早く終わった生徒には、辞書で意味を確認させたり、わからないところに下線を引かせるなど、時間をもてあまさないよう指示を与えておく。

ペアでわからないところを確認し質問し合う。二人ともわからなければ、別のペアに助けをもらう。必要があれば、教師が対応。

お作りの詳細な vocabulary 一覧は、復習用に配布してはどうでしょうか？

↓何行目かを記す

| | | |
|--|--|-------------------------|
| | | = unluckily, un happily |
| | | 大使館 |
| | | |

7. 宿題・予習の指示と〔毎回でなくてもいいが、コメント記入〕

授業内容とつながりのある宿題を出すときよい。本文の内容に沿った「事実発問」を2問、内容についての感想や意見を尋ねる「推量発問」を1問作ってくるはおススメ。

コメントは、ただ漠然と「なんでもOK」というやり方もありますが、書いてほしいことをある程度具体的に示してほしいのもよいと思います。「今日やったことで、①これからもやりたいなあと思うもの、②イマイチだと思うもの、できれば理由も」など。何を書いても成績に影響することは絶対ないことも伝えます。

教師自身も職員室に戻るまでの間に振り返りをし、デスクに着いたらメモをする。

10分ほどの時間が取れる時に、それまでのコメントを紹介し、それを参考に次の単元でも継続する活動、調整・改善するもの(提案を受けて不評な理由を教師がどう分析したかも伝えつつ)をあげ、協力への感謝も伝える。

4. お品書き例2 (B校, 英語表現)

教師・生徒とも非常に高い英語使用能力を有しているのも、よりリアル度で student-centered の活動時間を増やし、教師はコーディネーターに徹すれば、生徒はその分自律的に学んでくれるでしょう。生徒のキラキラした表情が目に見えますよ！

| | Today's Activities | 時間 | コミュ度 | コメント等 |
|---|--------------------|-----|------|-------|
| 1 | Icebreaking | 5分 | 5分◎ | |
| 2 | Pair Work | 3分 | 3分◎ | |
| 3 | Listening | 10分 | 4分◎ | |

| | | | | |
|---|---------------|-----|------|--|
| 4 | 教科書⑤ dialog | 10分 | 4分◎ | |
| 5 | 教科書⑥ writing | 15分 | 10分◎ | |
| 6 | 宿題・予習の指示とコメント | 5分 | | |

1,2,3,4,5 で、計 26 分(50%)

1. Icebreaking (5分)

2につなげる意味で、教師による Small Talk を。

T: Hi, how are you?

Ss: Fine, thank you. And you?

T: I'm fine, but I feel a little hungry. When I feel hungry, especially around four or five, I feel like eating something sweet. I like chocolate, cookies and cakes. Talking of cakes, what kinds of cakes do you eat?

S1: ショート・ケーキ

T: I see, but English speaking people don't call it ショート・ケーキ. They say frosted sponge cake or strawberry layer cake. Thanks, S1. Any other kind?

S2: Cheese cake.

T: Ahh.

S3: Chocolate cake.

T: Hmm. Which do you like best, frosted sponge cake, cheese cake or chocolate cake? Who likes frosted sponge cake? Raise your hands. ... How about cheese cake? ... How about chocolate cake?
...

Now let's start today's class with pair work. Make pairs. Talk about "What is your Favorite food?"

2. Pair Work (3分)

What is your favorite food?

3. Listening (10分) 一部○(4分程度)

空所を埋めるために繰り返し CD を試聴→聞き方(どこに意識するか)を示すなどして主体的な listening へ。音読も行い、「言えれば聞こえる」ことを実感させるとよい。

3.1. スクリプトを見ないで、メモを取らずに漠然と捉えるように指示し、聞き取れたことについてペアでシェアさせる。(2分)

3.2. 2回 CD を試聴後、ペアでディクトグロスを行うことを告げ CD を流す。(1分)

- 3.3. ペアでディクトグロス(2分)
- 3.4. 空所の確認(教師がゆっくり音読)。(1分)
- 3.5. 全員で音読。ややゆっくり→普通の速さで→CDにかぶせて(2分)
- 3.6. CD 試聴(「あ～、聞こえた!」と感じるはず)(1分)
- 3.7. ペアで教科書④の Q&A 確認(1分)○→教師の Q に生徒が答える(ペアで確認済みなので安心して声が出る)

4. 教科書⑤(対話文)(現状:Good!)(10分)

4.1. 一斉音読(生徒の皆さんは repeat させなくても読める, 途中, carbohydrate で躓いたところで発音練習, 意味確認)(1分)

4.2. ペアで look-up でやりとり 役割を交代して 2 回目(1分)

4.3. Q で表の確認(2分) 小数点の読み方の練習にもなる。

T: How many calories are there in a dish of ramen?

T: How much fat does a chocolate doughnut contain?

T: Boys, how many calories do you need a day?

T: Which contains more salt, ~ or ~? など

4.4. 生徒からの質問(現状:Good! cheese cake についての映像情報◎)(1分)

4.5. 準備(1分)→interview により 3 人から情報を集める(現状:Good! 3分)

5. リアル度を増すために, ⑥を「自分のことについて」書かせるよう変更(15分)

5.1. 各自で writing(4分)

5.2. 4人グループで黙輪読(3分) 気づいた点はシェア

5.3. [新しい]4人グループで一人ずつなるべく look-up で発表(2分)

5.4. 5.2, 5.3 を使って, ペアでフリー・トーク(2分)

5.5. 2組のペアでフリー・トーク。(5~6分)

1組目のトークを2組目が観察評価→終わったら良い点を2つ, 改善点を1つあげる。役割を交代しても一度。

※「質問して確かめる」「言い直す」「合いの手」「Fillers」「Visual aids の活用」など方略的能力も高められる。

6. 宿題(例:教科書⑥) パートナーを主語にした英文を書いてくる→月の授業でパートナーに聞いてもらい, 妥当か判断してもらう)・予習の指示とコメント(5分)

IC 校の例も参考にしてください(前章の 7)。

これで, 半分以上は, リアルなコミュニケーションをしていることとなります。

5. お品書き例 3 (C 校, コミュニケーション英語)

とても元気で反応があり, スツと共同的な学びに入っていける魅力的な生徒さんたちだと思います。生徒さん達の実情に合った「活動」を検討しましょう。試しては様子を観察し, 変更・修正を図ってください。おせっかいかもしれませんが, いくつか試していただければと思うアイデアを紹介します。

| | Today's Activities | 時間 | コミュ度 | コメント等 |
|----|------------------------------|----|------|-------|
| 1 | 単語テスト | 7分 | | |
| 2 | Interview Chants または口頭クイズ | 5分 | | |
| 3 | Interview Test の準備(個人で) | 4分 | ◎ | |
| 4 | Interview Test の準備(ペアで) | 3分 | ◎ | |
| 5 | 本文 CD 試聴 | 2分 | | |
| 6 | ペアで音読 | 3分 | | |
| 7 | A 探しペア音読 | 5分 | ○ | |
| 8 | 英作文(英借文) | 7分 | ◎ | |
| 9 | 発表 | 5分 | ◎ | |
| 10 | 宿題・予習の指示とコメント | 5分 | | |

3,4,7,8,9 で, 計 24 分(約 50%)

1. 単語テスト

単語テストは学年で共通して取り組んでいるのですか? 範囲を指定して最初の 5 分で実施しているようですが, 生徒の皆さんはよく勉強してきていますか? 平均して正解が 8 割程度ですか? 平均が 5 割以下ですと, かえって意欲をそぐことになりかねません。発音は大事です。読めないものは覚えられません。前時に CD または教師の後に続けて発音を確認していますか?

たとえば, 次のようなやり方はどうでしょうか? ①小テストの直前にコーラス音読(1分), ②最終準備時間を 1 分与える, ③小テストの実施(2分), ④答合せ(1分), ⑤間違った英文を read, look-up & say またはペラペラ・ライティング(ブツブツ音読しテスト用紙を裏返してブツブツ言いながら書く)(1分)

同じ 5 分でも, かなり頭が活性化します。次の小テストの範囲についても CD または教師の後に続けて発音を確認するとよいでしょう(+1 分)。

2~4. Interview Test の準備

クリエイティブな活動をするときには、心と頭がほぐれていないと難航します。Icebreaking を兼ねて、自分らしさを表現するのに必要な柔らかい構えにもっていきましょう。

例1:クイズ (全員を立たせ, 三択 Q の答えを指で示してもらい, 正解者のみが立ち残る。復習も兼ね, 3 問程度)

T: Hi, let's enjoy the icebreaking quiz! Guess the answer. What's my favorite movie, No.1 Star wars, No.2 君の名は or No.3 Zootopia? Please answer it by using your hand. !

T: The answer is ... No.2. Because ...

例 2:チャンツその1(使えそうな語彙を表にして, リズムに乗って声を出させる。)

| | | |
|---|---------|----------------------------|
| 6 | カッコいい | be cool |
| 6 | センスがいい | have good taste |
| 6 | 声がいい | have a nice voice |
| 6 | ルックスがいい | look so good |
| 6 | 歌詞に感動 | his/her words are touching |
| 7 | 努力家 | be a hard worker |
| 7 | 夢がある | have his/her own dream |
| 7 | 意志が強い | have a strong will |

例3:チャンツその2(チャンツ用にシンプルなやりとりを作って, リズムに乗って声を出させる。CDがなくてもペン先で4拍ずつ机をコツコツでOK)

| | | |
|---|------------------------------|-----------------------------------|
| 6 | Where's your favorite place? | I like my room. |
| 6 | Why? | [Because I am] alone and relaxed. |
| 6 | How? | I watch DVDs. |
| 6 | What kind of ...? | I love action movies. |

ほぐれたところで, まずは個人で英作文。その後共同で。

5. 本文 CD 試聴 (この後ペア音読をすることを告げ, 発音を確認しながら聴くよう助言) (2分) さらに発音が不安な語を上げてもらい, 再確認。

6. 本文 ペアで音読(3分)。必要に応じて発音指導。
7. 本文 A 探しペア音読 Q を示し A(下線を引かせる)を探しながらもう一度ペア音読 (3分)
その後, A の確認(2分)
8. 英作文(英借文) What has changed your life? (個人で4分, ペアで3分)
9. 4人グループで発表(2分)→volunteer2~3人を募り全員に向け発表(2分)。
10. 宿題・予習の指示とコメント(5分)
前々章の IC 校の例を参考にしてください。

6. おわりに

「お品書き」を導入すると、いろいろな点で生徒・教師双方の意識が高まります。それらがコメントに反映しますから、フィードバックもお忘れなく！さらに、同僚の先生方同士で、お互いの一工夫(P)とその実施結果(A)についておしゃべりをして(C), 次につなげて(A)下さい。

拙いレポートですが、参考になれば幸いです。よろしければ、ご相談、教材の紹介・提供に応じさせていただきます。ご連絡くだされば対応したいと思います。よろしく願いいたします。

永倉由里 yuri_ngkr@yahoo.co.jp または yuringkr@gmail.com

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 安木 真一 (京都外国語大学・教授)

I. 授業についてのコメント

学年追跡型 A 校

1 年: コミュニケーション英語 LANDMARK, 英語表現 Vision Quest Advanced

A. コミュニケーション英語 I, A 教諭, 2017 年 1 月 31 日 3 時間目 (3 組)

- (1) 大きな全体の流れとして 1 課全体の概要の導入と VOCABULARY の導入を実施したことはよくわかり, しっかり準備された授業であった。
- (2) 1 課全体の導入の中で次の VOCABULARY を少しずつ導入するなど, 前半の活動と後半の活動につながりがあるとよい。
- (3) VOCABULARY の導入の量や方法には更なる工夫が必要である。
- (4) 多くの生徒は楽しくスピーキングしている点は評価できます。今後発音面や正確さの向上のための工夫が必要である。
- (5) 先生は生徒の理解度を増すためと思いますが, 英語を少しゆっくり話そうとしてリズムが崩れているように思います。ゆっくり話そうとするのではなくポーズを長く置くことで英語の調整をすべきかと思う。

B. 英語表現 I, A 教諭, 2017 年 1 月 31 日 4 時間目 (5 組)

- (1) 前半の everything has a positive side というテーマに対して最終的にどのような結論になるのでしょうか? 最初の簡易ディベートは授業の最後に持ってきてても良い。
- (2) 問題演習の時間を削って練習の時間にすると良いです。練習量が足りない。例文は 10 回は音読すべきだ。比較の語順は難しく何度も音読する必要がある。
- (3) PPP だけによるのではなく, 時には ORAL INTRODUCTION の中でも少しターゲットになる文法事項を導入した後で説明そして表現活動という展開も検討すべきである。

C. 英語表現 I, B 教諭/ALT, 2017 年 1 月 31 日 6 時間目 (2 組)

- (1) 活動がいくつか続きゴールが見えにくいので、最初に本日のゴールを示す必要がある。
- (2) ALT との TT なので ALT の英語を聞かせる意味でも、もう少し ALT に任せる部分を増やすべきだと思う。

【A 校全体についての総評】

- (1) 指導案を共有化するなど学年（学校）で英語教育にとり組もうとする姿勢が素晴らしい。
- (2) 様々な活動を行っており工夫が見られた。
- (3) 説明や英語での Input とコミュニケーション活動をつなぐ音読などのインテイクが必要である。
- (4) 最後の活動を行うためにいかに FORM を意識したインプットをし生徒に気づかせながら次の活動へと行く工夫が必要である。
- (5) コミュニケーション英語と英語表現の連携も考えると良い。

学校改善型 B 校

1 年: コミュニケーション英語 Genius, 英表 Main Stream

2 年: コミュニケーション英語 PRO-VISION, 英表 Perspective

3 年: コミュニケーション英語 Polestar, 英表副読本

A. 英語表現 I, W 教諭, 2016 年 11 月 7 日 3 時間目 (5 組)

- (1) 生徒の積極的参加が良い。
- (2) ゴールに何をしたいかは明確である（コンテンツに focus を置いていると考えると）。
- (3) interview ではシートを音読するのではなく顔を上げて相手を見ながら言うよう指示する→コミュニケーションの基礎となる。
- (4) スピーチをどのように評価するのだろうか？（特に代表生徒以外）
- (5) 代表生徒のスピーチに教師がコメントや質問、リキャストが必要ではないかと考える。

B. 英語表現 I, G 教諭, 2016 年 12 月 12 日 5 時間目 (3 組)

- (1) 教科書の activity を順にこなす授業であったが、ゴールを明確にし、そこに向かって activity を組み立てるといった観点が必要である。
- (2) 最初に述べた仮定法について、途中の解説や練習がなかった。どこかに入れておく必要がある。
- (3) リスニングした後に表現に至る前の練習がない。しつこい音読練習をすべきである。リスニングの時間は削ることが可能かと考える。

【B 校全体についての総評】

可能性を秘めた生徒がたくさんいる。音読をするなどインプットしたものを定着するための活動が不足している。また自信をつけさせるため発音トレーニングをしてあげると良い。学習した文法事項を使えるようにするための工夫が必要であると感じる。また生徒のレベルを考えると更に深く本文を読み込む工夫が必要かと思う。

個別支援型: C 校

- コミュニケーション英語: All Abroad!, 英表担当なし
- 英語会話 Learners' English Grammar in 25 Stages

A. コミュニケーション英語 II, M 教諭, 2017 年 2 月 1 日 5 時間目

- (1) 生徒に考えさせ教師は支援者に徹しようという姿勢は一貫していた。
- (2) 音声によるインプットとインテイクが不足している。「スローラーナーには特に音声指導が必要である。「授業の初めに簡単なスピーキング活動を入れる。本文の内容について英語で紹介する。英単語の練習をしっかりとする。音読をする」などの活動で発音の定着をはかり、本文の基本表現を定着させ、授業にリズムを作りながら、発展学習に至ることを目指して協働学習を組み込むことが必要である。

B. コミュニケーション英語 II, M 教諭, 2017 年 2 月 1 日 6 時間目

- (1) 生徒に考えさせ教師は支援者に徹しようという姿勢は一貫していた。
- (2) 生徒の個人活動の際に具体的な活動の方法の提示、例えば小刻みに区切

り解説したり，ペアやグループワークを行うなどの具体的支持が必要である。特に最後の活動は何も書けないでじっとしていたり，話している生徒がいるように見える。

(3) スキルの指導に更なる工夫が必要である。

【C 校全体の総評】

大枠として個人の指導に力を入れるのであれば，特に全体活動の中で個別に指導するための，細やかなシステムが必要かと思う。グループワークの時間が長くスローラーナーには厳しいように感じる。また最後に個人の意見を言えることを目指すのは良い考えであるが，中途の内容理解や音読などの指導に工夫が必要である。共通認識として英語力の向上を目指すのか，楽しさや人間教育を目指すのか，折中案としてその両方を目指すのかをある程度統一して置くと良い。なお教材に関しては学生のレベルを考えると難しすぎると思う。

II. プログラム全体について

大学の教員ばかりでなく高校の現場の教員も外部委員とし関わる，他に例をみない事業であると感じる。大学教員も英語教育実践研究の研究者のみならず，統計や英語学の専門も関わっており，広い視野での英語教育改善に寄与する事業になると確信する。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 松井 孝志 (山口県鴻城高等学校・教諭)

主として「英語表現」の授業について、「書くこと」の技能を中心にコメントします。

・ 英語表現 I, W 教諭, 2016 年 11 月 7 日 3 時間目 (5 組)

教科書: Main Stream, Lesson 14

現行の学習指導要領では、高校英語から「ライティング」がなくなり、「英語表現」という科目となりました。近年では「即興性」に焦点が当てられ、口頭でのやり取りの結果を書く、メモ書きから文（またはディスコース）の形でテキストを書くという活動が増えたように思いますが、ペアや小グループでのシェアリングのあと、クラス全体でシェアする際に、「代表生徒の発表」という形態に依存することが多いと思います。

しかしながら、この「発表」が授業の中で、または生徒の個別の学習で適切に処理されているか、疑問に思うことも多々あります。

今回の授業でも、

- ・ 語彙
- ・ 表現
- ・ 論理

が積み上がっていくためには、ワークシートの提出後に、教師の側でテーマ、トピックごとにグロサリーを作成し、自分の想起、使用した語彙だけでなく、クラスの他の生徒が想起、使用した語彙を共有化する足場を作るとか、生徒が考えて発表した statements をもとに箇条書きのようなリストを作成するなどという「可視化」が望まれます。

本時の授業の中で可視化を実現することは難しいので、

IC レコーダーやタブレットなどによる音声や映像としての記録→そこからの文字情報・テキスト化→クラスでのグロサリー共有

などを年間に数レッスン積み上げるなどの工夫が考えられるでしょう。

- ・ 英語表現 I, A 教諭, 2017 年 1 月 31 日 4 時間目 (5 組)
教科書: Vision Quest を使った授業。

この教科書自体が学習指導要領の「英語表現」の趣旨をあまり反映しておらず、旧来の文法シラバスに近い構成を持っていることもあって、当該校の年間の「授業シラバス」でのこの課の位置づけ、ゴールがよくわかりませんでした。

「英語の比較表現に習熟する」というゴール設定だとするならば、

- ・ もっと多くのグラフを見せて、英語表現とのマッチングをさせる。
- ・ 同じ数量の変化・推移・増減の局面を取り上げ、複数の英語表現を示し、その前後のつながりを考えさせる。

などといった下位タスクやパラレルまたは発展的なタスクを課すことが望ましいと思います。比較級を使った単純な文構造でも、「…より」という日本語の発想を、形容詞や副詞の比較級に単純に当てはめることで、than の使用や差分を表す際に困難を感じる生徒は多いと思われます。

「名詞の可算・不可算に習熟する」というゴール設定とするのであれば、名詞の分類を解説するよりは、既修の言語材料の中から、類例をまとめ直させるなど、意味と形の摺り合わせができるような「活動」が望まれます。

「社会問題を英語で語る」というゴール設定とするならば、やはり「生徒感でのテーマ語彙の共有」をどのように授業中のコミュニケーション活動の事前・最中に図るかが鍵になると思われます。

- ・ 英語表現 I, B 教諭/ALT, 2017 年 1 月 31 日 6 時間目 (2 組)
ESL/EFL 用のテキストを用いた、TT の形態での授業。
教材の詳細・シラバスでの位置づけなどが不明でコメントは難しい。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 山本 孝次 (愛知県立刈谷北高等学校・教諭)

拠点校の現状と課題

単元デザイン

1. A 校・コミュニケーション英語・A 教諭

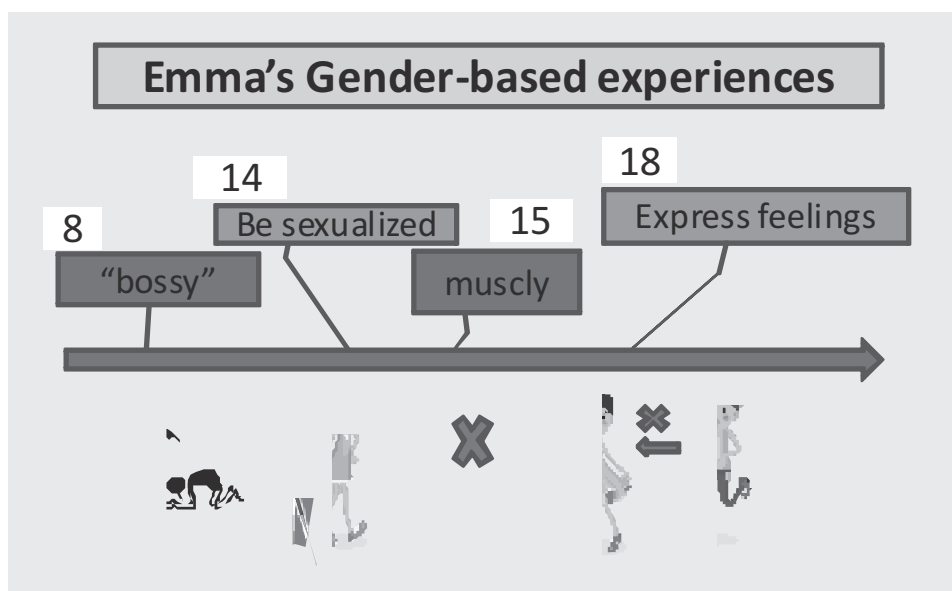
- とても興味深い内容を扱っていて、自分でも授業をやってみたくなった。
- 導入を見ただけなのでよくわからないが、単元全体での「頂上タスク」が何であるのかが気になる。ちなみに教科書には最後に「Writing & Speaking」というタスクがあり、内容は”If I Had Been a Villager on Oshima Island”というタイトルでエッセイを書き、そのエッセイをペアで感情を込めて読み合うというものが用意されている。このタスクは本課の「頂上タスク」として十分にふさわしい活動だと思われる。内容を理解・鑑賞したうえでこのエッセイが書けるようにすることを念頭に授業デザインを行っているだろうか。
- 導入のタスクは、よく工夫されている。Task 1 の問い、”When you see a stranger, you should help him/her. Agree or disagree?”は、他の委員が言っているように、やや抽象的すぎるかとも思われるが、全く知らないトルコの人々が海難に遭った際に和歌山県串本町の人々が躊躇なく助けていたことについて考えるときに参考になる。ただ、本文の導入としては、確かにもう少し具体的な例を用いるものもよかった方がよい。
- Agree or disagree?の活動を他の科目でも授業最初の帯活動で扱っていて定着させるように意識しているところがよい。
- Task 2 は、地図を使って登場する国や県及び市の場所を確認するもので視覚的刺激があってよい。
- Task 3 は、年表形式の表と映画の予告編を用いて、これから読む物語の歴史的背景を簡潔にまとめるものであった。日本の映画作品であるために、英語のリスニング活動とならなかったのは残念だが、映画の予告編と年表などのグラフィックオーガナイザーの2つを用いた Pre-reading 活動は概略を把握するためのよい活動であると思う。自分でやってみたい活動だ。

- Vocabulary Drill は、リストアップする単語を読解のポイントとなる単語やサマリーを作る際に必要となる単語、関連するエッセイを書く際に必要となる単語といった観点から厳選した方がよい。また、適宜空欄にしておいて生徒に調べさせたり、覚える時間を取った後で、ペアで5問ずつ英語あるいは日本語で答えるような問題を出させたりする骨導をするなど、形式的に読むだけにしない工夫が必要だと思われる。

2. C校、M先生、コミュニケーション英語

- 内容理解のための活動が、英語の質問の答えがどこに書いてあるかを探す活動止まりとなっている。
- 最後に追加した”What has changed your life?”の質問は本課の「頂上タスク」になりうるよい質問だと思う。しかし、個人の内容に引き寄せてはいるものの、やや唐突すぎる。教科書の内容から、What has changed Elena’s life? を英語で答えられるようにしてから、各個人の「タイムライン」を描かせたあとで、その中で大きな変化を見せているところを示しながら「いつ・どこで・なにが・どうした」を説明しながら述べていくようにする方法も考えられる。

タイムラインの例



- 導入で寺久保エレナさんがどんな人なのかに興味を持たせる工夫が欲しい。ぜひ、YouTube などからエレナさんが演奏している映像を入手して、生徒

の興味関心を引く方法を考えてみて欲しい。

来年度（以降）の展望

単元デザイン

○単元デザインの手順を変える

【コミュニケーション英語】

- ・まずは「頂上タスク」を設定する。

知性を伸ばす英語授業づくりの手順

教材の吟味と「頂上タスク」の設定

- ・ 訳読以外の適切な内容理解タスク

- ・ 意見・感想交換タスク

- ・ 「頂上タスク」による自己表現

- ・ 次の3種類のタスクを入れるように留意する。

知的なコミュニケーション力を育む授業づくりのために
組み込むべき3種類のタスク

内容理解タスク

（グラフィックオーガナイザー、推論発問）

意見・感想交換タスク

（Think-Share-Present、評価発問）

「頂上タスク」

（自己表現）

拠点校の現状と課題

単元デザイン

3. 英語表現の授業 全般

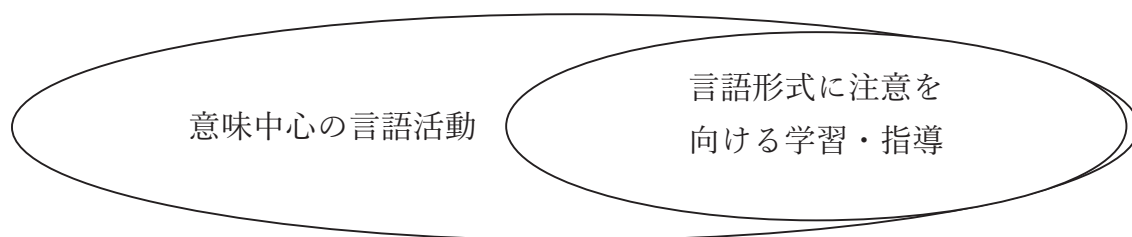
- ペア・小グループでの活動後にクラス全体に発表をする際のシェアがうまくできていなかった。→Think-Pair-Share (Pyramid Discussion) の手法に習熟していくとよい。

※Think-Pair-Share : 自分の考えを明確にし、他者の意見と対比しながら考えを深めていくのに有効。また、クラス全体での討論の準備にもなる。

①教員が全体に一つの質問をする（あるいは問題を出す）。 ②数分、個別に考える。 ③ペアを組んで互いに答を紹介し合う。違いがある場合にはそれぞれの根拠を明確にする。あるいは双方の意見を併せて一つの見解にすることを試みる。 ④4人～6人組になり、それぞれのペアで話し合った内容を紹介する。(⑤グループの意見を形成し、それをクラス全体に発表する。)

- 文法の説明とドリルに終始している。→フォーカス・オン・フォームを取り入れる。(『フォーカス・オン・フォームでできる!新しい英文法指導アイデアワーク 高校』(明治図書出版)を参照。)

※フォーカス・オン・フォーム (focus on form; FonF) : 意味中心のコミュニケーション活動を行いながら、その中で特定の言語形式(文法・語彙)に学習者の注意を向けさせること。



来年度(以降)の展望

単元デザイン

【英語表現】

- コミュニケーション英語の場合と同じく、「頂上タスク」でどんなことを表現させようかということをもとに考える。
- 頂上タスクでの自己表現に必要な文法事項をどのように FonF の活動を通して定着させられるかを考える。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 柳田 綾 (愛知県立阿久比高等学校・教諭)

拠点校の現状と課題

| 学校名・科目名・教師名 | 現状 | 課題 |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. A 校, コミュニケーション英語, A 教諭 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 始めにペア会話を取り入れており、英語の授業の雰囲気作りができています。 ▶ 授業を英語で進めることができています。 ▶ 手を挙げる生徒も多く、先生も生徒を英語でよく褒めている。 ▶ 生徒との良い信頼関係がうかがえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ ペア会話の状況設定（「見知らぬ人を助けるかどうか」が生徒には想像しにくく抽象的なので、より具体的な状況を提示する必要がある（例：電車内で高齢者に席を譲るか、道に迷った外国人を案内するか等）。 ▶ 導入部分（トルコ・イラク・イラン・和歌山県の位置を地図で確認する、映画の一部を鑑賞する）で無駄な時間があるので、もっとテンポ良く進めるべきである。（地理的な位置の確認の時間を短縮、映画の鑑賞は一度のみにする。） ▶ 教師が映像機器をセッティングしている間、生徒に何か課題を与えておくべきである。 ▶ Vocabulary Drill で学習する語彙量が多すぎるので、数を 80 個から 20 個程度に減らす。 |
| 2. A 校 英語表現, A 教諭 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 始めにペア会話を取り入れており、英語の授業の雰囲気作りができています。 ▶ 授業の文法説明以外を英語 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 初めの英語の挨拶に、authentic な質問やペアワークを入れては。 ▶ 「冬が好きかどうか」に関して |

| | | |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>で進めることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 文法説明だけにとどまらず、音読も取り入れている。 | <p>positive side を探すのも良いが、より賛成反対が分かれる話題を選んではどうか。(比較の文法事項に繋がるよう、静岡県と他県の比較や男女でどちらが得か、など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 教師の文法の説明と音読が混在しているので、文法理解の部分と音読の時間を明確に分けるべきである。 ➤ 生徒が自分で文法を理解する時間を増やすと良い。(例：生徒が各自で解説をまず読む→知らない情報、よく分からない情報にアンダーライン→ペアで質問し合う→先生の解説を聞く。) ➤ 板書が「メモ」のようで不完全な説明が多い。 ➤ Exercises を生徒が解く際、時間制限を設けるか、宿題にしてしまっては。(そうすることで、この時間をコミュニケーション活動に使うことができる。) |
| <p>3. A校, 英語表現, B教諭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ ALT がいるのに、あまり ALT が授業に参加できていない。 ➤ 席替えをしており、グループワークの雰囲気作りはできている。 ➤ ALT が生徒一人一人に質問して回答する形式なので、指名されていない生徒には | <ul style="list-style-type: none"> ➤ ALT がせっかく来ているので、授業の初めに日本人教師との会話などで oral introduction など行っているかどうか。 ➤ また、ALT の出身国独自の文化(この授業においては食べ物)と日本食の比較、ALT が日本に来て驚いた食べ物などについて生徒に聞かせてはどうか。 |

| | | |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>注意が向けられていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 文法説明を短時間ではあるが英語で行っている。しかし、生徒がそれを正確に理解しているかどうかは不明。 ➤ プリントの質問を英語で書く（制限時間3分）。ペアでプリントを交換し、お互いの文法をチェックする。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ ALT が尋ねた質問についてペアで会話する活動を入れてはどうか（そうすることで全員が発話する機会になる）。 ➤ writing→speaking ではなく、speaking→writing と順番を変えてはどうか。（話す内容にまず焦点を当て、その後に言語形式の正確さに注目させる。）その方が英語を話す楽しさを味わうことができる。 ➤ 自分がプリントに書いた英文をまず自分でチェックし(self-assessment)、その後ペアでチェック(peer-assessment)という流れにしてはどうか。（言語形式に対する意識がより高まると思われるため。） ➤ 「ALT の授業」という特別感やワクワクした雰囲気がもっと出せると良い。また、文化について学ぶ機会や時間をもっと設けるべきである。 |
| <p>4. B 校, 英語表現, W 教諭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 始めにペア会話を取り入れており、英語の授業の雰囲気作りができています。 ➤ 相手の発言に2つ質問をするよう促している。 ➤ リスニング活動で、生徒が同じ問題を4回聞き、その解答を指名された生徒が板書している。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ “What is your favorite food?”という質問よりも、より具体的な質問をする、または会話を発展させる会話方略も教えてはどうか。 ➤ リスニング活動で同じ問題を4回聞かせるのは長すぎる。また、聞かせる回数を増やすのであればスピードを変化させる、 |

| | | |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 答え合わせは教師がプリントを配布し、生徒が黙々とプリントを見て答え合わせをしている。 ➤ 答え合わせの際、教師が英語で説明している。 ➤ プリントを使って、クラスメート3人にインタビューをする。相手の発言にコメントを言うよう促している。 ➤ スピーチを作成し、指名された生徒4名が発表する。 | <p>間にペアワークを挟むなど工夫が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 答え合わせの前にペアで解答の確認をさせてはどうか。また、生徒の理解が不十分な点を明白にしてから教師が解説をした方が効率も良く、文法の理解も深まると思われる。 ➤ 習得すべき文法項目が不明確なので、習得すべき文法項目やタスクの指示をはっきりと説明する。また、この2点をプリントに明記しておく。 ➤ 教師が言う「コメント」の定義が不明確なので、コメントの定義と例を活動前に教師が示しておく。(コメントとは、相手に対するアドバイスなのか、賛成・反対なのか、意見なのかがよく分からない。) ➤ 焦点をあてて学習すべき文法項目が不明確(本時の学習すべき項目が、可算名詞・不可算名詞なのか仮定法なのかがよく分からない)なので、タスクごとに難易度を上げる、最終タスクを行うための小タスク、中タスクなどが必要である。 |
| <p>5. B校, 英語表現, G教諭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 教科書の“Word Input”という部分の学習を行う。 ➤ スクリーンで様々な本を見せている。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ classroom Englishをもっと多く使用してはどうか。 ➤ word inputの活動時にペアワークを取り入れては。 |

| | | |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ➤ ディクテーションを4回行う。 ➤ プリントを配布し、各自で答え合わせを行う。 ➤ 自分の好きな本について、ハンドアウトに英語で書く。 ➤ ペアワーク（自分の好きな本について話す。） ➤ 宿題として、パートナーの本について英語で書いてくることを指示する。 ➤ 宿題が何をすべきか不明確で、終了間際に「パートナーの好きな本について英文で書いてくる」と生徒に伝わっていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ “word input”であるので、知らなかった単語や生徒の解答を share する、辞書で調べる、単語の発音を何回も行うなどして単語が頭の中にインプットする活動を増やしてはどうか。 ➤ スクリーンを利用していろいろな本を見せている点は良いが、生徒が何に注意を向けてスライドを見るのかが指示されていない。クイズ形式にして本の名前を当てさせるなどの工夫が必要である。 ➤ ただスライドを見せるのではなく、新単語の定義をペアで読む、マッチング活動、リスニング活動等、生徒の頭を働かせる活動を取り入れてはどうか。 ➤ ディクテーションを4回やるのであれば、合間にペアで確認する時間を設けては。 ➤ プリントの解説を読んで、理解したことをペアで共有する、不明確な点をアンダーランするなど、生徒がやるべきことをより具体的に指示すべきである。 ➤ この活動を dictogloss に発展させてはどうか。 ➤ 教師自身の好きな本について oral introduction として紹介するなど、例を示してはどうか。また、これで教師自身が自己開示 |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | | |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <p>することによって生徒たちも話しやすくなるという効果もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ペアワークに制限時間を設ける、ペアを複数換えるなどすると練習時間を増やすことができる。 ➤ 最後のペアワークの前に、宿題の内容（パートナーの好きな本について英語で書いてくる）をあらかじめ生徒に知らせておくべきだった。そうすることで活動に対する集中力ややる気も高まると思われる。 |
| <p>6. C校, コミュニケーション英語, M教諭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 辞書を利用し、問題を各自で解く。(10分間)時間はiPadの時刻表示をプロジェクターで黒板に投影しており、制限時間が分かりやすい。 ➤ 前時の復習として、英問英答を4つ各自で解く。(5分) ➤ 4人グループで話し合う。 ➤ キーワードと絵で内容をまとめるよう指示する。例として、教師が作成した前の課のパワーポイントを見せる。 ➤ 生徒の作品を紹介する。 ➤ 英問英答の答えを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 問題を解き終わったら、解答をペアで確認する、英問英答をペアで音読するなど、ペアワークをもっと取り入れては。 ➤ 4人グループで話し合う際、役割分担をしては。(問題を考える生徒、プリントに英文を書く人、答えを発表する人、絵を描く人、タイムキーパーなど。) ➤ 「まとめる」ための基準が曖昧であるので、「時系列」「起承転結」などの「型」を指定しておくことで生徒は取り組みやすくなる。 ➤ 教師の提示するパワーポイントよりも、生徒の作品を最初に例として提示してはどうか。教師の例がカラフルで立派すぎるの |

| | | |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <p>で、生徒の参考にはなりにくいと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 最後に英問英答の答えを確認するのではなく、グループワークの前に解答確認を行った方が授業の流れがスムーズになる。 |
| <p>7. C校, コミュニケーション英語, M教諭</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 復習として英問英答を各自で解く。辞書を使用してプリントに解答を記入する。 ➤ 本時の英問英答3問に答える。 ➤ ペアで教科書を音読し、英問1つを答える。 ➤ 教師から追加で“What has changed your life?”という問を各自で考えさせる。 ➤ クラス内の雰囲気明るく、元気がある。 ➤ 最後に発表した生徒の表現がとても良かった。英語で自己表現をする力はあると思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 英問英答の活動にペアワークを取り入れては。 ➤ 音読の際に、教師やCDのモデルを事前に聞かせるべきである。また、発音やイントネーションなど音読時に注意する点を指摘すべきである。 ➤ 教科書の内容を生徒自身の人生につなげようとした点は評価できる。しかし追加質問の説明が不足していたため、追加質問の意味を理解していた生徒も見られる。教師の答を紹介することで例を示し、生徒が答える際に必要となる語彙・文法・表現をプリントにあらかじめいくつか提示しておく取り組みやすくなる。 |

来年度（以降）の展望

- 生徒の GTEC の分析結果を（ALT を含めた）英語科、他教科、生徒、学校全体で共有する。
- 同様に、パフォーマンス評価の実態に関する教員・生徒の意識調査の結果を（ALT を含めた）英語科、他教科、生徒、学校全体で共有する。
- 英語科全職員、同学年担当教員で目線を揃える（上記のカリキュラム・Can-Do List、年間指導計画、評価方法、授業の改善方法、今後の方針を再確認する。
- 英語科の職員同士で授業を参観し合い、授業の良い点を取り入れ改善するなどして授業方法についての知識を増やし、技能を高める。
- 生徒が英語に関心を持って取り組めるよう、可能であれば校内で行事を設定する（校内スピーチコンテスト、エッセイコンテスト、英検の奨励など）。また、校外での各種コンテスト等に参加するよう積極的に応募を勧める。
- 各調査の分析結果から、カリキュラム・Can-Do List、年間指導計画、評価方法、授業の改善方法、今後の方針を決定する。その際、今事業の専門委員の意見を参考にする、または専門委員との合同会議を行う。
- 教師にインタビューを行い、教師が持つ教育哲学を探る。本事業という外的圧力によって変革を求めるだけでなく、教師自身が自発的に授業改革を行うことができるよう、内発的動機を促す。
- 教師自身が学習者の立場で、ICT を活用した授業、思考力・判断力・表現力の育成に資する技能統合型授業を体験する。また、GTEC を受験することによってどのような問題が出題されており、どのような英語力が測定されているのかを体験する。
- 教師が各種研修・研究会やオンラインの授業を受講し、さまざまな指導方法を身につける。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

委員名: 小町 将之 (静岡大学人文社会科学部・准教授)

拠点校の現状と課題

授業の仕方についての積極的なコメントは他の委員に譲ることにするが、教える内容とその背景にある知的な世界について、「わきまえ」の輪郭をある程度くっきりさせる教材を提供することと、それを良くわきまえる教員を育成する取組みが必要だと感じた。

「教材研究」という用語が広く使われるが、教える手段としての教材をよく知るために研究することはよいとして、そもそも生徒は「教材を学ぶ」のではなく「教材で学ぶ」のであるから、生徒が何を学ぶかについて意識的になることが、個々の教員にとっても、また本プロジェクトに参画する構成員にとっても重要である。教材自体に不用意な説明が含まれることもよくあることだろうが、「よい」とされる教材であっても、それを盲信するのではなく、その教材が伝えようとする知的背景について、教員はある程度自覚的であるべきである。実際の口語表現や文法的特徴づけ、あるいは文章が表現する題材の背景についての理解が教員の中でも深まれば、授業中の問いの投げかけ方が本質的に変わってくるのではないだろうか。

たとえば英文法に関わる説明で、良くてミスリーディングと言わざるを得ない「雑な」説明やコメントが挟まれる箇所があったが、「一応説明するけど、文法なんていう小難しいことはわかってなくてもいいんだよ」といった否定的な知的価値観が背景にあるのではないかと邪推してしまう。せっかく教えるのだから、「文法なんてわからなくてもできればよい」ではなくて、「文法もわかるとおもしろいよね」という価値観がもっと広まってほしいものである。

とはいえ、自分の授業を他者に見せるというのは、やはり勇気のいることであるから、このプロジェクトに参加されて授業を他の研究者・教育実践者に開いている先生方のプロ意識には敬服する。このような先生方が向上心と向学心を維持できるような環境を作り上げることが、本プロジェクトの使命ではないかと感じた。

来年度（以降）の展望

今回の授業見学は録画した映像を通じてのものであったので、やはり感じられる教室の雰囲気も限定的なところがあった。来年度以降は、私自身も学校に参上したうえで現状をよりよく知って、その改善に貢献したい。

第 1 回拠点校授業外部専門家委員会報告

天野 修一（静岡大学大学教育センター・特任助教）

拠点校の現状と課題

最も大きな課題は授業ごとのゴールがないまま授業を行っているように見受けられることである。教科書を前回終わったところから、その日の授業時間中に進められるところまで進めることだけが目標になってしまっているようにも見える。検定教科書を用いるとそうならざるを得ない面もあるかもしれないが、授業ごとのゴール設定が困難であれば、少なくとも課ごとのゴール設定が必要である。

また、生徒が「私がちゃんとやらなくても授業は問題なく進行していく」と思ってしまうような時間帯が長く続いてしまっていた点も気にかかった。もちろん授業時間からそのような時間を完全になくすことは難しく、それを目指す必要もないが、できるだけ減らすよう常に意識していただきたい。

その他、生徒へのフィードバックのあり方やクラスルームイングリッシュのポーズの置き方にも気になる点があった。

来年度（以降）の展望

まずは毎回の授業あるいは各課にできるだけ具体的なゴールを設定し、それを目指して授業を進めるようにこころがけるところから始めるのがよいと思われる。現在抱えている様々な制約の中で、どうしたら自分の授業にそのような観点を取り入れられるかを常に意識していただきたい。上手な授業を一度やることではなく、常にそのような観点を持ちながら試行錯誤することの方が大切だと考える。

おわりに

高等学校において伝統的に行われてきた「文法重視・訳読型の英語授業」に疑問が呈され、コミュニケーション能力育成へとシフトする必要性が叫ばれ始めてから、30年以上の歳月が流れた。社会のグローバル化が急速に進んだこともあり、英語での意思疎通は、今や「これからの時代を生き抜いて行くための必須能力」の一つとなりつつある。

これを受け、高等学校における英語の授業は、大きく様変わりした。ALTの全校配置に加え、日本人英語教員も英語で授業を行うことが基本となり、生徒が英語に触れる機会は飛躍的に増加した。英語によるコミュニケーション能力を高めるための授業づくりは着実に進められてきている、と言えよう。

しかしながら、ここに来て「大至急対応すべき新たな課題」が出現した。ICTを筆頭とした急激な技術革新を主因とする、社会が変化するスピードの、過去とは比べ物にならないほどの高速化、である。どのような変化が起こるのかを予測することも、一気に困難となるだろう。英語が、その使用される地域の実情に合わせて方言化し、英語同士であるにもかかわらず「伝わらない」事態が発生するだろうし、英語が（もちろん日本語も）通じない環境に前触れなく放り出されることが、誰の身にも起こりうる。

この状況は、英語教育が果たすべき役割に、少なからぬ影響を与える。変化が激しく、しかも、その方向が見えないとなれば、授業を通じて知識・技能の習得及び活用を支援するのは当然のこと、ある日突然新たな知識や技能が必要となった場合に備え、生涯に渡って学び続ける姿勢も育んでおかねばならない。希望進路の実現に必要な英語力を身に付けたい、という生徒や保護者の願いも考慮に入れば、これからの英語の授業は、英語によるコミュニケーション能力を高めると同時に、英語以外の新たな外国語を習得するための手法が身に付くことも目指すべき、という結論に至る。

静岡大学による「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究」は、綿密なデータ分析により生徒・教員双方の実態や課題を明らかにした後に、それぞれのニーズ、思いを汲み上げ、目的の達成に向けた具体的な「次の一歩」を段階的に御提案いただける仕立てとなっている。

科学的な根拠に裏付けられたアドバイスは、経験則に基づいた授業改善を主とし、現状を変えることに慎重になりがちな教員にとって、進むべき方向を明確に示す指針であると同時に、そのような方向へと歩み出していく契機にもなり得るのではないか。

上述した、最新の「英語授業のあるべき姿」具現化に直結する研究に携わらせていただけることは、子どもたちのための授業改善支援を使命とする総合教育センター総合支援課高校班にとって、この上ない喜びであること、そして、その成果の普及に全力で当たらせていただく決意であることをお伝えし、おわりの言葉としたい。

静岡県総合教育センター

総合支援課高校班班長 野村賢一

資料編

※ 質問紙の作成にあたっては、データ分析外部専門家委員各位のほか、阿部真理子氏（中央大学）から参考資料の提供を得た。

平成 28 年 11 月〇日

静岡県立 A 高等学校
1 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅 野 文 彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、貴校 1 年生を対象に以下のとおり調査を実施させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、英語運用力テストのスコア、および技能統合型授業におけるパフォーマンスと併せた分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月 5 日（月）～ 12 月 9 日（金）（質問紙調査）
平成 28 年 12 月 2 日（金）13 時より（期末試験最終日の午後）（3 技能）
平成 28 年 12 月 5 日（月）～ 平成 28 年 12 月 9 日（金）（スピーキング）
※来年度以降の日程は実施の度に別途ご連絡致します
3. 会場 A 高等学校教室
4. 内容 質問紙調査（15 分程度）、年 1 回
英語運用力テスト（GTEC for STUDENTS）：リーディング（45 分）、リスニング・ライティング（45 分）、スピーキング（25 分程度）、年 2 回（28 年度は 1 回）

5. 監督 A 高等学校教員
6. その他 本事業拠点校の学校申込みによる団体受験に限り、GTEC for STUDENTS(3技能)の受験料には「外部検定試験の特別価格での割引制度」が適用され、スピーキングを含めた全額を静岡大学が負担します。なお、ここで獲得したスコアを大学入試に使用することはできませんのでご了承ください。質問紙の回答およびテスト結果の集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
7. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亙理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

平成 28 年 11 月〇日

静岡県立 A 高等学校

2, 3 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学

教育学部長 菅 野 文 彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、貴校の生徒を対象に以下のとおり調査を実施させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、その分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月〇日（〇）
※来年度以降の日程は実施の度に別途ご連絡致します
3. 内容 質問紙調査（15 分程度）、年 1 回
4. その他 集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
5. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亘理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

平成 28 年 11 月〇日

静岡県立 B 高等学校
1 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅 野 文 彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、貴校 1 年生を対象に以下のとおり調査を実施させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、英語運用力テストのスコア、および技能統合型授業におけるパフォーマンスと併せた分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月 14 日（水）（質問紙調査）
平成 28 年 12 月 9 日（金）（3 技能）
平成 28 年 12 月 7 日（水）～平成 28 年 12 月 13 日（火）（スピーキング）
※来年度以降の日程は実施の度に別途ご連絡致します
1. 会場 B 高等学校教室
2. 内容 質問紙調査（15 分程度）、年 1 回
英語運用力テスト（GTEC for STUDENTS）：リーディング（45 分）、リスニング・ライティング（45 分）、スピーキング（25 分程度）、年 2 回（28 年度は 1 回）

3. 監督 B 高等学校教員
4. その他 本事業拠点校の学校申込みによる団体受験に限り、GTEC for STUDENTS(3技能)の受験料には「外部検定試験の特別価格での割引制度」が適用されます。質問紙の回答およびテスト結果の集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
5. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亙理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

平成 28 年 11 月〇日

静岡県立 B 高等学校
2 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅 野 文 彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、貴校 2 年生を対象に以下のとおり調査を実施させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、英語運用力テストのスコア、および技能統合型授業におけるパフォーマンスと併せた分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月 14 日（水）（質問紙調査）
平成 28 年 12 月 12 日（月）（3 技能）
平成 29 年 1 月 23 日（月）～平成 29 年 1 月 27 日（金）（スピーキング）
※来年度以降の日程は実施の度に別途ご連絡致します
1. 会場 B 高等学校教室
2. 内容 質問紙調査（15 分程度）、年 1 回
英語運用力テスト（GTEC for STUDENTS）：リーディング（45 分）、リスニング・ライティング（45 分）、スピーキング（25 分程度）、年 2 回（28 年度は 1 回）

3. 監督 B 高等学校教員
4. その他 本事業拠点校の学校申込みによる団体受験に限り、GTEC for STUDENTS(3技能)の受験料には「外部検定試験の特別価格での割引制度」が適用されます。質問紙の回答およびテスト結果の集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
5. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亘理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

平成 28 年 11 月〇日

静岡県立 B 高等学校
3 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅 野 文 彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、貴校の生徒を対象に以下のとおり調査を実施させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、その分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月〇日（〇）
3. 内容 質問紙調査（15 分程度）
4. その他 集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
5. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亘理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

平成 29 年 3 月 9 日

静岡県立 C 高等学校
2 年生徒及び保護者 様

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅野文彦

文部科学省委託事業「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための
指導法等に関する実証研究」ための調査協力依頼について

向春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、静岡大学が文部科学省より「中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」（平成 28 年度～平成 32 年度）の委託を受け、静岡県教育委員会・静岡県総合教育センターとの連携のもと、貴校を拠点校の一つとして実証研究を進めることとなりました。

つきましては、以下の通り、貴校の授業の一環として既に実施された質問紙調査のデータを静岡大学が提供を受け、分析をさせていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご承諾のうえはお手数ではございますが、別紙承諾書を学校に御提出いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

1. 目的 現在の英語学習法や英語に対する興味・関心の実態を把握し、その分析に基づいて、拠点校の現状に応じて必要な学習環境整備を行い、年間指導計画・評価方法・ICT 教材等の活用法の改善案を提案する。
2. 日程 平成 28 年 12 月 12 日（月）～平成 28 年 12 月 16 日（金）
※来年度以降の日程は実施の度に別途ご連絡致します
3. 内容 質問紙調査（15 分程度）、年 1 回
4. その他 集計にあたっては、個人情報の保護の観点から学校名・氏名等を特定できない形式で処理し、本研究の分析データとしてのみ使用いたします。
5. 連絡先 文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室（研究チーム統括）
静岡大学教育学部 英語教育講座 准教授・亘理 陽一
TEL: 054-238-4617

以上

同意書・承諾書

国立大学法人静岡大学
教育学部長 菅野文彦 殿

平成28年11月〇日付文書により依頼のありました、文部科学省受託事業「平成28年度中学校・高等学校における英語教育の根本的改善のための指導法等に関する実証研究」において、拠点校の対象生徒として調査に参加することを同意・承諾します。

平成 年 月 日

(生徒)

氏名

①

(保護者)

氏名

①

英語学習に関するアンケート項目紙（高等学校）

※本アンケートと個人の評価は全く関係がなく、回答が成績に反映されることは一切ありません。

■マークシート表面の1~7について、回答してください。

1. 「署名欄」氏名とフリガナを記載してください。
2. 「氏名欄」氏名をローマ字で記載してください。
3. 「生年月日欄」生年月日を記載し、8桁の数字を右側のマーク欄にマークしてください。
(例. 2001年4月2日生まれ → 上から順に[2][0][0][1][0][4][0][2]をマークする。)
4. 「学年・学級欄」学年と組をマークしてください。
5. 「出席番号欄」出席番号をマークしてください。
(上から順に10の位, 1の位をマークする。例. 01番 → 上の段に[0], 下の段に[1].)
6. 「英語学習歴欄」あなたがいつ英語学習をはじめたかを下記から選び、マークしてください。
 ①3歳以下 ②4歳~5歳ぐらい ③小学1年生~3年生
 ④小学4年生~6年生 ⑤中学1年生以上
7. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.~d.の設問に回答してください。
 a. 外国に滞在したことがありますか。①ある ②ない
 (7. の a. で①と回答した方のみ、b.~d.を回答してください)
 ※複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答してください。
 b. 期間はどれくらいですか。
 ①2週間未満 ②2週間以上1か月未満 ③1か月以上3か月未満 ④3か月以上6か月未満
 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上
 c. 場所はどこですか。マークシートの「7.c. 記述欄」に記載してください。
 d. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------|--------------------------|--------|------|
| 英語以外のみ | 主に英語以外 | 英語以外: 半分ぐらい 英語: 半分ぐらい | 主に英語のみ | 英語のみ |

■マークシート表面に、下記①~⑱の設問に対する回答をマークしてください。

- ・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。
- ・設問ごとに最もあてはまる回答を 1つ選択して マークしてください。

(複数に回答することはできません)

① 英語の学習は好きですか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------------------|---------|------------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば そう思わない | どちらでもない | どちらかといえば そう思う | そう思う |

2 どのような場面で英語を活用したいと思いますか。

下記 a.~i.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------------------|---------|------------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば そう思わない | どちらでもない | どちらかといえば そう思う | そう思う |

- a. 学校を卒業後、英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- b. 日本の大学で、英語を活用して自分が専攻する学問を学ぶことができるようになりたい
- c. 高校卒業後に、海外の大学に進学できるようになりたい
- d. 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
- e. 海外での語学研修に参加する際にスムーズに開始できるようになりたい
- f. 海外でのホームステイで、英語で日常的な会話をし、円滑なコミュニケーションができるようになりたい
- g. 海外旅行をするときに、英語でコミュニケーションができるようになりたい
- h. 大学入試に対応できる力をつけたい
- i. 特に学校の授業以外での利用を考えていない

3 下記 a.~j.の活動について、今後(または今後も)、参加したいと思いますか。

a.~j.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|---------------------|---------|-------------------|-------|
| 参加したくない | どちらかといえば 参加したくない | どちらでもない | どちらかといえば 参加したい | 参加したい |

※留学は、学校主催のプログラムも含まれます。

- a. イングリッシュキャンプ（主に英語を使用して行なわれるキャンパイベント）
- b. 英語のスピーチ大会（校内での予選は除く）
- c. 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選は除く）
- d. 英語のディベート大会（校内での予選は除く）
- e. 留学：2週間未満
- f. 留学：2週間以上3か月未満
- g. 留学：3か月以上1年間未満
- h. 留学：1年間以上4年間未満
- i. 留学：4年間以上
- j. ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）

4 (3)で留学に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した方のみ対象

留学に行きたいと思う時期はいつですか。

※複数回の留学を望む場合は、最も早い時期を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ |
|-------|--------------|----------------|-------------|
| 高校在学中 | 高校卒業後4年以内の間に | 高校卒業後5年以上過ぎてから | 特に時期は考えていない |

5 高校生になってから、英語の資格試験や検定試験を受験したことがありますか。

試験例：英検，ケンブリッジ英検，GTEC for STUDENTS，TOEFL，TOEFL Junior，TOEIC，TOEIC Bridge など

| ① | ② | ③ |
|-----------|-----------|--------------|
| 受験したことはない | 受験したことがある | 受験したかどうかを忘れた |

6 (5)で①と回答した方のみ対象) 受験したことがない理由は何ですか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|---------------------|-----------|-------------------|-------|
| あてはまらない | どちらかといえば あてはまらない | どちらともいえない | どちらかといえば あてはまる | あてはまる |

- a. 受験したかったが、その機会がなかった
- b. 受験したかったが、その都合をつけられなかった
- c. 受験する必要性を感じず、受験する気にならなかった
- d. 自分の英語力に自信がなく、受験したくなかった
- e. 漠然と受験する気が起こらなかった

7 授業で英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|-----------|---------|------|---------|
| 全く緊張しない | ほとんど緊張しない | どちらでもない | 緊張する | とても緊張する |

※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- a. 英語を使った活動の時に、分からないことを英語で質問する
- b. 英語を使った活動の時に、きかれた質問に英語で答える
- c. クラスメイトと英語で会話をする
- d. クラスメイトが集まったグループで、英語で議論する
- e. クラスメイトの前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

8 外国人と英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|-----------|---------|------|---------|
| 全く緊張しない | ほとんど緊張しない | どちらでもない | 緊張する | とても緊張する |

※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- a. 外国人に、分からないことを英語で質問する
- b. 外国人からの質問に英語で答える
- c. 外国人と英語で会話をする
- d. 外国人が集まったグループで、英語で議論する
- e. 外国人の前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

■以下の設問9～19は、学校内での授業以外の学習（自習学習や自宅学習・塾での学習）についての質問です。※「英語に接している」とは英語を読む、聞く、書く、話すのいずれも含まれます。

9（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 1日も接しない |

10（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|--------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 2時間未満 | 2時間以上 4時間未満 | 4時間以上 6時間未満 | 6時間以上 8時間未満 | 8時間以上 10時間未満 | 10時間以上 12時間未満 | 12時間以上 |

11 10について、授業の予習や復習・課題の学習時間は十分だと思いますか。

| | | | | |
|-------------|-------------------------|---------|-----------------------|-----------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| もっと勉強が必要である | どちらかといえば もっと勉強が必要である | どちらでもない | どちらかといえば 十分に勉強している | 十分に勉強している |

12（学習塾・家庭教師を除き、）予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 1日も接しない |

13（学習塾・家庭教師を除き、）予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|--------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 2時間未満 | 2時間以上 4時間未満 | 4時間以上 6時間未満 | 6時間以上 8時間未満 | 8時間以上 10時間未満 | 10時間以上 12時間未満 | 12時間以上 |

14 13について、予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除いた学習時間は十分だと思いますか。

| | | | | |
|-------------|-------------------------|---------|-----------------------|-----------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| もっと勉強が必要である | どちらかといえば もっと勉強が必要である | どちらでもない | どちらかといえば 十分に勉強している | 十分に勉強している |

【学習塾（家庭教師も含む）について】

15 学習塾（家庭教師も含む）で勉強をしていますか。

| | |
|-------------|------------|
| ① | ② |
| 学習塾で勉強していない | 学習塾で勉強している |

16 (15)で②と回答した方のみ対象)

学習塾（家庭教師も含む）では1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 4時間未満 | 4時間以上 5時間未満 | 5時間以上 6時間未満 | 6時間以上 |

17 (15)で②と回答した方のみ対象) 学習塾ではどのようなことを勉強していますか。

下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| | | | | |
|---------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 全く勉強していない 塾学習の0% | 勉強している 1%~25%未満 | まあまあ勉強している 25%~50%未満 | 頻繁に勉強している 50%~75%未満 | とても頻繁に勉強している 75%~100% |

- a. 学校の勉強より進んだ内容（予習）
- b. 学校の勉強でよく分からなかった内容
- c. 学校の勉強より難しい内容
- d. 学校の勉強より簡単な内容
- e. 学校の勉強とは異なる内容

【パソコンやタブレット、携帯電話について】

18 (学習塾・家庭教師を除き、) 学校での授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| | | | | |
|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 全く活用していない 授業以外での英語の 0% | 活用している 1%~25%未満 | まあまあ活用している 25%~50%未満 | 頻繁に活用している 50%~75%未満 | とても頻繁に活用している 75%~100% |

- a. パソコン
- b. タブレット
- c. スマートフォンや携帯電話
- d. その他の情報機器

19 (15)で②と回答した方のみ対象) 学習塾（家庭教師も含む）で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| | | | | |
|---------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 全く活用していない 塾での英語の 0% | 活用している 1%~25%未満 | まあまあ活用している 25%~50%未満 | 頻繁に活用している 50%~75%未満 | とても頻繁に活用している 75%~100% |

- a. パソコン
- b. タブレット
- c. スマートフォンや携帯電話
- d. その他の情報機器

■下記20と21の設問に対する回答を「回答記述欄」に記載してください。

20 (授業以外で、パソコンやタブレット・携帯電話などを活用して英語に接している方のみ対象)
英語に関わるどのようなことのために、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
活用していることをすべて書いてください。
それぞれの項目について、全体に対してどれくらいの割合で行っているかを記載してください。

例 1: 英語で書かれたニュースを読むため。(60%)
英語で書かれた趣味に関する情報を得るため。(20%)
英語で海外の友人に E メールを書くため。(10%)
英語の歌を聞くため。(10%)

例 2: 英単語の意味を調べるため。(50%)
学習塾の先生と Skype で英語を使って話すため。(30%)
英単語の発音を調べるため。(20%)

【回答記述欄】

21 英語を使って、できるようになりたいことは何ですか。

最もできるようになりたいと思うことを1つ、できるだけ具体的に記載してください。

例 1: 英語でプレゼンテーションができるようになりたい
例 2: 英字新聞を読めるようになりたい
例 3: 日本を訪れる海外からの旅行者に英語で案内をしたい

【回答記述欄】

■マークシート裏面に、下記22～36の設問に対する回答をマークしてください。

・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。

・1つだけしか回答できない設問と複数の回答ができる設問の両方がありますので、注意してください。

22 どの程度まで英語を身につけたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- ② 大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
- ③ 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい
- ④ 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
- ⑤ 海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい
- ⑥ 海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
- ⑦ 大学入試に対応できる力を付けたい
- ⑧ 特に学校の授業以外での利用を考えていない

23 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください（複数回答可）。

- ① イングリッシュキャンプ
- ② 英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
- ③ 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く）
- ④ 英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
- ⑤ 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満）
- ⑥ 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
- ⑦ 留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上）
- ⑧ ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
- ⑨ 当てはまるものはない

24 (23で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。当てはまるものを1つ選んでください。※複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んでください

- ①高校1年生 ② 高校2年生 ③ 高校3年生

25 高校生になってから、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。受験したことがあるものをすべて選んでください。受験したことがなければ⑨をマークください（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS
④TOEFL ⑤TOEFL Junior ⑥TOEIC
⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

2 6 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んでください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|-------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 全くしない | 30分未満 | 30時間以上 1時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 |

2 7 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んでください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|-------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 全くしない | 30分未満 | 30時間以上 1時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 |

2 8 次の学年の英語の授業では、英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

2 9 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

30 次の学年の英語の授業では、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

31 次の学年の英語の授業では、英語を聞いたり読んだりする際、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりするなどして理解するようにしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

3 2 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

3 3 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、(特に準備をすることなく)即興で話す活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

3 4 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

35 次の学年の英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。
当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

36 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。
当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

【アンケートは終了です】

英語学習に関するアンケート項目紙（中学校）

※本アンケートと個人の評価は全く関係がなく、回答が成績に反映されることは一切ありません。

■マークシート表面の1~7について、回答してください。

1. 「署名欄」氏名とフリガナを記載してください。
2. 「氏名欄」氏名をローマ字で記載してください。
3. 「生年月日欄」生年月日を記載し、8桁の数字を右側のマーク欄にマークしてください。
(例. 2003年4月2日生まれ → 上から順に[2][0][0][3][0][4][0][2]をマークする。)
4. 「学年・学級欄」学年と組をマークしてください。
5. 「出席番号欄」出席番号をマークしてください。
(上から順に10の位, 1の位をマークする。例. 01番 → 上の段に[0], 下の段に[1].)
6. 「英語学習歴欄」あなたがいつ英語学習をはじめたかを下記から選び、マークしてください。

| | |
|------------|------------|
| ①3歳以下 | ②4歳~5歳ぐらい |
| ③小学1年生~3年生 | ④小学4年生~6年生 |
7. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.~d.の設問に回答してください。
 - a. 外国に滞在したことがありますか。①ある ②ない

(7. の a. で①と回答した方のみ、b.~d.を回答してください)
※複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答してください。

 - b. 期間はどれくらいですか。

| | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| ①2週間未満 | ②2週間以上1か月未満 | ③1か月以上3か月未満 | ④3か月以上6か月未満 |
| ⑤6か月以上1年未満 | ⑥1年以上2年未満 | ⑦2年以上3年未満 | ⑧3年以上 |
 - c. 場所はどこですか。マークシートの「7.c. 記述欄」に記載してください。
 - d. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------|--------------------------|--------|------|
| 英語以外のみ | 主に英語以外 | 英語以外: 半分ぐらい 英語: 半分ぐらい | 主に英語のみ | 英語のみ |

■マークシート表面に、下記①~⑱の設問に対する回答をマークしてください。

- ・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。
- ・設問ごとに最もあてはまる回答を 1つ選択して マークしてください。

(複数に回答することはできません)

① 英語の学習は好きですか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------------------|---------|------------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば そう思わない | どちらでもない | どちらかといえば そう思う | そう思う |

2] どのような場面で英語を活用したいと思いますか。

下記 a.~i.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------------------|---------|------------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば そう思わない | どちらでもない | どちらかといえば そう思う | そう思う |

- a. 学校を卒業後、英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- b. 日本の大学で、英語を活用して自分が専攻する学問を学ぶことができるようになりたい
- c. 高校卒業後に、海外の大学に進学できるようになりたい
- d. 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
- e. 海外での語学研修に参加する際にスムーズに開始できるようになりたい
- f. 海外でのホームステイで、英語で日常的な会話をし、円滑なコミュニケーションができるようになりたい
- g. 海外旅行をするときに、英語でコミュニケーションができるようになりたい
- h. 大学入試に対応できる力をつけたい
- i. 特に学校の授業以外での利用を考えていない

3] 下記 a.~j.の活動について、今後(または今後も)、参加したいと思いますか。

a.~j.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|---------------------|---------|-------------------|-------|
| 参加したくない | どちらかといえば 参加したくない | どちらでもない | どちらかといえば 参加したい | 参加したい |

※留学は、学校主催のプログラムも含まれます。

- a. イングリッシュキャンプ（主に英語を使用して行なわれるキャンパイベント）
- b. 英語のスピーチ大会（校内での予選は除く）
- c. 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選は除く）
- d. 英語のディベート大会（校内での予選は除く）
- e. 留学：2週間未満
- f. 留学：2週間以上3か月未満
- g. 留学：3か月以上1年間未満
- h. 留学：1年間以上4年間未満
- i. 留学：4年間以上
- j. ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）

4] (3]で留学に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した方のみ対象)

留学に行きたいと思う時期はいつですか。

※複数回の留学を望む場合は、最も早い時期を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ |
|-------|--------------|----------------|-------------|
| 中学在学中 | 中学卒業後3年以内の間に | 中学卒業後4年以上過ぎてから | 特に時期は考えていない |

5 中学生になってから、英語の資格試験や検定試験を受験したことがありますか。

試験例：英検，ケンブリッジ英検，GTEC for STUDENTS，TOEFL，TOEFL Junior，TOEIC，TOEIC Bridge など

| ① | ② | ③ |
|-----------|-----------|--------------|
| 受験したことはない | 受験したことがある | 受験したかどうかを忘れた |

6 (5)で①と回答した方のみ対象) 受験したことがない理由は何ですか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|---------------------|-----------|-------------------|-------|
| あてはまらない | どちらかといえば あてはまらない | どちらともいえない | どちらかといえば あてはまる | あてはまる |

- a. 受験したかったが、その機会がなかった
- b. 受験したかったが、その都合をつけられなかった
- c. 受験する必要性を感じず、受験する気にならなかった
- d. 自分の英語力に自信がなく、受験したくなかった
- e. 漠然と受験する気が起こらなかった

7 授業で英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|-----------|---------|------|---------|
| 全く緊張しない | ほとんど緊張しない | どちらでもない | 緊張する | とても緊張する |

※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- a. 英語を使った活動の時に、分からないことを英語で質問する
- b. 英語を使った活動の時に、きかれた質問に英語で答える
- c. クラスメイトと英語で会話をする
- d. クラスメイトが集まったグループで、英語で議論する
- e. クラスメイトの前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

8 外国人と英語を使ってコミュニケーションをとることをどのように思いますか。

下記 a.～e.それぞれについて、①～⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------|-----------|---------|------|---------|
| 全く緊張しない | ほとんど緊張しない | どちらでもない | 緊張する | とても緊張する |

※行ったことがない活動については、行うとすると、どのように思うか回答してください

- a. 外国人に、分からないことを英語で質問する
- b. 外国人からの質問に英語で答える
- c. 外国人と英語で会話をする
- d. 外国人が集まったグループで、英語で議論する
- e. 外国人の前で、英語でスピーチやプレゼンテーションをする

■以下の設問9～19は、学校内での授業以外の学習（自習学習や自宅学習・塾での学習）についての質問です。※「英語に接している」とは英語を読む、聞く、書く、話すのいずれも含まれます。

9（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 1日も接しない |

10（学習塾・家庭教師を除き、）授業の予習や復習・課題のために、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|--------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 2時間未満 | 2時間以上 4時間未満 | 4時間以上 6時間未満 | 6時間以上 8時間未満 | 8時間以上 10時間未満 | 10時間以上 12時間未満 | 12時間以上 |

11 10について、授業の予習や復習・課題の学習時間は十分だと思いますか。

| | | | | |
|-------------|-------------------------|---------|-----------------------|-----------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| もっと勉強が必要である | どちらかといえば もっと勉強が必要である | どちらでもない | どちらかといえば 十分に勉強している | 十分に勉強している |

12（学習塾・家庭教師を除き、）予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何日ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 1日も接しない |

13（学習塾・家庭教師を除き、）予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除くと、1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-----------------|------------------|--------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 2時間未満 | 2時間以上 4時間未満 | 4時間以上 6時間未満 | 6時間以上 8時間未満 | 8時間以上 10時間未満 | 10時間以上 12時間未満 | 12時間以上 |

14 13について、予習や復習・課題などの授業に関わる勉強を除いた学習時間は十分だと思いますか。

| | | | | |
|-------------|-------------------------|---------|-----------------------|-----------|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| もっと勉強が必要である | どちらかといえば もっと勉強が必要である | どちらでもない | どちらかといえば 十分に勉強している | 十分に勉強している |

【学習塾（家庭教師も含む）について】

15 学習塾（家庭教師も含む）で勉強をしていますか。

| ① | ② |
|-------------|------------|
| 学習塾で勉強していない | 学習塾で勉強している |

16 (15)で②と回答した方のみ対象)

学習塾（家庭教師も含む）では1週間あたり何時間ぐらい、英語に接していますか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 4時間未満 | 4時間以上 5時間未満 | 5時間以上 6時間未満 | 6時間以上 |

17 (15)で②と回答した方のみ対象) 学習塾ではどのようなことを勉強していますか。

下記 a.~e.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| 全く勉強していない 塾学習の0% | 勉強している 1%~25%未満 | まあまあ勉強している 25%~50%未満 | 頻繁に勉強している 50%~75%未満 | とても頻繁に勉強している 75%~100% |

- a. 学校の勉強より進んだ内容（予習）
- b. 学校の勉強でよく分からなかった内容
- c. 学校の勉強より難しい内容
- d. 学校の勉強より簡単な内容
- e. 学校の勉強とは異なる内容

【パソコンやタブレット、携帯電話について】

18 (学習塾・家庭教師を除き、) 学校での授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| 全く活用していない 授業以外での英語の 0% | 活用している 1%~25%未満 | まあまあ活用している 25%~50%未満 | 頻繁に活用している 50%~75%未満 | とても頻繁に活用している 75%~100% |

- a. パソコン
- b. タブレット
- c. スマートフォンや携帯電話
- d. その他の情報機器

19 (15)で②と回答した方のみ対象) 学習塾（家庭教師も含む）で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。下記 a.~d.それぞれについて、①~⑤を選択してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------------------------|--------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|
| 全く活用していない 塾での英語の 0% | 活用している 1%~25%未満 | まあまあ活用している 25%~50%未満 | 頻繁に活用している 50%~75%未満 | とても頻繁に活用している 75%~100% |

- a. パソコン
- b. タブレット
- c. スマートフォンや携帯電話
- d. その他の情報機器

■ 下記 20 と 21 の設問に対する回答を「回答記述欄」に記載してください。

20 (授業以外で、パソコンやタブレット・携帯電話などを活用して英語に接している方のみ対象)
英語に関わるどのようなことのために、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
活用していることをすべて書いてください。
それぞれの項目について、全体に対してどれくらいの割合で行っているかを記載してください。

例 1: 英語で書かれたニュースを読むため。(60%)
英語で書かれた趣味に関する情報を得るため。(20%)
英語で海外の友人に E メールを書くため。(10%)
英語の歌を聞くため。(10%)

例 2: 英単語の意味を調べるため。(50%)
学習塾の先生と Skype で英語を使って話すため。(30%)
英単語の発音を調べるため。(20%)

【回答記述欄】

21 英語を使って、できるようになりたいことは何ですか。

最もできるようになりたいと思うことを 1つ、できるだけ 具体的に 記載してください。

例 1: 英語でプレゼンテーションができるようになりたい
例 2: 英字新聞を読めるようになりたい
例 3: 日本を訪れる海外からの旅行者に英語で案内をしたい

【回答記述欄】

■マークシート裏面に、下記22～36の設問に対する回答をマークしてください。

・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。

・1つだけしか回答できない設問と複数の回答ができる設問の両方がありますので、注意してください。

22 どの程度まで英語を身につけたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい
- ② 大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
- ③ 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい
- ④ 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
- ⑤ 海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい
- ⑥ 海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
- ⑦ 大学入試に対応できる力を付けたい
- ⑧ 特に学校の授業以外での利用を考えていない

23 中学生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください（複数回答可）。

- ① イングリッシュキャンプ
- ② 英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
- ③ 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く）
- ④ 英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
- ⑤ 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満）
- ⑥ 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
- ⑦ 留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上）
- ⑧ ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
- ⑨ 当てはまるものはない

24 (23で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。当てはまるものを1つ選んでください。※複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んでください

- ① 中学1年生 ② 中学2年生 ③ 中学3年生

25 中学生になってから、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。受験したことがあるものをすべて選んでください。受験したことがなければ⑨をマークください（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS
- ④TOEFL ⑤TOEFL Junior ⑥TOEIC
- ⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

2 7 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んでください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|-------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 全くしない | 30分未満 | 30時間以上 1時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 |

2 7 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。
当てはまるものを1つ選んでください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|-------|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 全くしない | 30分未満 | 30時間以上 1時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 2時間以上 3時間未満 | 3時間以上 |

2 8 次の学年の英語の授業では、英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

2 9 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| ① | ② | ③ | ④ |
|--------|-----------------|---------------|------|
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

30 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

31 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年（1年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年（1年生と2年生は、回答しなくてよい）

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

3 2 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

3 3 英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

(1) 第1学年

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(2) 第2学年 (1年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

(3) 第3学年 (1年生と2年生は、回答しなくてよい)

| | | | |
|--------|-----------------|---------------|------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| そう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

【アンケートは終了です】

英語学習に関するアンケート項目紙（高等学校 英語教員対象）

※本アンケートと個人の評価は全く関係がなく、先生個人の人事考課等に反映されることは一切ありません。

■回答用紙表面の1~11について、お答えください。

1. 「署名欄」氏名とフリガナを記載してください。
2. 「氏名欄」氏名をローマ字で記載してください。
3. 「学年欄」今年度の担当学年を記載してください。
4. 「英語教員歴欄1」中学、高校での英語教員歴を記入してください。
5. 「英語教員歴欄2」塾、予備校、英会話学校での英語教員歴があれば、記入してください。
6. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.~d.の設問に回答してください。

a. 外国に滞在したことがありますか。①ある ②ない

(6. の a. で①と回答した方のみ、b.~d.を回答してください)

※複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答してください。

b. 期間はどれくらいですか。

①2週間未満 ②2週間以上1か月未満 ③1か月以上3か月未満 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上

c. 場所はどこですか。マークシートの「6.c. 記述欄」に記載してください。

d. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------|--------------------------|--------|------|
| 英語以外のみ | 主に英語以外 | 英語以外: 半分ぐらい 英語: 半分ぐらい | 主に英語のみ | 英語のみ |

7. 中学あるいは高校の教員になる前に、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可）。

①英検 ②GTEC ③IELTs ④TOFEL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし

8. 教員になってから、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可）。

①英検 ②GTEC ③IELTs ④TOFEL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし

9. これまでに取得した英語関連の資格の認定級あるいは最高スコアおよび取得時期をすべて記入してください。

10. 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

- ①ほとんどしていない ②あまりしていない ③どちらかといえば、している ④よくしている

11. 自分の英語力を向上させるための取組をしていますか（複数回答可）。

- ① 英字新聞や英語の雑誌、本を読む ② ラジオやテレビの英語講座で学習する
 ③ 英語のニュース番組や映画、ドラマを見る ④ 英語教材で学習する
 ⑤ 英語のウェブサイトを見たり、英語でEメールのやりとりをする ⑥ 国内の語学学校に通う
 ⑦ SNSや教材等を利用して英語を話す練習をする ⑧ その他

■下記①～③の設問に対する回答をマークしてください。

- ・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。
- ・設問ごとに最もあてはまる回答を1つ選択してマークしてください。

(複数に回答することはできません)

① 今年度の主担当学年の授業において、先生ご自身はどの程度英語を使用していますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------|
| あまり行っていない (25%程度未満) | 発話の半分未満を英語で行っている (25%程度以上～50%程度未満) | 発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満) | 発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上) | 今年度は当該科目を担当していない |

- (a) コミュニケーション英語 I, II あるいは III (b) 英語表現 I あるいは II (c) 総合英語
 (d) 英語理解 (e) 英語表現 (f) 異文化理解 (g) 時事英語 (h) 学校設定科目

② 今年度の主担当学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを科目別に回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|------------------|
| あまり言語活動を行っていない (25%程度未満) | 半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満) | 半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満) | 授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上) | 今年度は当該科目を担当していない |

- (a) コミュニケーション英語 I, II あるいは III (b) 英語表現 I あるいは II (c) 総合英語
 (d) 英語理解 (e) 英語表現 (f) 異文化理解 (g) 時事英語 (h) 学校設定科目

- 3 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

* 即興性があるとは、活動前に準備時間を与えないことあるいはごく短い準備時間であることとし、自発性があるとは、生徒自身を書くあるいは話すべき英語を考えることとします。したがって、音読やリピーティング、レシテーション、穴埋め作文、和文英訳などは含みません。要約やストーリーリテリングは含むこととします。

- 4 今年度の主担当学年での英語表現の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 5 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 6 今年度の主担当学年での英語表現の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 7 今年度の主担当学年でのコミュニケーション英語の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく できていない | あまり できていない | ある程度 できている | 十分に できている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 8 今年度の主担当学年での英語表現の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。
次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく できていない | あまり できていない | ある程度 できている | 十分に できている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ |
|------------|-----------------|---------------|------|
| ほとんどそう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

- 9 英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。
- 10 英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。
- 11 音読や暗唱を行っていますか。
- 12 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。
- 13 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。
- 14 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりするよう指導していますか。
- 15 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりするよう指導していますか。
- 16 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりするよう指導していますか。
- 17 速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていますか。
- 18 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら、読んだり書いたりするよう指導していますか。
- 19 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら、聞いたり読んだりするよう指導していますか。
- 20 与えられた話題について、即興で話す活動を行っていますか。
- 21 与えられた条件（話題、話す時間や量など）に合わせて、即興で話す活動を行っていますか。
- 22 スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。
- 23 デイバートやディスカッションを行っていますか。

【アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。】

英語学習に関するアンケート項目紙（中学校 英語教員対象）

※本アンケートと個人の評価は全く関係がなく、先生個人の人事考課等に反映されることは一切ありません。

■回答用紙表面の 1~11 について、お答えください。

1. 「署名欄」氏名とフリガナを記載してください。
2. 「氏名欄」氏名をローマ字で記載してください。
3. 「学年欄」今年度の担当学年を記載してください。
4. 「英語教員歴欄 1」中学、高校での英語教員歴を記入してください。
5. 「英語教員歴欄 2」塾、予備校、英会話学校での英語教員歴があれば、記入してください。
6. 「海外経験欄」あなたの海外経験について a.~d.の設問に回答してください。

a. 外国に滞在したことがありますか。①ある ②ない

(6. の a. で①と回答した方のみ、b.~d.を回答してください)

※複数の場合は、最も長期に滞在した際の経験を回答してください。

b. 期間はどれくらいですか。

①2週間未満 ②2週間以上1か月未満 ③1か月以上3か月未満 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上

c. 場所はどこですか。マークシートの「6.c. 記述欄」に記載してください。

d. 滞在先では、どれくらい英語に触れていましたか。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------|--------|--------------------------|--------|------|
| 英語以外のみ | 主に英語以外 | 英語以外: 半分ぐらい 英語: 半分ぐらい | 主に英語のみ | 英語のみ |

7. 中学あるいは高校の教員になる前に、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可）。
①英検 ②GTEC ③IELTs ④TOFEL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし
8. 教員になってから、英語に関する資格・検定試験を受験しましたか（複数回答可）。
①英検 ②GTEC ③IELTs ④TOFEL ⑤TOEIC ⑥ケンブリッジ英検 ⑦その他 ⑧受験なし

9. これまでに取得した英語関連の資格の認定級あるいは最高スコアおよび取得時期をすべて記入してください。

10. 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

- ①ほとんどしていない ②あまりしていない ③どちらかといえば、している ④よくしている

11. 自分の英語力を向上させるための取組をしていますか（複数回答可）。

- ① 英字新聞や英語の雑誌、本を読む ② ラジオやテレビの英語講座で学習する
 ③ 英語のニュース番組や映画、ドラマを見る ④ 英語教材で学習する
 ⑤ 英語のウェブサイトを見たり、英語でEメールのやりとりをする ⑥ 国内の語学学校に通う
 ⑦ SNSや教材等を利用して英語を話す練習をする ⑧ その他

■下記①～④の設問に対する回答をマークしてください。

- ・質問をよく読んで、マークシートの回答番号を塗りつぶしてください。
- ・設問ごとに最もあてはまる回答を1つ選択してマークしてください。

（複数に回答することはできません）

① 今年度の主担当学年の授業において、先生ご自身はどの程度英語を使用していますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------|
| あまり行っていない (25%程度未満) | 発話の半分未満を英語で行っている (25%程度以上～50%程度未満) | 発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満) | 発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上) | 今年度は当該学年を担当していない |

② 今年度の主担当学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|------------------|
| あまり言語活動を行っていない (25%程度未満) | 半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満) | 半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満) | 授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上) | 今年度は当該学年を担当していない |

- 3 今年度の英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語ライティング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- * 即興性があるとは、活動前に準備時間を与えないことあるいはごく短い準備時間であることとし、自発性があるとは、生徒自身が書くあるいは話すべき英語を考えることとします。したがって、音読やリピーティング、レシテーション、穴埋め作文、和文英訳などは含みません。要約やストーリーリテリングは含むこととします。

- 4 今年度の英語の授業において、即興性と自発性*の両方をそなえた英語スピーキング活動を行っていますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく 行っていない | あまり 行っていない | ある程度 行っている | 十分に 行っている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 5 今年度の英語の授業について、自分の思い描いたような授業ができていると思いますか。次の①～⑤のうち最もあてはまるものを回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------------|
| まったく できていない | あまり できていない | ある程度 できている | 十分に できている | 今年度は当該科目 を担当していない |

- 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答してください。

| ① | ② | ③ | ④ |
|------------|-----------------|---------------|------|
| ほとんどそう思わない | どちらかといえば、そう思わない | どちらかといえば、そう思う | そう思う |

- 6 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴に注意しながら聞いたり話したりするよう指導していますか。
- 7 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取る活動を行っていますか。
- 8 質問や依頼などを聞いて適切に応じる活動を行っていますか。
- 9 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解する活動を行っていますか。
- 10 まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動を行っていますか。

- 11 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える活動を行っていますか。
- 12 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどする活動を行っていますか。
- 13 つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続ける活動を行っていますか。
- 14 与えられたテーマについて簡単なスピーチをする活動を行っていますか。
- 15 文字や符号を識別し、正しく読むよう指導していますか。
- 16 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読したりする活動を行っていますか。
- 17 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る活動を行っていますか。
- 18 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる活動を行っていますか。
- 19 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる活動を行っていますか。
- 20 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くよう指導していますか。
- 21 語と語のつながりなどに注意して正しく分を書くよう指導していますか。
- 22 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由をかいたりなどする活動を行っていますか。
- 23 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書く活動を行っていますか。
- 24 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く活動を行っていますか。

【アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。】

平成 28 年度 中学校・高等学校における
英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究
委託事業成果報告書

発行日: 平成 29 年 3 月 24 日

事業実施者: (静岡大学) 菅野 文彦・北山 敦康・内田 恵・Peter Clements
亘理 陽一・村山 功・益川 弘如・小町 将之・藤森 敦之・松野 和子
山本 好比古・天野 修一・澤野 亜美・三ッ谷 三善・島田 桂吾
(静岡県教育委員会) 林 剛史・渋谷 浩史・神田 不二彦・河田 純次
(静岡県総合教育センター) 吉澤 勝治・野村 賢一・塚本 裕之
平川 由紀子・土井 弘子・熊谷 仁
(拠点校) 星野 義文・金澤 洋一・戸塚 忠治・溝口 信子・山崎 裕子
遠藤 稔美・深澤 富士夫・奥山 ゆう子・伊藤 清乃
清水 久美子・中山 侑・野上 寛之・稲葉 英彦・石田 真
(外部専門家委員会) 山森 光陽・今尾 康裕・森田 光宏・水本 篤
近藤 悠介・長沼 君主・水島 梨紗・石井 雄隆・三浦 孝
永倉 由里・安木 真一・松井 孝志・山本 孝次・柳田 綾
報告書編集: 菅野 文彦・亘理 陽一・天野 修一・出口 友香理・三浦 孝・永倉 由里
安木 真一・松井 孝志・山本 孝次・柳田 綾・小町 将之・野村 賢一

※本報告書に関するお問い合わせは、

文科省委託事業・中高英語教育抜本的改善研究推進室

事務員・出口 友香理 (deguchi.yukari@shizuoka.ac.jp)

TEL: 054-238-4617

までご連絡ください。